

令和2年度

佐賀大学授業アンケート・授業改善に関する報告書

令和4年1月

佐賀大学教育委員会
教育質保証専門委員会

はじめに

平成 18 年 10 月 1 日から施行された「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に基づき、学部・大学院の全授業科目で授業アンケートが実施されるようになってから、今年で 14 年目となりました。本年度の教員による授業アンケートの結果を用いた授業点検・改善の実施率は、全ての学部・研究科において 100%であり、授業アンケートの実施が全学的に浸透して各授業の自己点検が積極的に実施されるようになっていくことが伺えます。

また、本学は平成 18 年度より授業評価結果を用いた授業改善を実施するために、各学部等に組織別授業評価を行うことを義務付けてきました。各学部等は、評価の高かった科目の選考や授業改善への取り組み状況、次年度へ向けた授業改善の目標などを教育委員会に報告するようになっていきます。

さらに、平成 27 年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業評価アンケート」から「授業アンケート」とし、授業アンケートそのものの改善も図っております。

本学では、平成 23 年度にポートフォリオ学習支援統合システムを導入し、その際に教員の教育改善を支援する仕組みとして簡易版ティーチング・ポートフォリオ（TP）作成機能も組み込みました。平成 27 年度には、簡易版 TP 作成率 100%を達成し、授業の 1 回目で教員は自身の教育理念や教育方法について説明することにいたしました。平成 28 年度からは、本学のすべての教員公募要領において、教育業績評価に標準版ティーチング・ポートフォリオを活用することを明記しています。このように全学的な教育改善システムは整って参りましたので、今後は、各部局および教員が、これらの仕組みを十分に活用し、さらなる教育改善に結びつけることを希望します。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

佐賀大学教育委員会委員長

山下 宗利

目次

はじめに	1
目次	2
I.経過	3
II.回答状況	4
III.授業評価アンケートの結果と分析	
III-（1）教育学部の結果と分析	32
III-（2）学校教育学研究科の結果と分析	48
III-（3）芸術地域デザイン学部の結果と分析	62
III-（4）地域デザイン研究科の結果と分析	76
III-（5）経済学部の結果と分析	90
III-（6）理工学部・理工学研究科の結果と分析	107
III-（7）農学部・農学研究科の結果と分析	147
III-（8）先進健康科学研究科の結果と分析	162
III-（9）全学教育機構の結果と分析	177
おわりに	192
資料1 佐賀大学学生による授業評価実施要領	192
資料2 授業評価結果を用いた授業改善実施要領	194
資料3 学生による授業アンケート様式	195
資料4 共通様式以外のアンケート様式	196
資料5 項目の基礎集計表	199

I. 経過

佐賀大学では平成 12 年度前学期の「学生による授業評価」の試行的実施を経て、同年度の大学教育委員会で承認された「授業評価実施要領」に基づき平成 13 年度より授業アンケートが本格導入された。さらに佐賀医科大学との統合後には、佐賀大学大学教育委員会（平成 15 年 11 月 26 日開催）に置いて「学生に対する授業評価システムに対応する専門委員会」の設置が承認され、継続的に実施する体制が整えられた。法人化後の平成 17 年度には「授業評価実施要領」を一部改訂し、従来の教員による選択的实施を改め、講義科目（演習、実験、少人数ゼミを除く）を対象に共通アンケートの 100%実施を目標に活動を続けた。また、翌平成 18 年度後学期より全ての授業科目（大学院も含む）を対象に授業評価を実施することを定めた「佐賀大学学生による授業評価実施要領」（以下、授業評価実施要領とする）（平成 18 年 10 月 1 日施行）（資料 1）が新たに制定され、佐賀大学の全ての授業科目において、共通アンケートもしくは独自アンケートにより学生の意見を聴く機会が設けられた。

さらに、収集されたアンケート結果に基づき教員自らが授業改善に利用できる仕組みも構築した。アンケート結果は自動的に集計され全学平均や学部平均との比較をレーダーチャートに示し教員へフィードバックすることで、自らの授業改善に活かせる工夫が施された。さらに、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」（平成 18 年 12 月 22 日施行）（資料 2）が制定され、この授業評価アンケート結果に基づき、各教員は自らの授業の改善点について授業点検・評価報告書を提出することが義務づけられた。平成 27 年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」に変更した。

また、アンケートの収集方法の改善やアンケートの多角化も試み、佐賀大学における教育活動を多面的に分析する準備を進めた。平成 22 年度後学期以降には、アンケート用紙への直接記入方式から、LiveCampus を利用したアンケートのオンライン回答方式を導入した。一方、この授業評価アンケートと並行して佐賀大学の教育目的、施設、教育システム全般にわたり広く学生の声を取り入れるための学生対象アンケートも試行した。さらに、教員対象アンケートや卒業生対象アンケートも実施した。これらのアンケート等の実施により佐賀大学の教育活動を多方面から分析し、教育活動を改善する準備を整備しつつある。

本報告では令和 2 年度に実施した授業アンケートの結果および結果を用いた授業改善実施要領に基づいた佐賀大学の授業改善への取り組みについて述べる。なお、医学部および eラーニングで受講するネット授業については、授業形態の差異に配慮し、本報告書では扱っていない。

Ⅱ. 回答状況

令和元年度に佐賀大学で行われた授業アンケートは、本学の統合型オンラインコミュニケーションシステム LiveCampus 上の共通アンケートシステムを用いて行った。また、科目によっては共通アンケートシステムを用いない授業アンケートの実施も認めている。そこで、まずアンケートの実施方法及び実施状況について示す。

本年度に実施した授業評価アンケートは以下の3つに大別される。

- 1) 授業アンケートシステム (資料3)
- 2) 個別授業アンケート
- 3) 医学部授業評価アンケート (資料4)

このうち本報告書では授業アンケートシステムの結果について取り扱う。医学部は統合前の佐賀医科大学時代から先進的な FD 活動を展開しており、授業アンケートも科目種毎に分けて通年で実施し、詳しい分析が行われているため本報告では扱わない。ネット授業は授業形態が異なるため質問内容が異なるため別項とし、概要をまとめ分析した。

次に、本年度の授業アンケートの回答率について述べる。表1に部局毎の回答率をまとめた。回答率の高い部局は、学部課程では医学部、理工学部、全学教育機構で、研究科では医学系研究科、学校教育学研究科であった。学部での回答率は医学部の100%が最も大きく、科目数では133科目に達する。また、大学院では医学系研究科の実施率が100%に達している。

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

教育学部・学校教育学研究科、文化教育学部

教育学部は教科によって数名だったりする科目が大半を占めているため、統計量として取り扱うことができない。したがって高い評価を得ている授業科目を統一的な基準の元で選定することは困難である。学校教育学研究科においても対象科目が少ないのと少数のため選定を行わなかった。以上のことから選定基準を設けていない。

芸術地域デザイン学部、地域デザイン研究科

特に実施していない。

経済学部

現在のところ経済学部では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず、その選考基準も作成していない。

理工学部、工学系研究科、理工学研究科

(1) 学士課程

数理科学科

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理科学科

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

知能情報システム学科

以前は、授業評価アンケートの D-1（満足度）を主に利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪いいため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

機能物質化学科

満足度を中心にアンケート結果も参考にしているが、基本的には、卒業予定者を対象と

した学科独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。

機械システム工学科

特に実施していない

電気電子工学科

アンケート回答数が 30 以上の専門科目を対象として、B-3（教員の意欲や熱意）、C-1（目標の達成度）、C-4（学生自身が考えることを促す配慮）、D-1（満足度）の項目の上位を選出基準としている。本年度はオンライン講義が多数を占めたため、上位評価科目の授業参観は、実施していない。

都市工学科

特に実施していない。

理工学科共通教育

初年次共通教育においては、学生から高い評価を得ることよりも、基礎学力を涵養するための工夫に重点をおいているため、特に実施していない。

理工学科数理サイエンスコース

特に実施していない。

理工学科知能情報システム工学コース

特に実施していない。

理工学科情報ネットワーク工学コース

特に実施していない。

理工学科生命化学コース

満足度を中心にアンケートしている。卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、特に卒業後に役に立つと思う授業を調査している。部門会議でアンケート結果を共有し、次年度の活動の参考にしている。

理工学科応用化学コース

満足度を中心にアンケートしている。卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、特に卒業後に役に立つと思う授業を調査している。部門会議でアンケート結果を共有し、次年度の活動の参考にしている。

理工学科物理学コース

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

理工学科機械エネルギー工学コース

特に実施していない。

理工学科メカニカルデザインコース

特に実施していない。

理工学科電気エネルギー工学コース

特に実施していない。

理工学科電子デバイス工学コース

特に実施していない。

理工学科都市基盤工学コース

特に実施していない。

理工学科建築環境デザインコース

特に実施していない。

(2) 博士前期課程・修士課程

工学系研究科

数理科学専攻

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止

している。

物理科学専攻

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。(ただし、昨年度の受講者はいなかった。)

知能情報システム学専攻

特に実施していない。

循環物質化学専攻

満足度を中心にアンケート結果も参考にしているが、基本的には、修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実習・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。

機械システム工学専攻

特に実施していない。

電気電子工学専攻

特に実施していない。

都市工学専攻

特に実施していない。

先端融合工学専攻

特に実施していない。

理工学研究科理工学専攻

数学コース

Web で収集する授業評価アンケートは、回収率が悪く参考にしにくいいため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理学コース

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アン

ケート結果から総合的に判断する。

データサイエンスコース

特に実施していない。

知能情報工学コース

特に実施していない。

機能材料化学コース

満足度を中心にアンケートしている。修了予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、特に終了後に役に立つと思う授業を調査している。コース会議でアンケート結果を共有し、次年度の活動の参考にしている。

機械エネルギー工学コース

特に実施していない。

機械システム工学コース

特に実施していない。

電気電子工学コース

特に実施していない。

都市基盤工学コース

特に実施していない。

建築環境デザインコース

特に実施していない。

(3) 博士後期課程

工学系研究科

博士後期課程については、講座単位では学生の人数が少なく、講義の履修者数も少ないため、講座毎の組織別授業評価は行っていない。

農学部、農学研究科

選考基準の一つとして、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問したアンケートの質問事項B～Dにおいて高い評価を得ている科目が挙げられる。一方で、各授業の性質（必須科目・選択科目、座学中心または 実習・実験中心の違いなど）や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて性質の異なる授業間での比較を行う際にはこれらの点についても考慮しつつ、総合的に判断する必要があると考えている。本年度は、遠隔授業が主となったため、使用した教材やアクティブラーニングの実施状況が特に授業の質に大きく影響すると考え、質問C-4およびC-5が高評価で、さらに自由記述欄でこれらの項目に関して高評価の感想があった授業（＝遠隔授業で高評価を得た授業）の授業担当者を演者としたFD研修会を開催し、学部全体での遠隔授業の質の向上に努めた。

先進健康科学研究科

「学生から高い評価を得ている授業科目」については、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難であると判断した。学生が授業内容を真に理解するタイミングには専攻によってずれがあるため現時点での統一的な比較は適切ではないと考えられる。

全学教育機構

全学教育機構では、この項目に対する科目の選考は行っていない。

(2) 授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点

教育学部・学校教育学研究科、文化教育学部

令和2年度は教育学部、学校教育学研究科、の2組織に対する組織別授業評価を実施した。その結果について報告する。

【優れた点】

1) ティーチングポートフォリオ作成・更新率の維持と向上

R2年度の標準版ティーチングポートフォリオ作成・更新率は昨年度の15.9%から少し低下して15.1%であったが目標の13%を達成した。簡易版ティーチングポートフォリオに関しても、R2年度も更新率を100%を維持できた。今年度も標準版ティーチングポートフォリオワークショップに参加された教員に標準版ティーチングポートフォリオの作成や利用法、授業・研究での活用法を学部FD講演会にて、講師をしてもらった。ティーチングポートフォリオワークショップの参加やFD講演会を通して、教員が各自授業の見直し、授業改善を行っている。本年度はコロナによる授業形態の変化に伴う遠隔授業が大部分行われたものの、学生の授業アンケートの満足度は概して85~90%の高さの回答を得た。

【改善を要する点】

1) 学生による授業評価アンケートの回答率

毎年、教員は講義で学生にアンケートの記入するようにアナウンスしているが、回答率は上昇していないが問題点であった。学部別の回答率は把握できていないが、令和元年度についての大学全体での平均値は前期48%、後期44%に対し、R2年度においては前期59%、後期55%と約10%も回答率が上昇している。アナウンスした成果がでたのか、あるいはコロナの影響でリモート授業が増え指示が徹底されたのかわからないが、引き続き過半数以上の回答率を維持したい。

芸術地域デザイン学部、地域デザイン研究科

(芸術地域デザイン学部)

芸術地域デザイン学部では、ラーニング・ポートフォリオを導入し、学生が自らの学習活動について振り返ることによって、また、チューターの学修・生活指導の一助として、単位の実質化に役立っている。地域デザイン研究科では、研究指導実施計画書を学生と指導教員が作成し、副指導教員2名がチェックし、研究進捗を把握している。

また、平成 30 年度末に学部の全学生と全教員を対象とした学部独自のWEBアンケート調査を実施し、教育全般にわたる課題抽出をおこない、令和元年にカリキュラム改定に取り組み、さらに令和 2 年度にはPDCAのチェックで明らかとなった通年科目の問題解消に取り組んだ。令和 3 年より通年科目を前・後期に分けることで、学生の不利益の解消につながる。令和 2 年春からは共通基礎科目のスリム化を行い、1 年前期に教養科目の履修をかうとするとともに、予習復習の時間の確保も行う。

(地域デザイン研究科)

授業改善の取り組み状況に関する優れた点は、第 1 に、修士論文最終試験である。コロナ感染症防止対策で対面と遠隔を組み合わせたハイブリッド形式で行ない、主査・副査に限らない多くの教員の参加を実現し、専門外の視点からの口頭試問を行った。

第 2 に、修士 1 年第 2 学期（4 月入学生は後期、10 月入学生は前期）に行っている研究進捗状況報告会である。入学から短期間であるので研究成果は期待されていないが、早期から研究プレゼンテーションを行うことによる、締め切りに合わせた研究の取りまとめとプレゼンテーションへの習熟を指導できる。また、授業評価アンケートでわかるように少数であるが受け身の学習態度の学生が存在する。こういった学生の学習態度の改善に研究進捗状況報告会が役立っている。

改善すべき点として、第 1 に、授業評価アンケートの満足度の質問（D-1）の回答で「全くそう思わない」2 件、「そう思わない」3 件の存在である。特に、全く満足できなかったと回答のあった 2 名の教員は、他に熱意の項目（B-3）や教材の項目（C-4）も最低の評価であり、FD 研修会などを通じた教育態度の改善が必要と考えられる。

経済学部

授業改善の取り組み状況に関する優れた点は、第 1 に、4 年間の学習成果を測定することを目的とした「コア科目群確認試験」を、令和元年度卒業予定者を対象として実施したことである。経済学部では、専門教育を伝統的な経済学・経営学・法学の体系として教育すると同時に、専門教育の入門科目を低学年次に受けさせ、高学年次では自らの進路希望に添ったコア科目群を履修させている。このような体制をとることで、専門教育と総合教育のバランスのとれた教育を行っている。こうした学習成果の最終的な測定が「コア科目群確認試験」であり、同試験を同一日時における一斉試験として、平成 29 年度と同様に 4 年次後学期（11 月）に実施した。コア科目群確認試験の測定結果については、4 年演習の担当教員が確認し、各教員は測定結果にもとづいたより充実したチューター指導に結びつけることができた。令和 2 年度において特筆すべき点は、前年度に引き続いて各コア科目群

における試験結果ならびに得点分布が、FD 会議の実施によって各教員に周知され、科目群間の難易度調整の観点から試験問題の再点検を重ねたことである。

第 2 に、学部全体において計 7 回の FD 活動を令和 2 年度に実施したことである。前学期に行われた FD 会議は遠隔授業とティーチングポートフォリオに関するもので、授業改善につながった。後学期に行われた FD 会議は科研費獲得に関するものであった。遠隔授業に関するものが、「ネットでの授業配信のためのFD（1回目）（第1回）」「ネットでの授業配信のためのFD（2回目）（第2回）」「office forms の活用に関するFD（第3回）」「オンライン授業に関するFD（第5回）」「オンライン授業の学生アンケートによるFD（第6回）」である。ティーチングポートフォリオに関するものが「ティーチングポートフォリオについてのFD（第4回）」である。ほぼ全ての教員の参加の下でFD 会議が開催され、活発な意見交換ならびに情報の共有化が行われた。特に令和 2 年度はコロナ禍による遠隔授業の初年度であり、授業改善のための情報共有と討論によって教育の質向上を実現できた。さらに経済・経営・経済法の各学科においても学生による授業評価アンケートの集計結果にもとづく学科FD 会議が開催され、授業改善・望ましい授業カリキュラムのあり方が複数回にわたり議論および検討された。

第 3 にこれまでのFD 活動やシラバス・授業点検の効果が、令和 2 年度の授業アンケートに反映された点である。特に、学生の評価の高い同時中継型の授業が 83% で、佐賀大学全体の 35% よりも大幅に多く、学部として学生の学習意欲に対応した講義を実施できた。また、講義に満足した学生の割合は令和元年度の 65% から令和 2 年度は 87% と大きく改善した。

第 4 に平成 30 年度より留学生 (SPACE-E) を対象に英語による授業科目 “Contemporary Social and Economic Issues in Japan” を展開している点である。例年、学生から満足した回答が得られており、概して成功したと考えている。ただし、令和 2 年度は開講を予定していたものの、コロナ対策の体制や規則が整わず佐賀大学として留学生を受け入れなかったために実施されなかった。その後、オンラインでの単位付与の規則が制定されたため、令和 3 年度以降はふたたび実施する予定である。また、この授業と並行して留学生の個人指導も実施されており、学部の国際化に対応した試みも続けられている。

第 5 に平成 30 年度より始まった経済学部主催の高大連携プロジェクト「社会へのとびら」で初年度に募集した高校生が 3 年生となり 3 ヶ年のプログラムが完了したことである。3 ヶ年のプログラムを修了した高校生は成果物のプレゼンテーションを実施し、高校生への社会科学分野への興味を涵養するというプログラムの目的は十分に実現できた。

改善すべき点として、第 1 にカリキュラム改定に関するFD 活動を開催することである。令和 3 年度から始まる新カリキュラムの目的や実現方法を教員間で情報共有し、カリキュ

ラム改定の効果が学生の能力向上につながっているか検討する必要がある。第 2 に「コア科目群確認試験」についても継続的に FD 活動を実施することである。試験問題の範囲や難易度等について各教員間での調整や情報共有を行い、同試験がよりよく 4 年間の学習成果を測定できるものとなるように、継続的に議論していくことが必要と考えている。第 3 に新しく開設した授業の検討を実施することである。上述したように SPACE-E の科目を新設したが、まだ手探りの部分が多く、改善の余地は残されている。適宜 FD を開催したり、ワーキンググループを発足させたりしながら、改善点を検討する必要がある。

理工学部、工学系研究科

理工学部

(1) 学士課程

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理科学科

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

知能情報システム学科

(取り組み状況)

各教員が、以下に示すような様々な授業改善に取り組んでいる。特に 2020 年度は新型コロナ禍に伴って導入が進んだオンライン教育を改善するための取り組みが多く行われた。

- ・対面授業、ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業の特長を組み合わせることで、学生が対面・遠隔の受講方式を自由に選択でき、かつ、教員の手間が抑えられる改良型ハイフレックス方式を考案し、授業で導入した。学生からも高い評価を得ることができ、国際会 CSEDU (Computer Supported Education) に論文が採録された。(掛下)
- ・チューター面談や研究室ゼミでもオンライン指導を積極的に導入した。(中山)
- ・ラーニングポートフォリオシステム、自作の教務判定システムを活用して、学生の細かいケアを行った。
- ・オンライン授業用や予習・復習用の教材、オンデマンド視聴できる授業ビデオを作成し、Teams や Moodle 等で学生に公開した。(中山) 授業を進める中で問題を出し学生に解か

せることで、学生自身が考える時間を設けた。(中山)

- ・プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自習環境を整備した。(福田、中山)
- ・毎回の授業後に Moodle 小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに、学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答案は自動採点され、学生にフィードバックされるとともに、成績にも反映されている。(掛下) Moodle 小テストを活用して、学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し、次の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると、学生が質問する際のハードルは低い。また、教員の側も、質問を収集することで学生の理解状況が分かる。(掛下)

学習アドバイザーや TA を活用し、成績不振の学生を優先した学習支援を行った。(上田、皆本、福田) オンライン会議システム等を活用し、オフィスアワーの設定時間以外でも、学生からの質問などに積極的に応じた。(中山他)

(優れた点)

- ・ライブ・オンライン授業の実施により授業への学生の出席率が向上した。遅刻も減少した。また、チャットを活用することで、学生からの質問も増加した。(掛下)
- ・同期型のライブ・オンライン授業により、以下に挙げる効果が得られた。(掛下)
- ・場所を問わない教育が可能
- ・チャットや音声を利用したリアルタイムでの質疑応答が可能
- ・学生の PC 画面を共有した指導は、他の学生も見ることができるとともに、学びが得られる
- ・ブレイクアウトセッションを活用することで小グループに分けて演習等ができる
- ・非同期型のオンデマンド授業により、以下に挙げる効果が得られた。(掛下、中山他)
- ・受講時間帯や場所の制約のない教育が可能
- ・学生は、オンデマンドビデオを繰り返し視聴できる。一時停止や倍速再生等もできる。
- ・インターネットが低速な環境でも、各自の PC にダウンロード視聴できる。
- ・ビデオ編集が可能で、収録日時に対する自由度も高い。

(改善を要する点)

- ・オンライン授業が続く中で学生同士のコミュニケーションが減少した結果、孤独を感じる学生が増えたように感じる。今後、対面でも受講できる授業を提供するとともに、学生に対する精神的ケアを充実させることが望まれる。(掛下)
- ・時間外学習の課題を与えているが、その進行状況の把握が十分ではなかった。学習到達

目標の達成や、学生自身が考えることを促す配慮の項目の評価がやや低くなっている科目があった。学生にシラバスや到達目標をしっかりと意識させ、学生が考えるよう配慮していくよう授業の改善を行っていききたい。

- ・学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。
- ・グループ学習・アクティブ・ラーニングを導入する。教員側から質問するなどし、より講義に参加する形を作る。
- ・講義の難易度が上がると学生の興味が薄れる傾向にある。これを克服すべく、改善が必要と考える。

機能物質化学科

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、平成 19 年度より独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。平成 23 年度からは教育改善委員会を新たに設置し、要改善の科目については、次年度の授業改善を担当教員に報告してもらい、教育改善委員会での妥当性についてチェックしている。

機械システム工学科

学期ごとに提出する FD レポートにおいて各教員が各講義の改善点をあげ、改善に取り組んでいる。また FD 委員が FD レポートを取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては改善を行うようにしている。

電気電子工学科

前学期のオンライン講義における問題点を抽出すると共に、改善策について議論し、後学期の授業の参考とした。さらに、教員各自は、共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

都市工学科

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要す

る点について報告する。教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

理工学科共通教育

初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において改善点の抽出を行い、必要であれば、教務委員会、教育質委員会と連携して改善案の策定および実施のプロセスを踏むことにしている。

なお、JABEE を実施しているコースに関しては、JABEE の基準に従い、定期的に教育の改善に関する会議を開催し、逐次、教育改善を進めている。

理工学科数理サイエンスコース

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

理工学科知能情報システム工学コース

知能情報システム学科に準じる。

理工学科情報ネットワーク工学コース

知能情報システム学科に準じる。

理工学科生命化学コース

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している・教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。教育改善委員会で要改善とみなされた科目の授業担当教員は次年度の授業改善策作成することになっている。その改善策は教育改善委員会で妥当をチェックしている。

理工学科応用化学コース

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している。教育プログラム委員会、分野別教員会議およ

び教育 FD 委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。教育改善委員会で要改善とみなされた科目の授業担当教員は次年度の授業改善策作成することになっている。その改善策は教育改善委員会で妥当をチェックしている。

理工学科物理学コース

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

理工学科機械エネルギー工学コース

学期ごとに提出する FD レポートにおいて各教員が各講義の改善点をあげ、改善に取り組んでいる。また FD 委員が FD レポートを取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては改善を行うようにしている。

理工学科メカニカルデザインコース

学期ごとに提出する FD レポートにおいて各教員が各講義の改善点をあげ、改善に取り組んでいる。また FD 委員が FD レポートを取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては改善を行うようにしている。

理工学科電気エネルギー工学コース

JABEE コースと同様に、教育改善委員会を設け、教育改善に努めている。

理工学科電子デバイス工学コース

JABEE コースと同様に、教育改善委員会を設け、教育改善に努めている。

理工学科都市基盤工学コース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

理工学科建築環境デザインコース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要す

る点について報告する。教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

(2) 博士前期課程

数理科学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理科学専攻

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。(ただし、昨年度は受講者がいなかった。)

知能情報システム学専攻

学士課程（知能情報システム学科）での工夫は博士前期課程でも用いられている。

循環物質化学専攻

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている他、分野別教員会議や教育 FD 委員会において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。

機械システム工学専攻

専攻として組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の授業改善目標を設定している。

電気電子工学専攻

ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

都市工学専攻

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。また、教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を定期的に開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

先端融合工学専攻

各教員により、ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

理工学研究科理工学専攻

数学コース

コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理学コース

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

データサイエンスコース

知能情報システム学専攻と同様に学士課程での工夫を博士前期課程に用いている。

知能情報工学コース

知能情報システム学専攻と同様に学士課程での工夫を博士前期課程に用いている。

機能材料化学コース

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている他、分野別教員会議や教育 FD 委員会において、専門に近い教員グループにより授業の改善を続けている。

機械エネルギー工学コース

コースとして組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の授業改善目標を設定している。

機械システム工学コース

コースとして組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の授業改善目標を設定している。

電気電子工学コース

ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

都市基盤工学コース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

建築環境デザインコース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

(3) 博士後期課程

優れた点として、授業アンケートに対する回答があった科目に関しては良好な評価を得ていることが挙げられる。一方、改善すべき点としては、回答率が低いことが挙げられる。

農学部、農学研究科

アンケートのほぼ全ての項目で前年度よりも高い評価を得ており、授業全体の満足度を回答する質問 D-1 においても前後期通じて 80%以上の学生が満足していると回答しており、学生にとって質の高い授業を提供できていると考えられ、その点が優れているといえる。引き続き、更なる向上に努めていきたい。一方で、シラバスの活用度を回答する質問 A-3 においては、前年度を僅かに下回ったため、改善を要する点といえる。

先進健康科学研究科

先進健康科学研究科には社会人の学生もいるため、出席率が低いコースがあったのは問題ではないと考えている。授業時間外学習時間が少ない学生が一定割合いたことは、学生に勉学を促すという意味では改善を要すると思われる。

今後も引き続き時間外学習を促すような指導を行っていく必要があると考えられる。

全学教育機構

アンケートの回答をポイント化した平均値を表に示す。平均値が「4以上」の項目を青字、「2以下」の科目を赤字表記としている。

※C-1は授業形態の設問であるため色分けは適用しない。

優れた点：

やはり遠隔講義中心であったために細かい部分で表から分かるように、昨年度に比べて全体的なスコアが低下傾向であったが、A-2「授業時間外学習」のみは従来の結果と大きく異なり、全ての分野でポイントが大きく向上している。また、このような中でもA-1（出席率）、B-3（教員の熱意）、D-1（満足度）は高いポイントを維持していた。今年度最もD-1（満足度）が高かった分野は「医療・福祉と社会コース」であった。特にB-1（教育方法の説明）、C-5（グループワーク）のポイントが高い。また、昨年度ポイントが高かった「文化と共生コース」も他分野比ではB-1（教育方法の説明）、C-5（グループワーク）の評点が高い傾向を維持していた。

改善すべき点：

組織的な授業改善に対する取り組みとして、遠隔講義手法のFD、シラバス組織的な点検、非常勤講師を対象としたシラバス作成と授業評価に関するFD講演会、教員会議におけるFD講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA実施報告書の作成、および授業点検・改善報告書のオンライン入力を行った。今年度は特殊な状況下であったため例年との単純比較は困難であるが、授業によっては今後もこのような遠隔講義を継続していくものもあると考えられるため、アクティブ・ラーニングの遠隔講義への導入が必要である。

R02年度	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5	D-1
大学入門科目	4.90	2.72	2.17	3.43	3.77	2.98	4.04	2.00	3.43	3.22	3.94	3.18	4.00
外国語科目	4.90	3.27	2.55	3.77	3.87	3.49	4.18	2.49	3.51	3.50	4.05	3.84	4.05
体育実技	4.98	1.47	2.10	3.88	4.20	3.61	4.59	4.96	3.78	3.43	3.38	4.10	4.72
情報リテラシー科目	4.89	3.33	2.31	3.69	3.81	3.28	4.02	2.26	3.49	3.31	4.08	2.90	4.00
自然科学と技術の分野	4.82	2.82	2.67	3.73	3.80	3.10	4.04	1.96	3.51	3.63	4.04	2.96	4.00
文化の分野	4.85	2.97	2.64	3.84	3.90	3.01	4.18	1.92	3.58	3.63	4.11	3.03	4.08
現代社会の分野	4.85	2.92	2.76	3.80	3.94	3.20	4.17	2.32	3.60	3.62	4.06	3.06	4.11
環境コース	4.92	3.26	2.74	3.74	3.84	3.28	4.08	2.25	3.61	3.69	4.01	3.62	4.02
文化と共生コース	4.89	3.48	2.78	3.91	4.00	3.86	4.28	2.27	3.71	3.64	4.19	4.01	4.18
生活と科学コース	4.88	3.21	2.83	3.80	3.80	3.23	3.97	2.28	3.63	3.69	3.99	3.52	3.99
医療・福祉と社会コース	4.97	3.15	3.02	3.85	4.02	3.3	4.33	1.92	3.89	3.90	4.26	3.38	4.33
地域・佐賀学コース	4.92	3.38	2.85	3.87	3.93	3.54	4.17	2.64	3.71	3.67	4.06	3.93	4.13
人間と社会コース	4.88	3.27	2.89	3.86	3.87	3.51	4.03	2.66	3.57	3.62	3.96	3.65	3.91
サブスペシャルティコース	4.90	3.24	2.76	3.88	3.96	3.74	4.33	2.86	3.63	3.54	4.16	3.97	4.21
大学院教養科目	4.94	3.12	2.97	3.87	3.83	3.28	4.00	2.25	3.80	3.71	4.03	3.57	3.88

(3) 次年度の授業改善目標

教育学部・学校教育学研究科、文化教育学部

TPについては対象者に確実にワークショップに参加してもらい、目標の更新率を維持していきたい。アンケートの回答についても今年度の回答率を下げないようにアナウンスを積極的に行っていく必要がある。

芸術地域デザイン学部、地域デザイン研究科

(芸術地域デザイン学部)

平成 30 年度末に実施した学部の全学生と全教員を対象とした学部独自のWEBアンケート調査の結果を整理して教育に関する課題を抽出し、改善の4つ方針を立てている。その方針を柱として、年次ごとにカリキュラムの見直しに取り組んでおり、令和2年度には通年科目の改善を行った。令和3年度より施行されている。初年次教育の重要性により、学部1年の共通基礎科目のスリム化に伴い、学生の自学自習の時間の活用法等の議論を深めたい。

また一方で学部・研究科ともラーニング・ポートフォリオの入力率向上に取り組み、学生および各教員に対してラーニング・ポートフォリオのより積極的な活用を促すことを目標とする。さらにルーブリック評価の導入を図る。

(地域デザイン研究科)

第1に、上記の「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示された改善点の改善を目標とする。

経済学部

第1に、上記の「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示された改善点の改善を目標とする。

第2に、前年度に引き続いて学生による授業評価アンケートの回答率が低水準にあることから、学生への周知の徹底などにより授業評価アンケートの入力率向上に取り組むことを目標とする。また学生アンケートの自由記述欄に書かれた意見を適宜取り入れ、これまで以上に学生にとって意義のある授業内容を提供していきたい。

第3に、ラーニングポートフォリオの入力率向上に取り組み、学生および各教員に対してラーニングポートフォリオのより積極的な活用を促すことを目標とする。またティーチングポートフォリオの更新も適宜、実施する。ルーブリック評価についてはこの評価を実施している教員から意見を伺い、この評価がもたらす教育効果を検証しながら、今後の改

善点や反省点を明らかにしていく。

理工学部、工学系研究科、理工学研究科

(1) 学士課程

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

物理科学科

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。

知能情報システム学科

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。

機能物質化学科

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、学科全体で継続的に行う。

機械システム工学科

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

電気電子工学科

教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、JABEE 委員会、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。

都市工学科

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も挙げられる。前年度に掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより

授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、科目に関する問題点及び優れた点を収集し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善を努める。

理工学科共通教育

初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において不断に改善点の抽出と点検を行う。また、2年次以上の専門教育において、基礎学力としての初年次共通教育の教育効果について、各部門・コースのフィードバックを教務委員会および教育質保証委員会にて検証し、必要であれば、共通教育委員会において改善策を実施する。

理工学科数理サイエンスコース

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

理工学科知能情報システム工学コース

知能情報システム学科に準じる。

理工学科情報ネットワーク工学コース

知能情報システム学科に準じる。

理工学科生命化学コース

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、コース全体で継続的に行う。

理工学科応用化学コース

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、コース全体で継続的に行う。

理工学科物理学コース

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。

理工学科機械エネルギー工学コース

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

理工学科メカニカルデザインコース

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

理工学科電気エネルギー工学コース

JABEE コースと同様に、教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、JABEE 委員会、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。

理工学科電子デバイス工学コース

JABEE コースと同様に、教育改善委員会、カリキュラム検討委員会、科目別グループ会議、JABEE 委員会、学生実験委員会において、定期的に教育改善等について検討を行う。

理工学科都市基盤工学コース

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も挙げられる。前年度に掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースの科目に関する問題点及び優れた点を収集し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善を努める。

理工学科建築環境デザインコース

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も挙げられる。前年度に掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの科目に関する問題点及び優れた点を収集し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善を努める。

(2) 博士前期課程

数理科学専攻

専攻として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

物理科学専攻

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。(ただし、昨年度は受講者がいなかった。)

知能情報システム学専攻

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

また、コロナ禍に伴って導入されたオンライン授業（ライブ・オンライン授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業）の高度化を図りたい。

循環物質化学専攻

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。

機械システム工学専攻

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

電気電子工学専攻

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

都市工学専攻

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も挙げられる。前年度に掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委

員会を開催し、授業の問題点を収集し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善を努める。

先端融合工学専攻

各教員により、ライブキャンパスを利用した授業点検及び改善目標の設定が行われている。

理工学研究科理工学専攻

数学コース

コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理学コース

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。

データサイエンスコース

知能情報システム学専攻に準じる。

知能情報工学コース

知能情報システム学専攻に準じる。

機能材料化学コース

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。

機械エネルギー工学コース

個別の授業改善目標というよりは、コース内および関連の機械システム工学コースと連携を取りながら組織的な授業改善が行えるよう、コース内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

機械システム工学コース

個別の授業改善目標というよりは、コース内および関連の機械システム工学コースと連携を取りながら組織的な授業改善が行えるよう、コース内の教務・JABEE グループ会議で

検討を行う。

電気電子工学コース

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

都市基盤工学コース

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も挙げられる。前年度に掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、都市基盤工学コースの科目に関する問題点及び優れた点を収集し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善を努める。

建築環境デザインコース

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も挙げられる。前年度に掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、建築環境デザインコースの科目に関する問題点及び優れた点を収集し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善を努める。

(3) 博士後期課程

授業アンケートに基づいて授業改善を進める。

農学部、農学研究科

シラバスの活用度を促進する取り組みを行う。シラバスはその授業を履修するうえで重要な情報を開示するものであり、履修授業の選択時のみならず履修中も適宜活用すべき資料であることが学生に十分に伝わっていないと考える。授業初回などでシラバスを提示するとともに、毎年度シラバス点検を行っている点も含めて説明することで、活用を促すよう根気強くシラバスの重要性を学生へ周知するよう努める。また、授業評価アンケートの入力率向上に取り組み、授業評価の正確性を上げることで更なる授業改善につなげていきたい。

先進健康科学研究科

上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。また、該当する科目（特別研究）について、引き続きルーブリック評価の導入・定着を図る。

全学教育機構

遠隔講義のため経年での厳密な比較はできないとはいえ、アンケート結果からわかるように全学教育機構の授業は、特に授業時間外学習などの点で良い結果を残していると判断できる。今後も遠隔講義が継続される科目においては、アクティブ・ラーニングの積極的な導入を図るなどして C-5 のポイントを例年同様の水準に回復させる。

次年度以降に全学教育機構の再構築が予定されていることから、教養教育科目の構成の大きな変更が予想される。より良い教養教育の提供を目指して、今後も満足度の高い授業の提供に取り組んでいく。

表1 部局別の授業アンケート回答率(独自形式アンケートは除く)

	令和2年度前学期			令和2年度後学期			合計
	回答数	対象数	回答率	回答数	対象数	回答率	回答率
文化教育学部	1	13	7.7%	3	7	42.9%	20.0%
教育学部	179	196	91.3%	183	204	89.7%	90.5%
芸術地域デザイン学部	77	82	93.9%	79	90	87.8%	90.7%
経済学部	98	110	89.1%	145	160	90.6%	90.0%
理工学部	267	288	92.7%	276	300	92.0%	92.3%
農学部	119	126	94.4%	106	117	90.6%	92.6%
全学教育機構	260	275	94.5%	227	240	94.6%	94.6%
学士課程全体	1001	1090	91.8%	1019	1118	91.1%	91.5%
学校教育学研究科	51	60	85.0%	29	31	93.5%	87.9%
地域デザイン研究科	46	62	74.2%	42	55	76.4%	75.2%
工学系研究科	5	9	55.6%	11	19	57.9%	57.1%
理工学研究科	93	110	84.5%	104	121	86.0%	85.3%
農学研究科	53	88	60.2%	50	84	59.5%	59.9%
先進健康科学研究科	77	113	68.1%	68	107	63.6%	65.9%
自然科学系研究科共通科目	7	9	77.8%	12	12	100.0%	90.5%
大学院教養教育プログラム	9	9	100.0%	4	4	100.0%	100.0%
大学院課程全体	341	460	74.1%	320	433	73.9%	74.0%

通年の講義については後期に含めている。

受講者が一人でも回答していれば回答している科目数とする。

表2 医学部の授業アンケート実施率(独自形式アンケートは除く)

	令和2年度		
	実施数	対象数	実施率
医学部医学科	44	44	100%
医学部看護学科	89	89	100%
医学系研究科	19	19	100%

表3 部局別の独自形式アンケート実施科目数

	前学期	後学期
経済学部	1	1
理工学部	1	1
農学部	1	0
全体	3	2

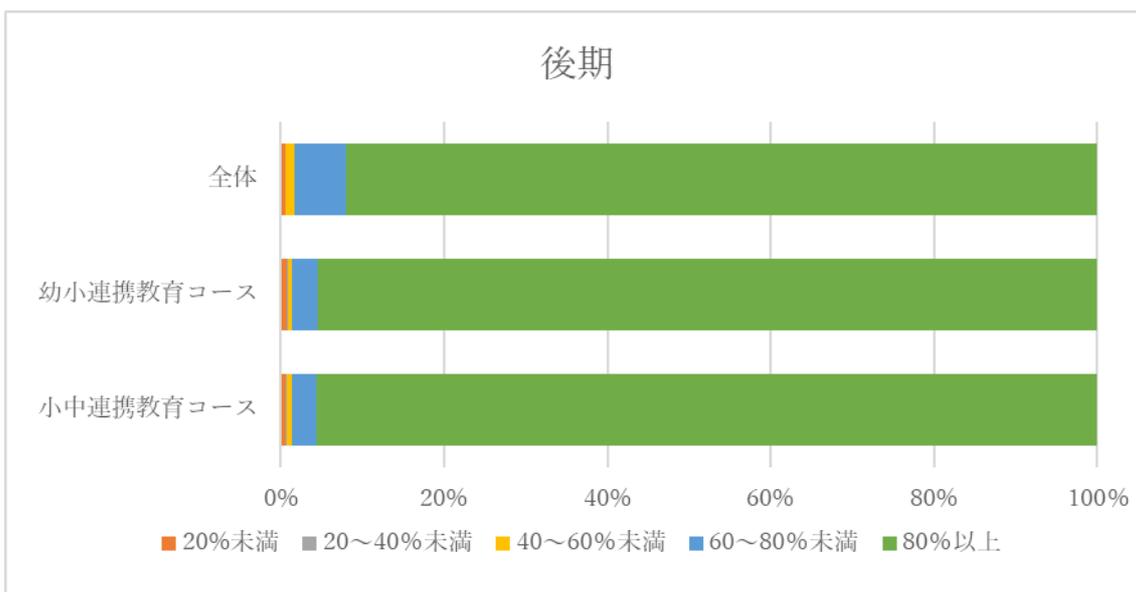
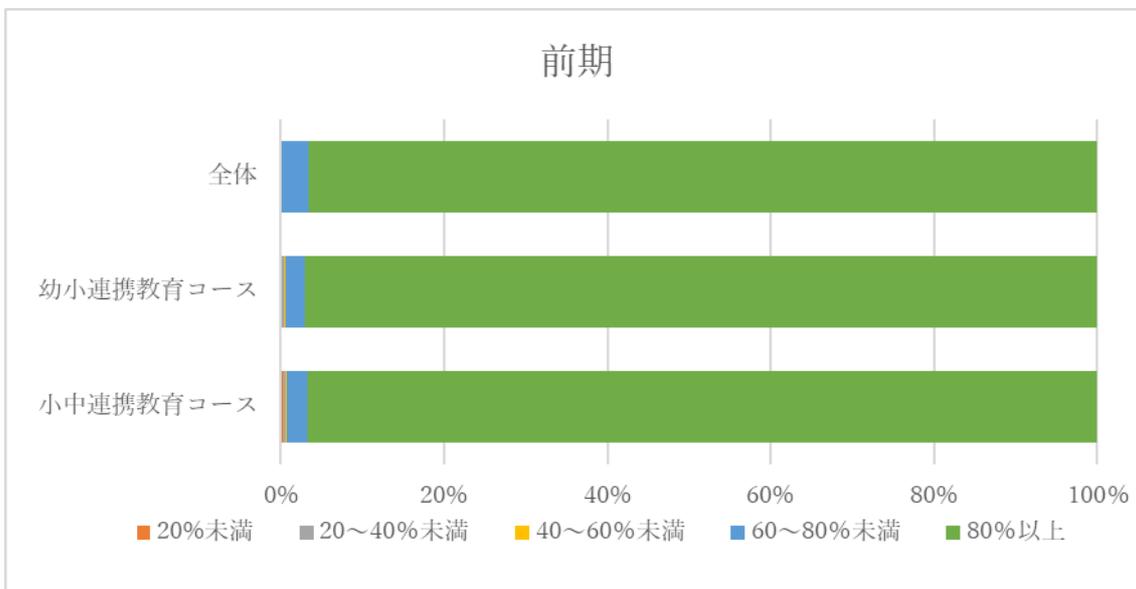
佐賀大学教育学部
令和 2 年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

令和 3 年 9 月
佐賀大学教育学部 FD 委員会

分析の仕方

教育学部の R2 年度の学生数は 507 名でそのうち幼小連携教育コース約 110 名、約 400 名で大体 1:5 の割合になっている集団別のデータの分析であることを注意する。科目数は全体回答科目数は 87、小中連携教育コースの回答科目数 1762、幼小連携教育コースの回答科目数は 2171 科目である。後期は全体回答科目数の 175 科目、小中連携教育コースの回答科目数 1264、幼小連携教育コースの回答科目数は 1572 科目である。このことを前提条件とすると、幼小連携教育コースの回答科目数と小中連携教育コースの回答科目数はオーダーも同じで、母集団のデータ数の違いによる差異は生じないものと考えられる。比率を 100 分率で表記し、有効数字を 3 桁とした場合、データ数は 4 桁あり、% の優位性もあることがわかる。全体回答科目数は 100 以下と少ないため偏りが生じやすく、有効数字にも 3 桁はないので注意が必要である。

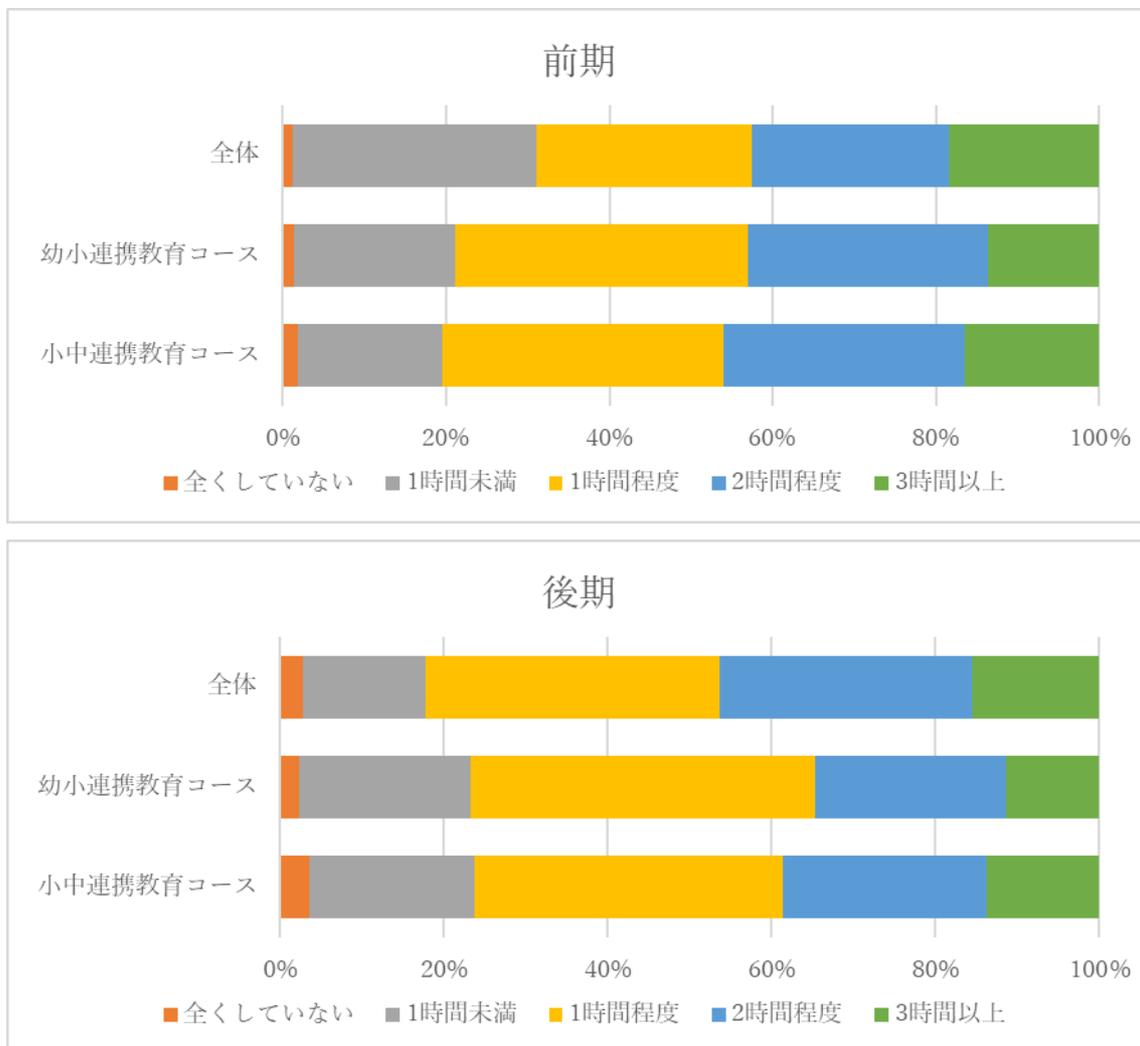
A-1 出席率はどのくらいですか。



<分析>

出席率については<80%以上>の回答は前期が 97%に対し、後期が学校に慣れたせいか 92%でやや低下しているが、おおむね 90%以上の出席率はキープできている。全体科目、コース科目に特定される傾向はない。

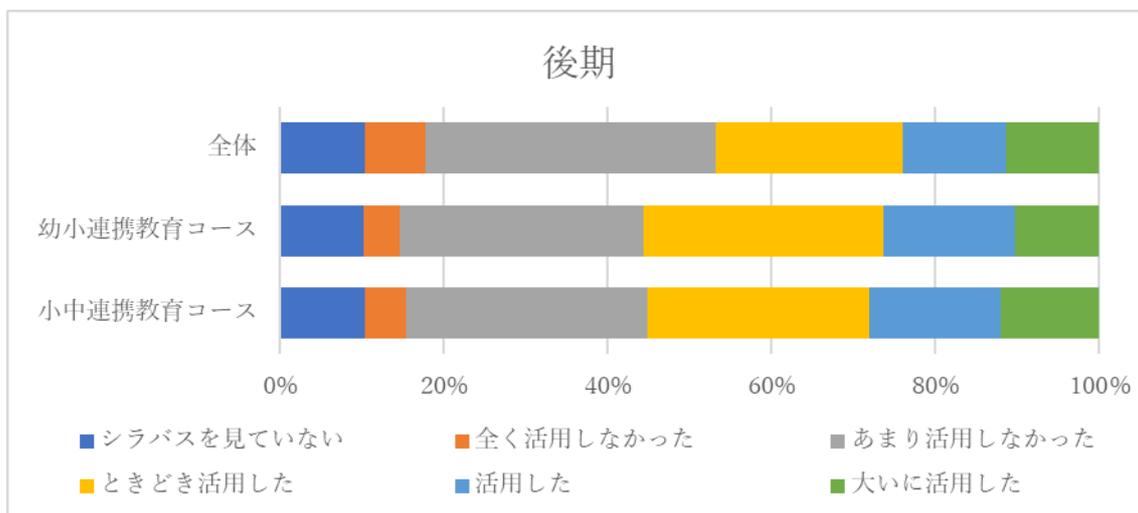
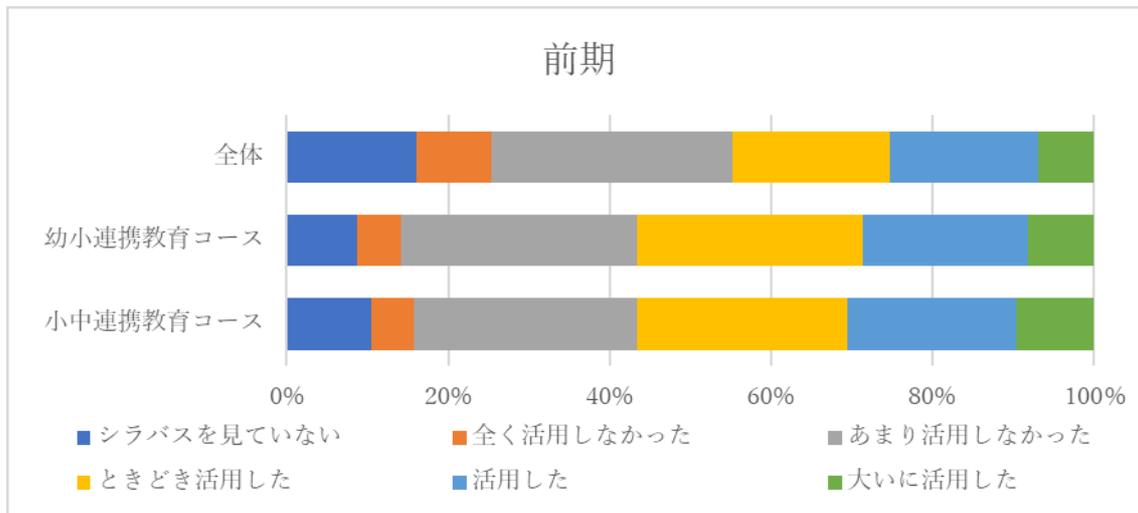
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。



<分析>

まず、前期に注目するといずれのカテゴリーも 98%以上の方が最低<1時間未満>の時間外学習を行っている。両コースごとの偏在はほとんどないと言って良い。小中連携教育コース科目の方がトータルでは長時間の学習を行っているようである。それに対し、後期なれば<全くしていない>と言う回答が全体で 1.1%から 2.9%まで上昇していた。これは出席率と傾向が似ている。そして両コースとも前期に比較し<2時間程度>または<3時間以上>の時間数が減少しており、全体的には時間数が少なくなる。コースごとの違いは前期と同様に、幼小連携教育コース科目より小中連携教育コース科目の方が全体では長時間の学習を行っていることがわかる。

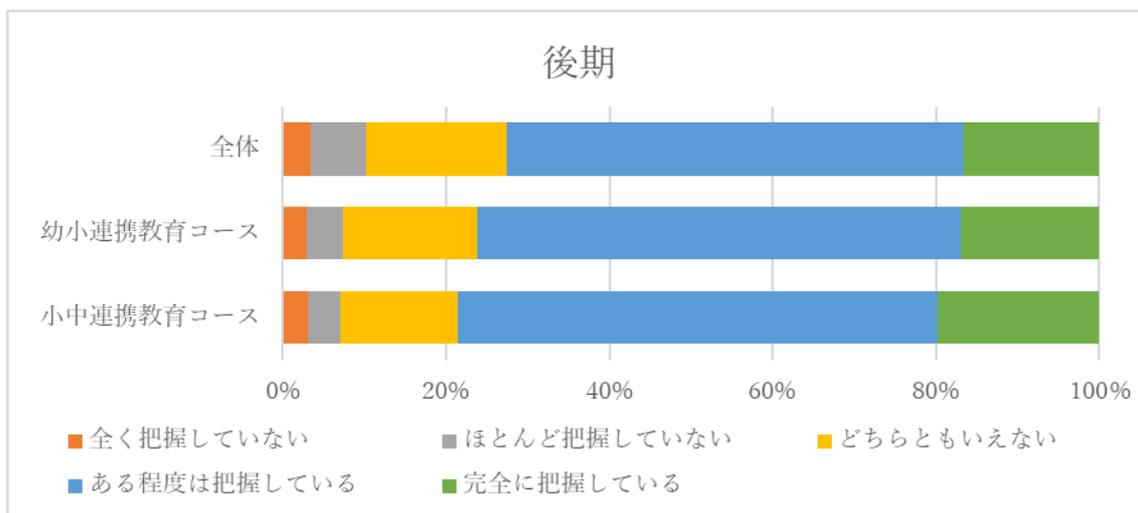
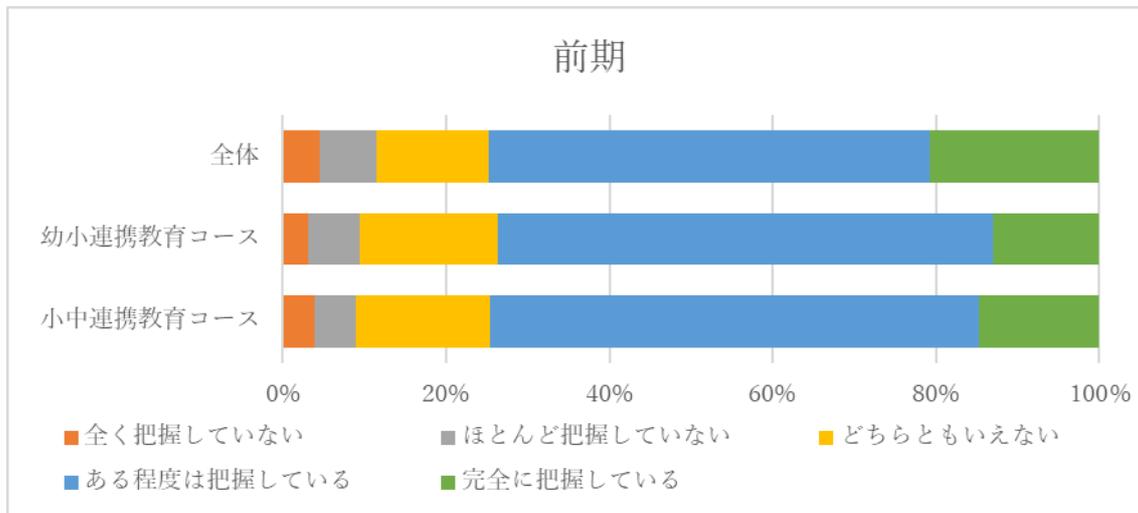
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



<分析>

同様に、前期の全体科目に注目すると<シラバスをみていない>と<全く活用しなかった>を合わせると 25%程度でシラバスの活用がないのは残念である。有効に活用したと考えられる<活用した>と<大いに活用した>の合計も 25%である。後期になると<シラバスをみていない>と<全く活用しなかった>の合計が 17%ぐらいとなり、前期に比べ少し減少している。しかしながら<活用した>と<大いに活用した>の合計は変わらず 25%である。したがって有効に活用しているパーセントは前期後期ともに同じである。コース科目による差異は前期後期においても見当たらないが、全体科目の比率は2つのコース科目に比べ、肯定的回答率は低くなっている。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

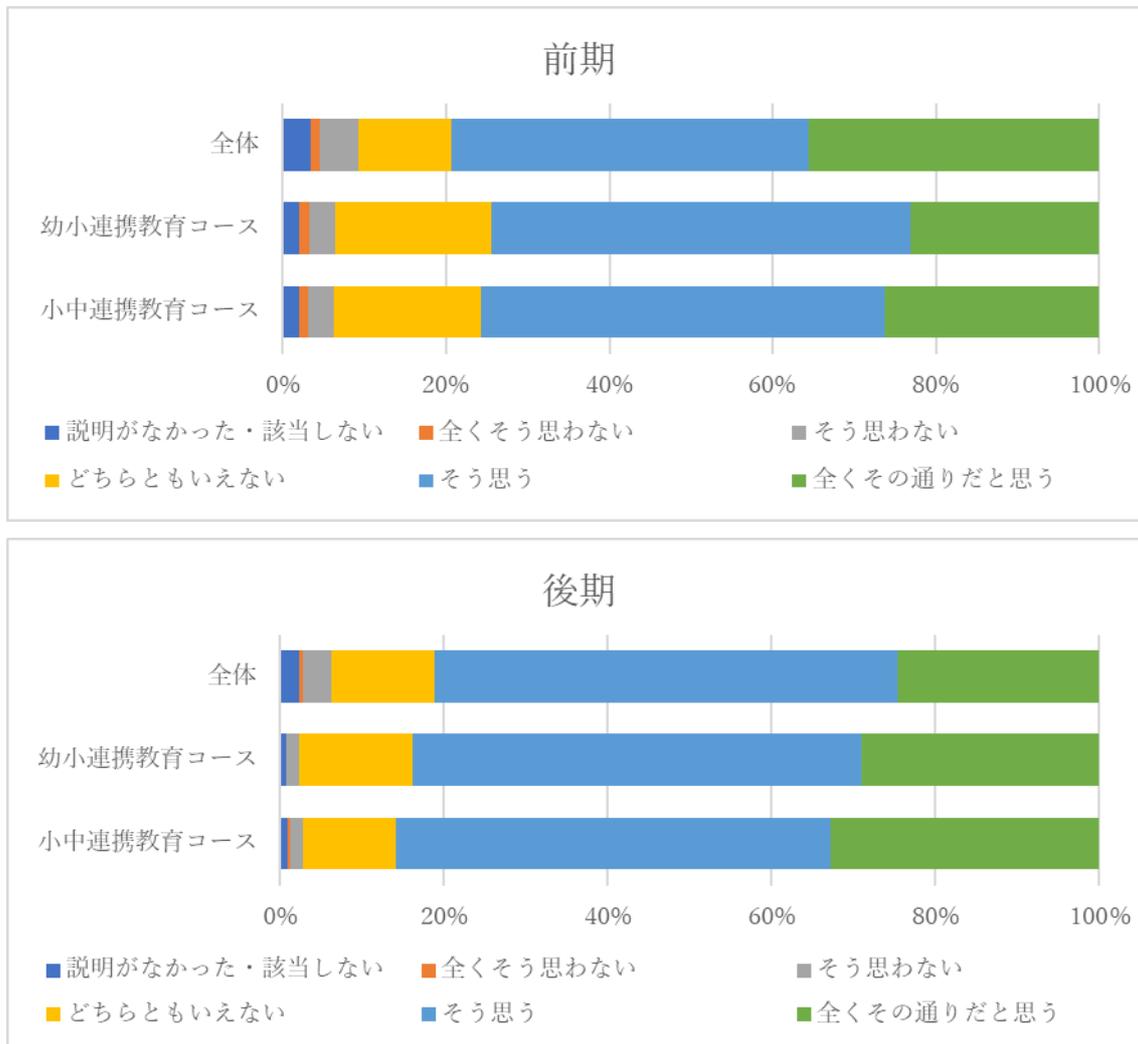


<分析>

前期においては全体科目，両コース科目による違いはほとんどなく，肯定的回答の<ある程度把握している>と<完全に把握している>の合計は約 75%であり，成績に関わることなので注目度が高いことがわかる。

後期に注目すると肯定的回答が全体科目，幼小連携教育コース科目，小中連携教育コース科目の順で若干減少しているようではある。

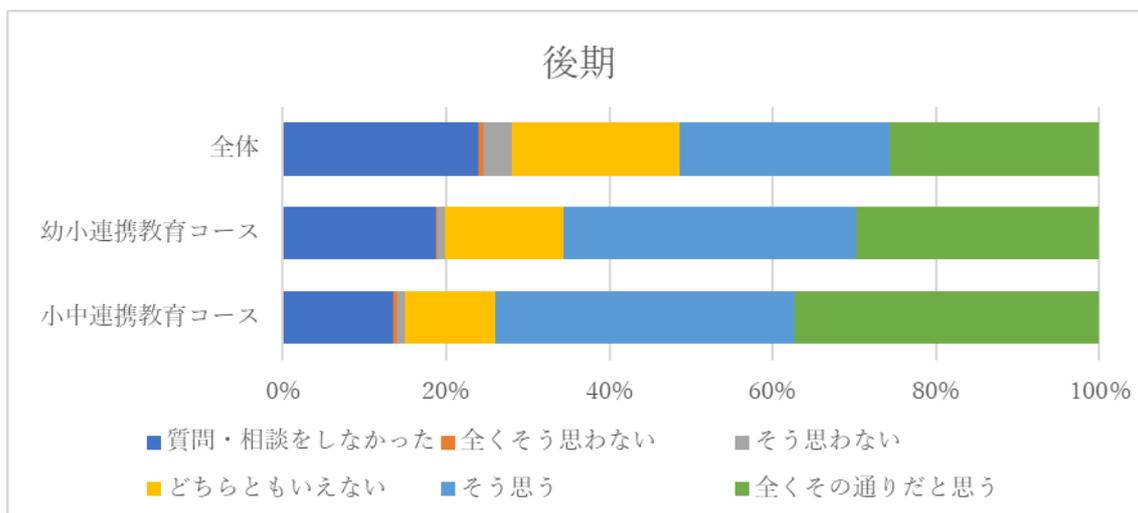
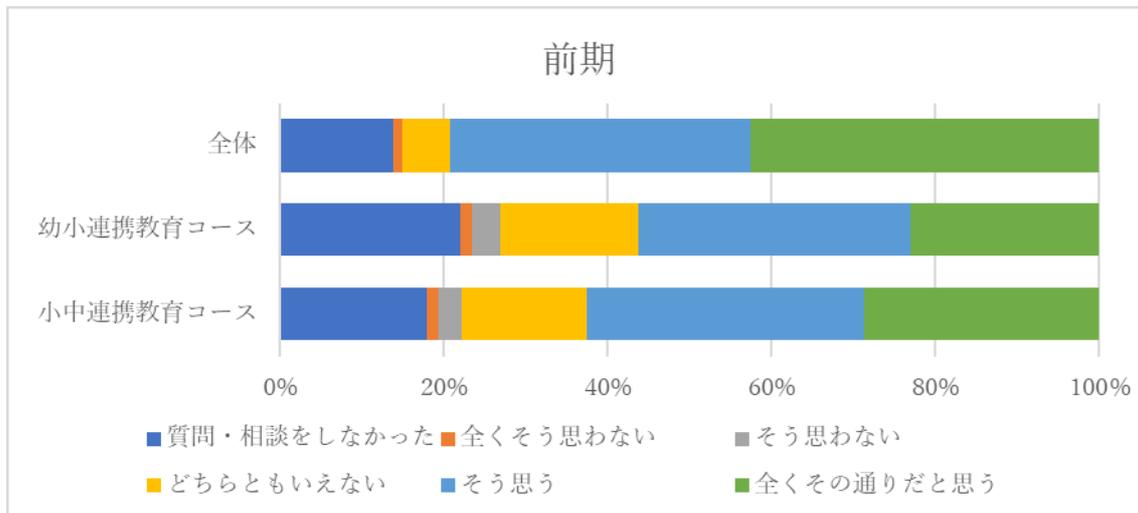
B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。



<分析>

前期において両コース科目とも肯定的回答<そう思う>と<全くその通りだと思う>の合計は75%で、全体科目が約79%とい一番高い。後期においては両コースともに85%を上回っており、逆に全体科目では82%となっている。どの科目も後期の方が有益度は上がっていると言っていいただろう。

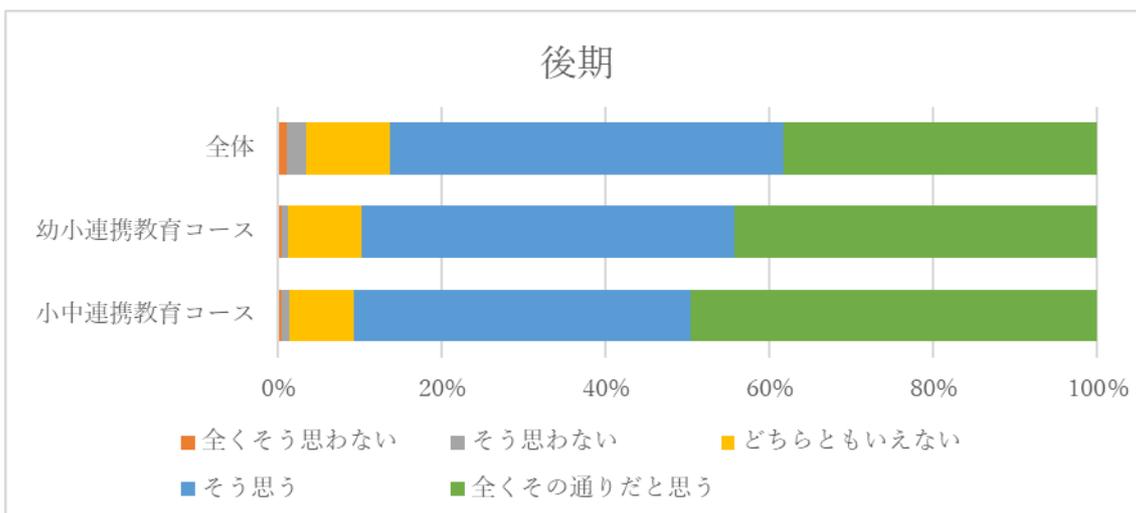
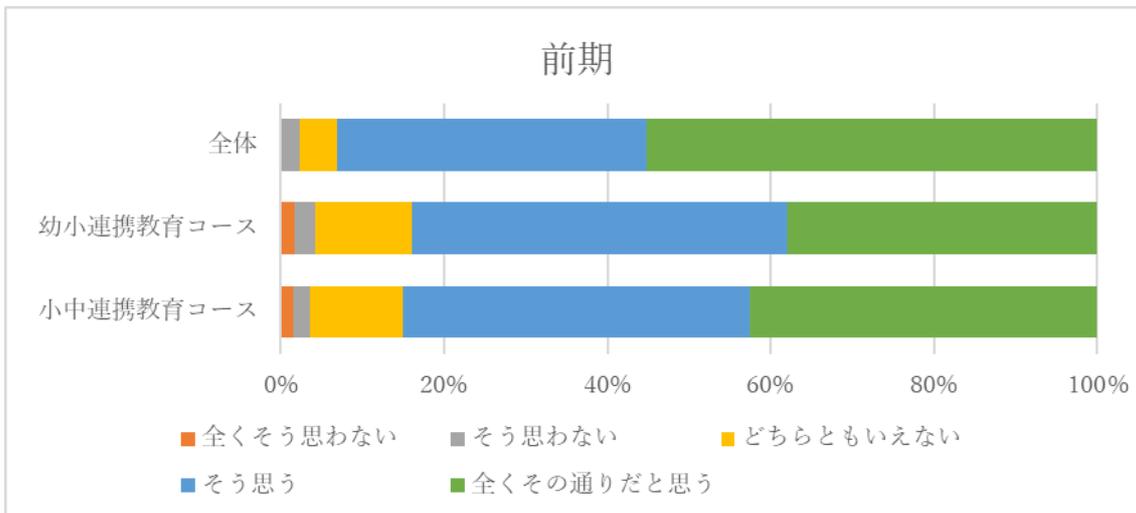
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。



<分析>

前期においてはコース別に見てみると肯定的回答<そう思う>と<全くその通りだと思う>の合計は幼小連携教育コース科目で約 56%、小中連携教育コース科目が約 62%で小中連携教育コースの科目の方がよく対応をしてくれている。特に全体科目は約 80%が対応している。逆に全体科目の肯定的回答の合計が前期において約 80%あったものが後期では 50%となっており、対応が下がっている。そして小中連携教育コース科目は対応が前期比で大幅に上がっている。全体科目においては後期で<質問・相談をしなかった>という構成比率が上がり相対的に肯定的意見の意率が下がったことが考えられる。

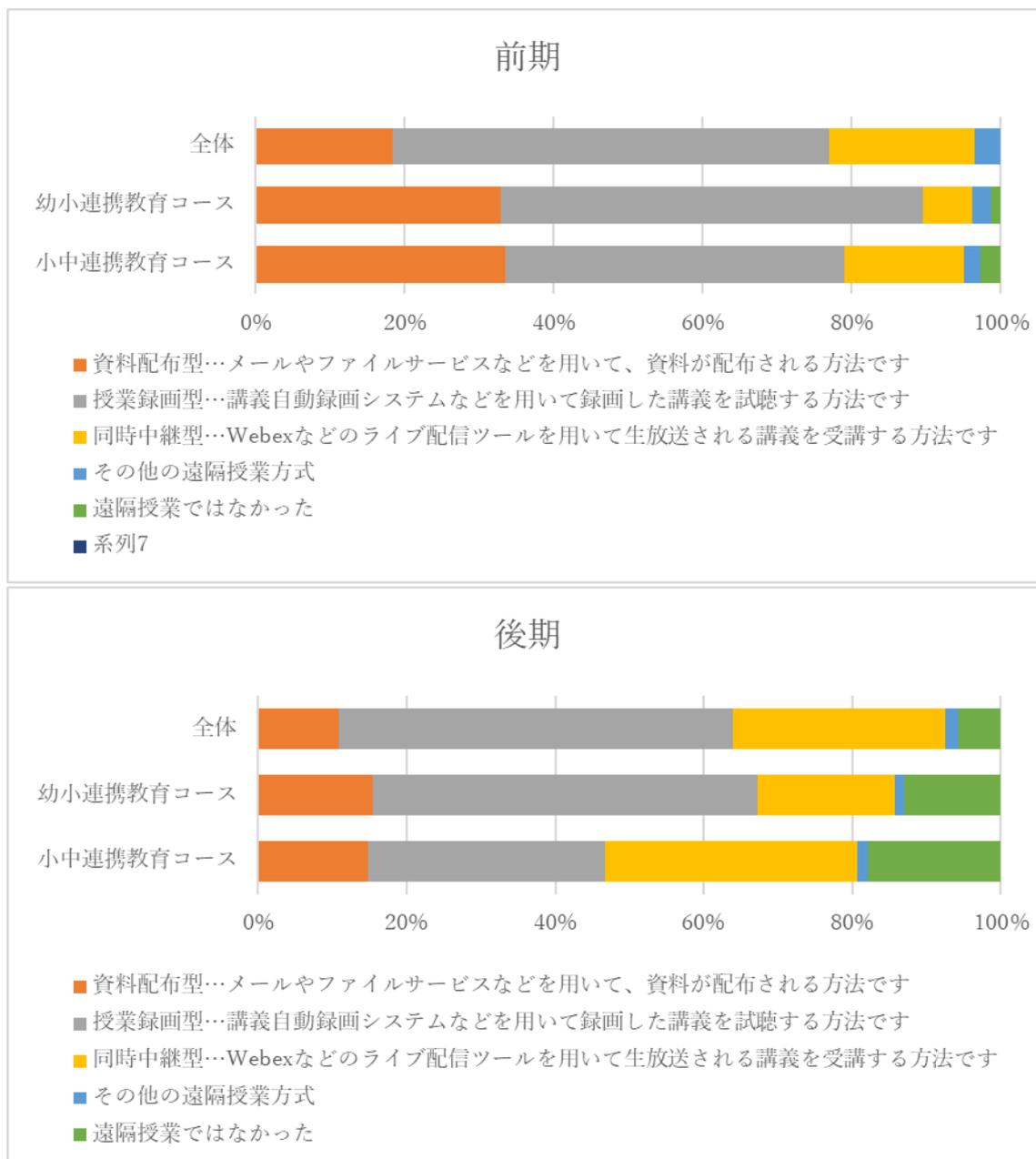
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。



<分析>

前期においては両コース科目の肯定的回答<そう思う>と<全くその通りだと思う>の合計は両コースともほぼ85%で同じような回答となっている。全体科目では90%を超える科目が意欲や熱意が感じられており、教員の真摯の取り組み想像できる。後期においてコースごとに見ても90%で、逆に全体科目では約86%程度となっている。前後期を通じて概して意欲が感じられる授業を実施していると言える。

C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

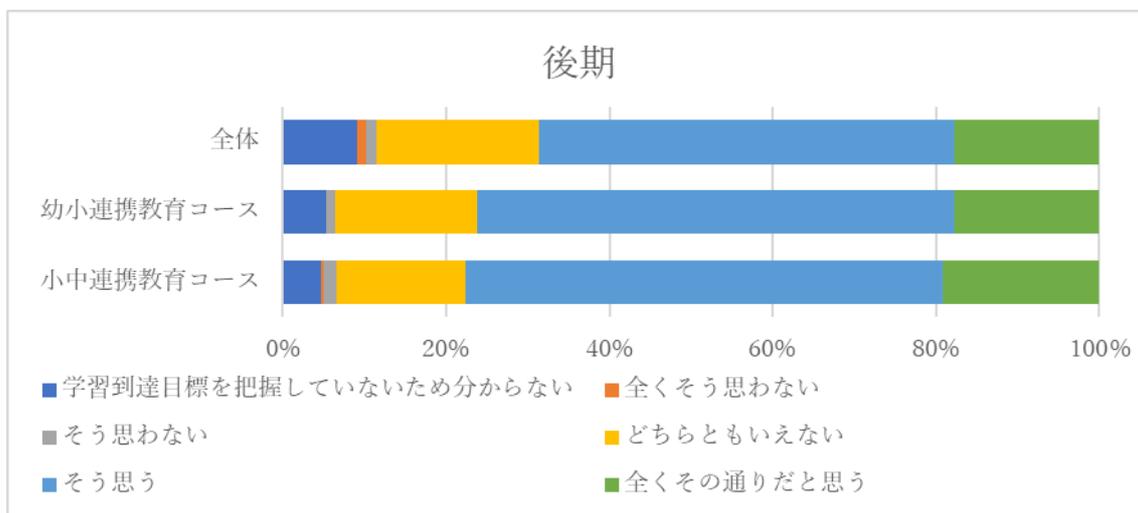
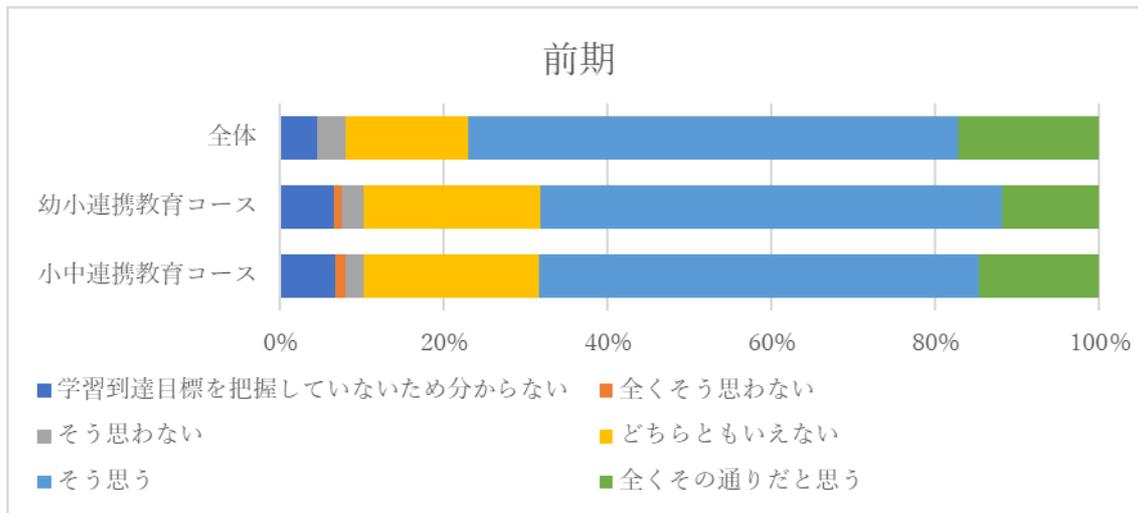


<分析>

令和2年度の前期には授業形態がこれまでの対面授業から大きく変化した。対面授業が急遽禁止になったため、<資料配布型>と<授業録画型>が8割を占めた。前期(コロナ禍が始まって初期の頃)は遠隔環境が整っていないことや遠隔授業スキルがなかったことが上げられる。2割程度が遠隔をこころみたことが分かる。小中連携教育コース科目の<同時中継型>は約20%に対し、幼小連携教育コース科目は約10%しかない。この傾向は後期においても同様であることがみて取れる。後期になると<同時中継型>の比率が前期よりも大きくな

っているが、<遠隔授業ではなかった>という回答が多くなり対面授業が再開されてきたこともわかる。後期の小中連携教育コース科目の<同時中継型>の回答が40%で幼小連携教育コース科目の18.4%を大きく上回っているのは大きい特徴である。

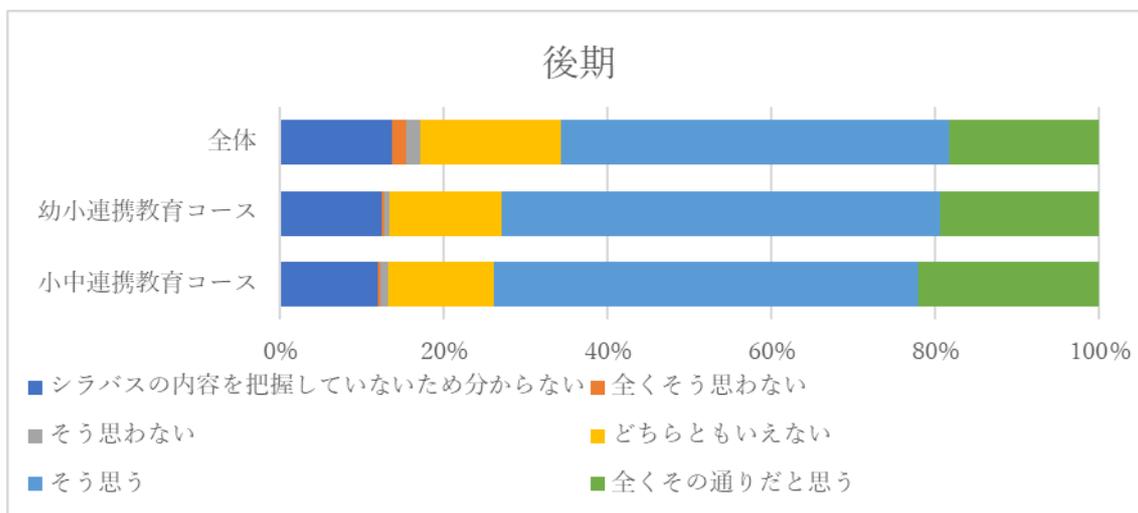
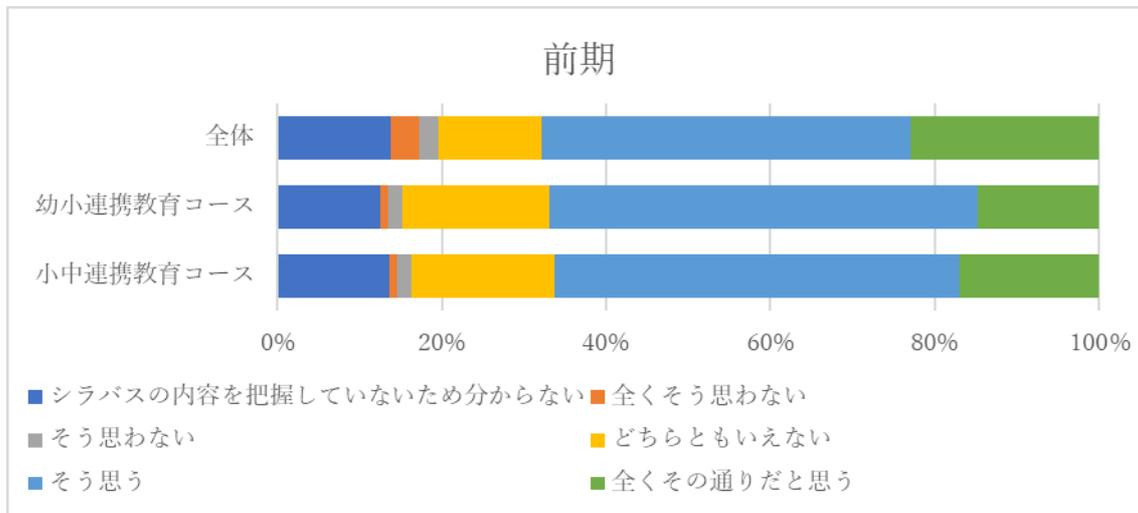
C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



<分析>

前期の全体科目から見ていくと肯定的回答<そう思う>と<全くそのとおりと思う>の合計は約 77%で学習到達目標が達成できている。後期にはその比率は 67%と 10%程度下がっている。両コース科目による違いは認めることができない。後期において全体科目は<学習到達目標を把握していないから分からない>という回答が 4.6%→9.1%と上昇しているため少し興味をなくしていることが考えられる。

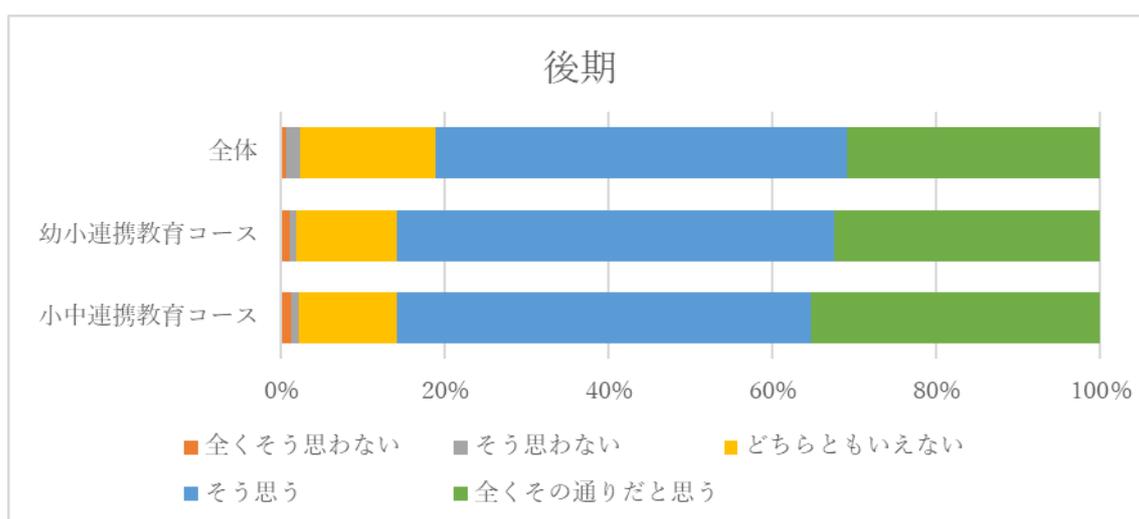
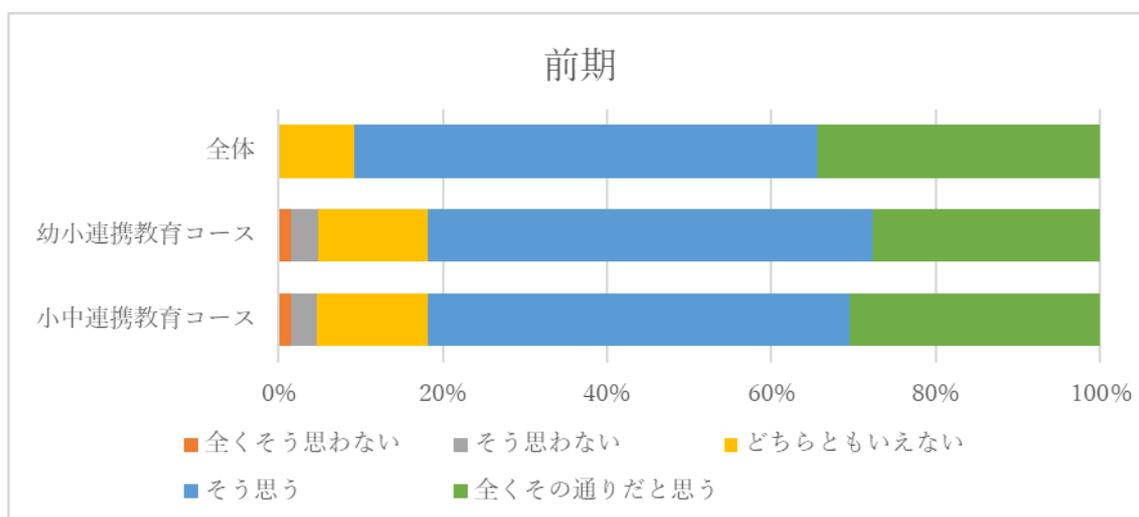
C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



<分析>

前期・後期ともほぼ似たような結果となっている。全体科目だけを比較すると<シラバスを把握していないから分からない>という回答が 13.6, 13.7%でほぼ同じだけいる。肯定的回答<そう思う>と<全くそのとおりと思う>の合計は約 65%以上の科目がシラバスに基づいた授業を行っている。否定的意見が前期では 3.4%, 後期では 1.7%の科目があることが問題である。シラバス通りの授業を行うように指導する必要がある。両コース毎の違いは認識できない。

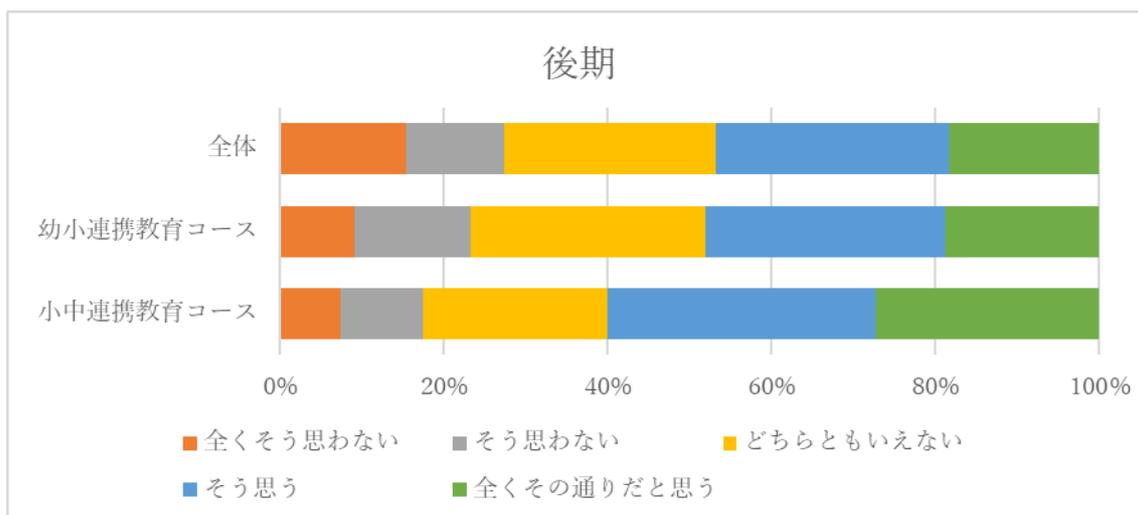
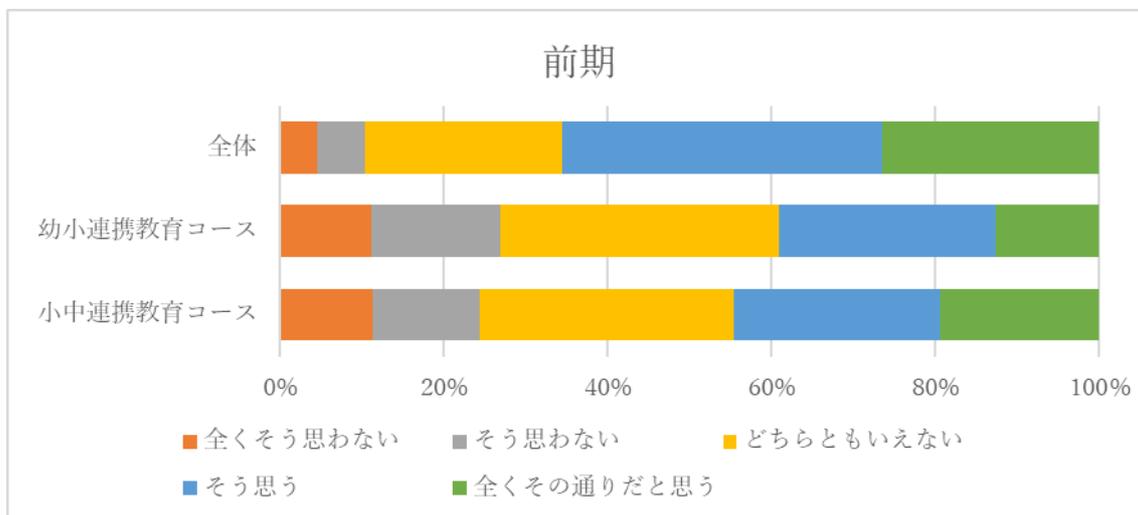
C-4 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。



<分析>

前期の全体科目に注目すると肯定的回答<そう思う>と<全くそのとおりと思う>の合計は約90%以上の科目において教材やICT環境が理解に役立つことが分かる。後期においても約80%が達成できている。両コース科目による違いはほとんどないが肯定的回答は後期の方が80%→85%に向上している。

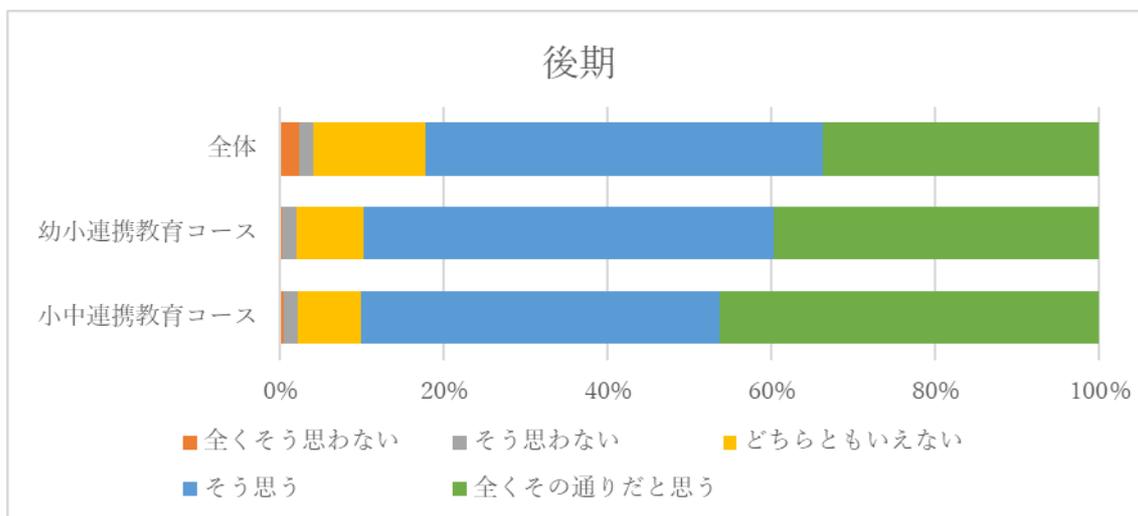
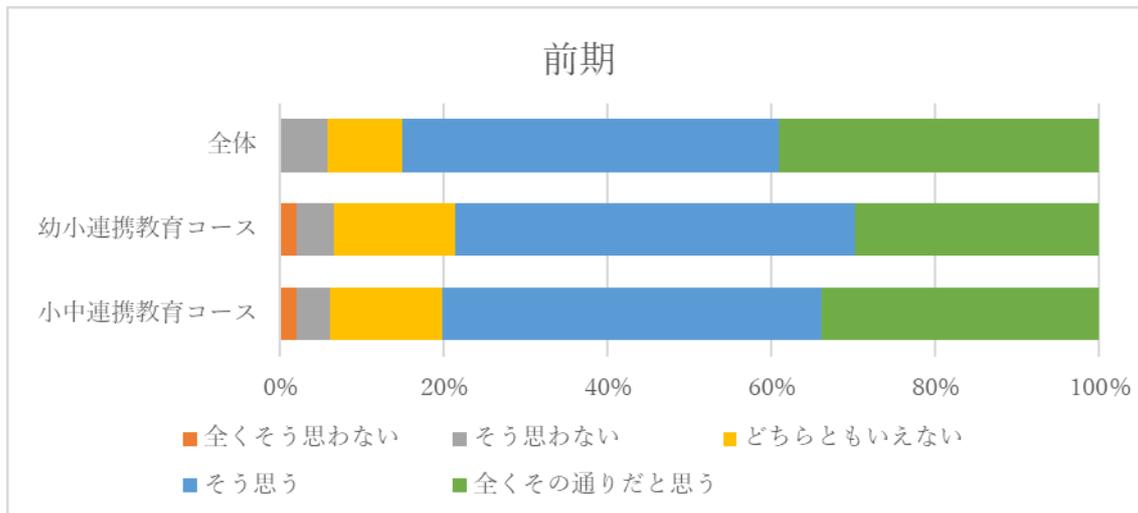
C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



<分析>

前期の全体科目に注目すると両コース科目と比較すると構成比率が大きく異なる。肯定的回答<そう思う>と<全くそのとおりと思う>の合計が65%あるが、これは科目の性質上の違いであり、肯定的回答が多いから良いというものではない。後期においても逆に小中連携教育コース科目の肯定的意見が約60%と多くなっている。

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。



<分析>

前期において全体科目，両コース科目とも 80%前後の肯定的意見が得られている。そして後期では両コース科目では肯定的意見が約 90%となり満足は非常に高いものになっている。

佐賀大学教職大学院

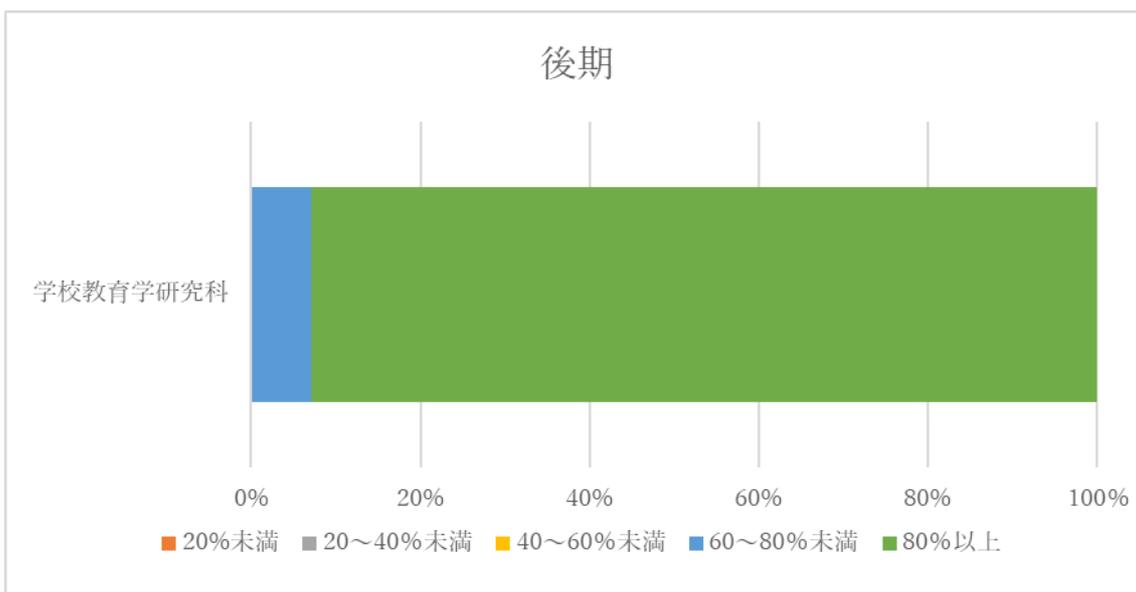
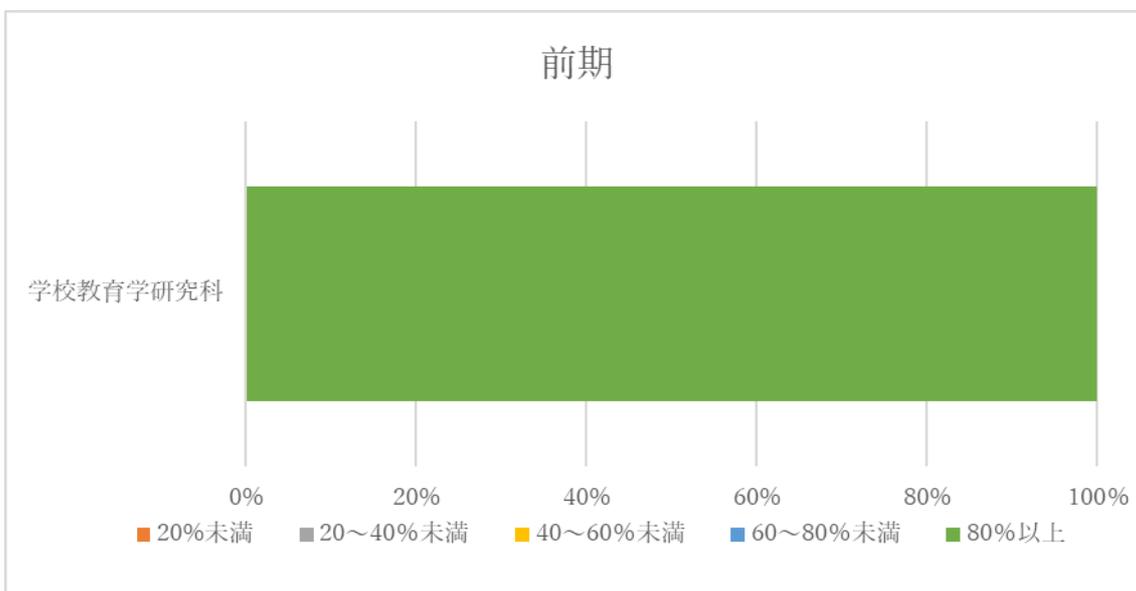
令和 2 年度「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

令和 3 年 9 月

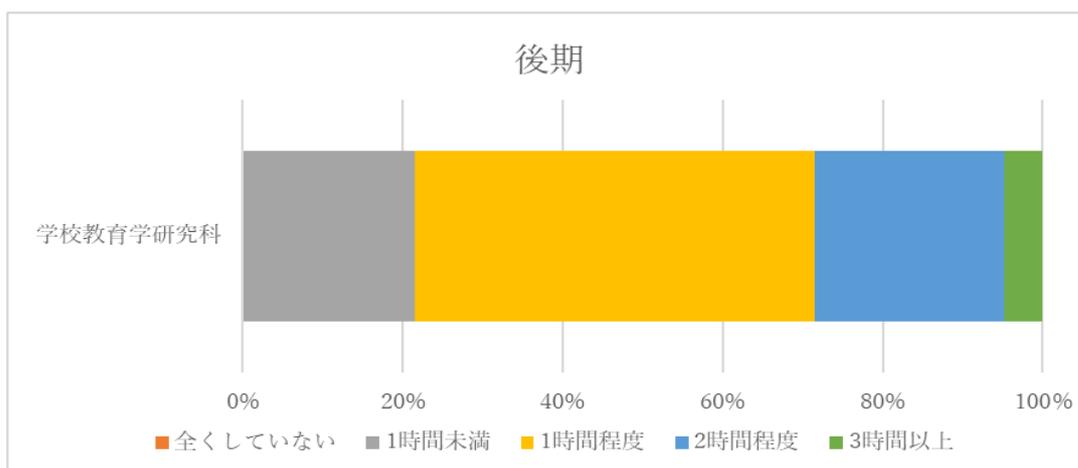
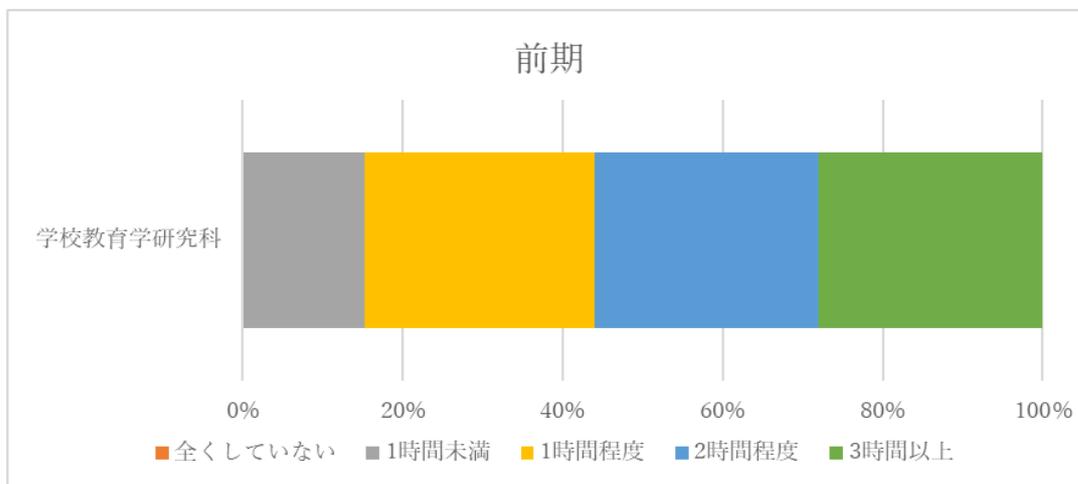
佐賀大学教育学部 FD 委員会

A-1 出席率はどのくらいですか。



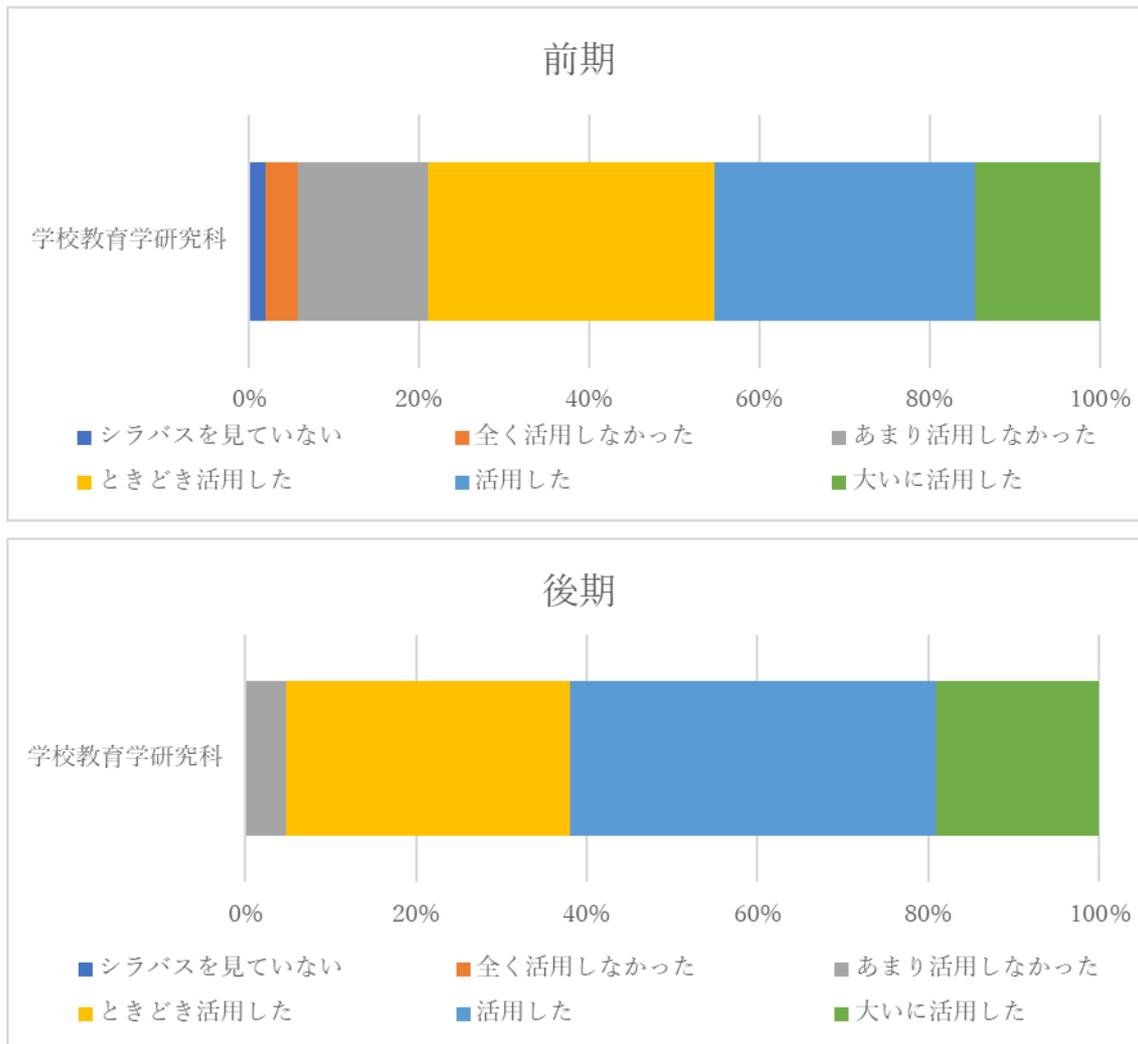
前学期 80%以上出席が 100.0% (前年度 98.1%)，後学期は 92.9% (前年度 : 100.0%)，60~80%が 7.1%の出席率であり，院生数が少ないということを除いても，非常に良好な出席率となっている。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。



授業時間外学習時間としては前学期が1回の授業につき1時間未満が15.3%（前年度18.1%、以下同）、1時間程度が28.7%（34.3%）、2時間程度が28.0%（29.5%）、3時間以上が28.0%（18.1%）であった。後学期はそれぞれ、21.4%（25.9%）、50.0%（48.1%）、23.8%（24.1%）、4.8%（1.9%）であった。前年度と比べた場合の当該年度の特徴としては、①学習時間1時間以下の回答率が減少していること（前・後学期共通）、②前学期・後学期とも3時間以上の回答率が増加している点が挙げられる。このことから、本年度においては、授業外学習を促すような、必修科目やコース科目での課題設定が効果的になされたものと考えられる。また、増加が著しい前学期は、オンラインによる授業であったため、課題等が増え、授業外学習の時間が伸びたものとも考えられる。

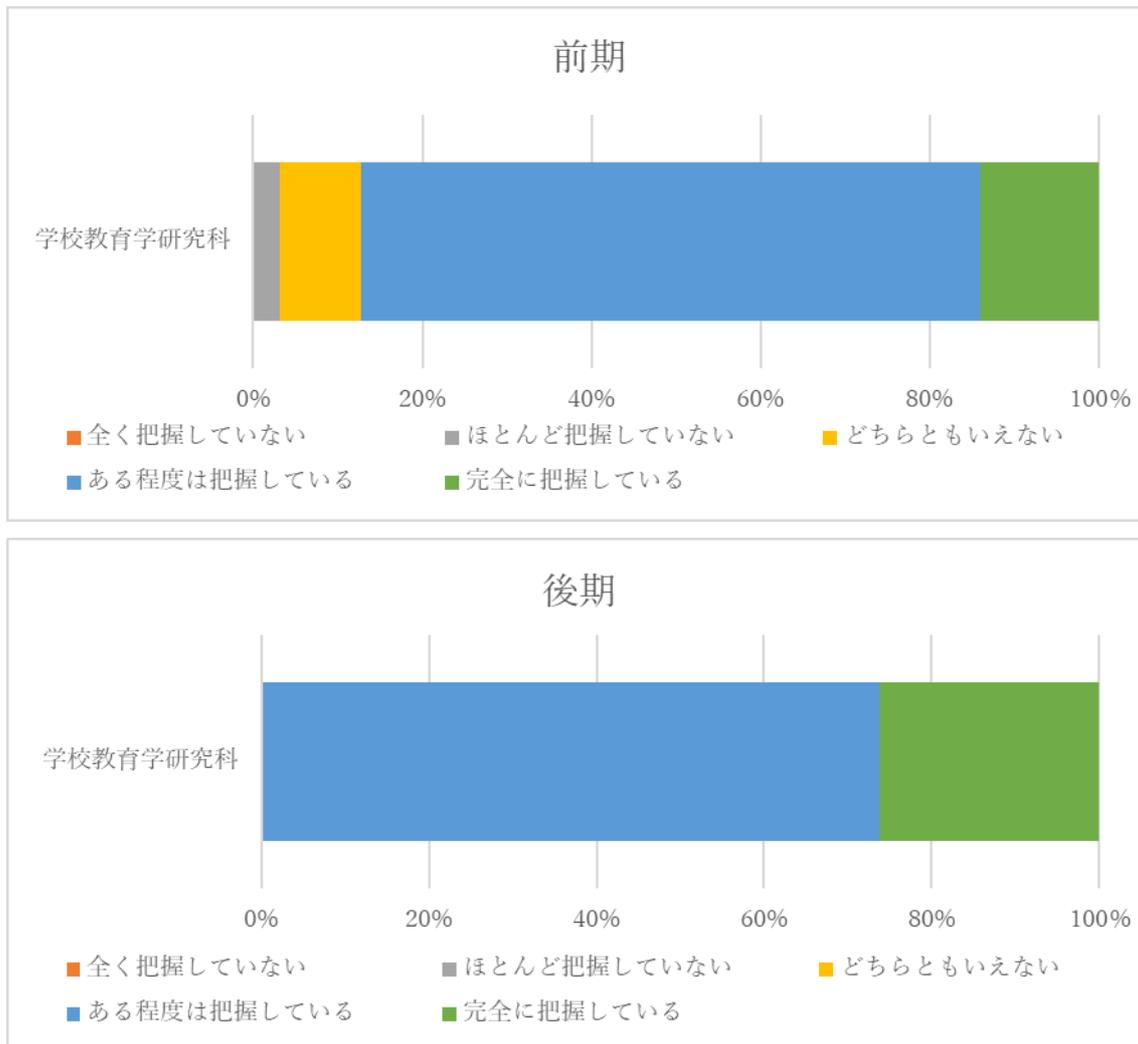
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



シラバスの活用率に関しては、前学期（78.4%）・後学期（95.2%）であり、前後期ともに肯定的回答の割合が高かった。教職大学院において全員修得が求められる共通必修の授業が3コースにまたがって開講され、教員も各院生の所属コースの教員ではない場合も多いことから、シラバスが積極的に参照されているものと考えられる。

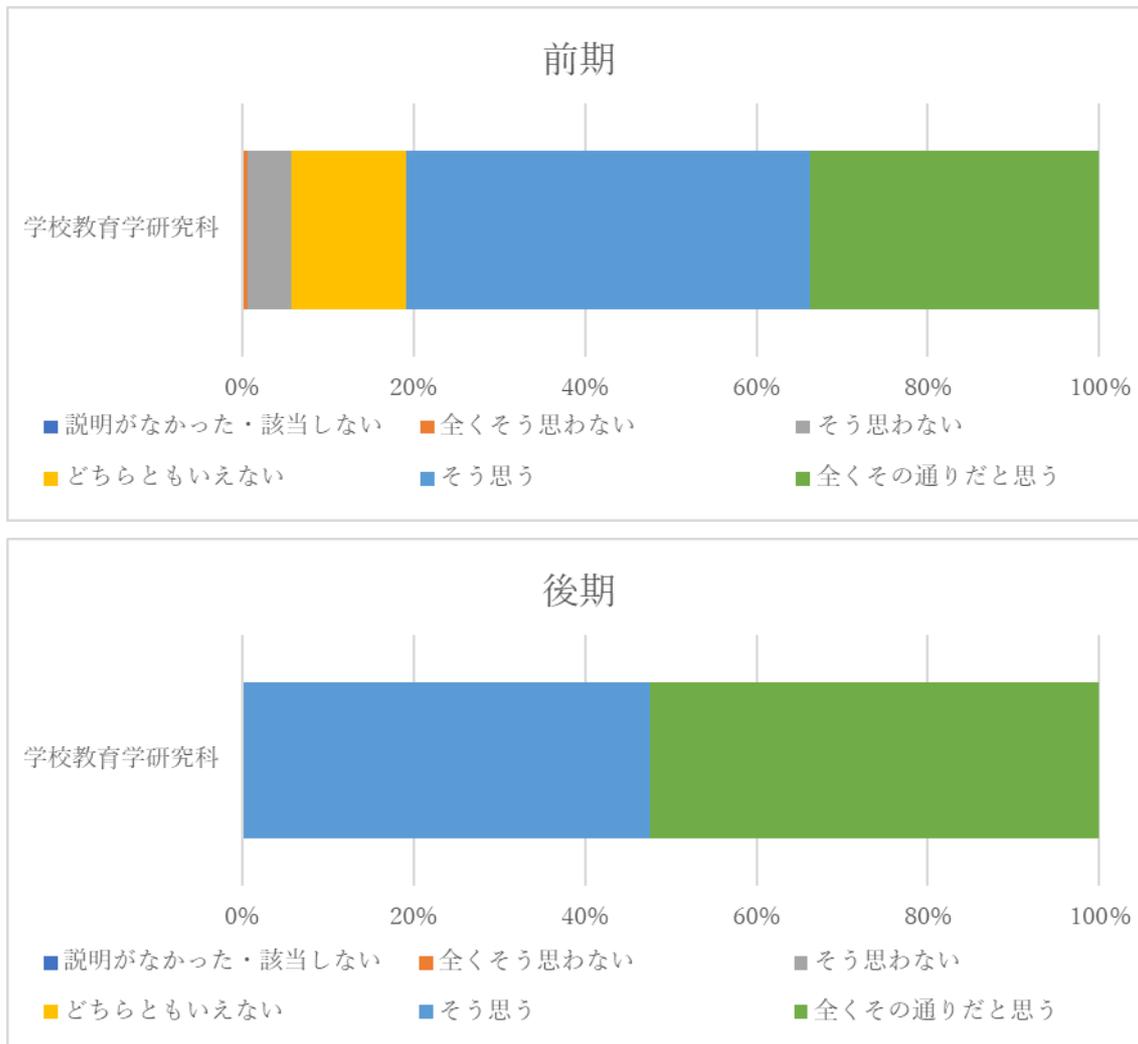
ただし、少数ではあるが、前学期にシラバスを参照していない、全く活用しなかった大学院生が存在する。また、肯定的な回答の割合も前学期の方が低くなっている。前学期はオンラインでの授業であったため、最初の回で教員がシラバスを参照するような指示が徹底できていなかったり、学生がシラバスをどうやって参照すればよいか分からなかったりしたのではないかと推察される。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。



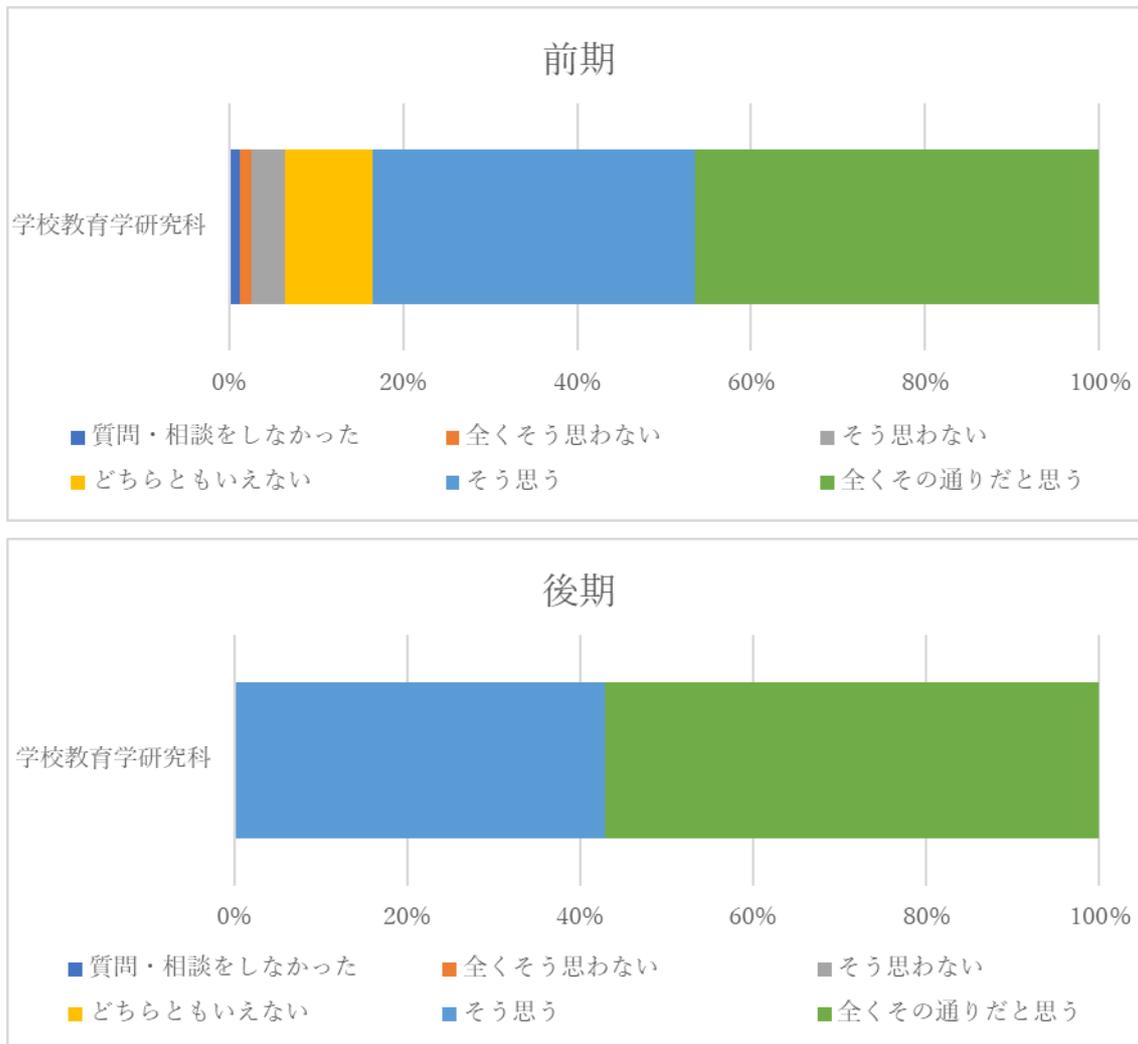
学習到達目標や成績評価基準の把握度としては、前学期は肯定的な回答をしている者が96.8%、後学期は100.0%となっており、十分に到達目標や成績評価基準の説明が行われ、受講側の理解が示されていることがわかる。強いて課題を挙げるとすれば、「完全に把握している」という回答が前・後学期とも2割程度であるため、この割合を上げていくことである。このためには、授業の初回だけでなく、授業内で適宜、到達目標を確認したりすることが考えられる。

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。



この質問項目に対しては、前学期が 94.3%（前年度：97.1%）、後学期が 100.0%（同じく 85.2%）が肯定的な回答をしている。前後期ともに 90.0%を越えており、有益な説明が十分できていると考えられる。ただし、前学期は、「全くそう思わない」「どちらとも言えない」という回答が 18%程度見られ、例年とは異なり後学期よりも前学期の方が低くなっていることから、オンラインによる影響があったと考えられる、

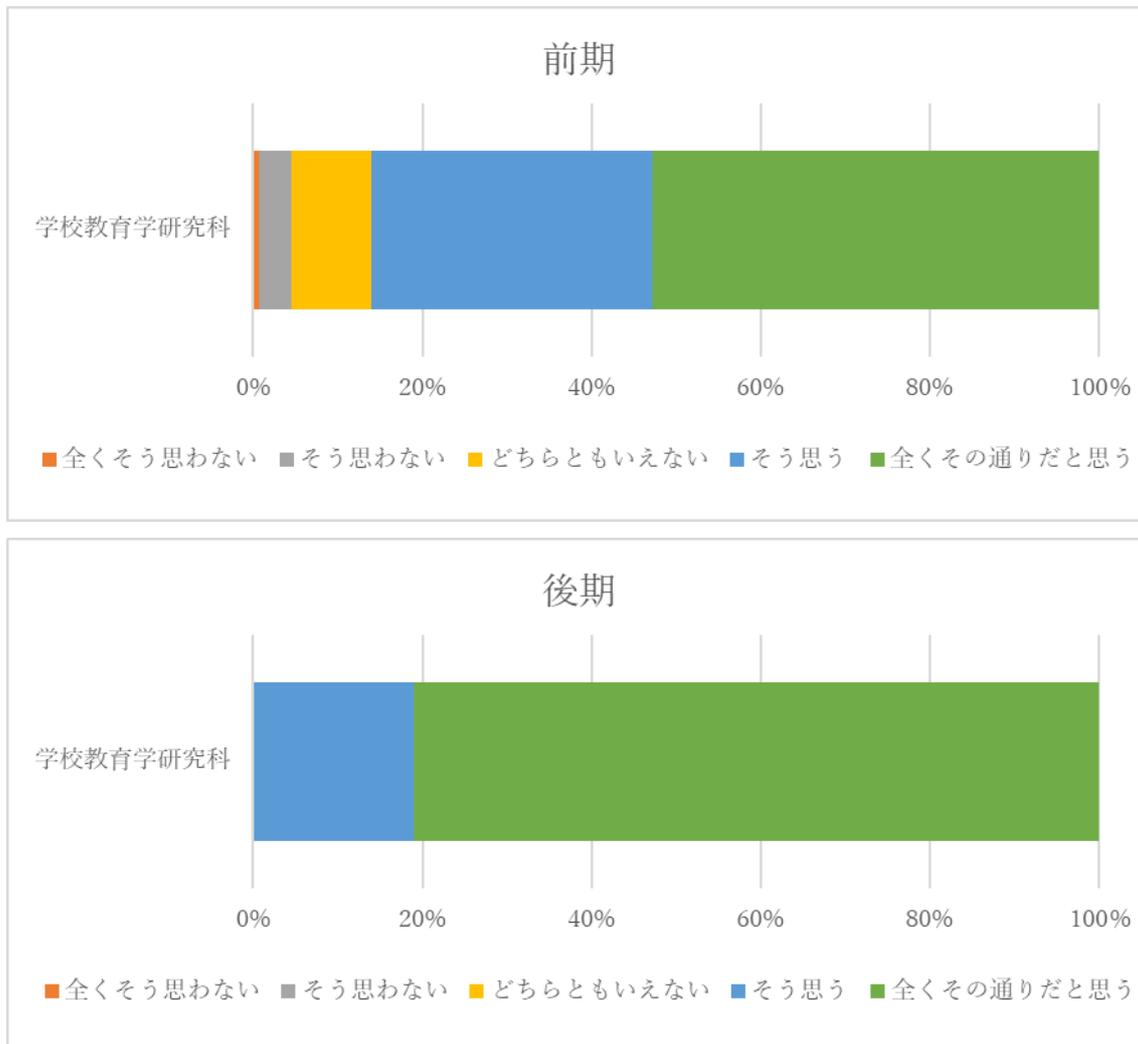
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。



この質問項目に対しては、前学期が 93.6%（前年度：97.1%）、後学期も 100.0%（同じく 79.6%）が肯定的な回答をしており、適切な対応が十分できていると考えられる。特に後学期においては肯定的な回答が目立つ。教職大学院では、前学期、後学期それぞれで、授業や大学生活に関する大学院生の意見を聴取する機会を設けており、そのことも一因であると推察される。

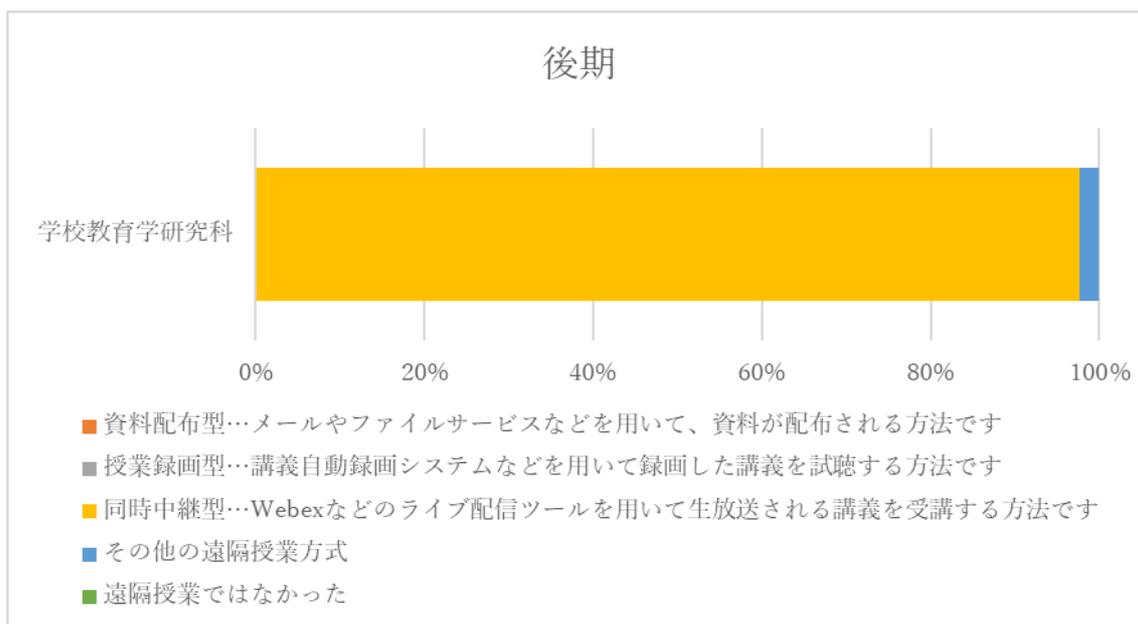
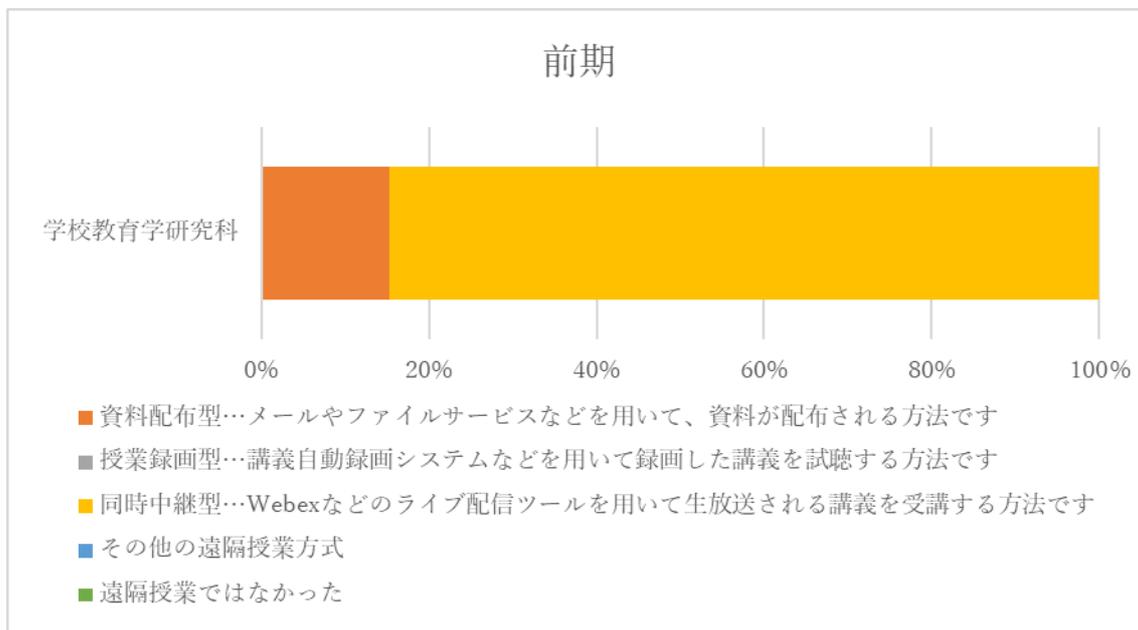
なお、後学期は前学期より割合が高くなっている。これは、後学期は対面での授業がはじまったことから、学校教育学研究科では、後学期のはじめにコース毎にオリエンテーションを開催し、大学生活について説明したり、質問や相談を行う機会を設けたり、学生が直接研究室を訪れることができるようになったりしたことがその要因になっていると考えられる。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。



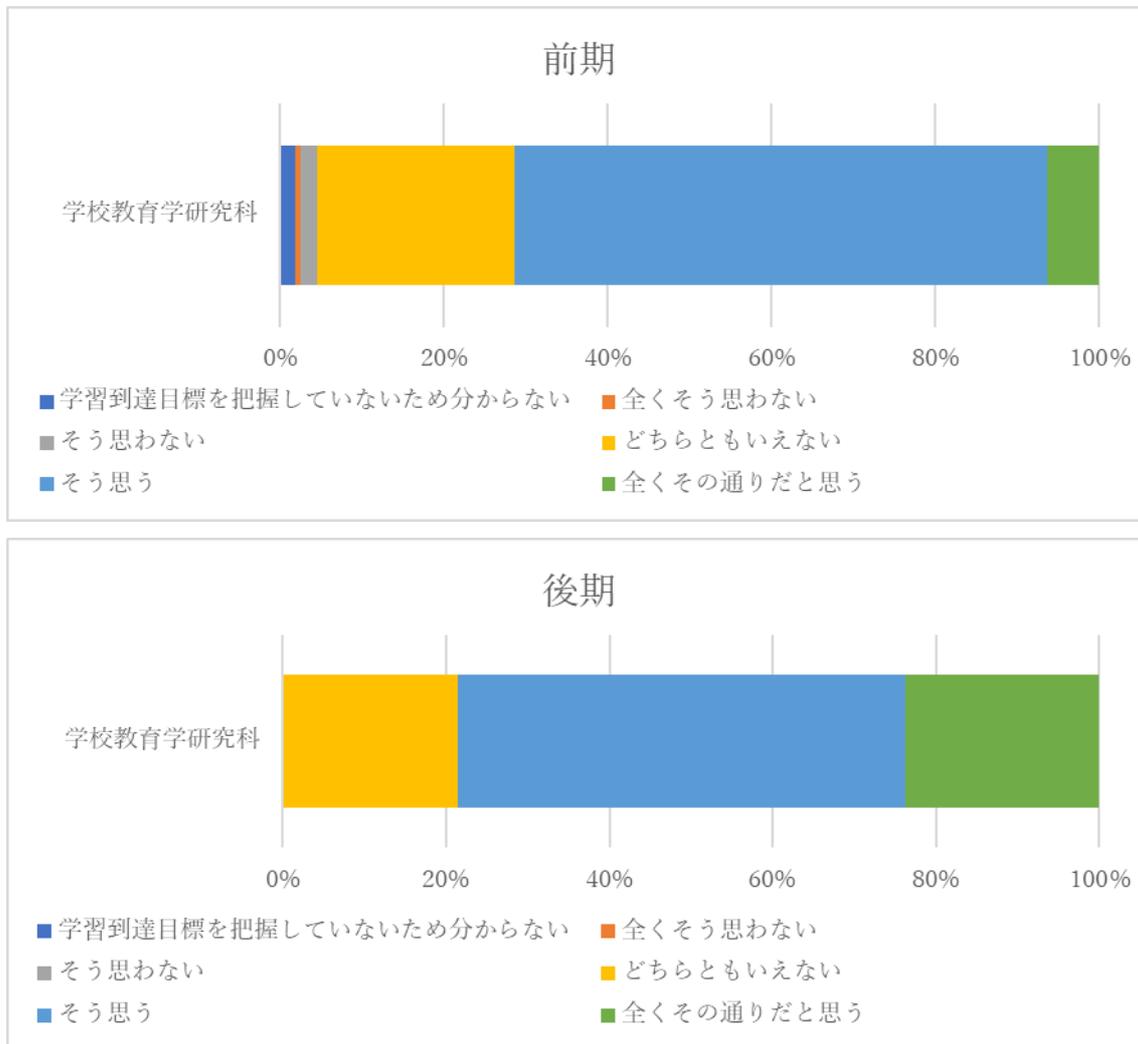
教員の意欲等についても、肯定的な回答が前学期で95.5%（前年度：98.1%），後学期で100.0%（同じく87.0%）と、ともに高い割合を示している。前年度と同等の高い割合を示していることから、現在の水準を維持していくことが重要であると思われる。前学期より後学期が高くなっているのは、やはり、対面授業が始まったことに原因があると考えられる。教員の意欲や熱意も対面の方が伝わりやすいのではなかろうか。

C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。



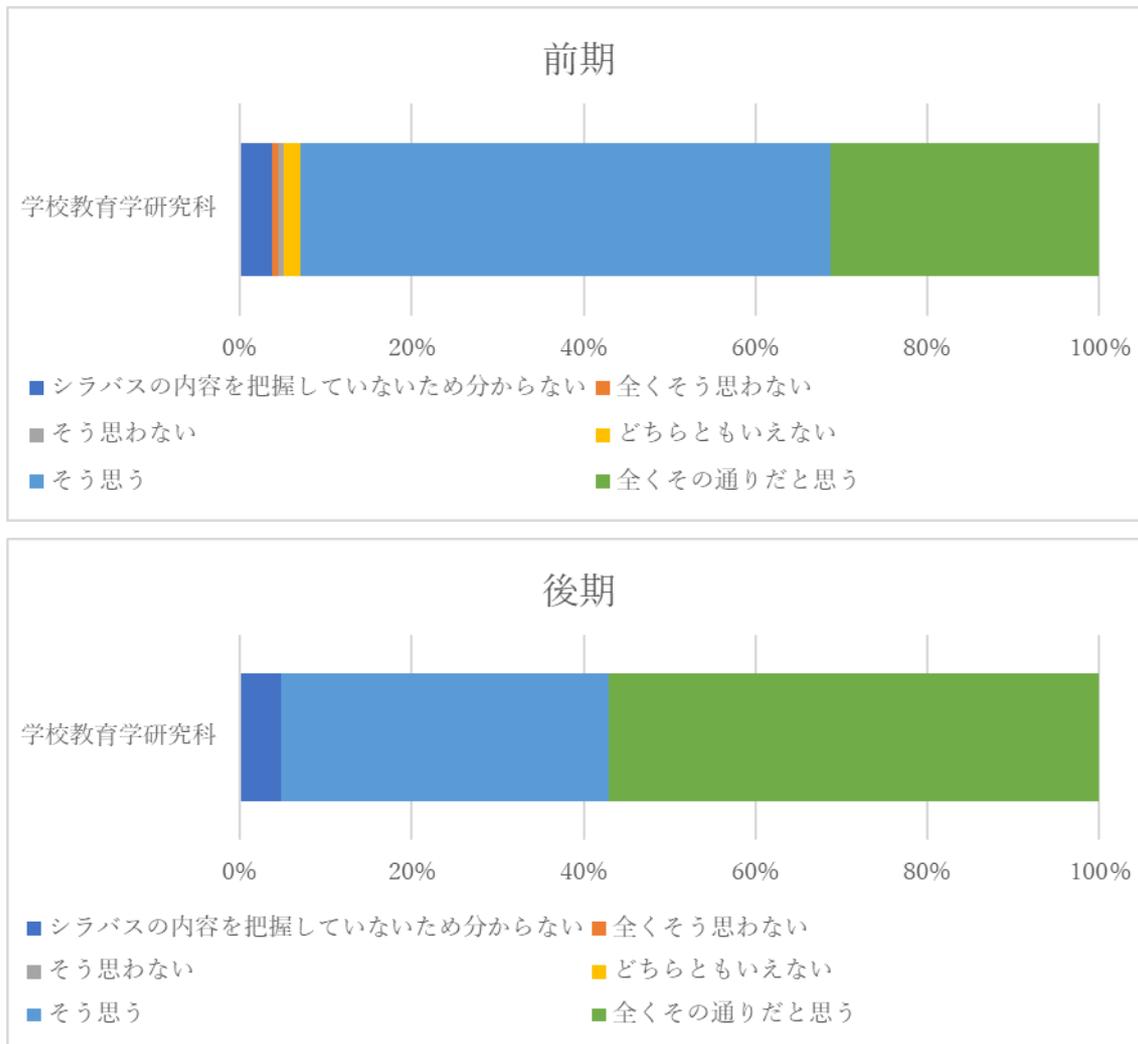
授業の授業形態として、前学期は同時中継型 84.7%、資料配付型 15.3%、後学期は同時中継型 97.6%、その他 2.4%がであった。前後学期ともに同時中継型が 80.0%を越えていた。学校教育学研究科の学修内容からしても遠隔授業を行うのであれば同時中継型が適している科目が多いため、このような結果になったと考えられる。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



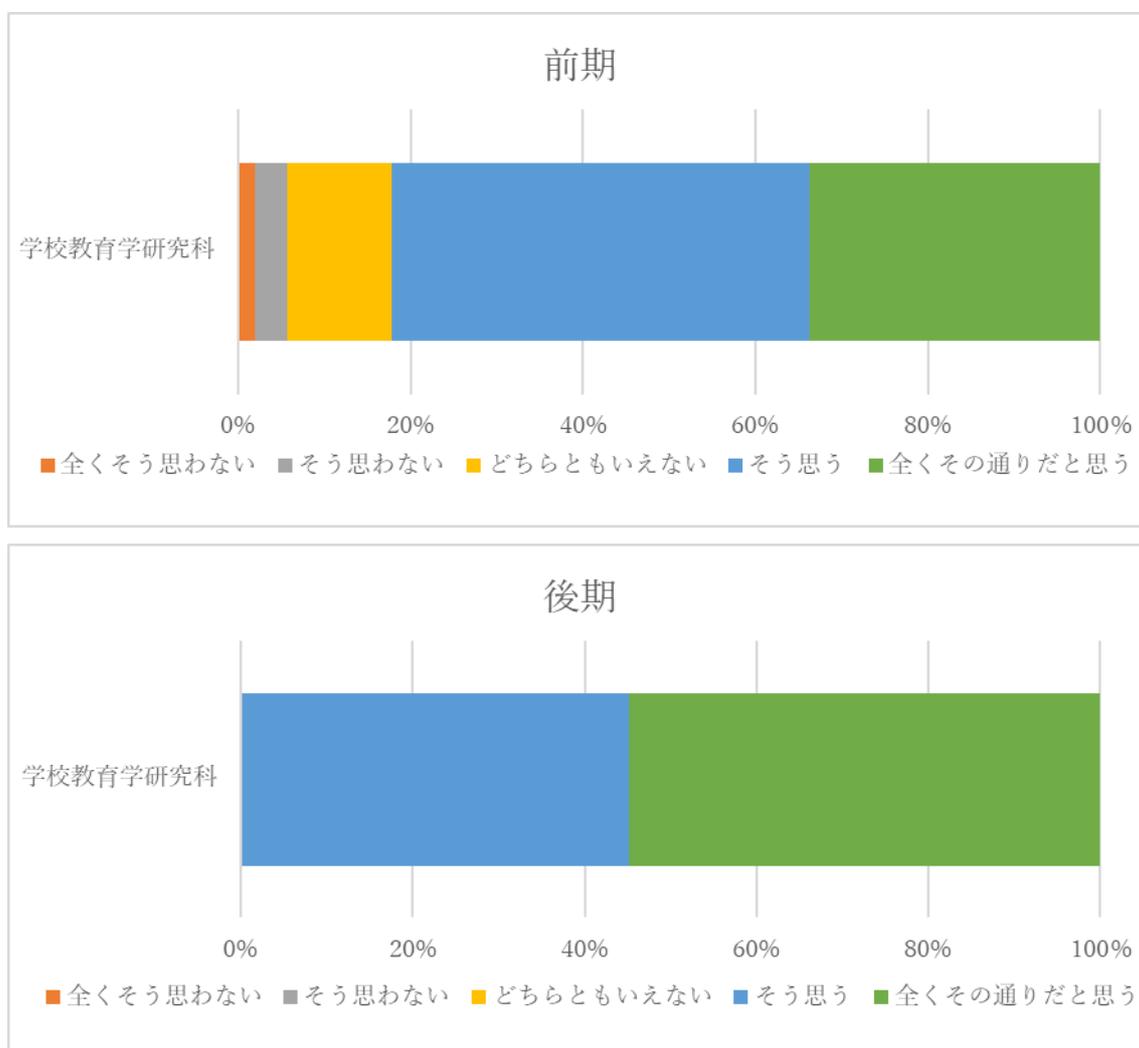
学習到達目標達成に関する自己認識に関して、肯定的な回答が前学期は95.5%（前年度：90.4%）、後学期は100.0%（同じく94.5%）と高い比率を示している。まず、前後期とも前年度の水準を上回り、学習到達目標が十分に達成されていると見ることができる。また、前年度同様、前学期よりも後学期の方が、割合が高くなっている。この理由としては、前学期はコース共通の必修科目が多く、それゆえに自分の専門とは異なる領域の学修に多く従事することとなり、結果として到達目標達成度に関する自己認識が低かったが、後学期は自分の専門領域の授業が多いため、より達成度が高いと認識できたことが考えられる。

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



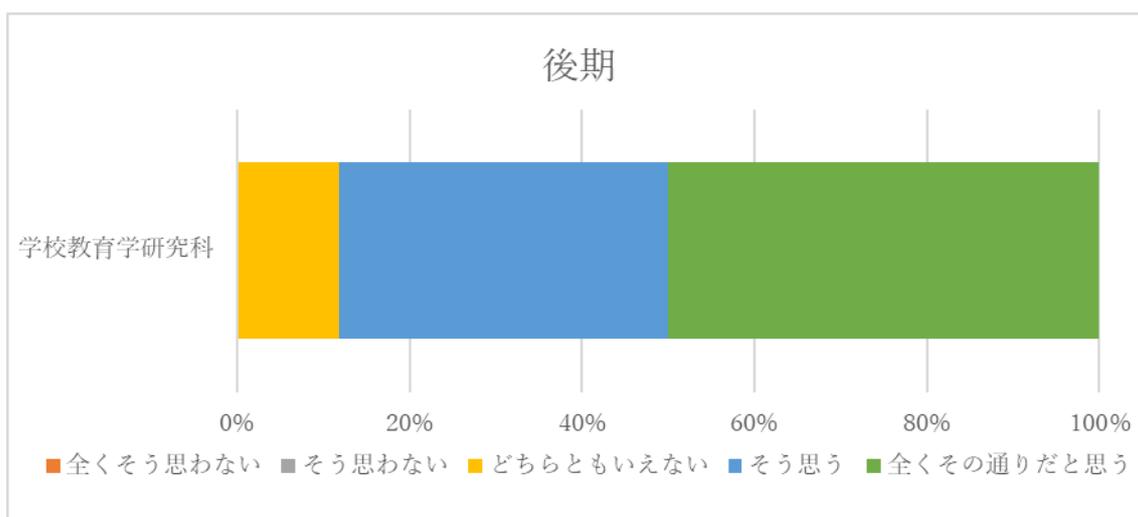
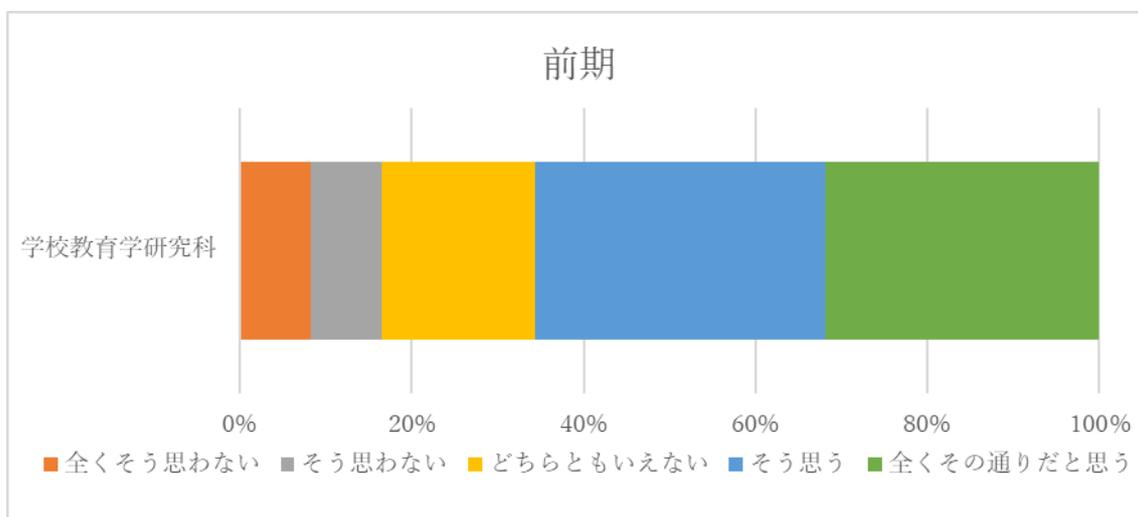
授業内容がシラバスに基づいているかに関しては、前学期は 94.9%，後学期は 95.2%となっており，肯定的回答が 90.0%を越えている。授業内容がシラバスに基づいていたと学生が認識していたといえる。教職大学院も 5 年目に入り，各授業の内容が体系化され，シラバスに反映されており，概ねそのシラバスに沿った授業が行われていると見ることができる。

C-4 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用Web ページ、ネット授業、E ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。



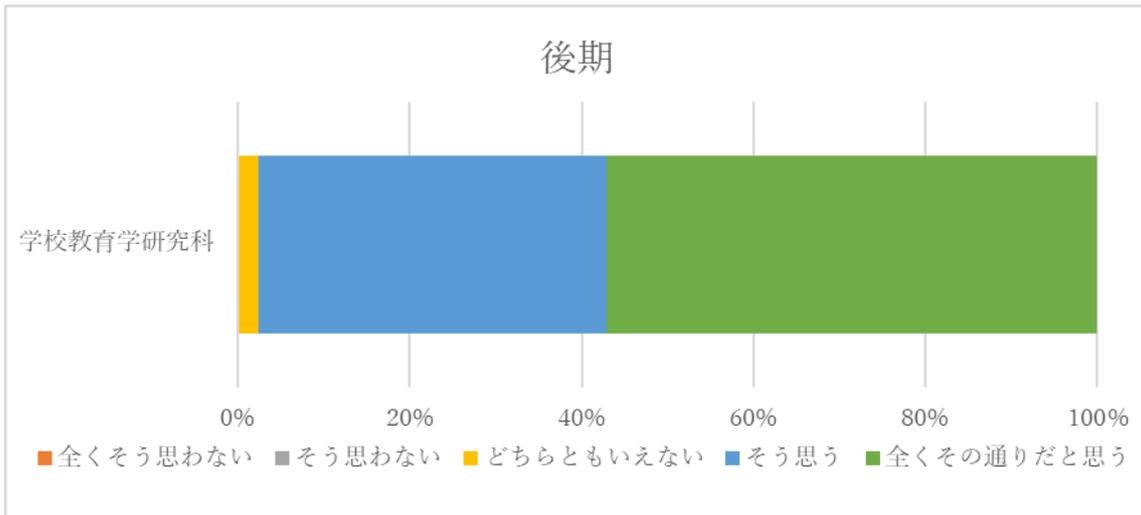
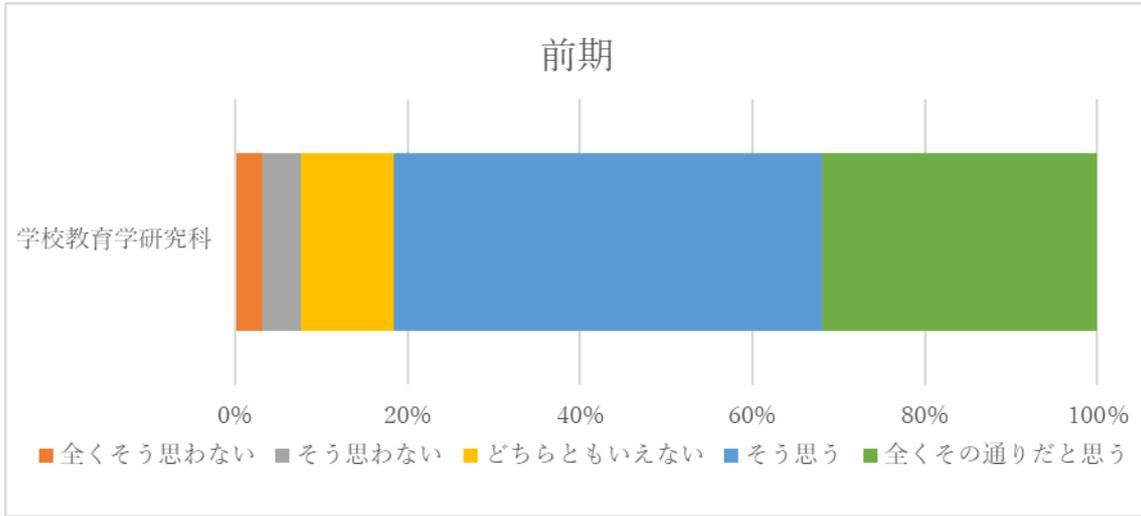
教材等の有効度についても、今年度は肯定的な回答の割合が前学期で 94.3%（前年度：90.5%）、後学期で 100.0%（同じく 88.9%）と、前年度同様の高水準であった。前学期より後学期が高い数値となった。これも、対面授業が始まったことによる影響があると考えられる。教職大学院では、スマートボード（電子黒板）や、調べ学習のためのコンピュータやタブレット端末、スマートフォン等を活用した授業を多く行っている。前学期はオンラインによる授業であったためそれらに制限があったが、後学期はそれらをフルに活用できたため後学期の方が高い数値となったのではないかと推察できる。

C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



肯定的な回答は、今年度は前学期で 84.4%（前年度：94.3%）、後学期 100.0%（同じく 88.9%）と、前年度同様の高い水準を維持している。この質問項目でも後学期の方が高い結果となった。教職大学院の授業では、現職院生とストレートマスターのペアでの発表やグループワークを実施し、現職院生は現任校の課題分析も行うなど、ほぼ全ての授業で、アクティブ・ラーニングの手法を導入している。前学期は遠隔授業のためこういった授業形態に制限がかかり、後学期は対面授業が始まったことにより、このような回答になったものと思われる。

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。

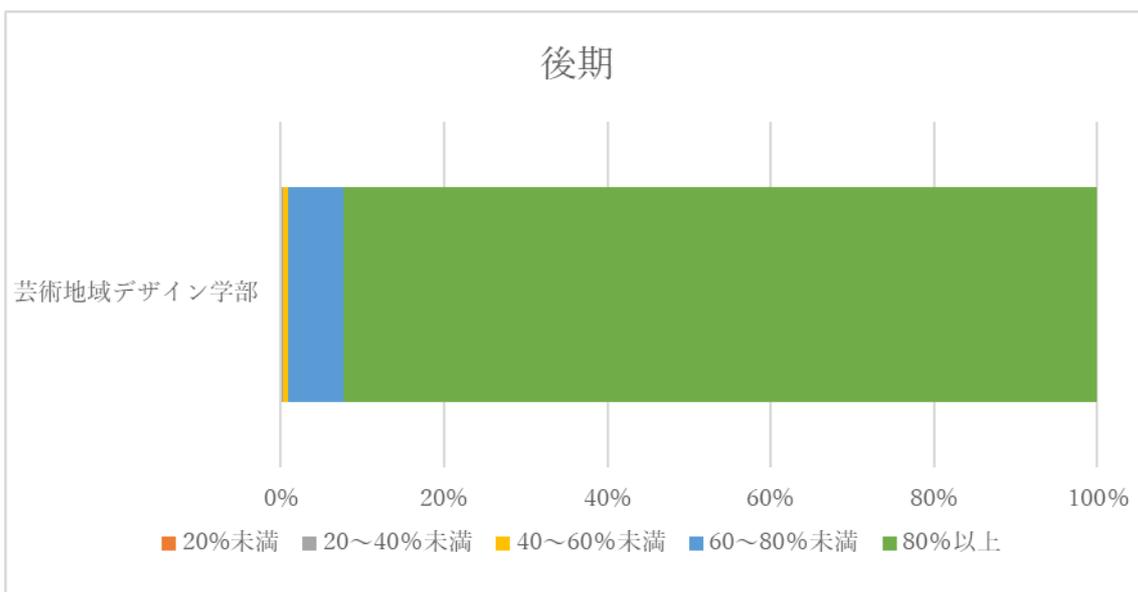
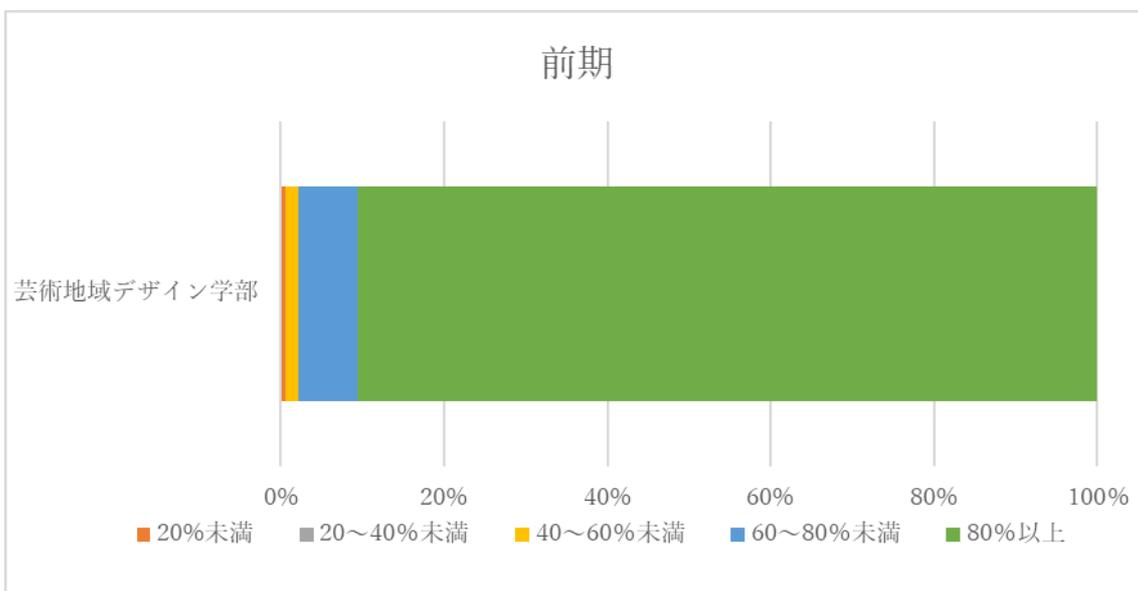


授業の全体の満足度に関しては、前学期が92.4%（前学期：97.2%）、後学期が97.6%（同じく79.6%）と、前後学期ともに90.0%を越えており、肯定的回答の割合が高かった。昨年度と比較すると、前学期は昨年度より肯定的回答の割合が低く、逆に後学期は高くなっている。やはり、これも前学期は遠隔授業であり、後学期は対面授業を行ったことが影響していると考えられる。対面で授業を行った方が、B-3で述べたように、教員の熱意や意欲も学生に伝わりやすく、学生の満足度も高くなるのではなかろうか。

佐賀大学芸術地域デザイン学部
令和2年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

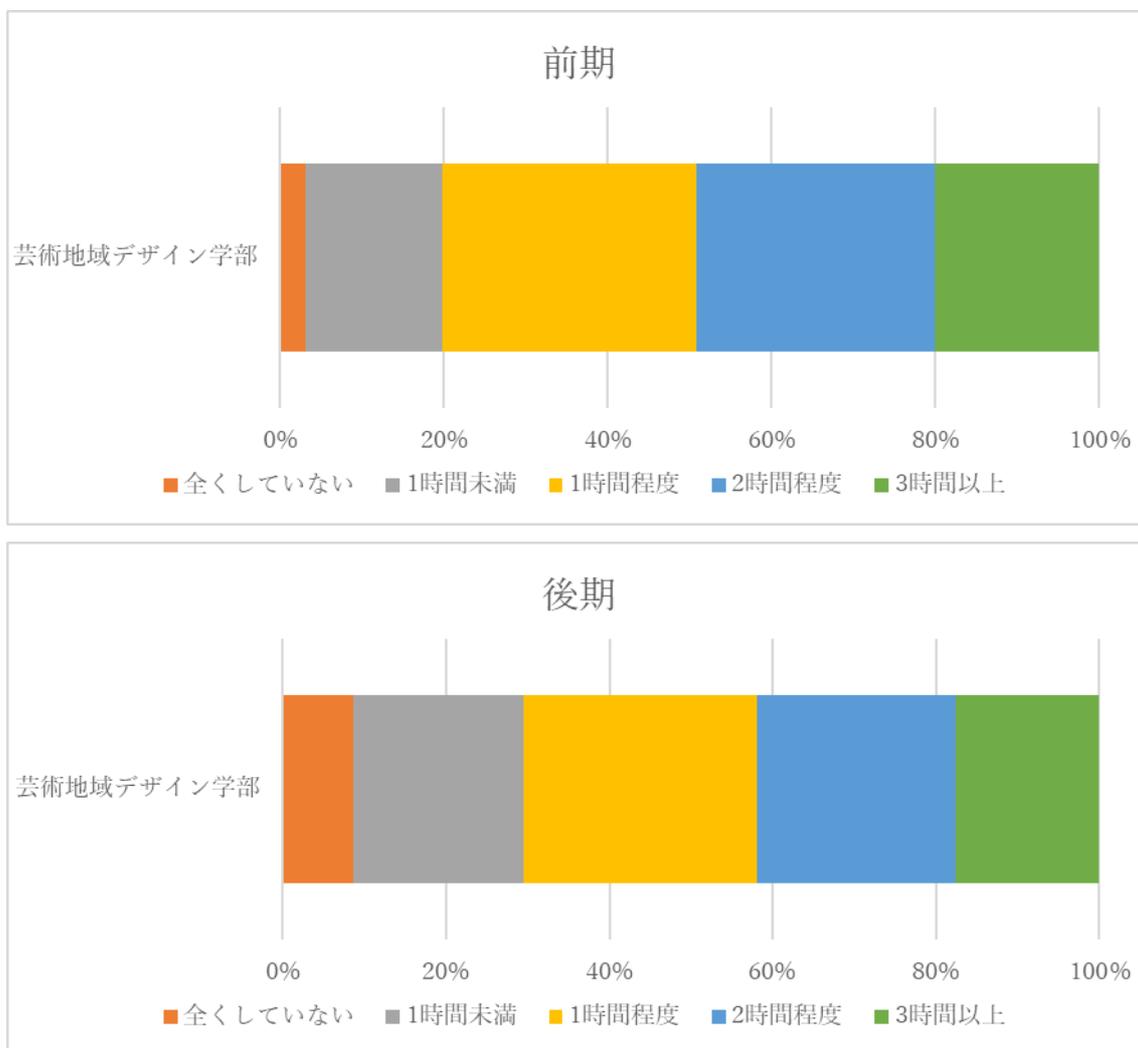
令和3年
佐賀大学芸術地域デザイン学部
教育質保証委員 小木曾 誠

A-1 出席率はどのくらいですか。



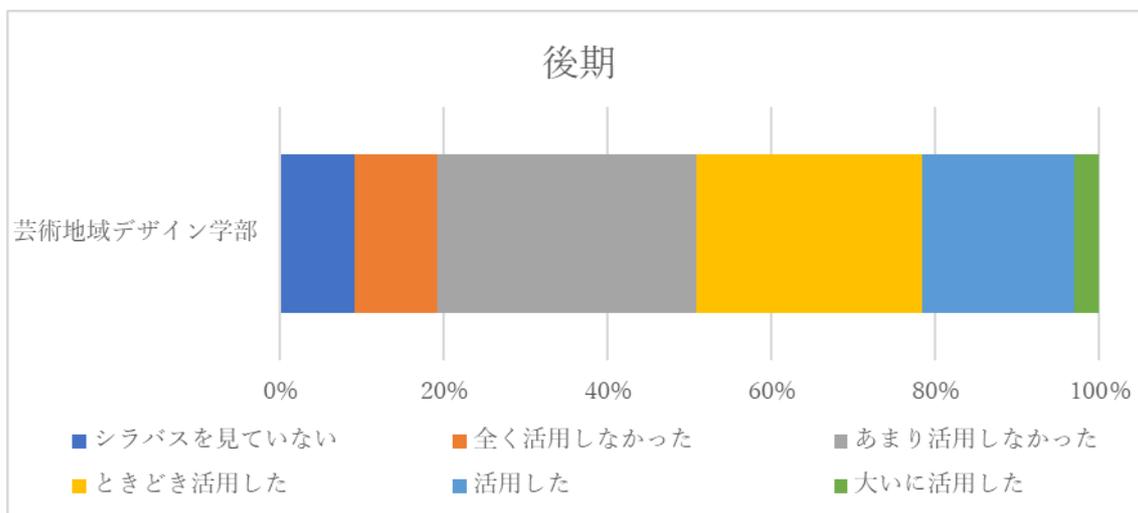
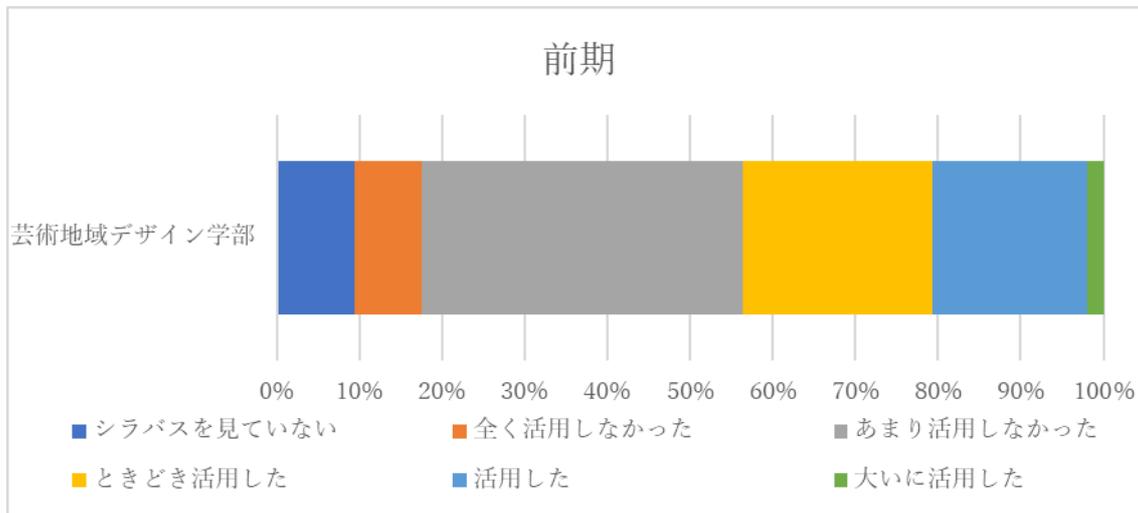
オンライン授業中心の前期および、対面授業が増えた後学期ともに約 9 割の学生が出席率 80%以上と例年と変わらず良好であった。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。



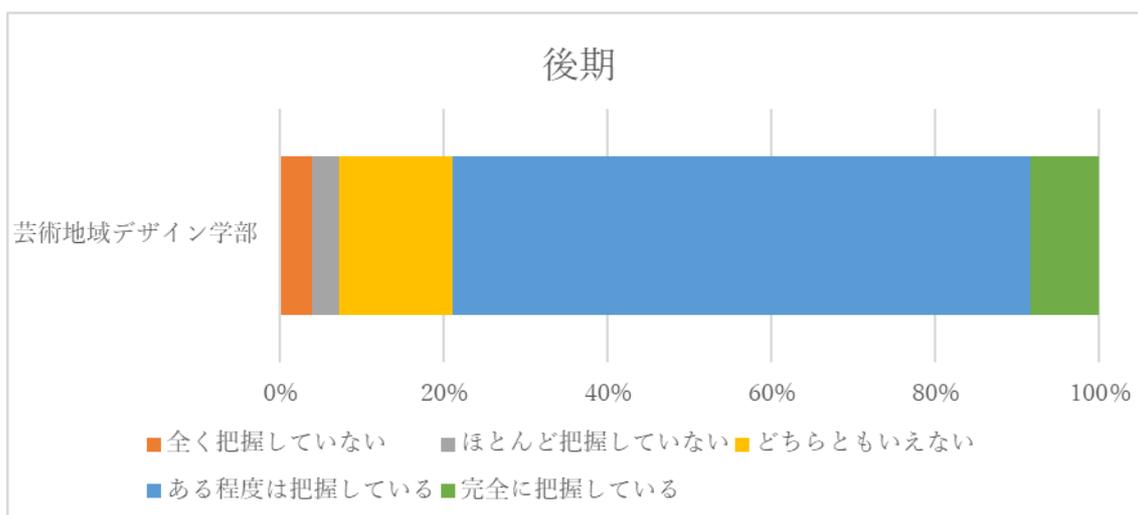
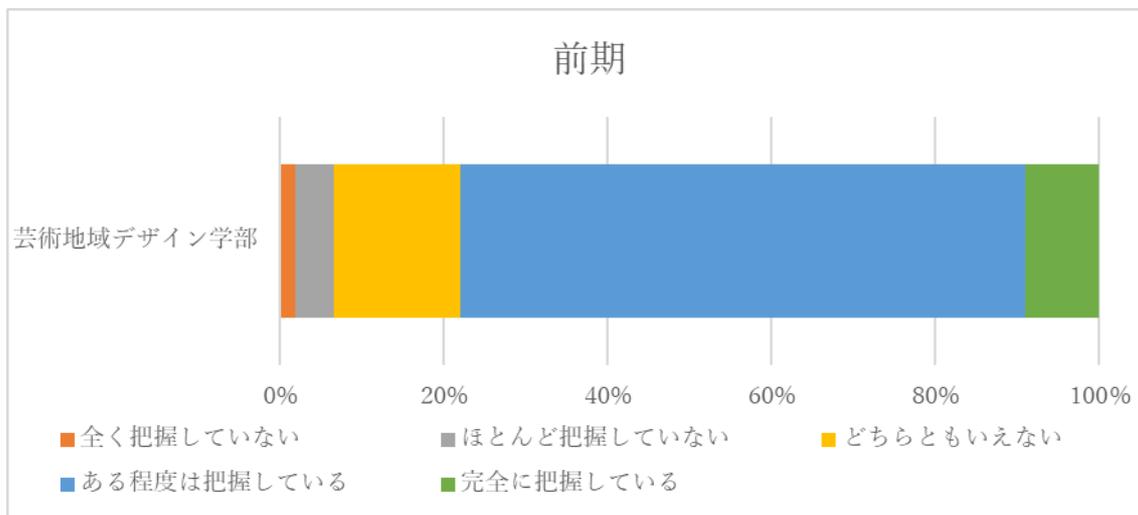
前期はオンライン授業が中心になったせいで、課題が沢山出ており、予習復習の授業が例年より増えている。学生などに聞き取りをしたところ、かなり多くの課題が出ており大変だったと聞いた。後学期は例年とさほど時間外の学習時間は変わらない。このようなアンケートで「時間外学習」が多いことが望まれるかもしれないが、令和2年の前期はあまりに学生たちの負担が多く、個々の研究に時間を割けないという問題も浮き彫りになった。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



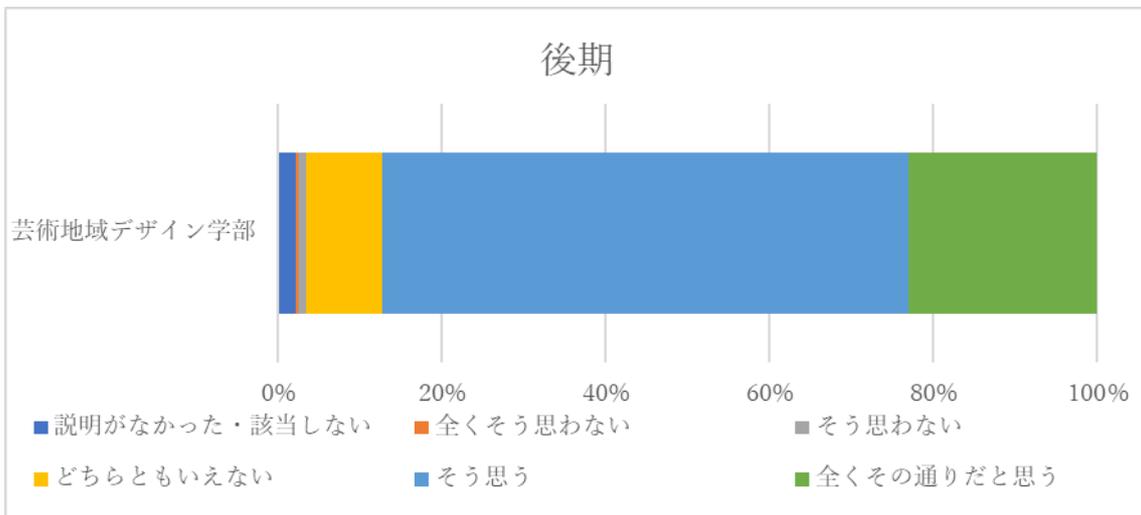
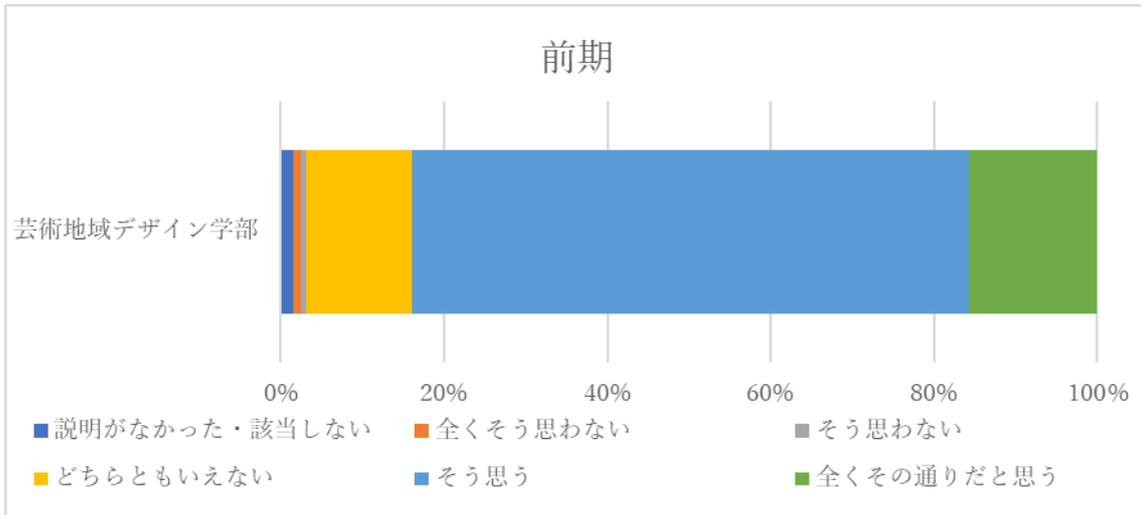
芸術地域デザイン学部の場合は例年シラバスを活用する学生が少ないように感じる。これを学生からの聞き取り調査を行ったところ、「ゼミの教員の授業」を受けることも増えてきていたり、1年次前期は取る科目が基本全員同じであったりするので、シラバスは参考程度にしか見ないという意見が聞かれた。引き続き改善の余地がある。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。



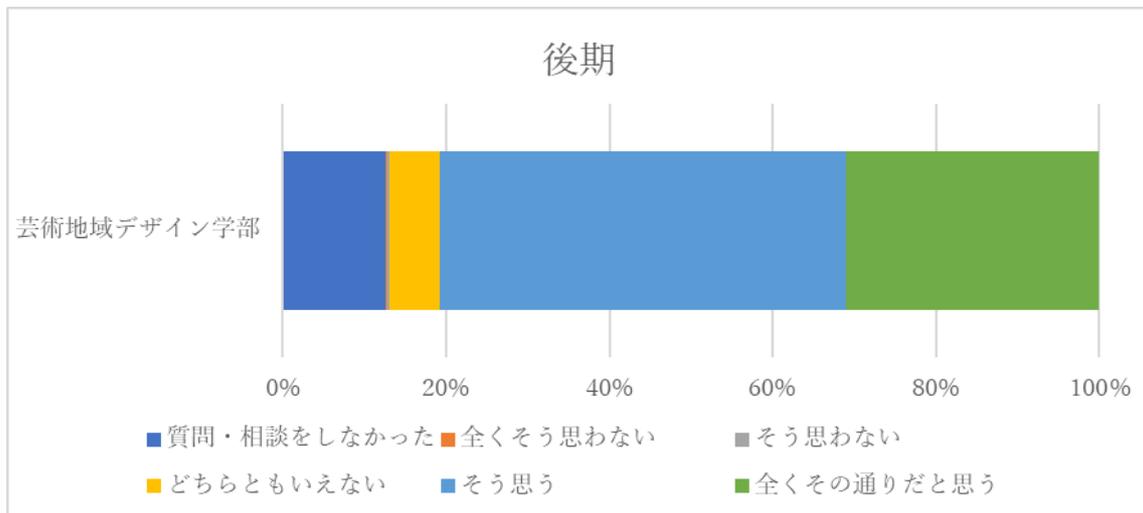
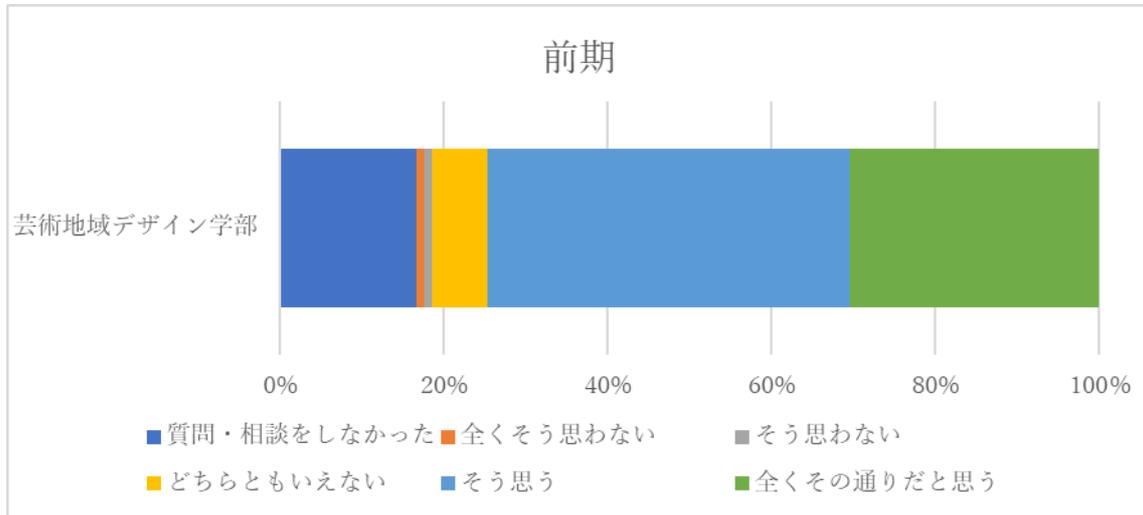
「完全に把握している」「ある程度は把握している」の割合が8割近くを占めており、概ね良好と言える。例年に比べ「全く把握していない」が減少し改善が見られた。

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。



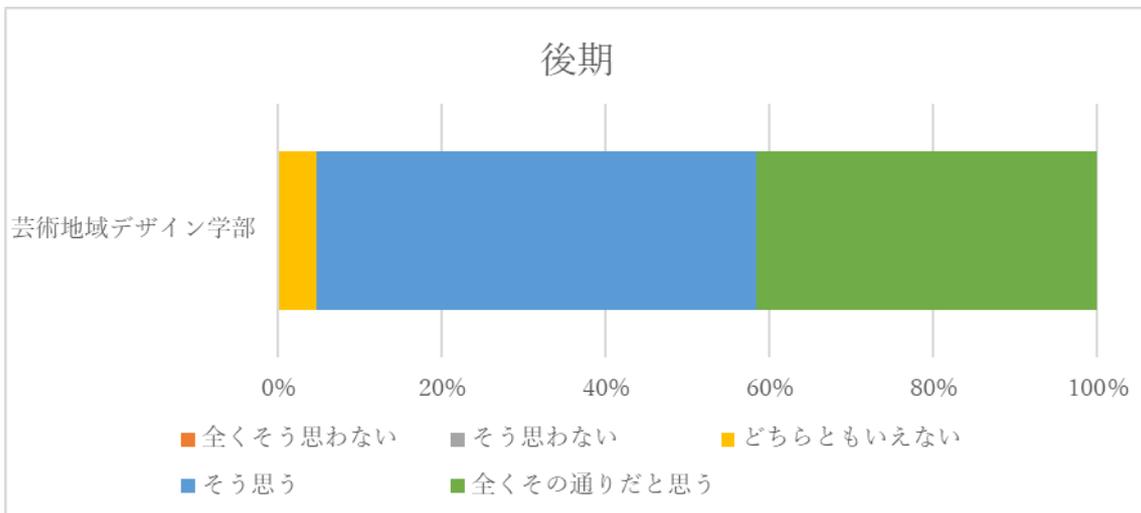
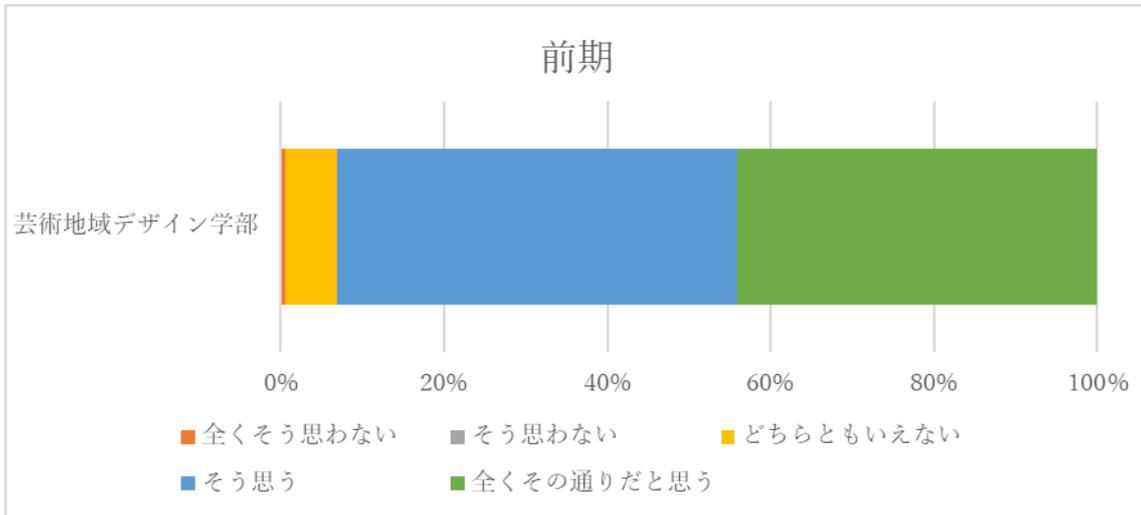
「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね8割近くあり、教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は学生に評価されていると言える。評価は良好である。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。



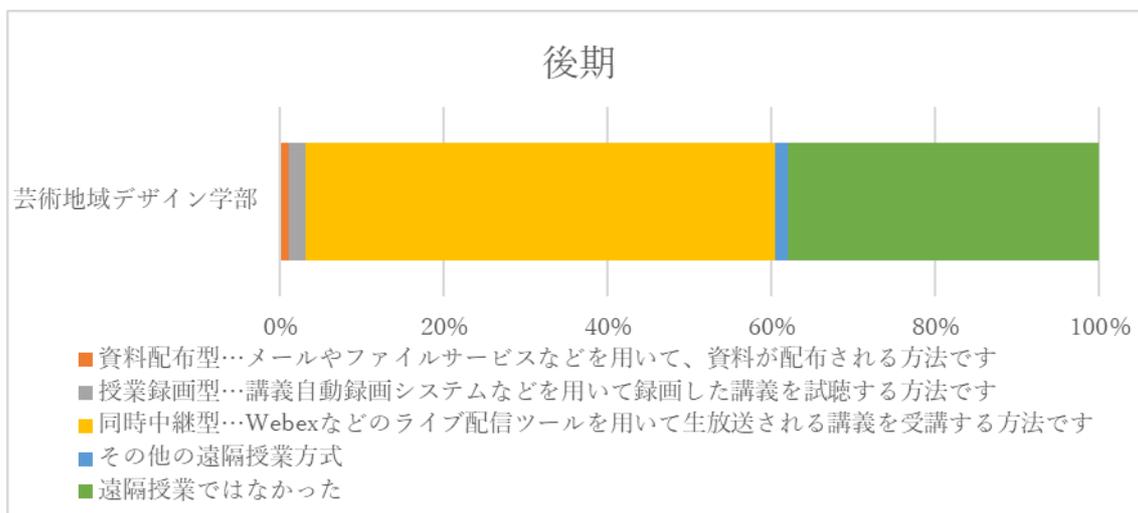
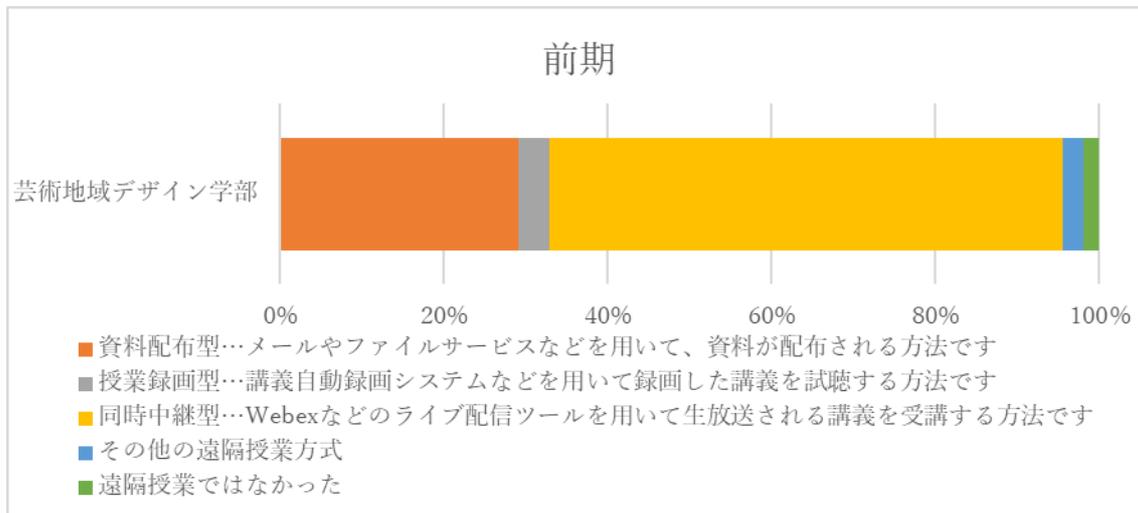
「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね8割近くあり、担当教員は学生に対して適切に相談に応じていた実態が明らかになっている。評価は良好である。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。



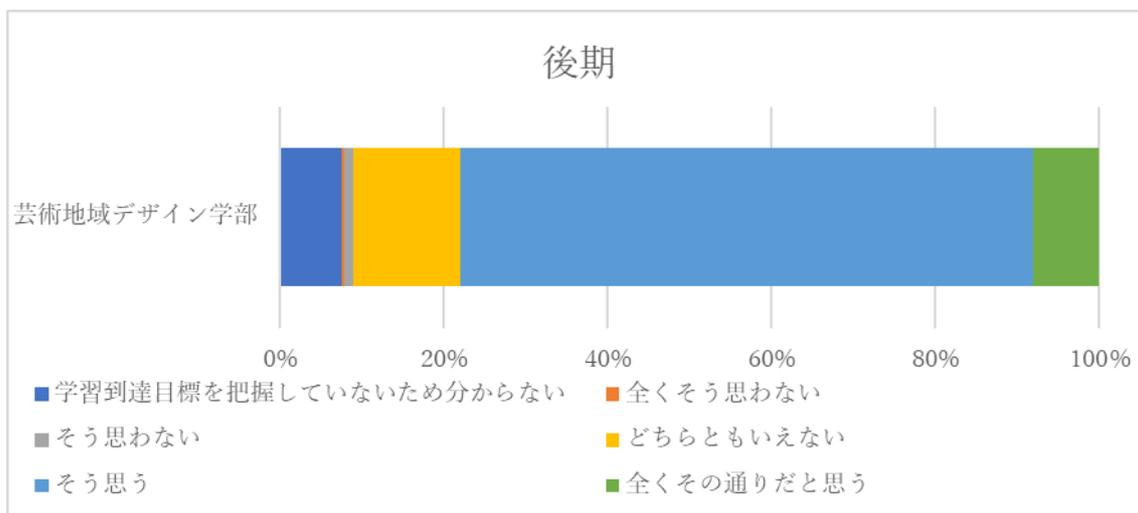
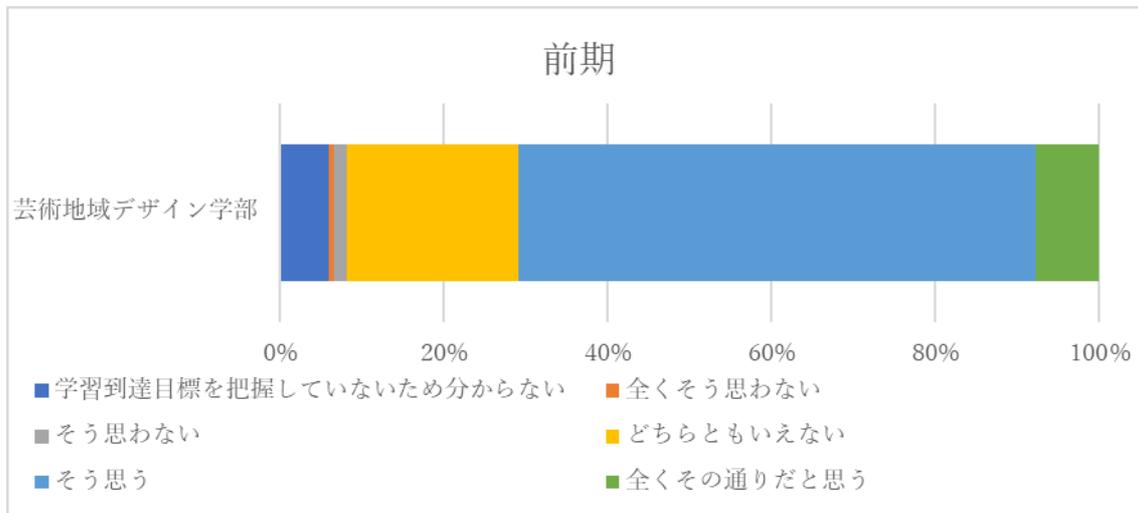
「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね9割以上を超え、他の質問項目と比較しても教員の授業に対する意欲や熱意は学生に高い評価を得ていると言える。

C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。



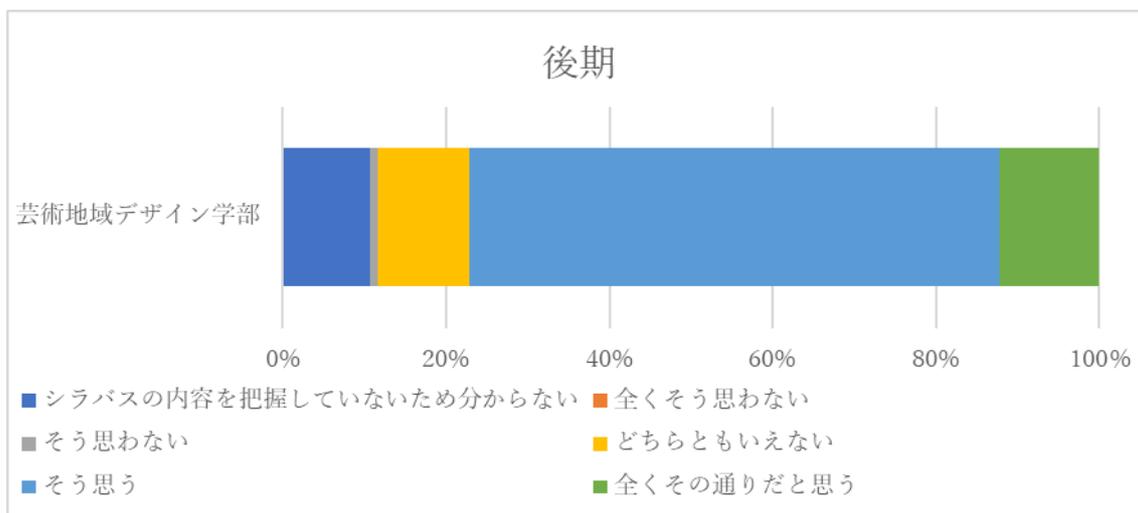
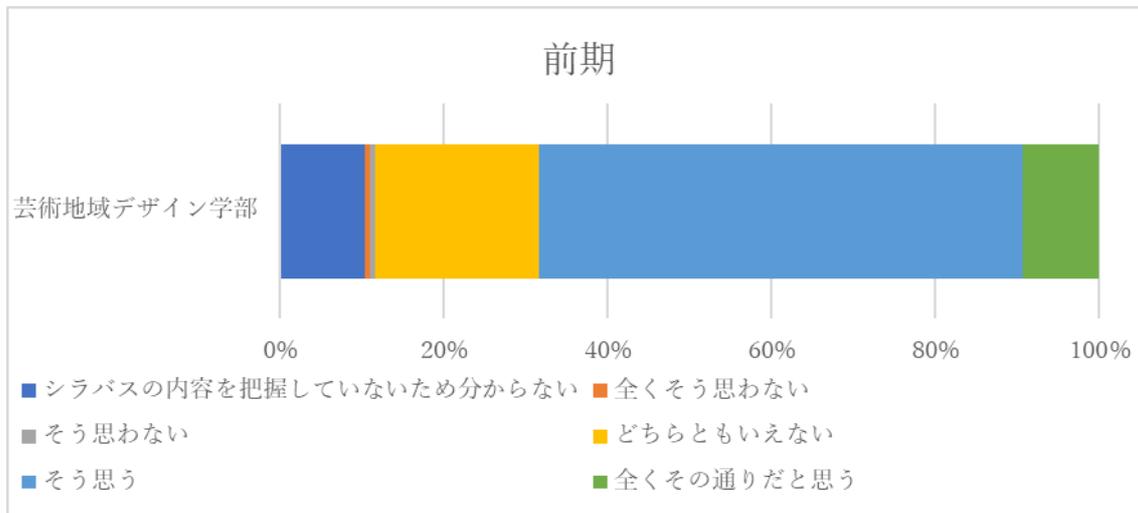
前期はコロナ禍になった直後にもかかわらず、多くの教員が同時中継型を行い、学生への教育の質の担保を努力した点が大いに評価できる。後期は「基本対面」を軸に「演習科目」も多い学部で同時中継型も導入しながら授業を行ったことが見て取れる。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



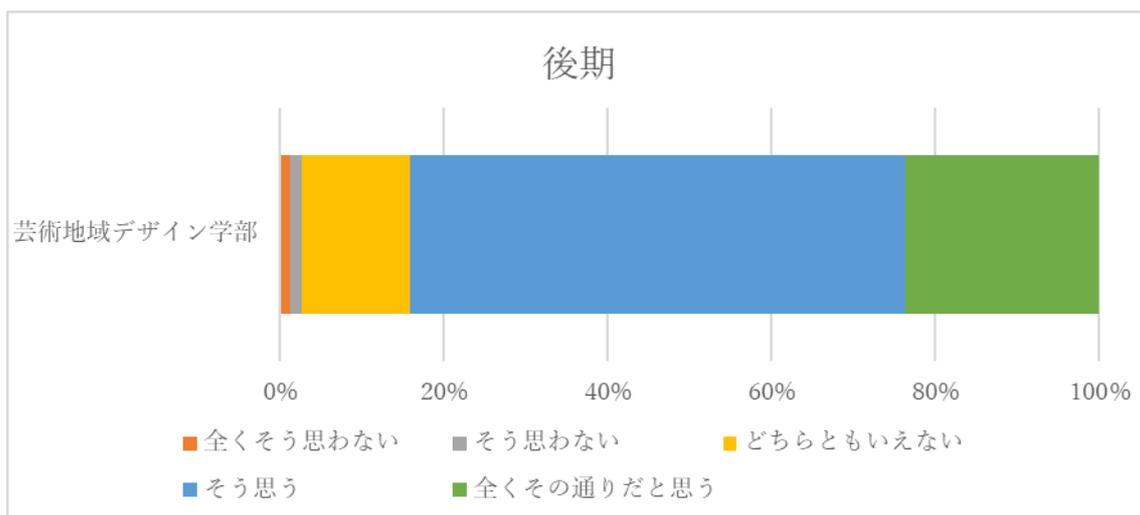
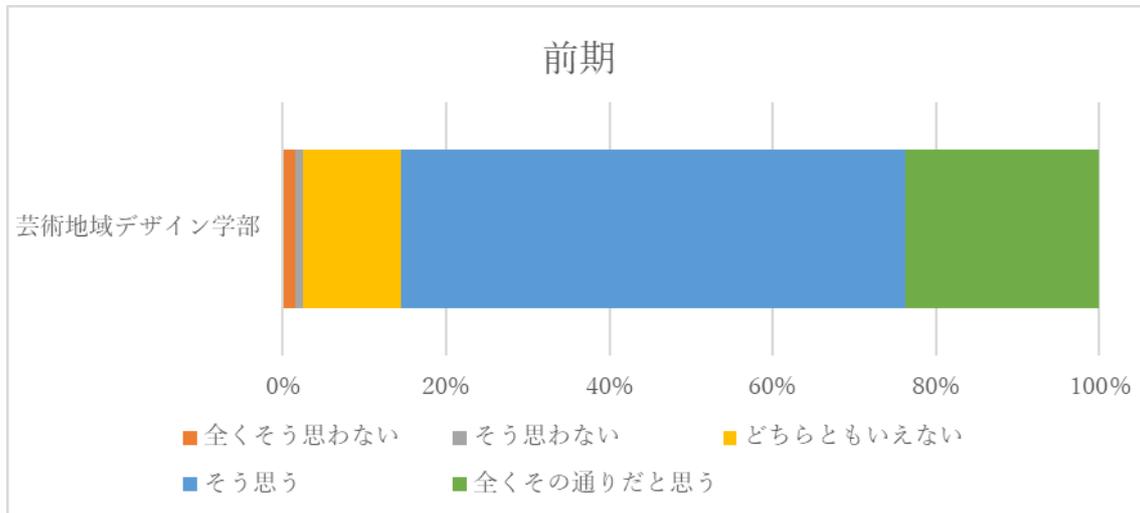
前学期はコロナ禍の中、教員も学生も大いに困惑したことが見て取れる。それでも「そう思う」「全くその通りだと思う」が7割を超えている。後学期は前期より改善し約8割の学生が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えているところを見ると、教員と学生の相互理解が深まったことが読み取れ、改善が見て取れる。

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



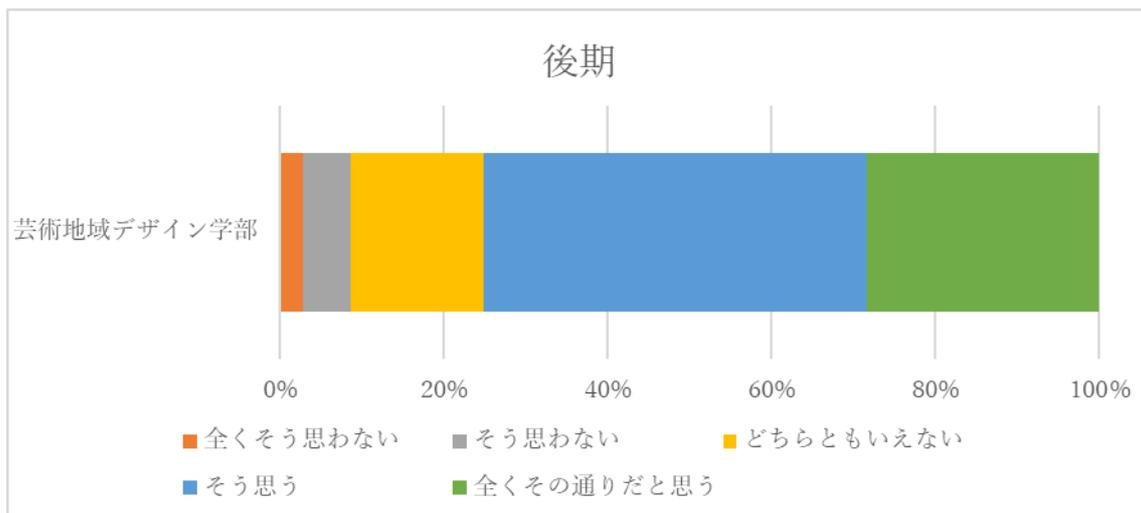
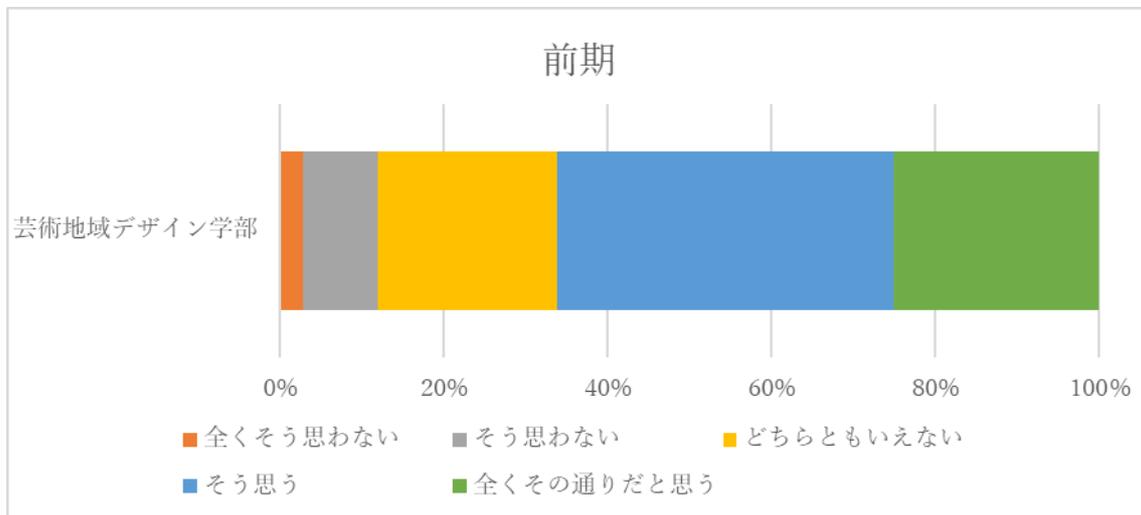
コロナ禍になったばかりの前期は致し方ない部分があるとは思いますが、オンラインの授業中心でも約7割が「そう思う」「全くその通りだと思う」と答えている。後期は約8割になっており大きく改善している。

C-4 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。



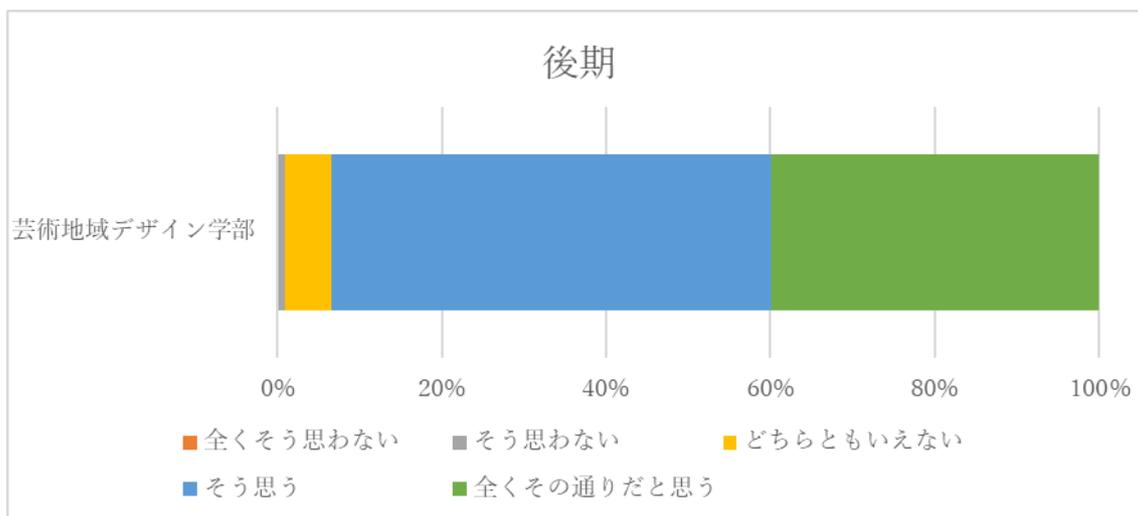
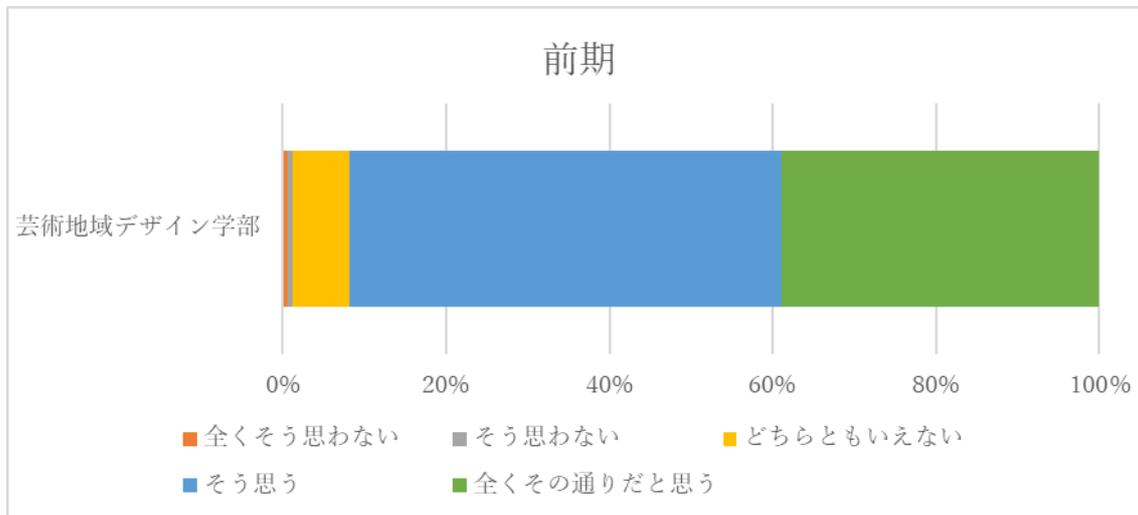
「そう思う」「全くその通りだと思う」が約8割を超え、良好である。

C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



前期はオンラインに慣れていない学生教員がいたため、若干「そう思う」「全くその通りだと思う」が少ないが、後学期になると約7割以上と増加しており改善がみられる。

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。



前学期は若干「全くそうは思わない」と回答した学生がいたが、後学期には0となり、全体を見ても約9割が「そう思う」「全くその通りだと思う」と回答しており、良好である。

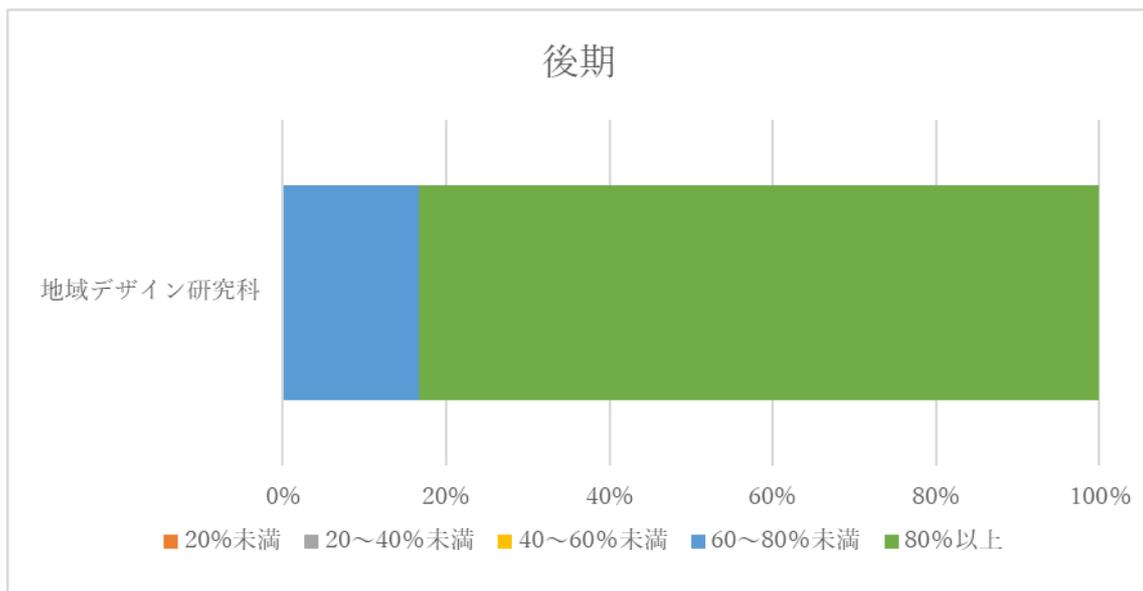
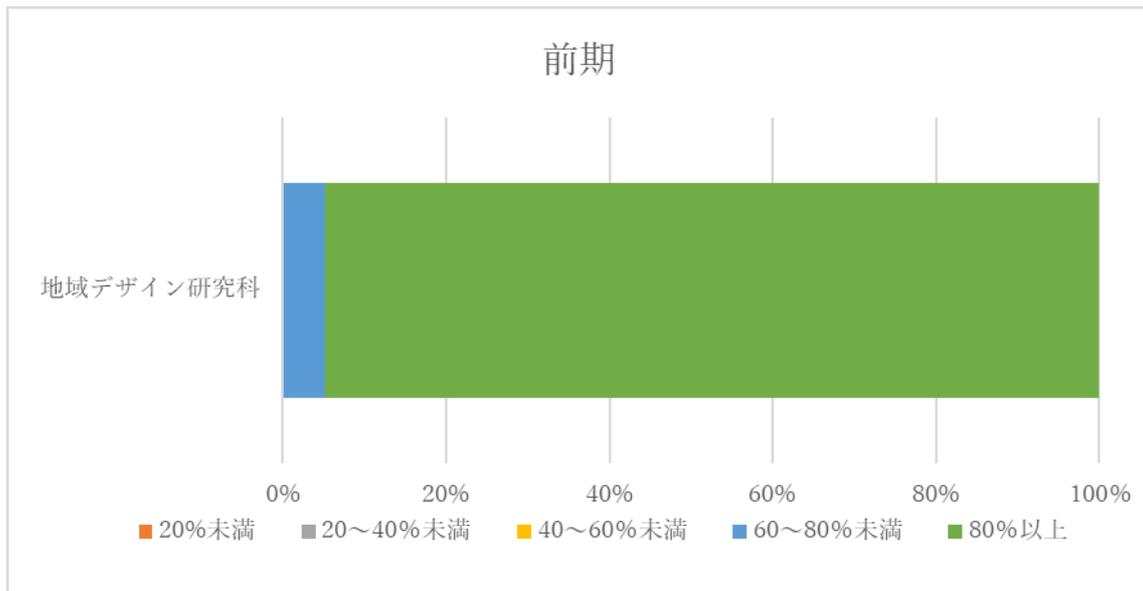
佐賀大学大学院地域デザイン研究科
令和2年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

令和3年9月
佐賀大学大学院地域デザイン研究科

地域デザイン研究科組織別授業評価分析結果

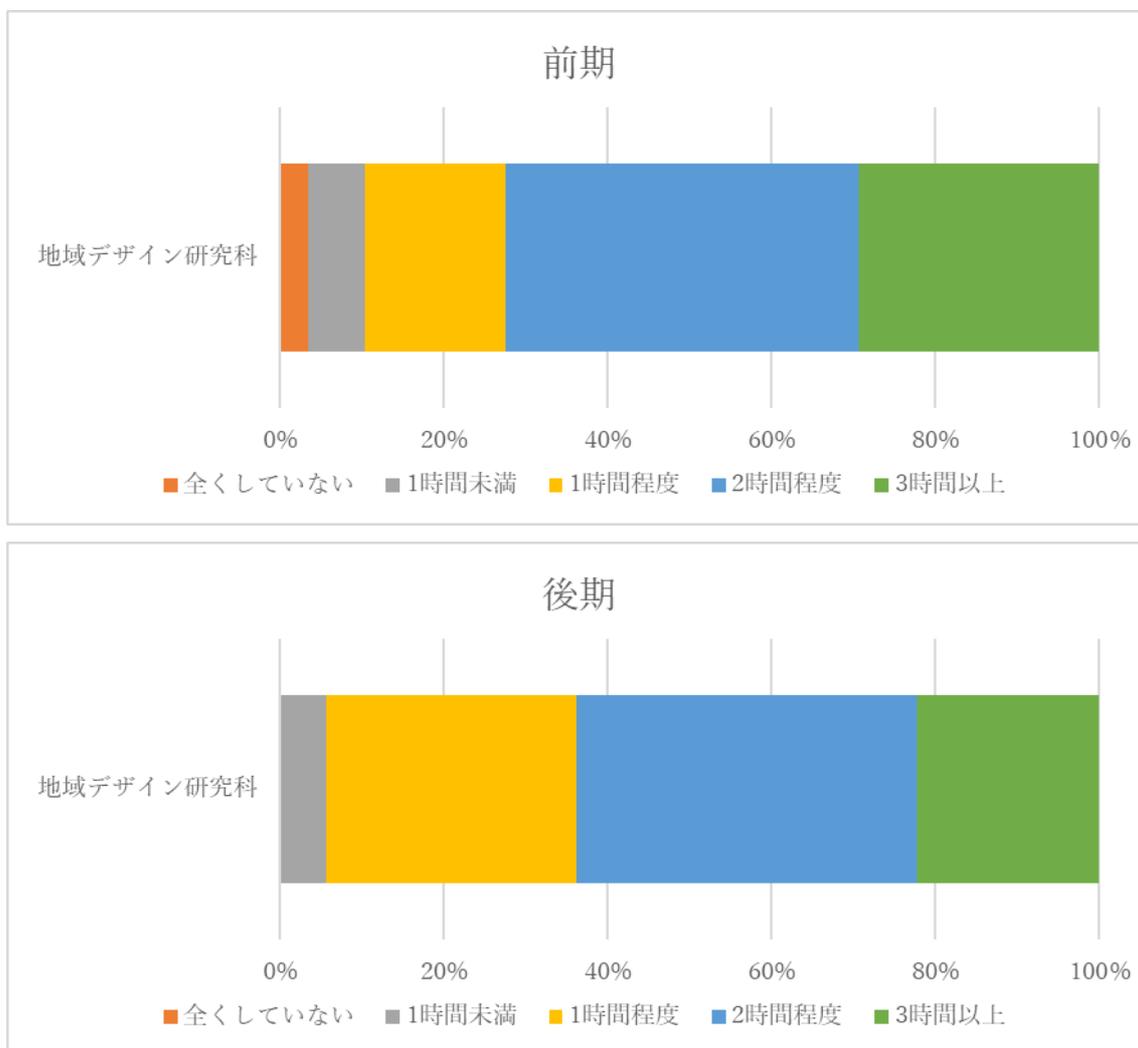
以下では令和2年度（以下、今年度）の授業評価アンケートの回答結果について、令和元年度と比較も含め、評価すべき点と改善すべき点を明らかにする。

A-1 出席率はどのくらいですか。



おおむね良好な出席であり、研究科の教育が良好であることを示す。

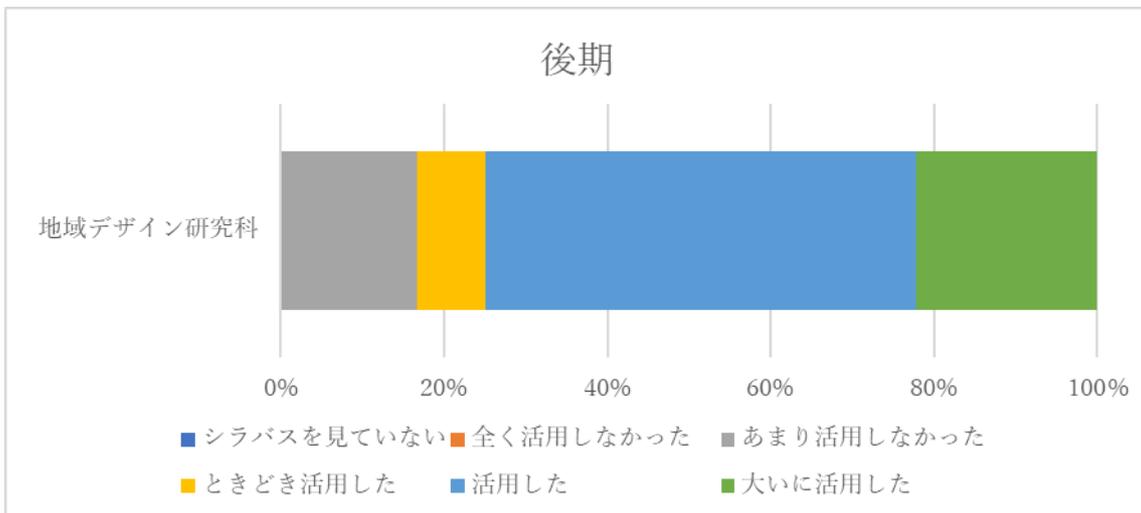
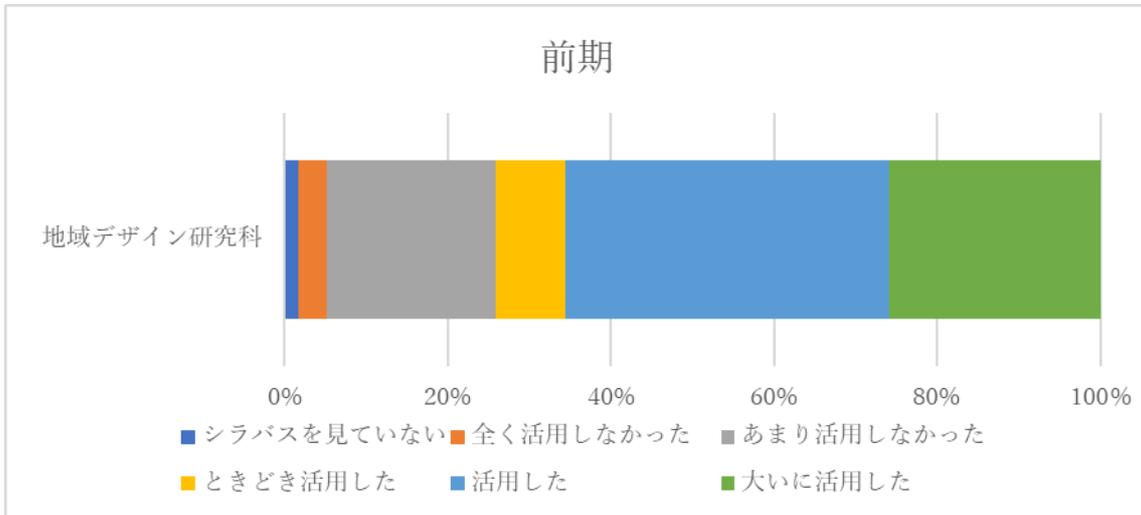
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。



60%~70%の学生が2時間程度以上の時間を授業時間外学習にあてていて、研究科の教育が良好なことを示す。

前期に授業時間外学習を全くしていないという回答が数パーセントある。研究科の教育として少数であるが受け身の受講態度の学生が存在するのは改善を要する。後期には全くしていないという回答がなくなるのは、研究科の教育を通じて学生の受講態度が改善され、教育が良好なことを示す。また、芸術デザインコースと地域マネジメントコースからなる。修士論文作成とともに、芸術デザインコースの学生は卒業制作の作成、地域マネジメントコースの学生はフィールド調査・アンケート調査なども授業時間外学習の時間となる。大きく特徴の異なる研究方法の学生の混在が上記のような結果となったと考えられる。

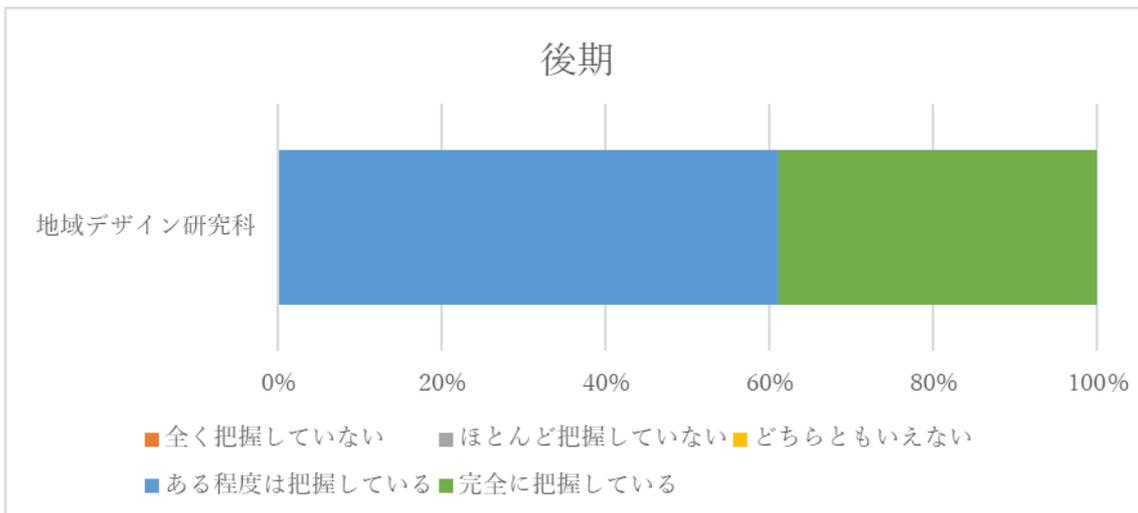
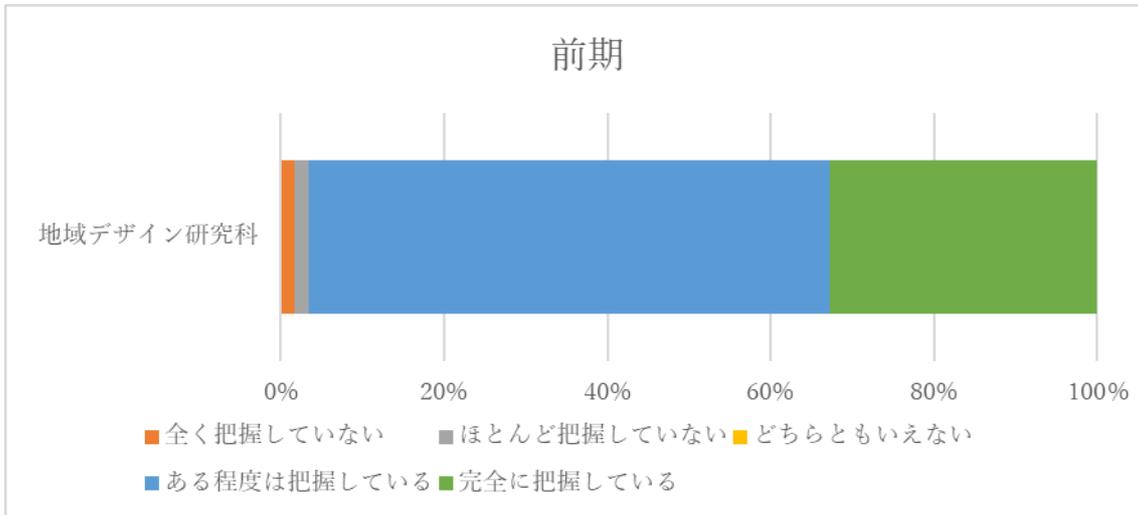
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



75%～80% の学生がシラバスを活用したと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

前期に、シラバスを見ていない、全く活用しなかったという回答が数パーセントある。シラバスは科目選択の重要な情報源であり、履修中の学習内容の位置づけの重要な情報源であるので、シラバスを活用しない学生が存在するのは改善を要する。一方、後期には、シラバスを見ていない、全く活用しなかったという回答がなくなるのは、研究科の教育を通じて学生の受講態度が改善され、教育が良好なことを示す。また、芸術デザインコースと地域マネジメントコースからなる。講義科目とともに、芸術デザインコースの学生は実技科目などもある。大きく特徴の異なる科目の混在が上記のような結果となったと考えられる。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

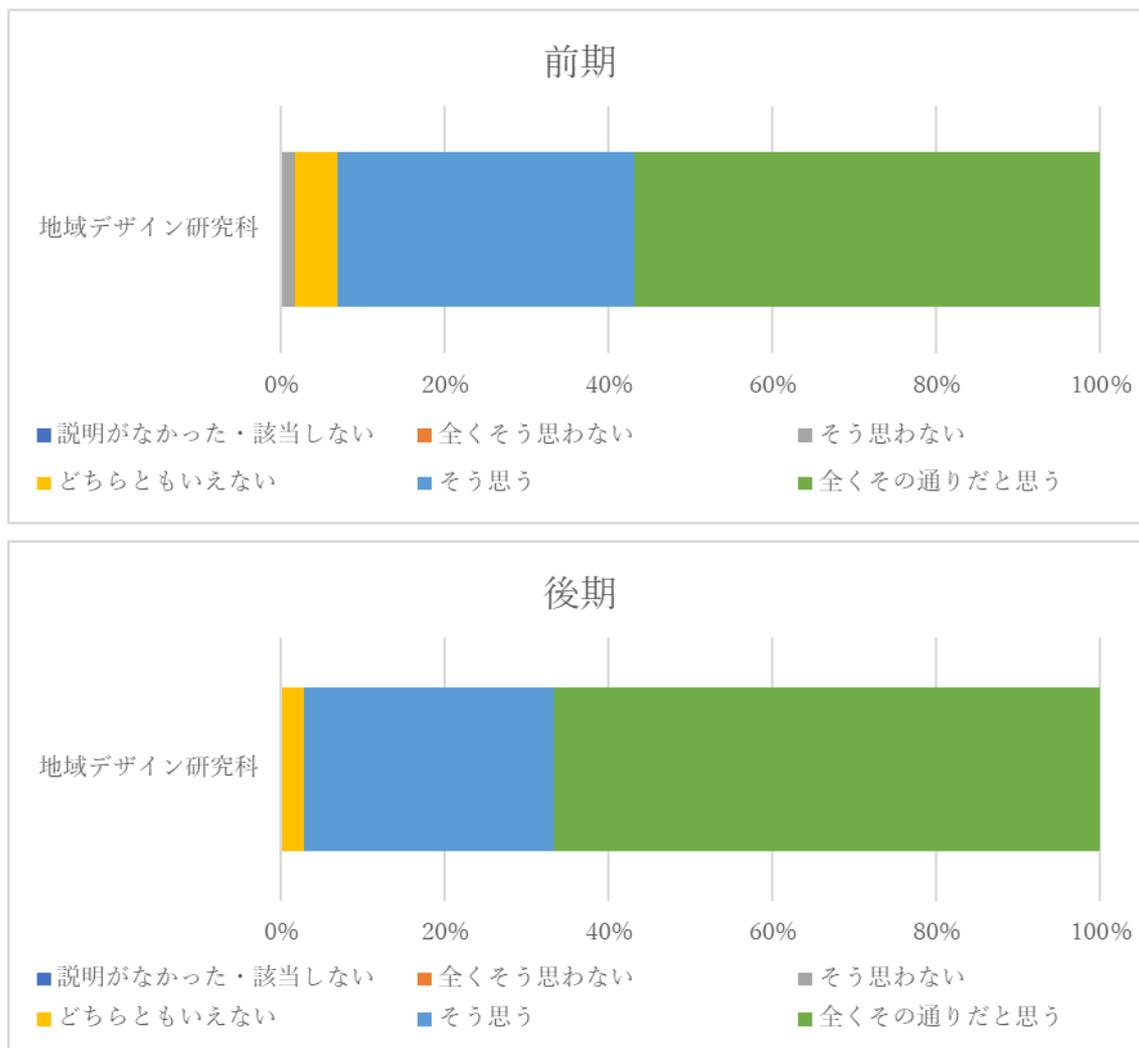


ほとんどの学生が学習到達目標や成績評価基準を把握していると回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

前期には、学習到達目標や成績評価基準を全く把握していない、ほとんど把握していないという回答が数パーセントある。学習到達目標を知ることは履修登録でのもっとも重要な情報であり、成績評価基準の把握は成績の妥当性の検証に必要な情報である。シラバスで告知し、講義開始時点で説明すべき事柄であるから、把握していない学生が存在するのは改善を要する。一方、後期には、把握していないという回答がなくなるのは、研究科の教育を通じて学生の受講態度が改善され、教育が良好なことを示す。また、芸術デザインコースと地域マネジメントコースからなる。講義科目とともに、芸術デザインコースの学生は実技科目などもある。大きく特徴の異なる科目の混在が上記のような結

果となったと考えられる。

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

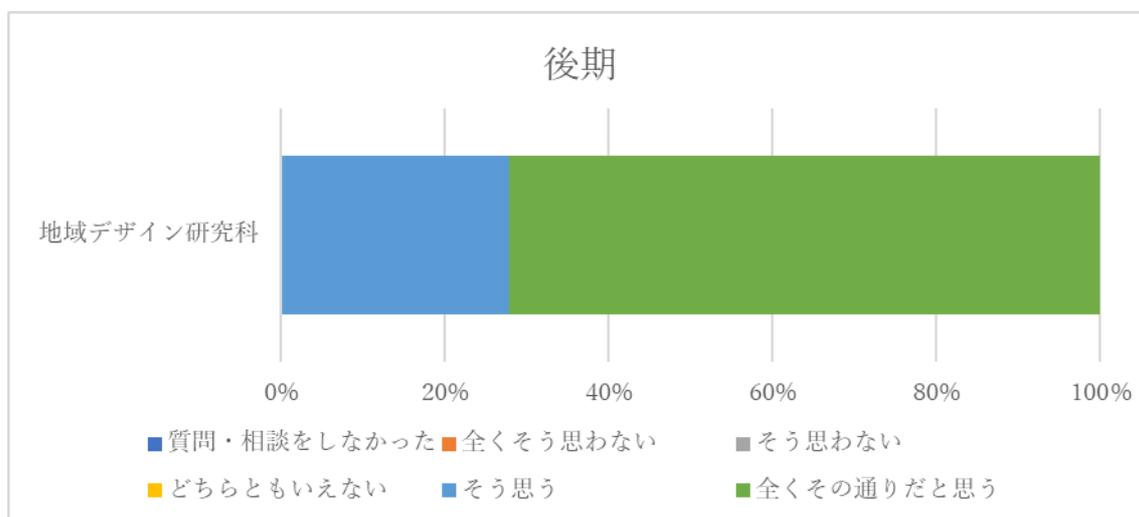
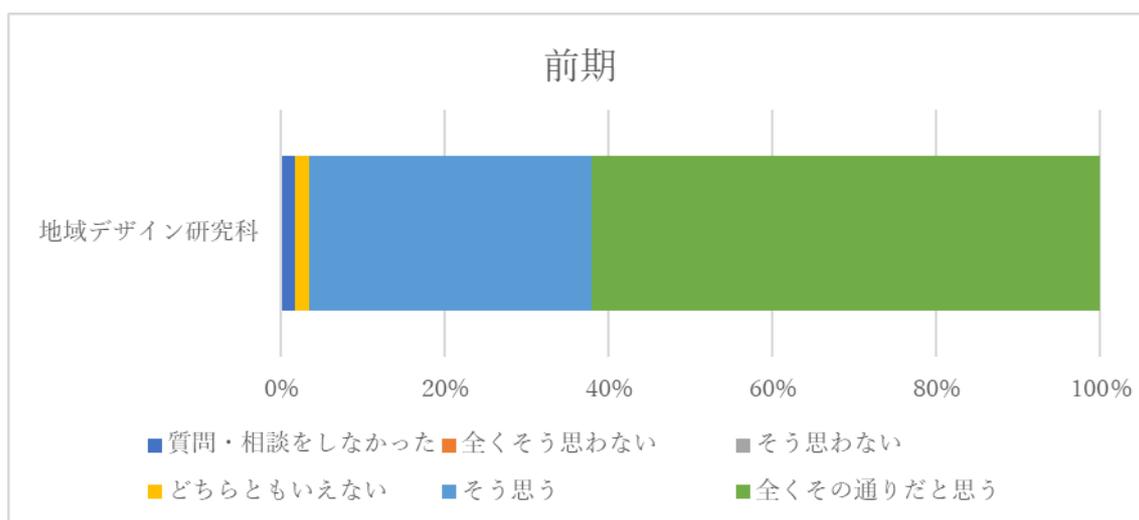


ほとんどの学生が教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益であると回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

前期には、教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明が有益ではない、どちらともいえないという回答が数パーセントある。教育方法や成績評価方法はシラバスや講義開始時点で説明すべき重要な事柄であるから、有益でなかったと感じる学生が存在するのは改善を要する。一方、後期には、有益ではなかったという回答がなくなるのは、研究科の教育を通じて学生とのコミュニケーションが改善されたことを示し、教育が良好なことを示す。また、

芸術デザインコースと地域マネジメントコースからなる。講義科目とともに、芸術デザインコースの学生は実技科目などもある。大きく特徴の異なる科目の混在が上記のような結果となったと考えられる。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

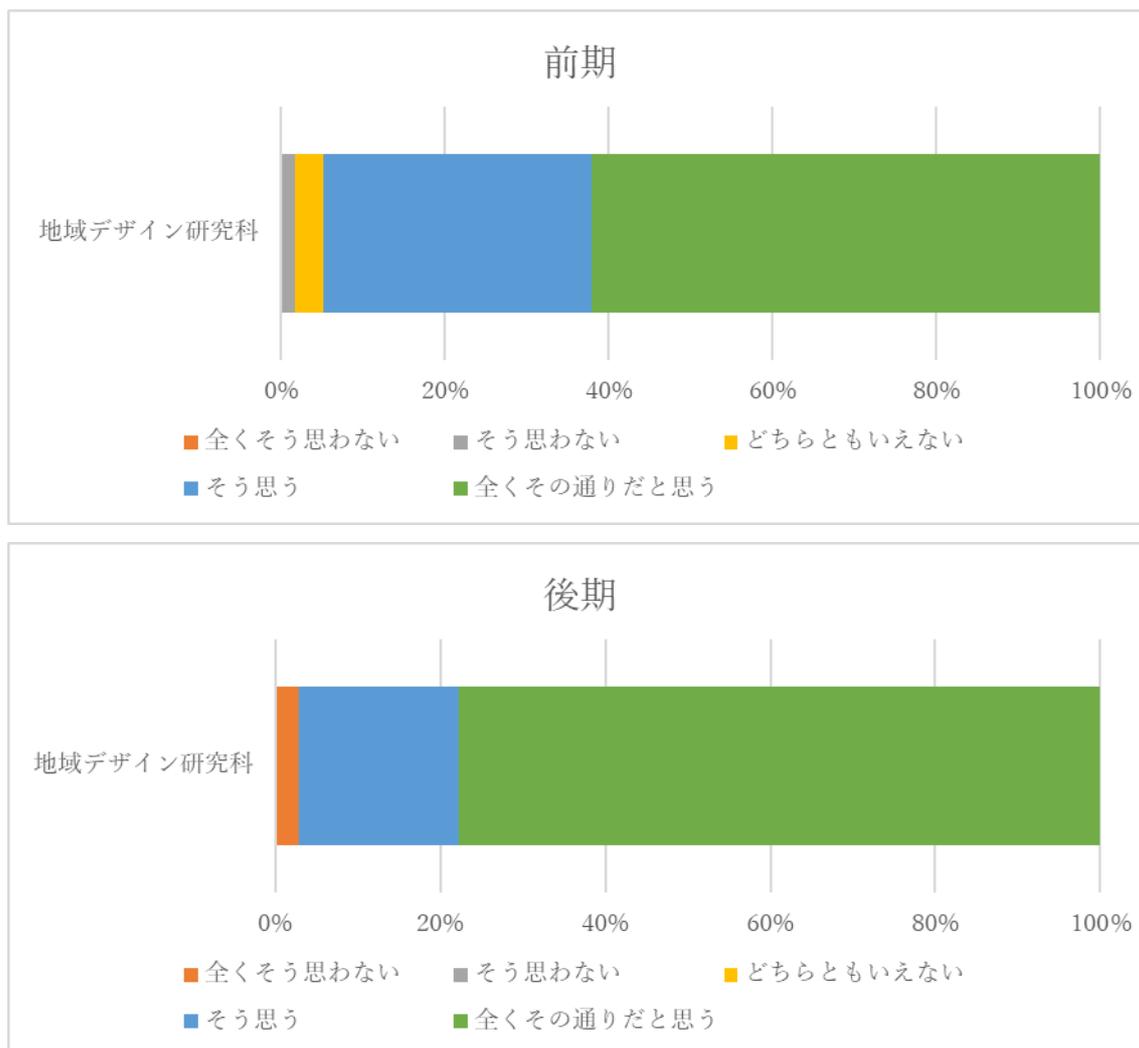


ほとんどの学生が教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益であると回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

前期には、教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明が有益ではない、どちらともいえないという回答が数パーセントある。教育方法や成績評価方法はシラバスや講義開始時点で説明すべき重要な事柄であるから、有益でなかったと感じる学生が存在するのは改善を要する。一方、後期には、有益ではなかったという回答がなくなるのは、研究科の教育を通じて学生との

コミュニケーションが改善されたことを示し、教育が良好なことを示す。また、芸術デザインコースと地域マネジメントコースからなる。講義科目とともに、芸術デザインコースの学生は実技科目などもある。大きく特徴の異なる科目の混在が上記のような結果となったと考えられる。

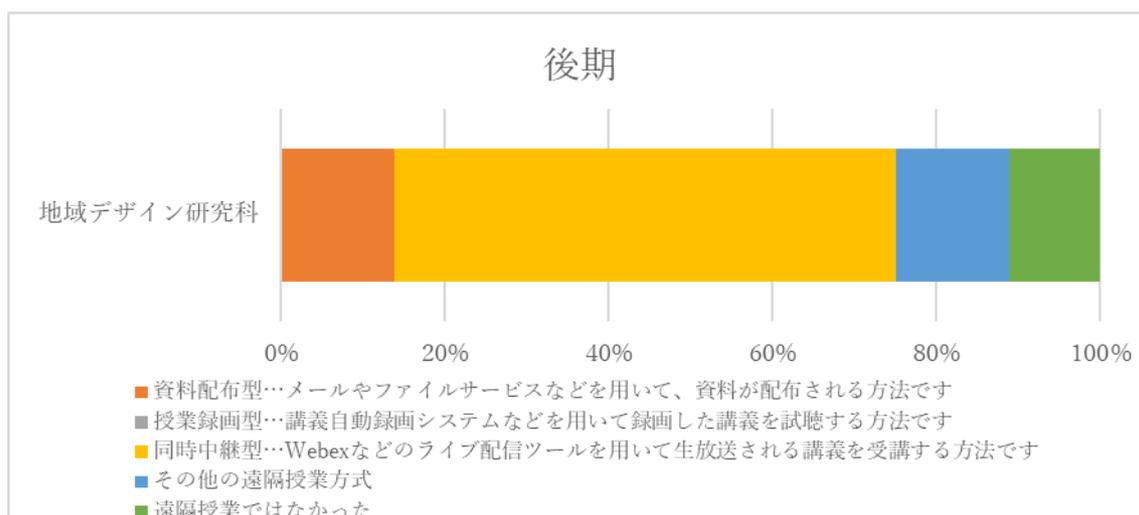
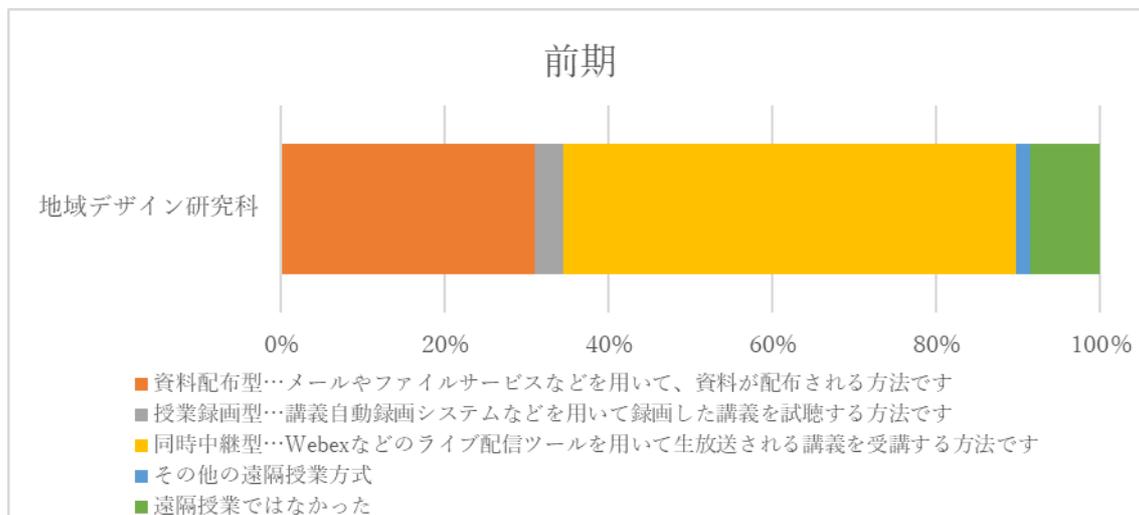
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。



ほとんどの学生が教員の意欲と熱意が感じられたと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

教員の意欲と熱意を感じられないが数パーセントある。学生の期待に応えていない教員の存在は改善を要する。なお、令和元年度の調査でも、意欲と熱意を感じられない、またはどちらともいえないとの回答が存在し、この問題が継続していることがわかる。

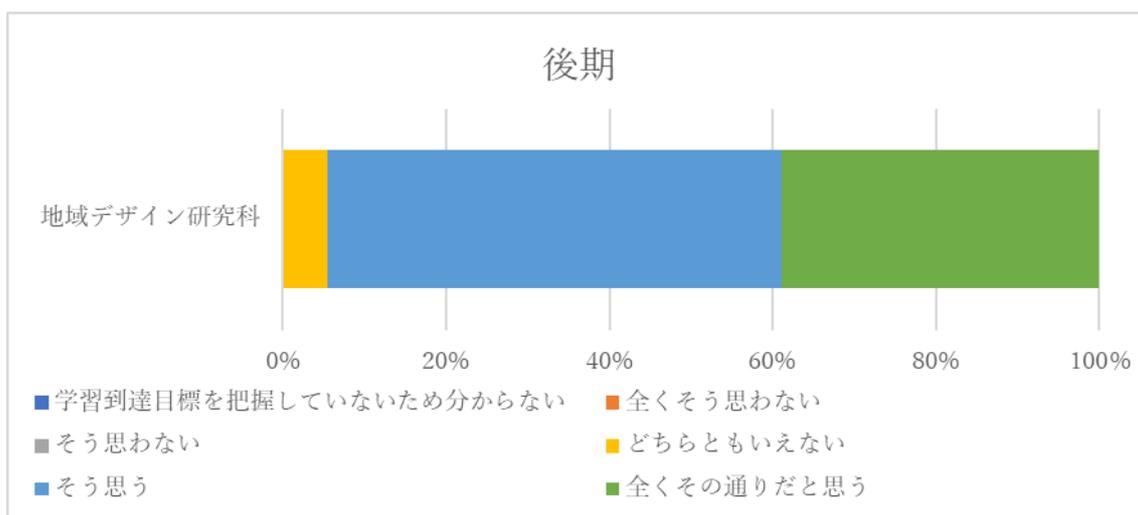
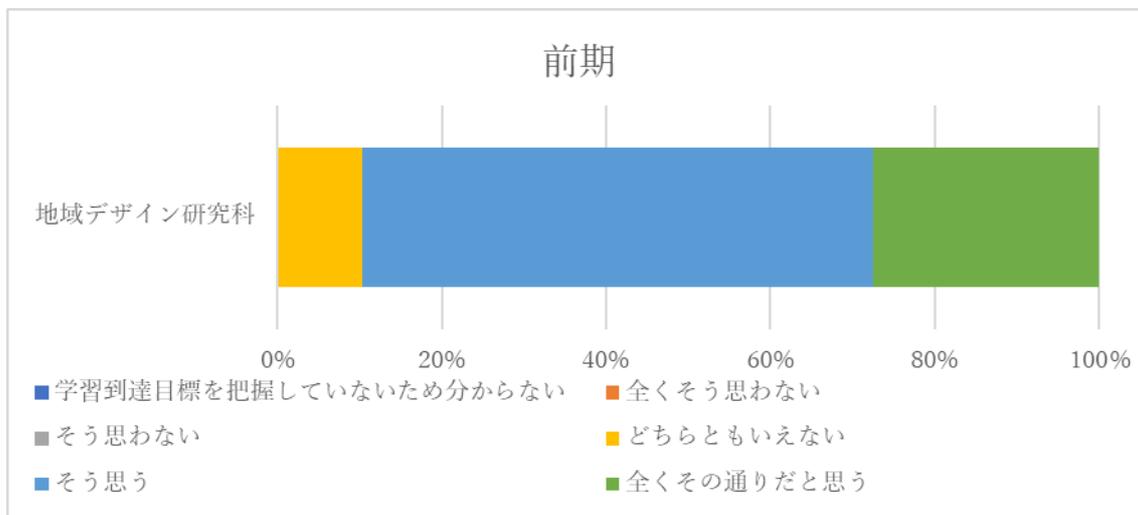
C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策で原則として遠隔授業が求められた。その中で地域デザイン研究科では10%前後の対面授業が行われたことがわかる。これは芸術デザインコースの実技科目など特別に認められた科目である。授業を介した感染が存在しなかったため、十分な感染対策がとられたことがわかる。

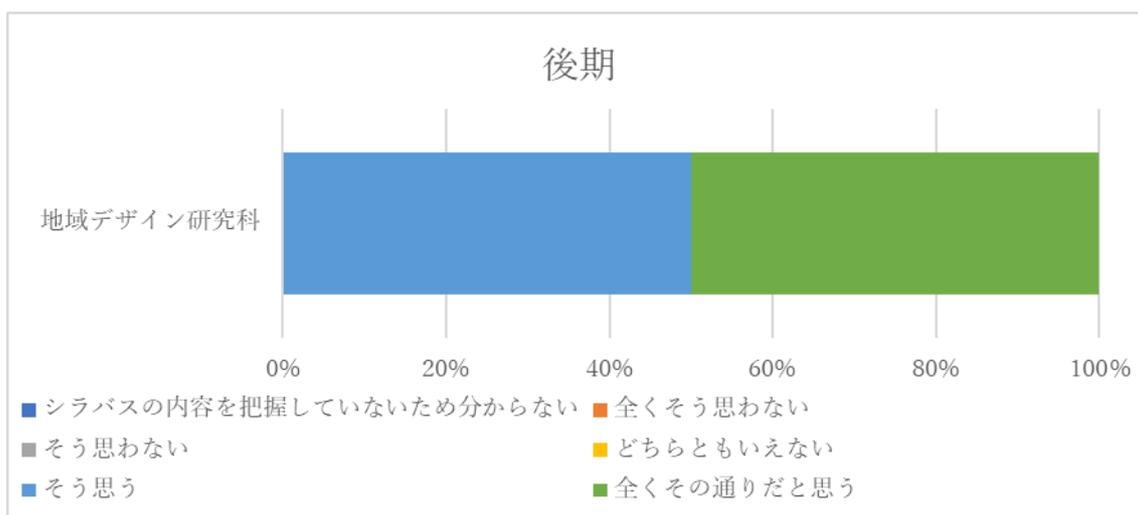
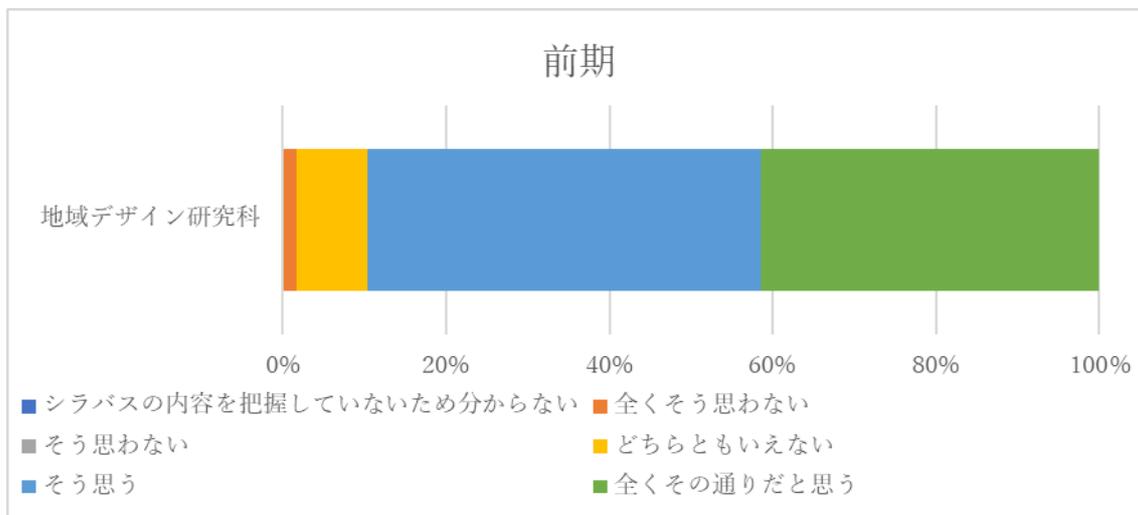
学生とのコミュニケーションが希薄となる、資料配布型や授業録画型の講義が後期には半減している。これは学部でのFDなどを通じて、授業方法や学生の要望などを取り入れての改善の結果であり、研究科の教育が学生の要望を取り入れた改善に積極的に取り組んでいることを示す。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



前期で90%、後期で95%の学生が学習到達目標を達成できていると回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

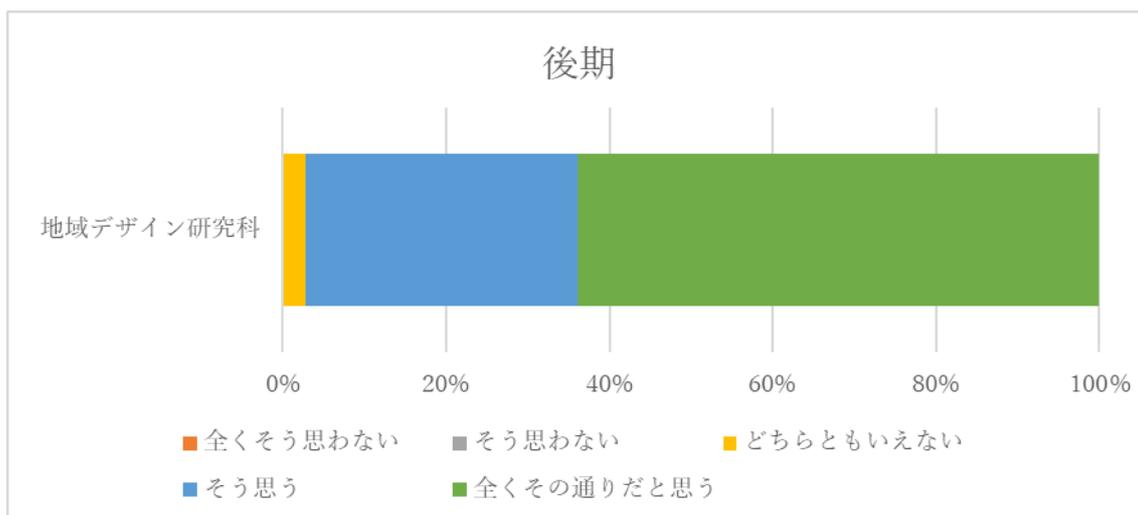
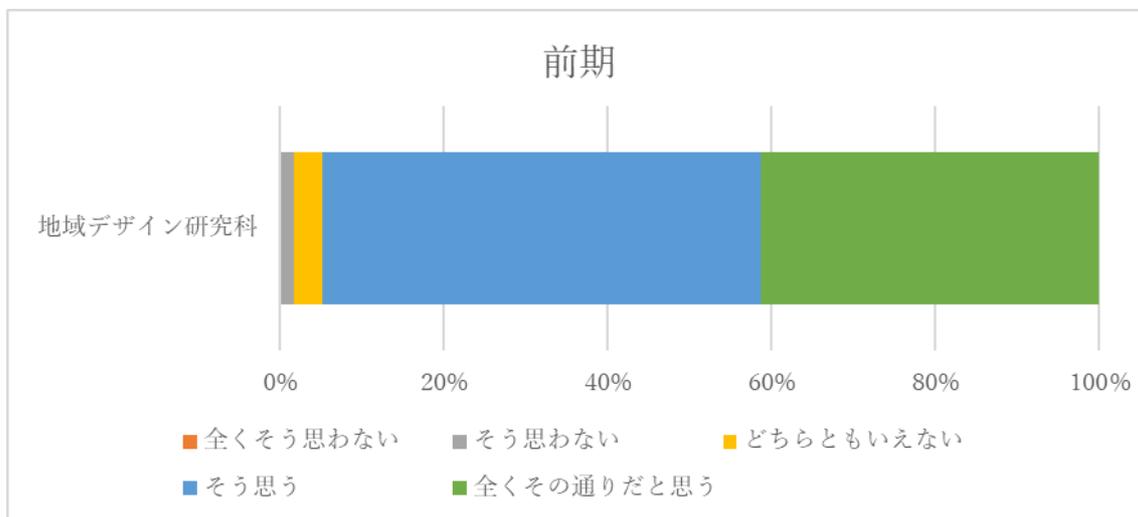
C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



前期で90%、後期で100%の学生が学習到達目標を達成できていると回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

前期に、シラバスに基づいていない授業内容であったとの回答が数パーセントある。この原因が、学生の期待に応えていない講義内容にあるのであれば改善を要する点である。

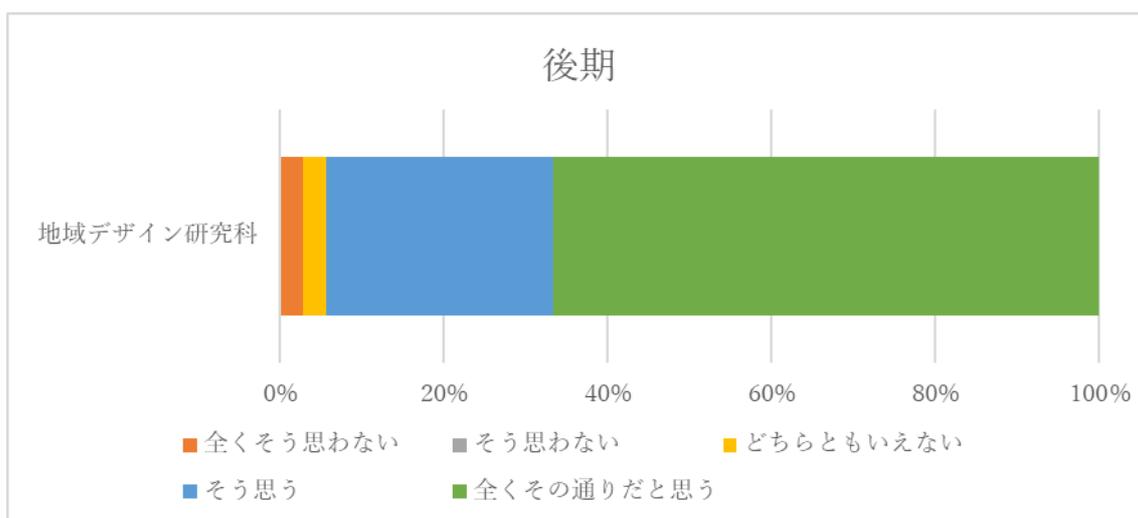
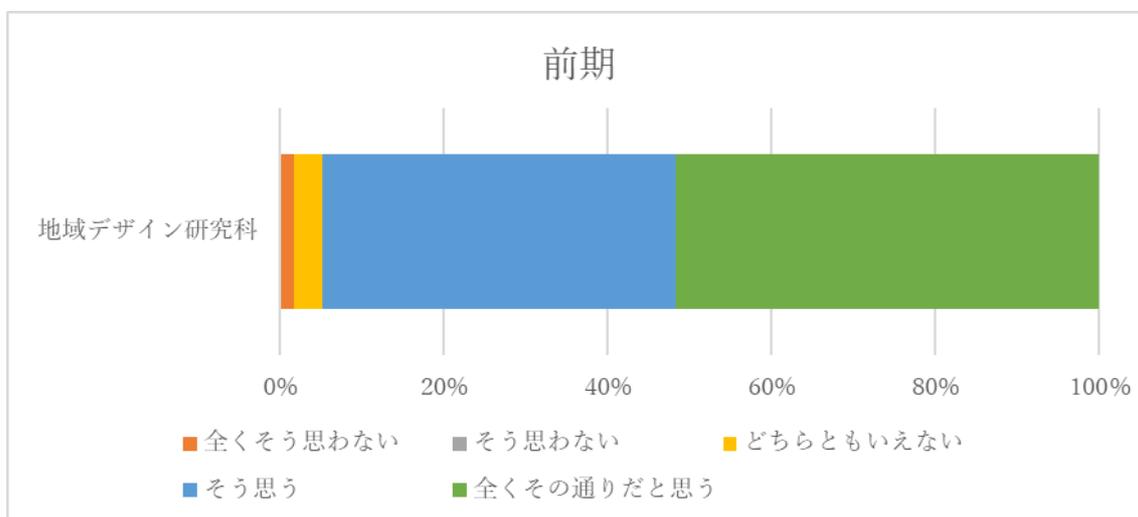
C-4 教材（教科書、配布資料）や I C T 環境（Live Campus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、E ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。



ほとんどの学生が教材や ICT 環境が授業の理解の役立つと回答しているので、研究科の教育が良好なことを示す。

前期に、教材や ICT 環境が授業の理解の役立つと思わないとの回答が数パーセントある。この原因が、学生の期待に応えていない講義内容にあるのであれば改善を要する点である。

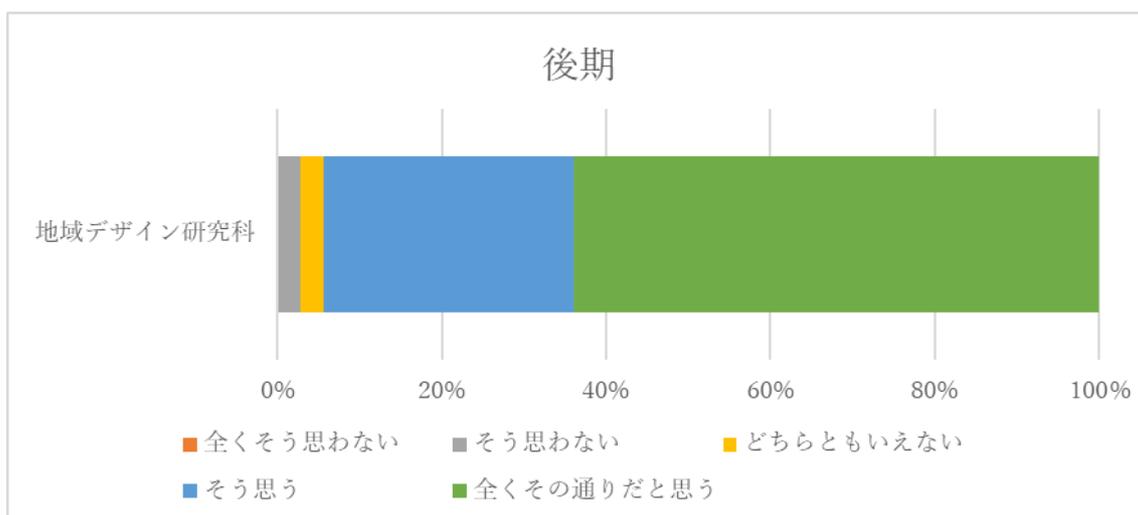
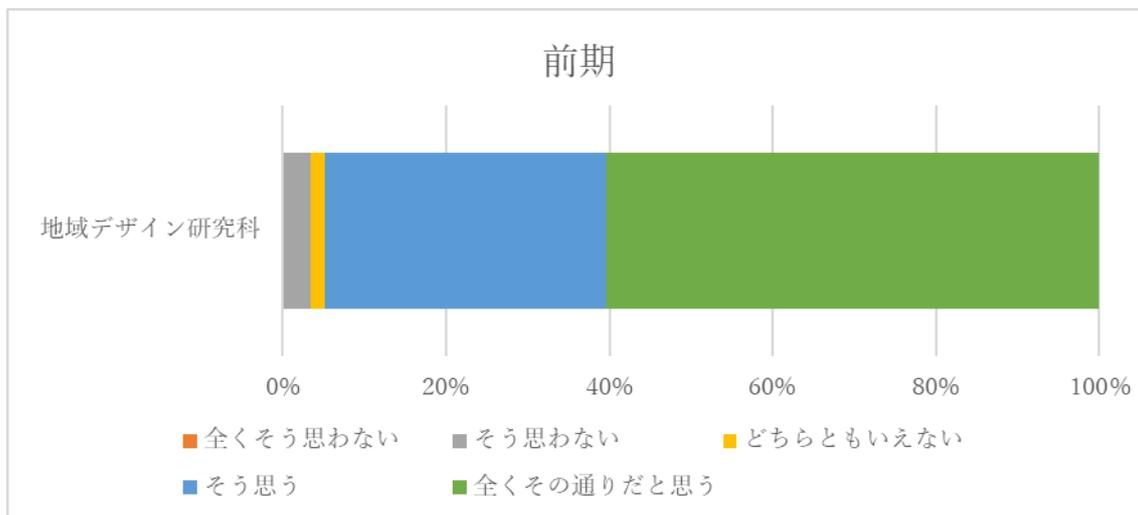
C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



ほとんどの学生が、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったと回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

特に、令和2年度はコロナ感染症防止対策で遠隔授業が原則となり、コミュニケーション手段の不慣れや制約のある状況での上記の回答結果は研究科の教育がとても良好なことを示している。

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。



ほとんどの学生が、全体として満足できると回答しており、研究科の教育が良好なことを示す。

令和元年度と比べると、前期・後期ともに「全くその通りだと思う」と答えた割合が10ポイントほど減少している。この減少の原因が、コロナ感染症防止対策による遠隔授業など入学前の予定と異なる教育であったのか、研究科の教育の改善すべき点が生じたのか、来年度以降の推移の追跡が重要である。

佐賀大学経済学部

令和2年度「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

令和3年9月

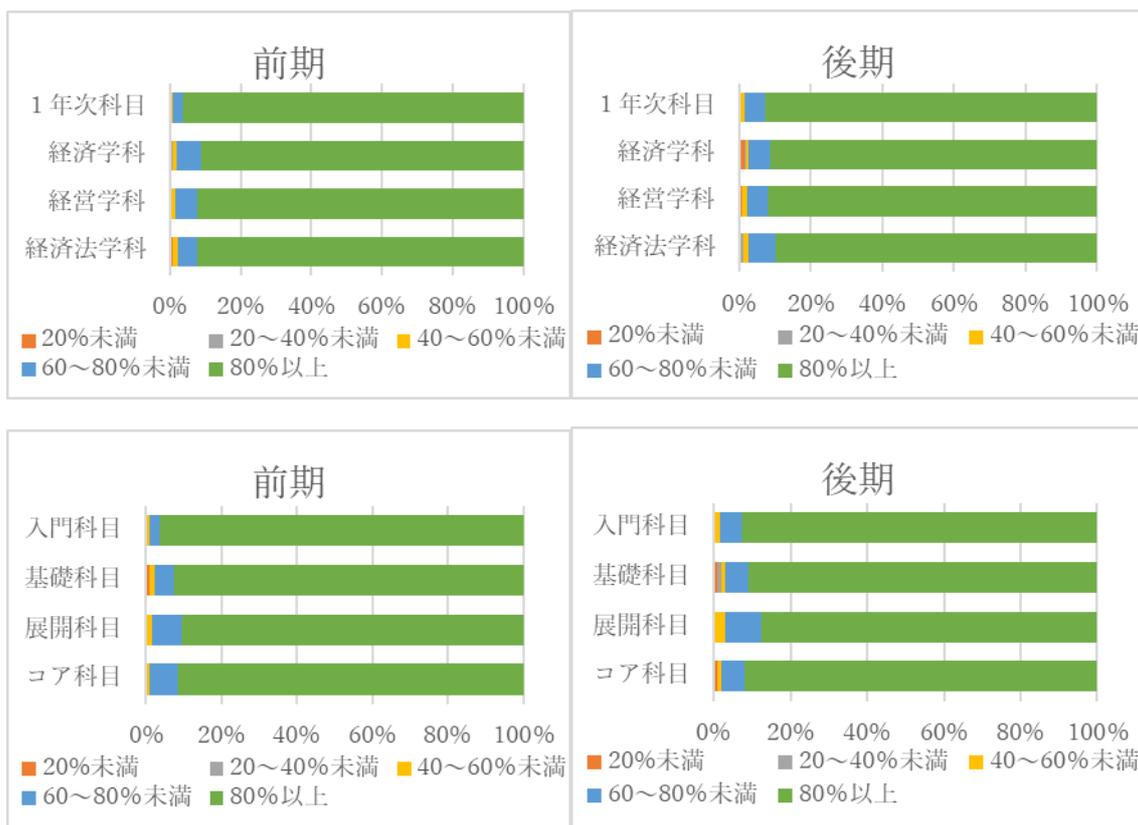
佐賀大学経済学部

経済学部組織別授業評価分析結果

経済学部では、授業を学年および学科別に1年次科目（全学科）、2年次以上の科目（経済学科科目、経営学科科目、経済法学科科目）に大別するとともに、科目分類別に入門科目（1年次科目）、基礎科目（2年次科目）、展開科目（3・4年次科目）、コア科目（2年次後期以上の科目）に細かく分けて、アンケートを集計している。以下では令和2年度（以下、今年度）において、各アンケート項目の結果について令和元年度（以下、前年度）と比較分析を行い、評価すべき点と改善すべき点を明らかにする。

A. あなた自身について

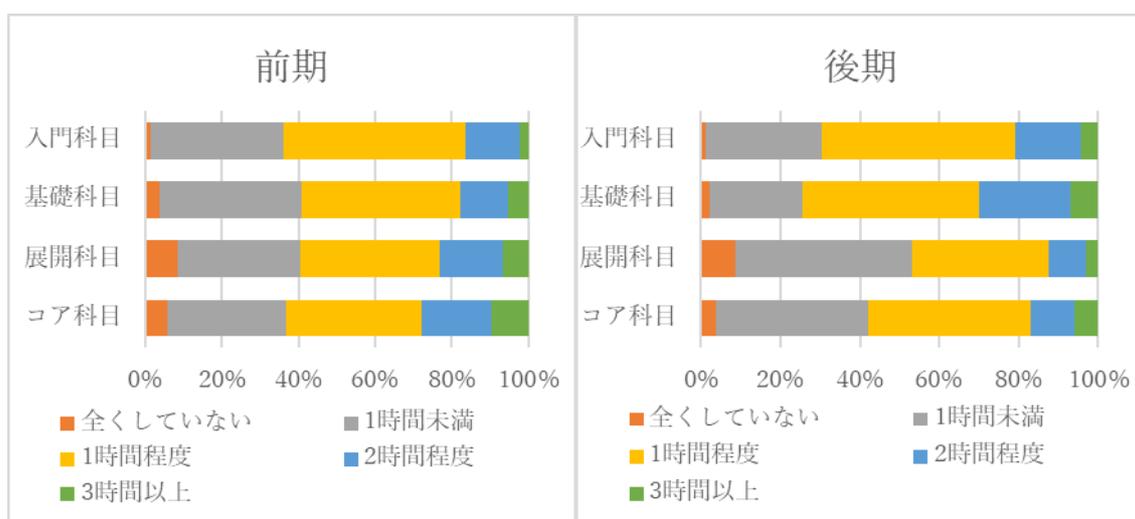
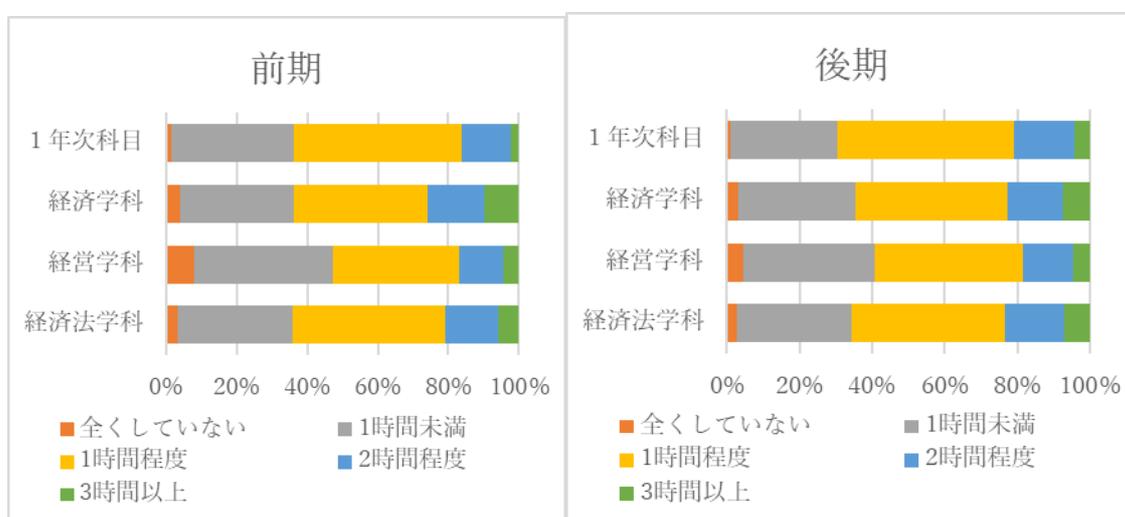
A-1 出席率はどのくらいですか。



上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通じた出席率を示す。80%以上出席している学生の割合が90%以上で、前年度と比較して大きく改善している。コロナ禍でステイ・ホーム状況下での遠隔授業という条件が出席率向上に大きく影響したものと考えられる。

下半分のグラフは科目分類別にみた出席率を示す。入門科目については出席率が 80%以上の学生が 90% 以上を占めていること、後期の入門科目では 80%以上出席した学生の割合は前期のそれよりも減少しており、学部 1 年生が中だるみしている可能性が示唆される。また、展開科目が他の分類よりも出席率が悪い傾向は前年度とほぼ同じである。一方、すべての科目分類において出席率が前年度よりも改善したことが大きな違いである。ステイ・ホーム状況下での遠隔授業が出席率向上に大きく影響したものと考えられる。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか。



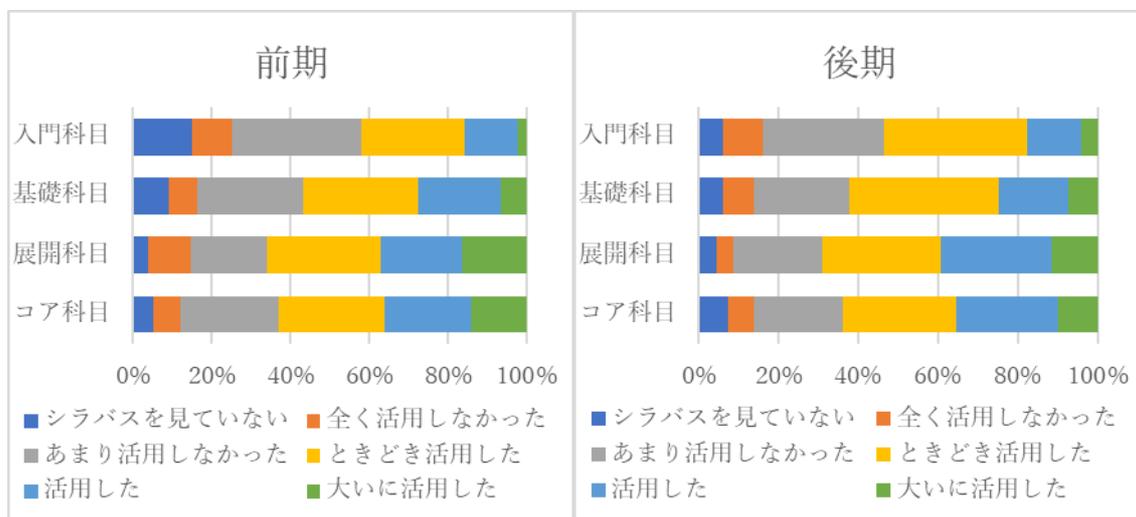
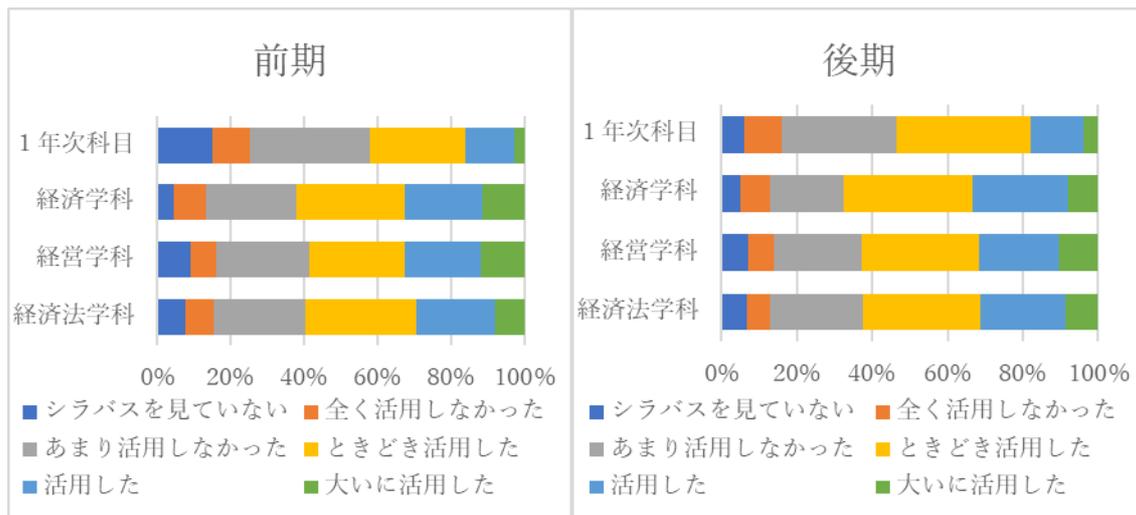
上半分のグラフは、1 年次科目と学科別科目の前・後期を通した授業時間外学習の時間を示す。下半分のグラフは科目分類別にみた授業時間外学習の時間を示す。

前年度と比べて、すべての項目で授業時間外学習の時間が増加している。これは、遠隔授業における学習到達度の確認のために多くの課題が学生に課され、回答の作成のために

授業時間外学習の時間が増加したと考えられる。

懸念されるのが提出課題の学生へのフィードバックである。質問 B-2「担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか」での不適切な対応との回答は 20% 前後であり、課題の多さに対して教員が適切にフィードバックを行っていたことがわかる。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



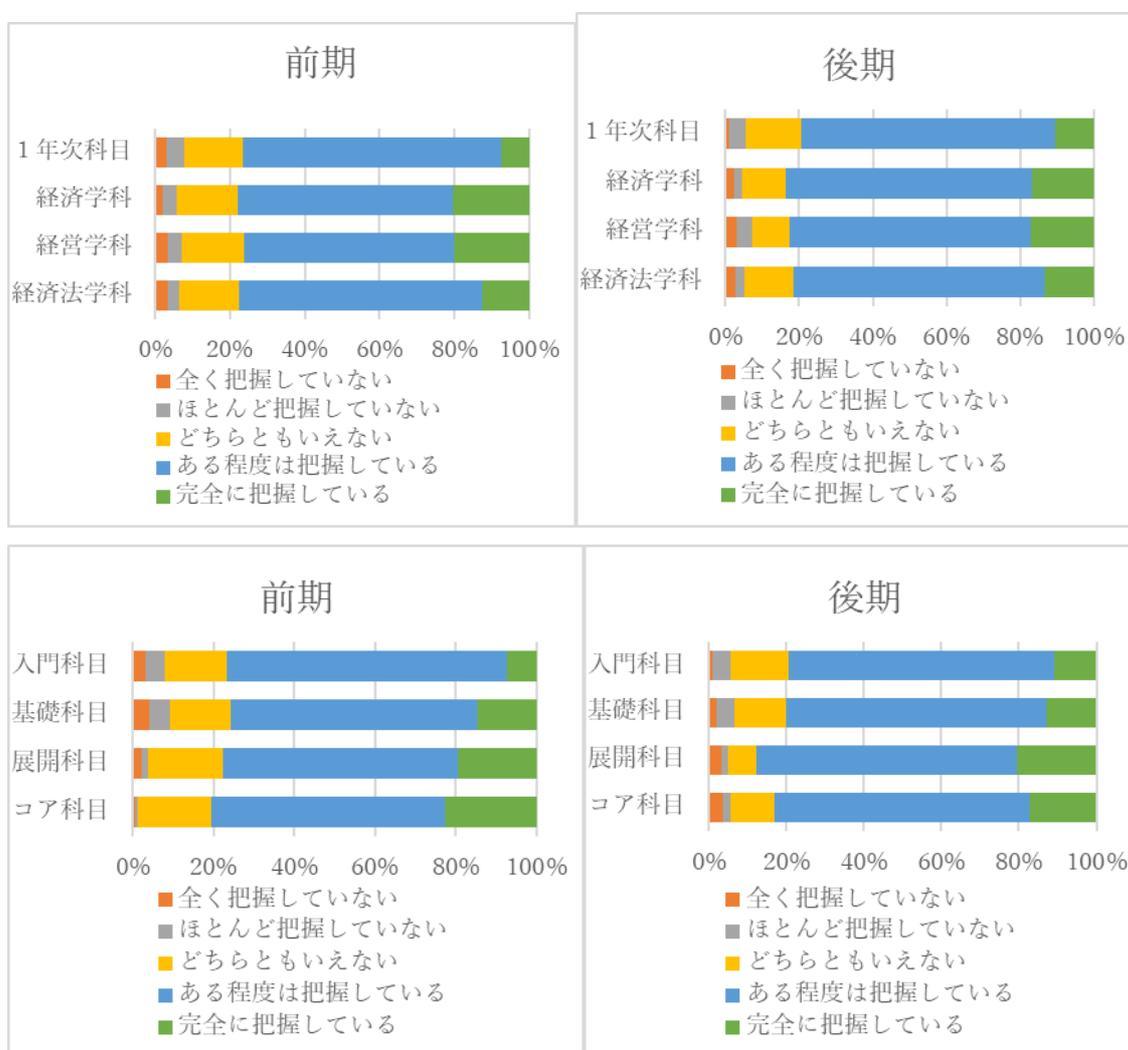
上半分のグラフは、1 年次科目と学科別科目の前・後期を通したシラバスの活用状況を示す。下半分のグラフは科目分類別にみたシラバスの活用状況を示す。

前年度と比べて、シラバスの活用状況が悪化している。これは、コロナ禍遠隔授業の開始に伴い Microsoft Teams などが開講前や講義期間の情報共有手段として活用され、代替手段に出現によってシラバスの活用が減ったとも考えられる。

また、質問 C-3「授業の内容はシラバスに基づいていましたか」でも分析するように、1年生科目（＝入門科目）では「シラバスを見ていない」という回答が後期になると半減している。これは、新入生に対する前期のシラバスの利用指導が不十分であったことを示す。上記のように、シラバスだけが教員と学生の情報共有手段でないことを考慮の上、大学入門科目でのシラバスの利用指導の検討が必要である。

一方、コア科目や展開科目ではシラバスの活用が進んでいるので、シラバス活用に関するFDなど教育方法の情報交換がシラバスの活用をうながすと考えられる。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。



上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通した学習到達目標の把握を示す。下半分のグラフは科目分類別にみた学習到達目標の把握を示す。

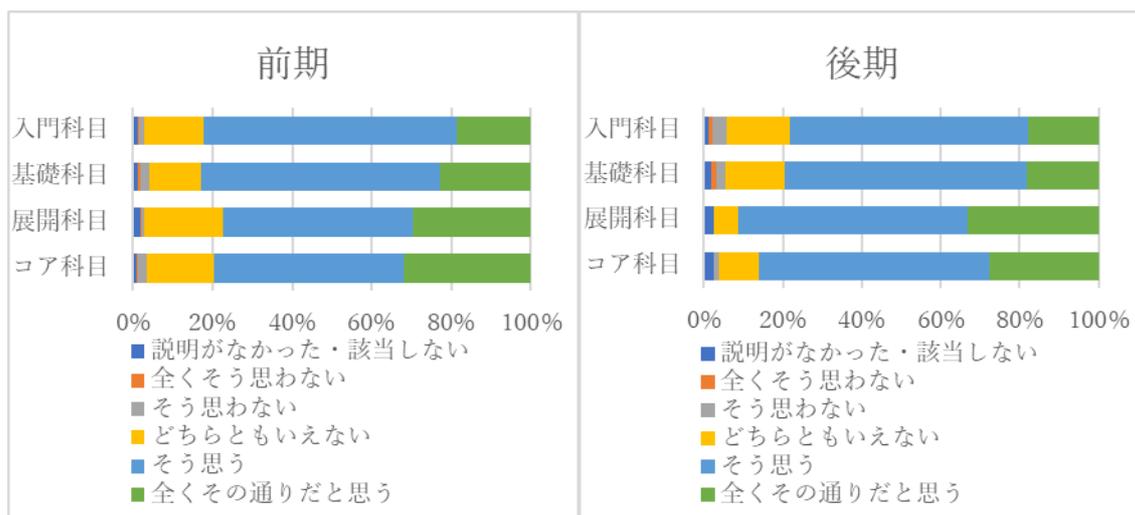
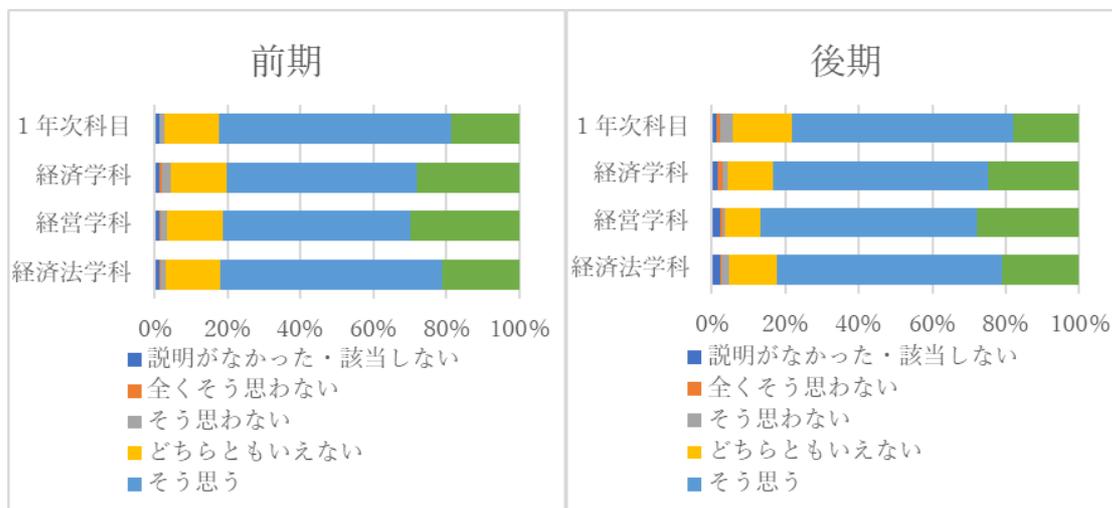
すべての項目で前年度よりも改善している。活用度の落ちたシラバスに記述される学習

到達目標と成績評価基準がより多くの学生に理解されたのは分析が必要な現象である。原因としては、遠隔授業の実施に際して教員の学習到達目標と成績評価基準の提示方法が変わったことが考えられる。これまで、シラバスやガイダンス授業での口頭での学習到達目標と成績評価基準の提示だったものが、遠隔授業を実施する上で学習到達目標と成績評価基準を繰り返して説明したり、スライドで提示したり配布したりするなど、より丁寧になったことと考えられる。

この結果は、学生による授業評価アンケートの教員へのフィードバックによって周知されるので、今後もよい方法が継続されると考えられる。

B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。



上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通した教育方法の有益さを示す。前年度と比べて概ね改善しているが、経済法学科の前期だけわずかに悪化している。

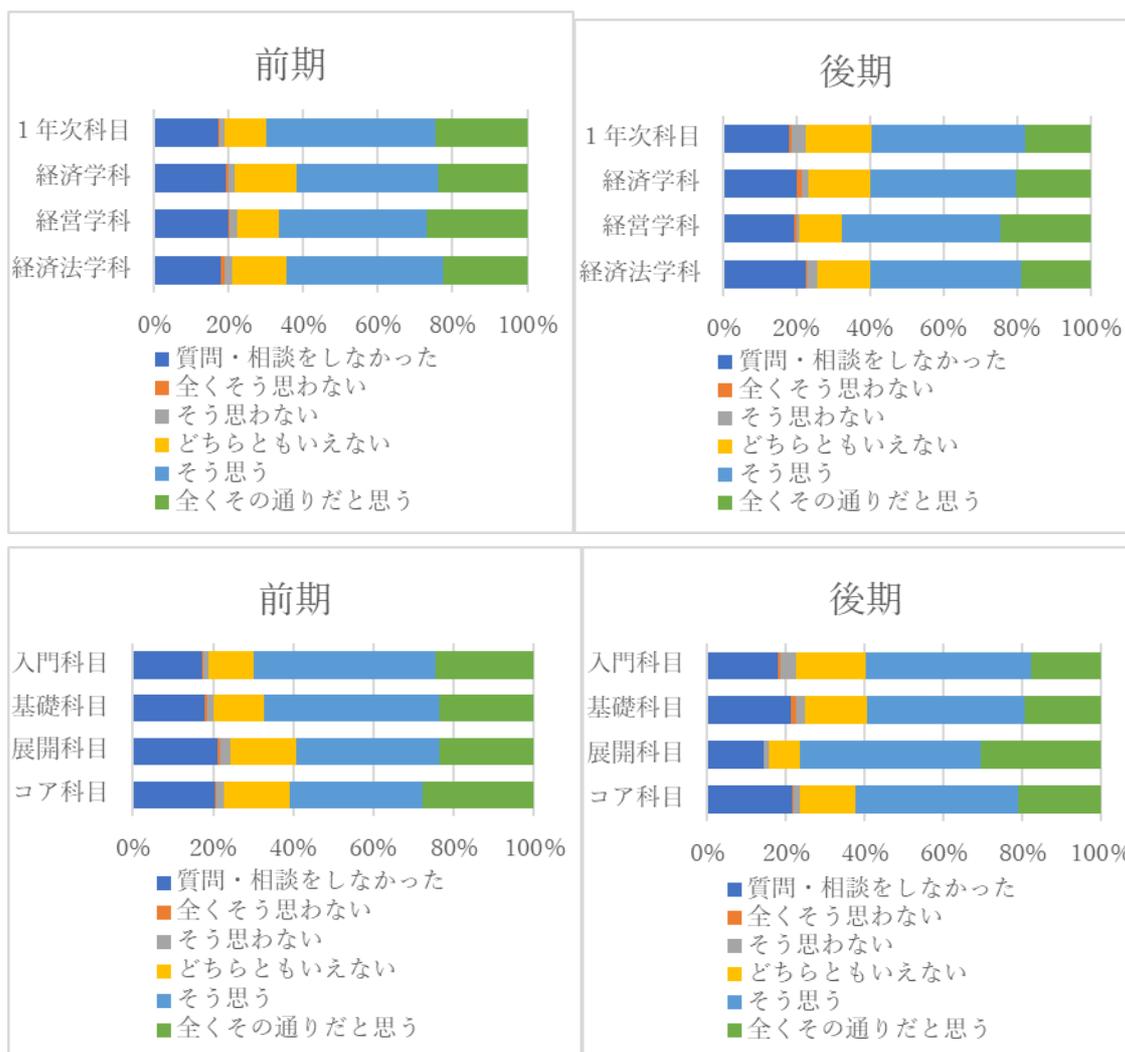
下半分のグラフは科目分類別にみた教育方法の有益さを示す。前年度と比べて概ね改善しているが、前期のコア科目と展開科目だけわずかに悪化している。

前年度まで70%台の多かった教育方法の有益さが、全体的に80%、後期の展開科目に関しては90%以上の有益だとの回答は教員の的確な教育手法の実施を裏付けている。今後この割合を維持できるように、学生にわかりやすく伝えていかななくてはならない。

一方、「どちらともいえない」、「そう思わない」、「全くそう思わない」、「説明がなかった・該当しない」と回答する学生も一定数存在している。とりわけ「どちらともいえない」と

回答する学生の割合は前年度より減少しているものの 20% 前後と決して少ないわけではない。これらの学生に教育方法や成績評価方法を理解してもらえるように、教員がシラバスや授業時間内に説明を徹底していくことが重要となる。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。



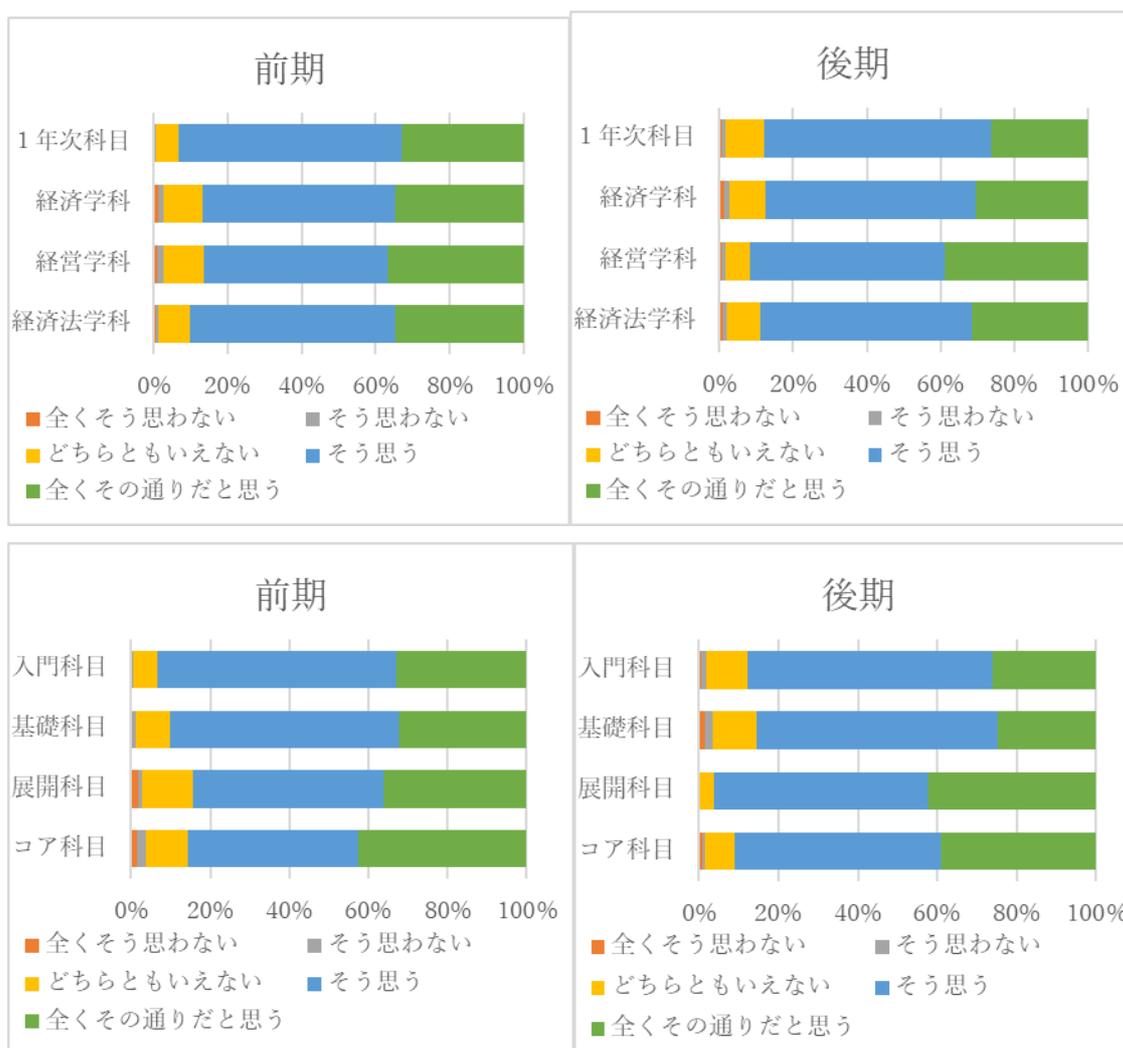
上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通じた質問対応への回答を示す。下半分のグラフは科目分類別にみた質問対応への回答を示す。すべての項目で改善した。

質問 A-2「授業時間外学習は1回の授業ごとにどの程度しましたか」でふれたように、令和2年度は多くの課題が課され、この項目の評価の改善は教員の学生対応の適切さを示す。

しかし、前・後期を通じて「質問・相談をしなかった」と回答する学生は2割程度存在しており、「どちらともいえない」と回答した学生を含めると20%~40%いる。この結果は前年度と変化がなく、検討の余地がある。特に学生が質問・相談をしたくてもできなかったとすれば、授業中・授業前後に質問・相談をしやすいような環境を作ることが重要と

なる。現在、経済学部では他学部と同様にオフィスアワーを設け、学生と対面で質問・相談に応じられるように配慮している。加えて遠隔授業では電子メールや Teams チャットで質問・相談ができる手段を提供している。これらの手段の周知は今後とも重要である。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。



上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通した教員の意欲の回答を示す。前年度と比べて概ね改善しているが、経済法学科の前期だけわずかに悪化している。

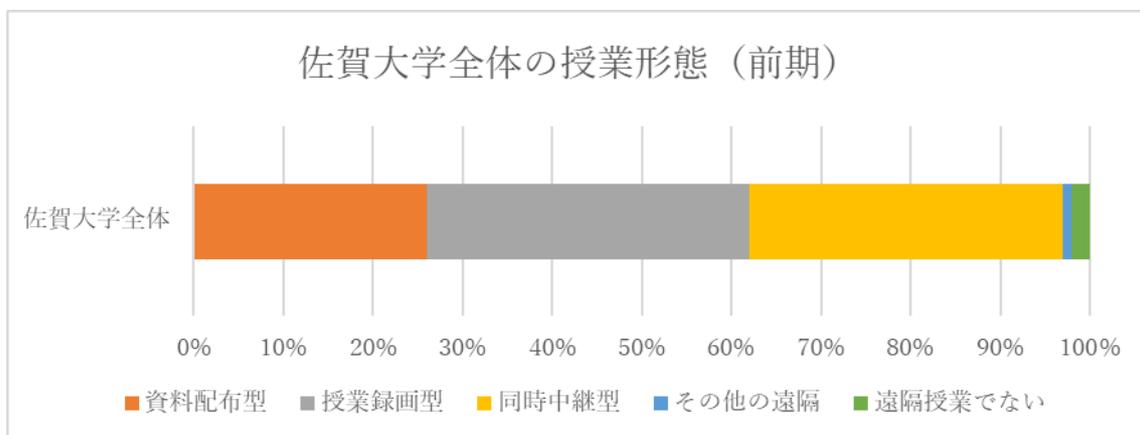
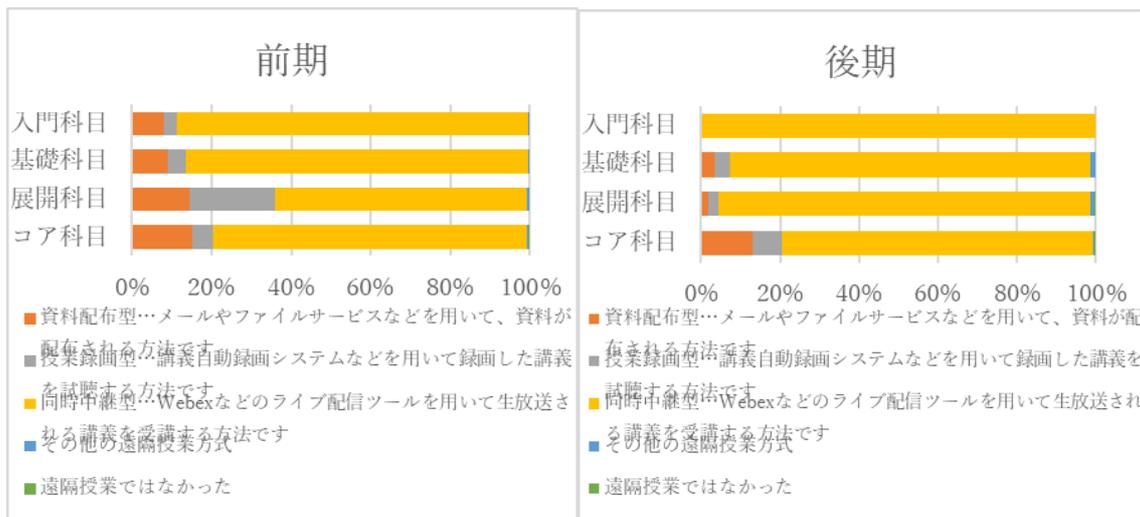
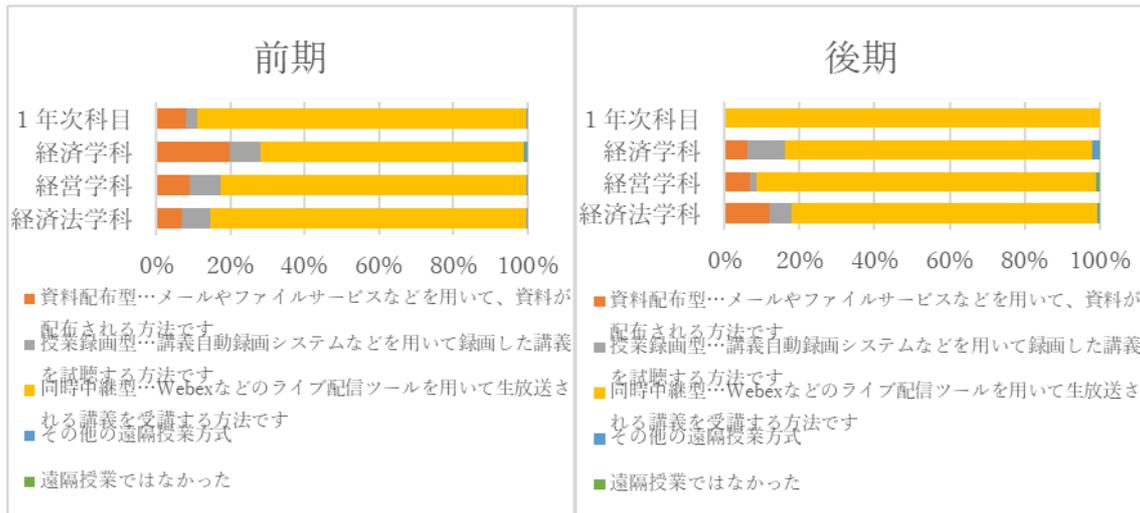
下半分のグラフは科目分類別にみた教員の意欲の回答を示す。前年度と比べて概ね改善しているが、前期のコア科目と展開科目だけわずかに悪化している。

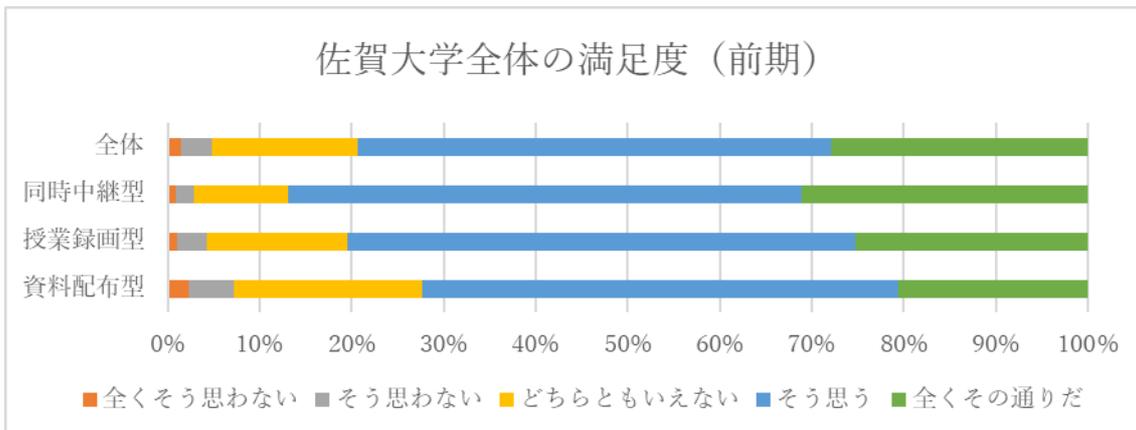
令和2年度において、教員の授業に対する意欲や熱意を感じたかという質問に対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と答えた学生は学科全体で8割に上っている。この傾向は前年度と変わっておらず、学生が前年度に引き続き肯定的な回答を寄せている。とりわけ前期の入門科目と基礎科目、後期のコア科目と展開科目で肯定的な回答が得られてお

り、この点は授業点検の効果が好影響をもたらしていると予想される。

C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。





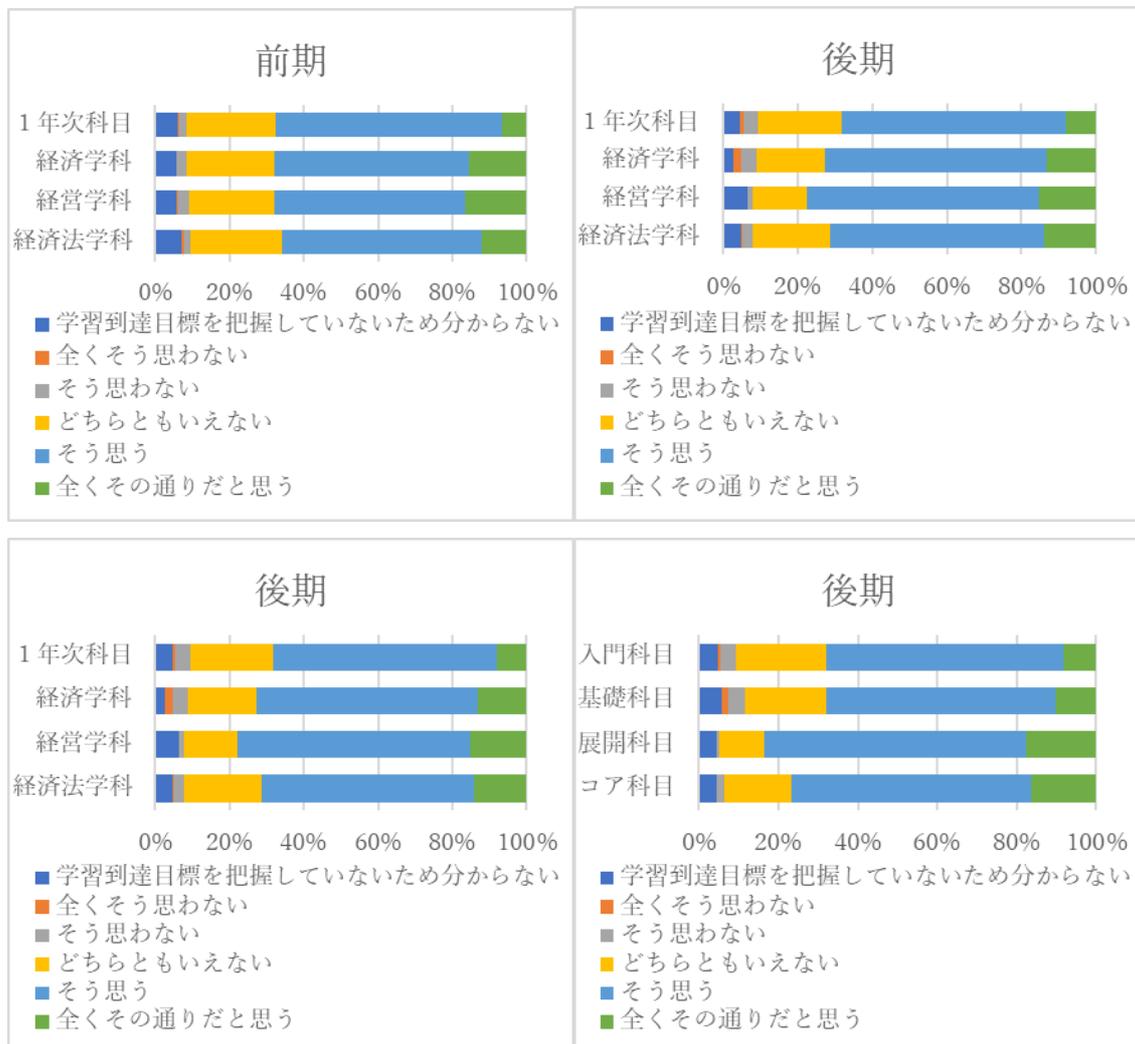
上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通じた授業形態を示す。中央のグラフは科目分類別にみた授業形態を示す。下のグラフは令和2年8月31日に教育室保証専門委員会に提示された授業形態、および授業の満足度を示す。

経済学部は他学部比べて同時中継型が大幅に多い。同時中継型は他の授業形態に比べて授業の満足度が高かったことがわかっている。したがって、経済学部は全体として学生の要望に適合した遠隔授業を行っていたことがわかり、すぐれた点である。

個別の項目を見ると、1年次科目（＝入門科目）に資料配布型や授業録画型の遠隔授業の回答があるが、経済学部として1年次科目は全科目同時中継型で実施する申し合わせになっていたためFDなどで遠隔授業の実施方法の研修や情報共有が必要である。

また、前期の経済学科や展開科目について、佐賀大学全体より同時中継型が多いものの、同時中継型ではない割合が経済学部の他の項目よりも高い。講義内容によって資料配布型や授業録画型の方が適していたり、資料配布型や授業録画型であっても満足度が高かったりすれば問題ないが、1年次科目の問題と同様、同時中継型の実施の困難さという教員側の理由によって実施されなかったとすれば、FDなどで遠隔授業の実施方法の研修や情報共有が必要である。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通した学習到達目標達成の回答を示す。下半分のグラフは科目分類別にみた学習到達目標達成の回答を示す。前期の経済法学科を除いた項目で前年度よりも到達度が向上している。数値としても、受講生の概ね7割～8割の学生が肯定的に回答しており、前年度の6割より向上した。

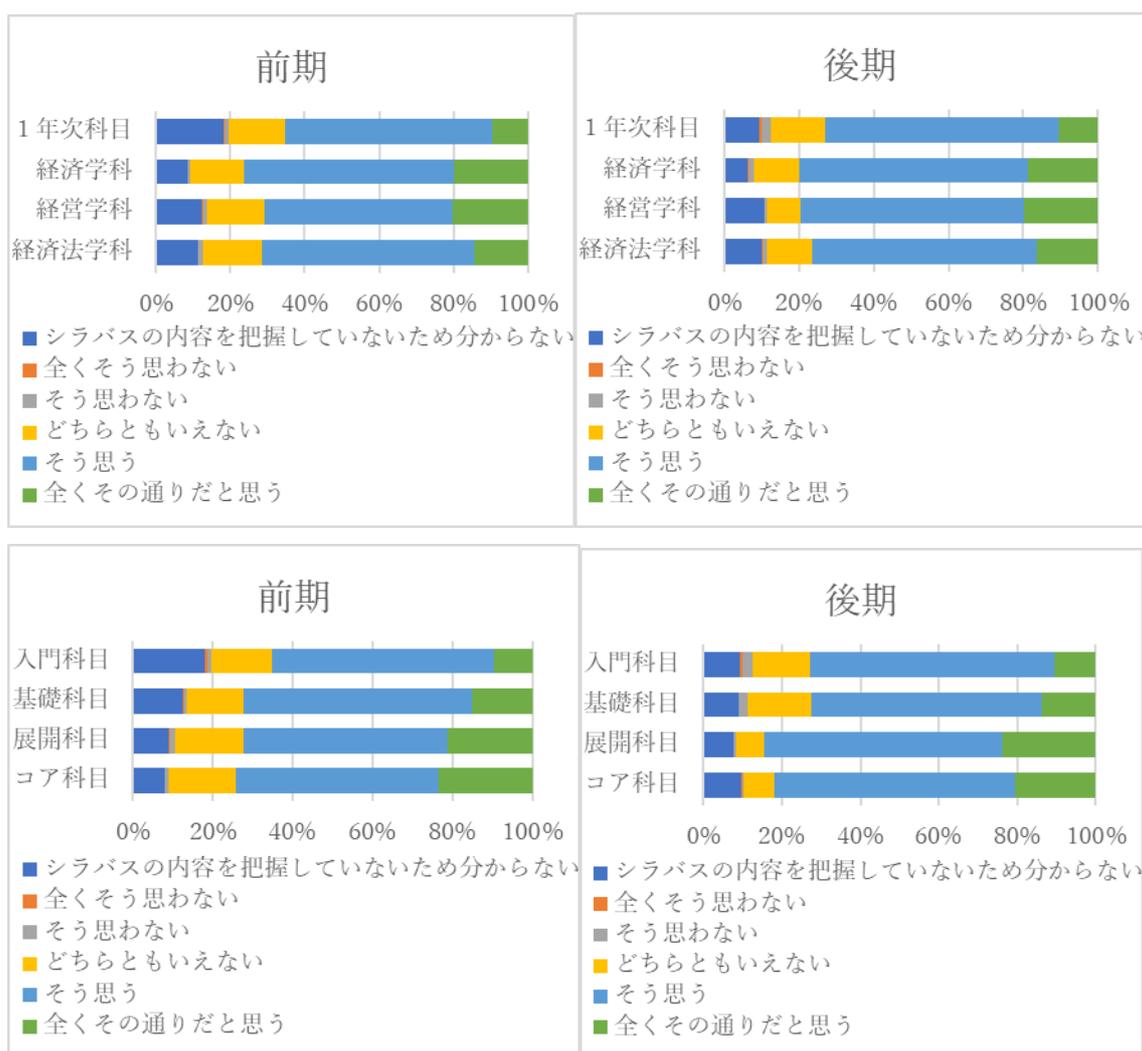
原因としては、質問A-2「授業時間外学習は1回の授業ごとにどの程度しましたか」や質問B-2「担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか」でも分析したように、教員は遠隔授業を実施する上で毎回の講義の理解度を把握する必要があると、学習に困難を感じる学生に対する早期の追加説明やおさらいを実施できたことが推測される。

しかし、「学習到達目標を把握していない」という回答が存在する。この傾向は前年度と大きく変わっておらず、学生全員に対して学習到達目標を理解させる必要がある。

上記の結果を受けて、今後は学年に関係なく授業の学習到達目標を学生と共有していく

べきである。具体的な方法として、初回のガイダンス回だけではなく途中の講義でも達成目標を明確に繰り返し学生に伝えるたり、課題（レポート、発表、中間テストなど）への取り組みを通して、この目標を意識させることが必要となる。そして授業点検の継続を怠らぬに行い、学生に目標達成を意識させる方法を学部全体で追求していかなければならない。

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



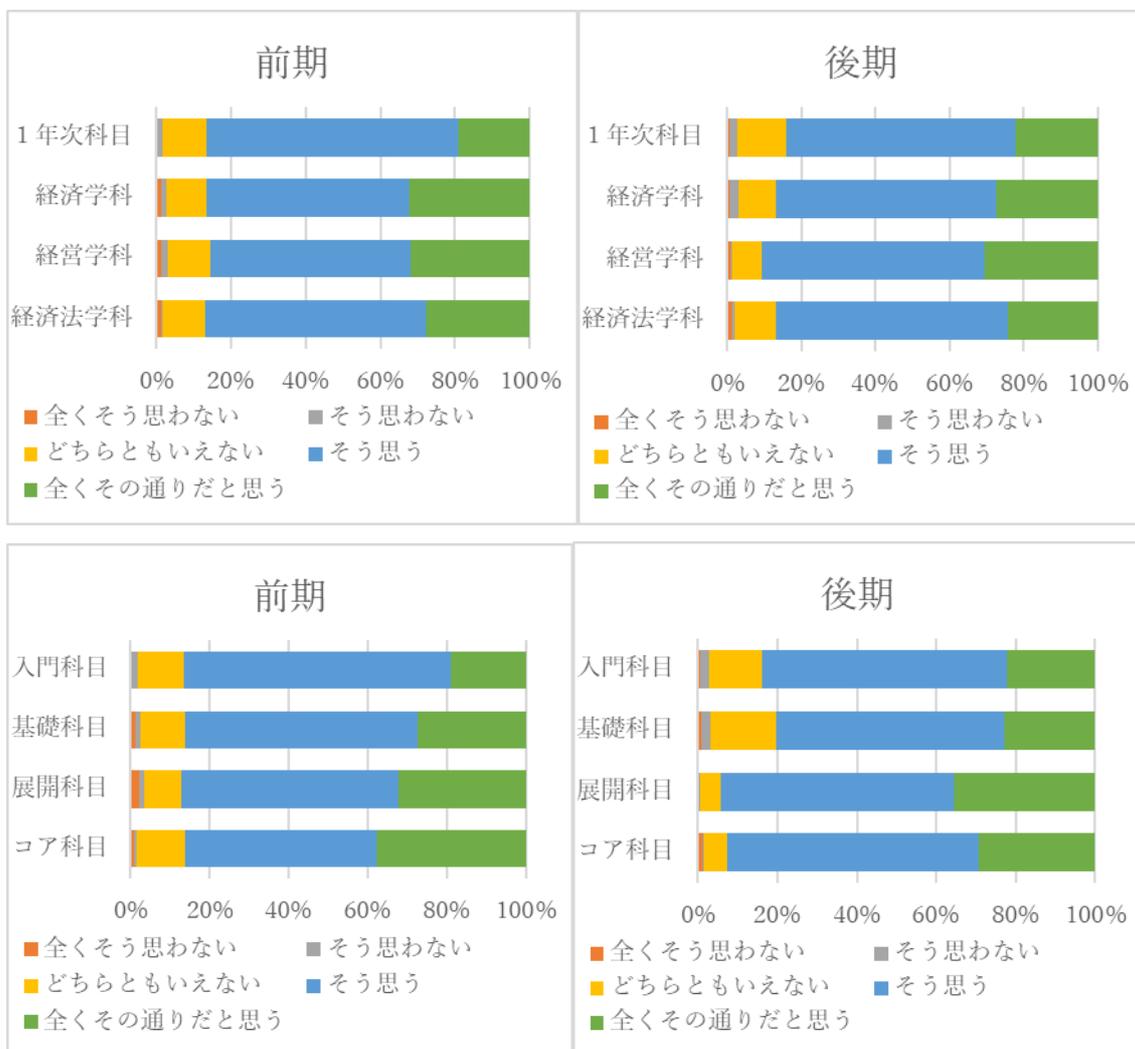
上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通したシラバス遵守状況を示す。前年度と比べると、後期の経済学科が10ポイントの改善の他、後期の経営学科と経済法学科、1年次科目が改善する一方、前期の経済法学科が10ポイント以上の低下の他、前期の1年次科目と経営学科が低下した。

下半分のグラフは科目分類別に見たシラバス遵守状況を示す。前年度と比べると、後期

の基礎科目とコア科目、展開科目が改善し、前期の入門科目とコア科目、展開科目が低下した。

いずれも、前期の科目でシラバスの遵守状況が悪化し、後期の科目で改善している。1年次科目（＝入門科目）で前期と後期を比べると、「シラバスの内容を把握していないため分からない」との回答が半減する。これは、質問 A-3「この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか」でも分析したように、新入生に対するシラバスの目的や利用方法の案内が不十分だったことを示している。シラバス活用に関する FD など教育方法の情報交換がシラバスの活用をうながすと考えられる。

C-4 教材（教科書、配布資料）や ICT 環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用 WEB ページ、ネット授業、E ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

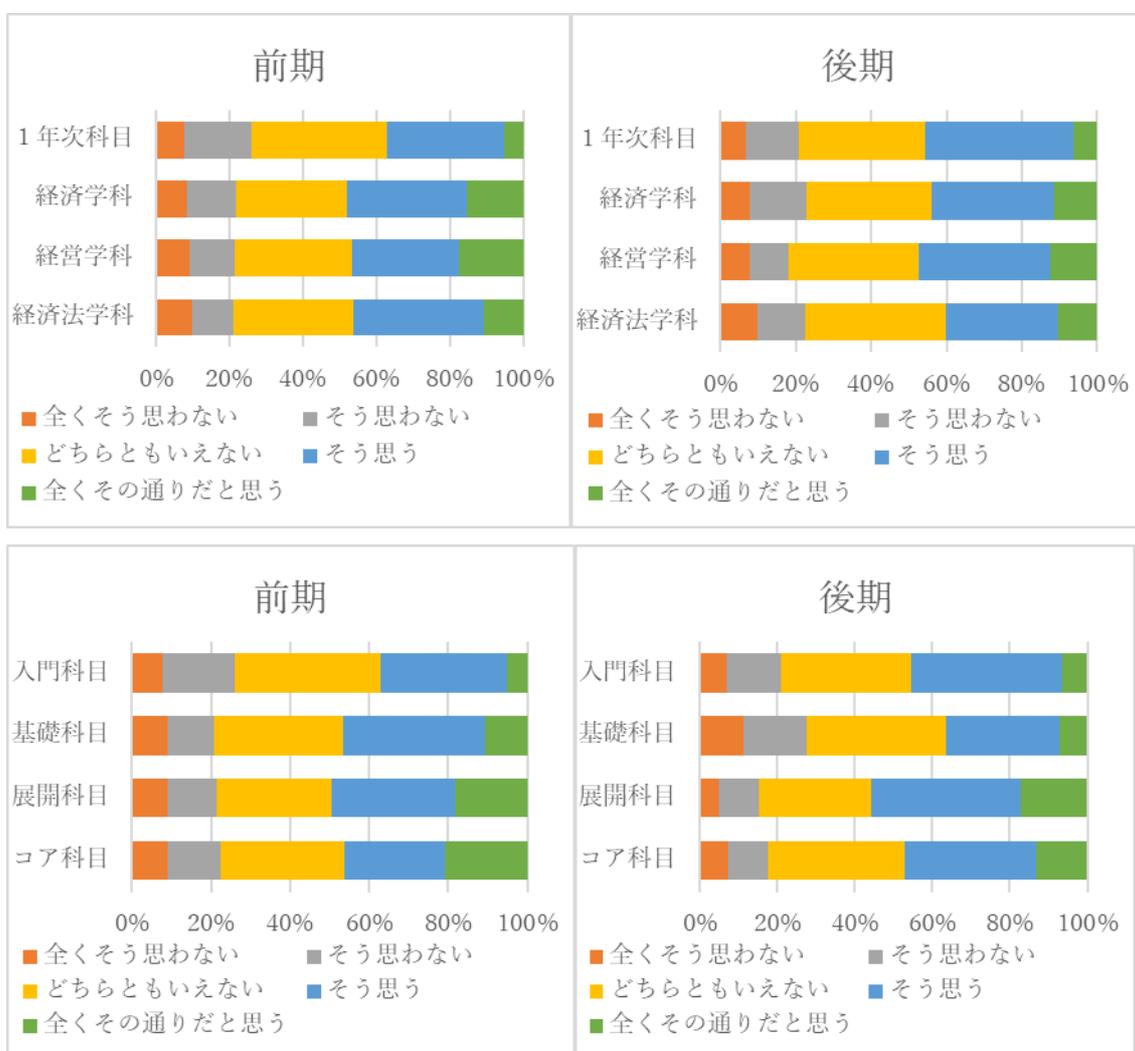


上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通じた教材の活用に関する回答を示す。

下半分のグラフは科目分類別にみた教材の活用の回答を示す。

前年度と比較して、すべての項目で大きく改善している。特に、後期のコア科目と展開科目は90%を大きく超える学生が肯定的に回答した。本分析で個別の講義の回答傾向は精査しないが、多様で多数の学生から教材の活用が理解につながったと回答された教員によるFDにより、今期の項目で比較して見劣りのする後期の展開科目を始めとする経済学部全体の遠隔授業の底上げが実現できよう。

C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通じたアクティブ・ラーニング実施状況を示す。下半分のグラフは科目分類別にみたアクティブ・ラーニング実施状況を

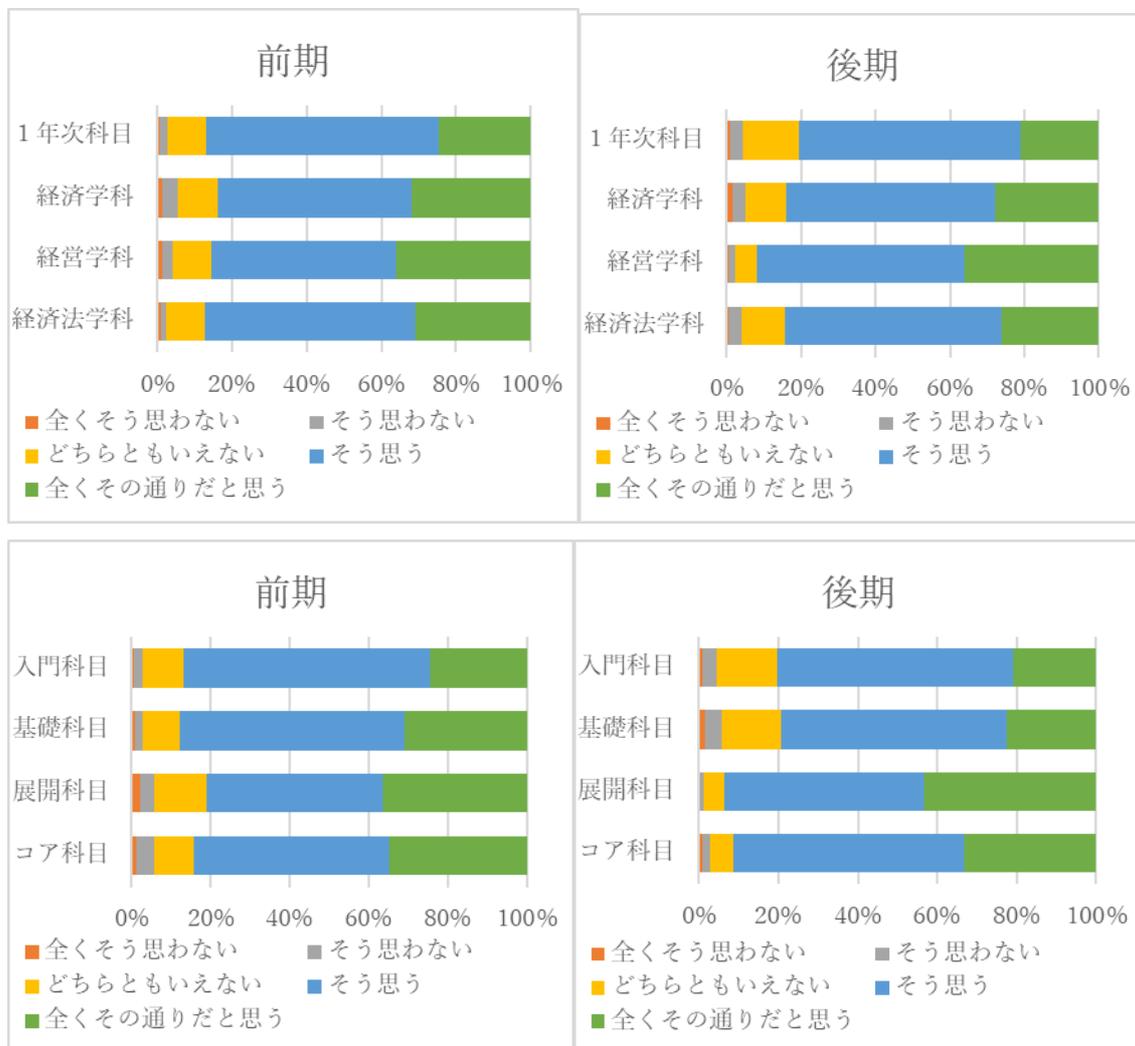
示す。全体として、10ポイントから20ポイントの幅で大幅に悪化している。

経済学部では、他学部に比べて同時中継型の遠隔授業が多かったとはいえ、令和2年度前期には Webex にブレイクアウト・セッションの機能はなく、遠隔授業でのグループワークを実現できなかった。Webex のブレイクアウト・セッションが導入された2020年8月以降も組織的な研修はなく、一般の教員にとって手探り状態であった。このため、アクティブ・ラーニングの実現が困難であった。なお、2020年6月7日と9日に全学FD講習会で Teams を使った学生のグループワークなど報告されたが、当時の経済学部では学生の学習の困難の原因として Webex 以外のさまざまな遠隔授業ツールの混在が認識されていた。このため経済学部で Teams を積極的に併用する状況ではなかった。

令和3年度以降、対面授業が再開すれば前年度までのようにアクティブ・ラーニングを積極的に実施できると予測される。また、遠隔授業でのアクティブ・ラーニングに関して経済学部でFDを行うことで、教育手法の共有やディスカッションが実現できる。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。



上半分のグラフは、1年次科目と学科別科目の前・後期を通じた満足度を示す。前年度と比較して、すべての項目で満足度が向上している。

下半分のグラフは科目分類別にみた満足度を示す。前年度と比較して、前期の展開科目の満足度が低下しているが、残りの7項目はすべて満足度が向上している。

令和2年度は80%~94%の回答が肯定的な回答であり、前年度から引き続き経済学部が学生に対して適切な講義を行ったことを示す。

ただし否定的な回答も存在する。前期の経済学科は5.6%、前期のコア科目は5.7%である。「どちらともいえない」とした回答者と合わせると、複数の項目で20%前後の学生が十分な満足度を得ていない。本分析で個別の講義の回答傾向は精査しないが、学生に高い満足度を提供できた教育手法を情報共有するFDを開催するなどの対応をとっていききたい。

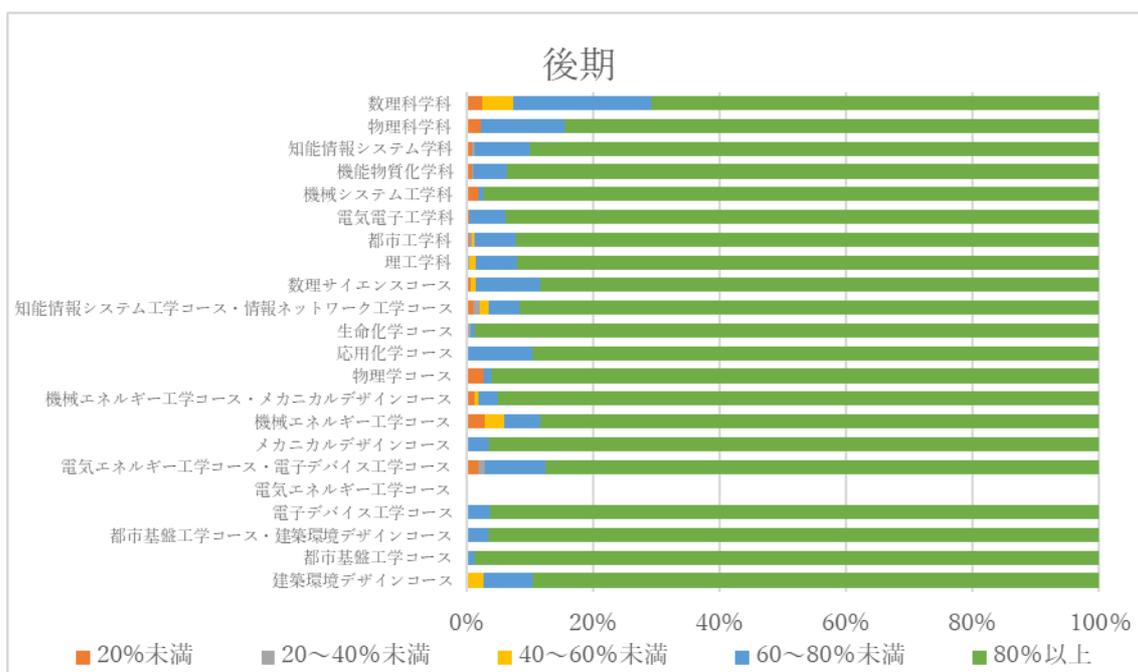
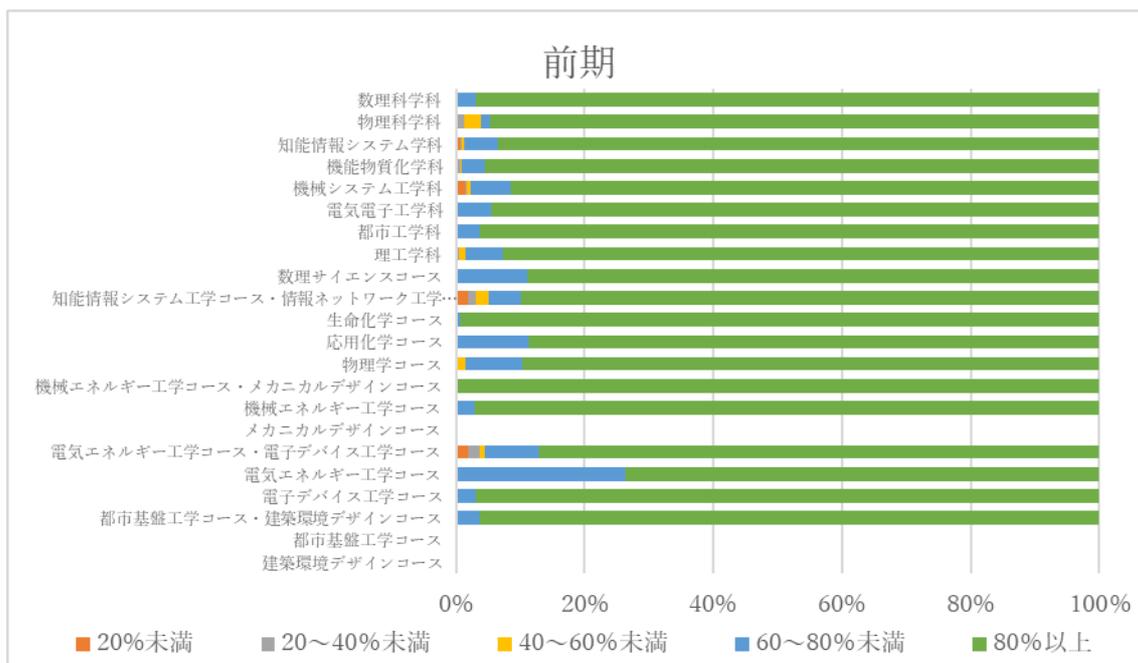
佐賀大学理工学部

佐賀大学大学院理工学研究科・工学系研究科
令和元年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

理工学部の状況

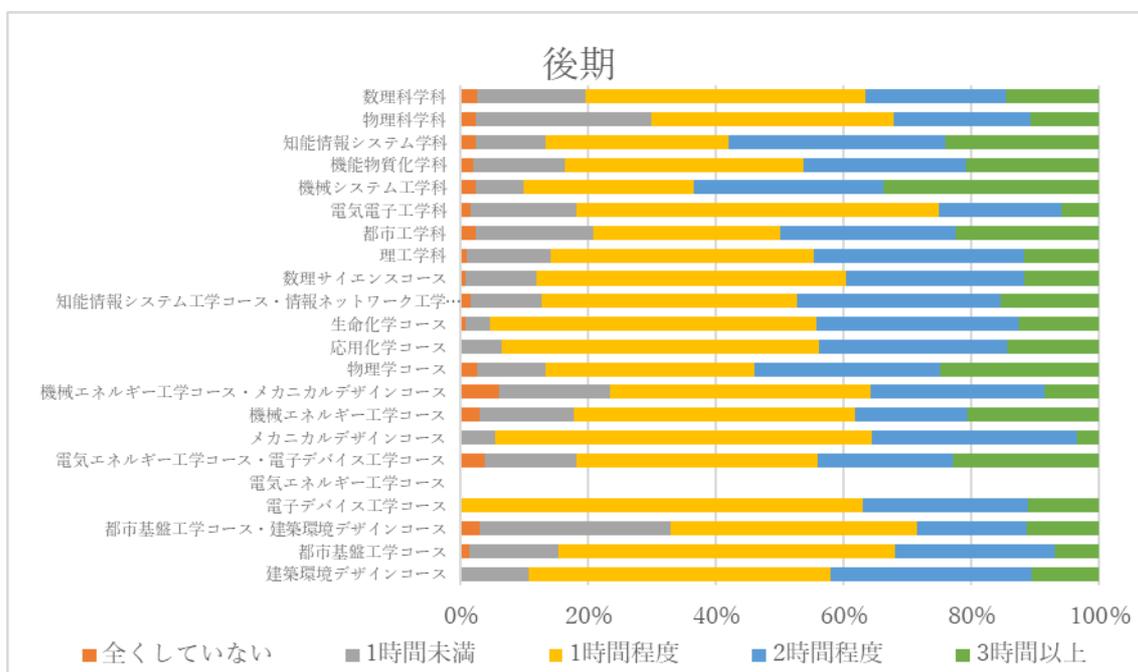
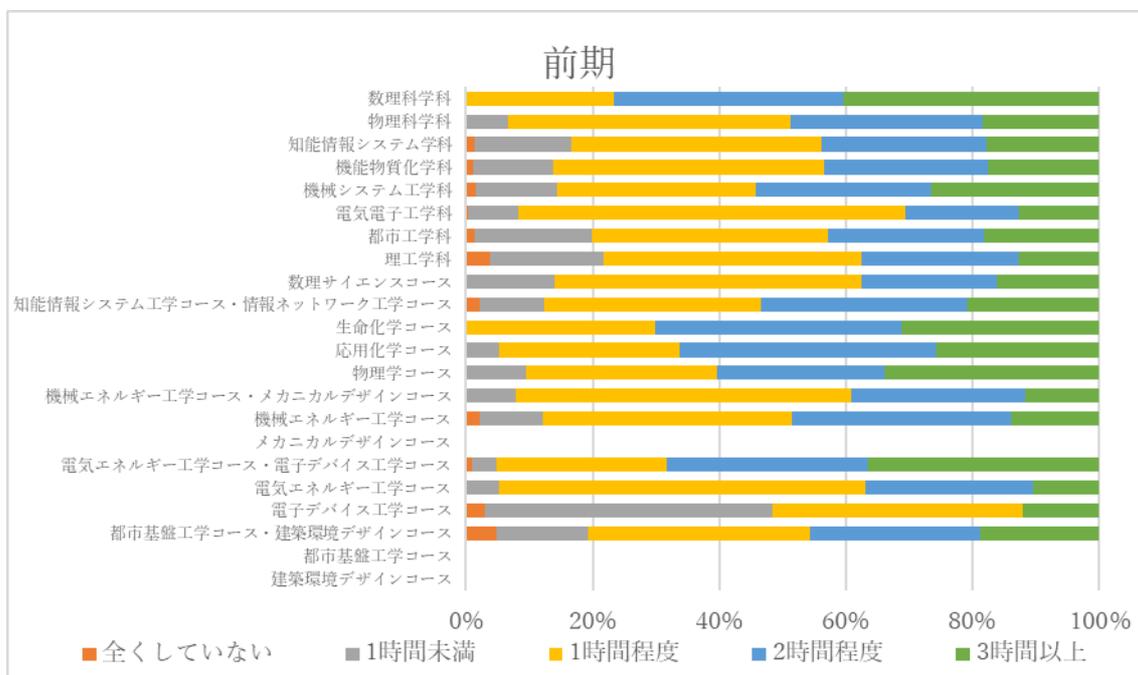
理工学部で開講している科目数は 632 件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は 568 件、回答率は 58.8%であった。以下の各項目について分析を行う。

A-1 出席率はどのくらいですか。



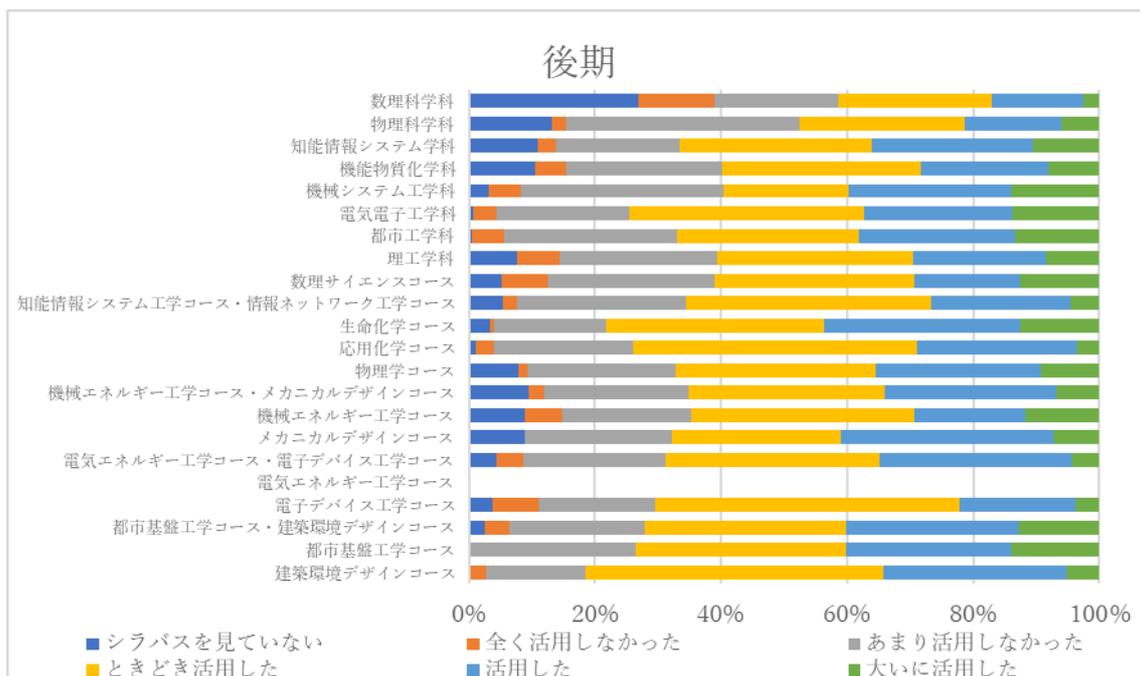
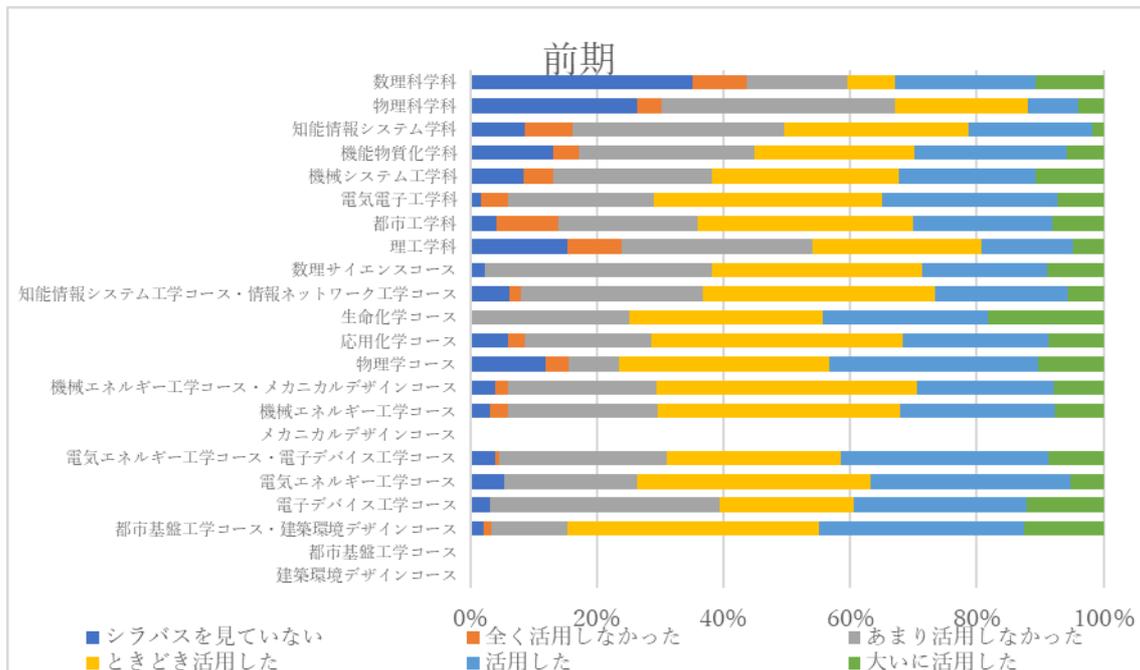
一部を除いて、出席率 80%以上の学生がほとんどであることがわかる。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。



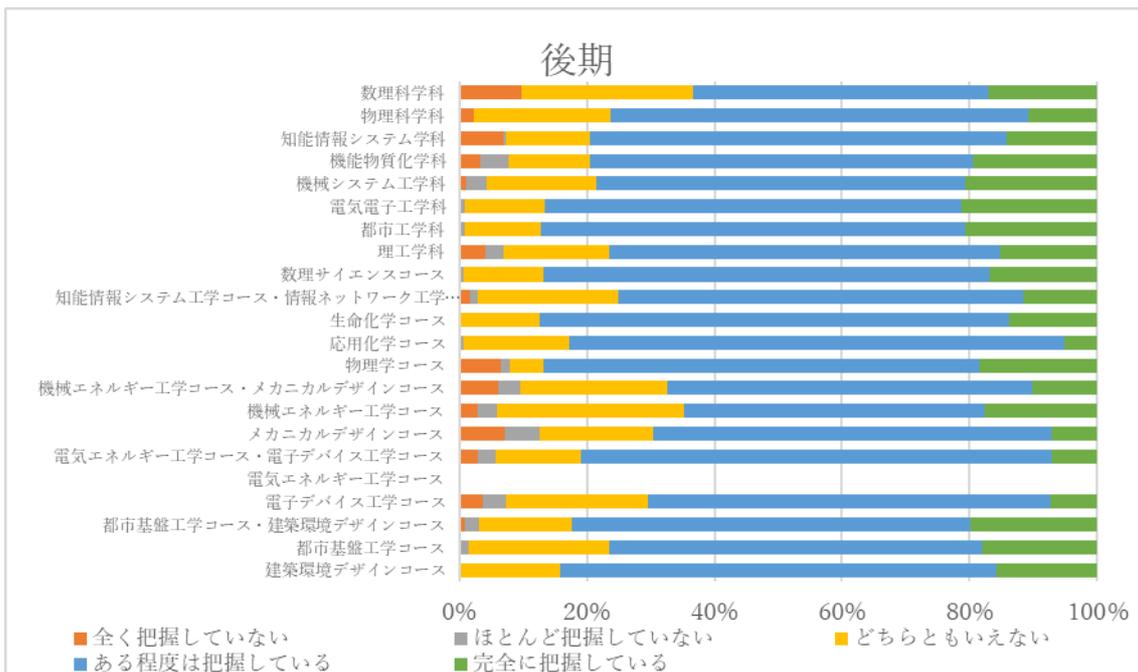
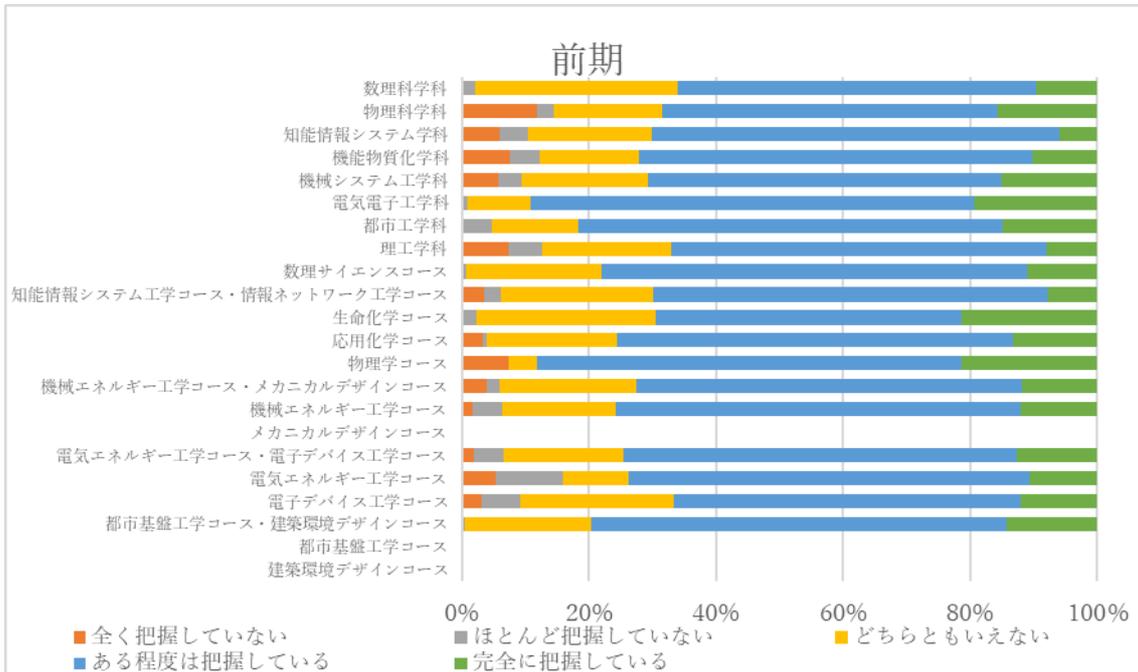
一部の学科を除いて、80%以上の学生が、1時間以上の授業時間外学習を行っている。しかしながら、1コマ2単位の授業科目に対して、予習・復習をそれぞれ1時間以上行う必要があることを考えると、かなり少ない時間数である。課題を課す方法にも工夫が必要であると考えられる。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



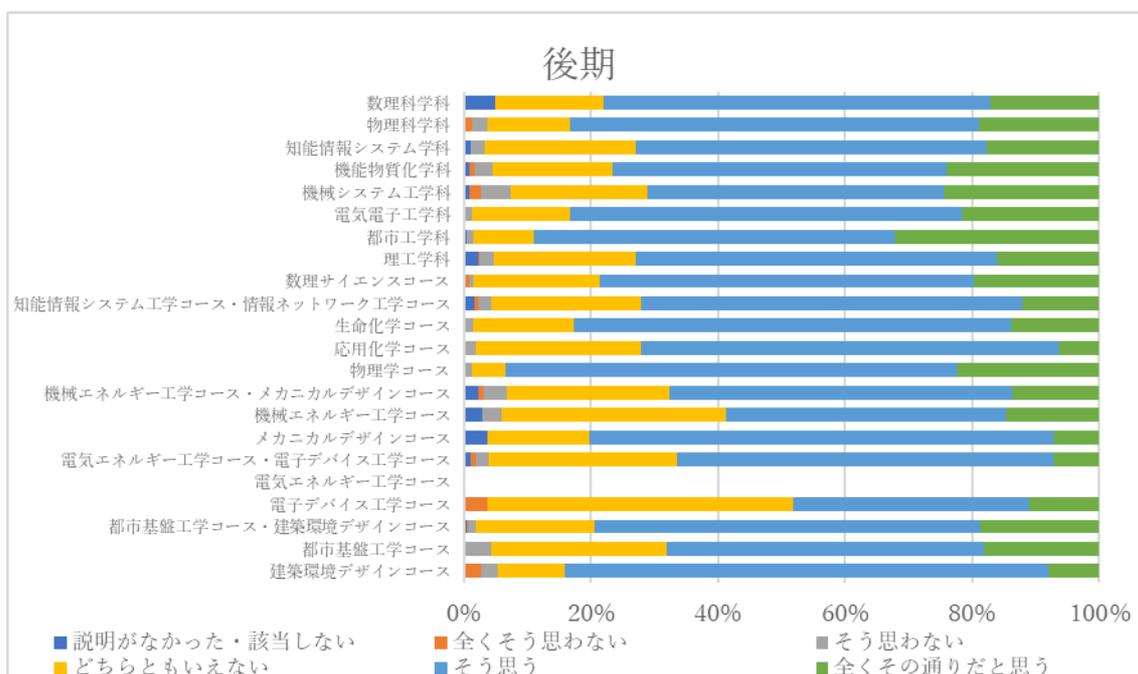
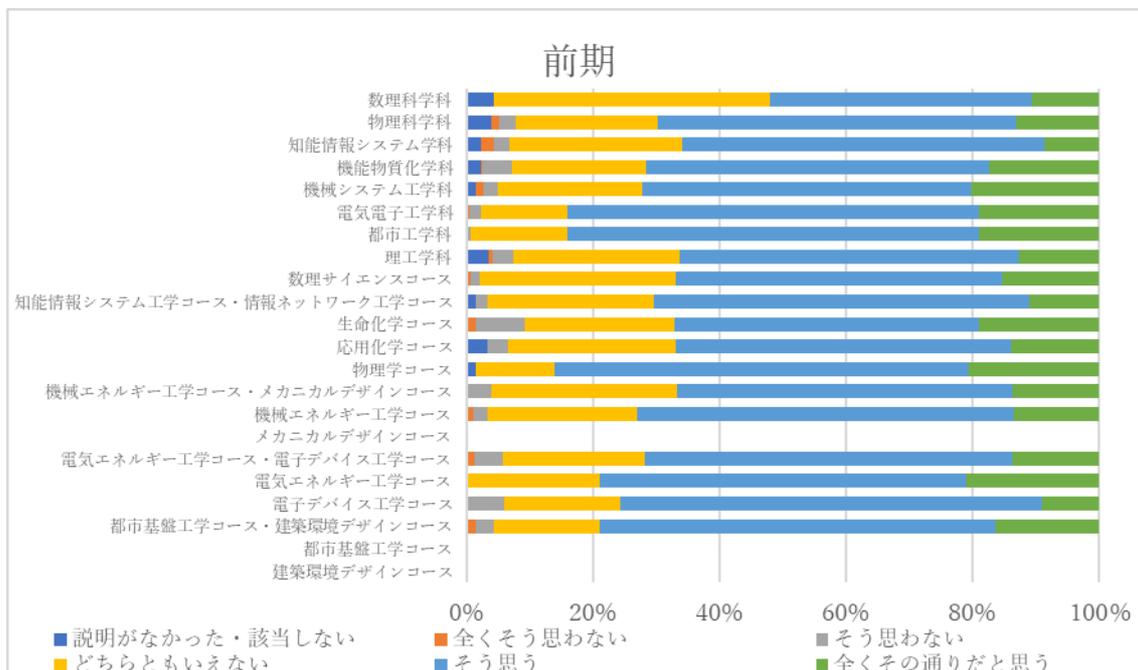
学期だけでなく、学科やコースによってもばらつきがあるが、60%の学生が授業の選択・予習・復習などにシラバスを活用している。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。



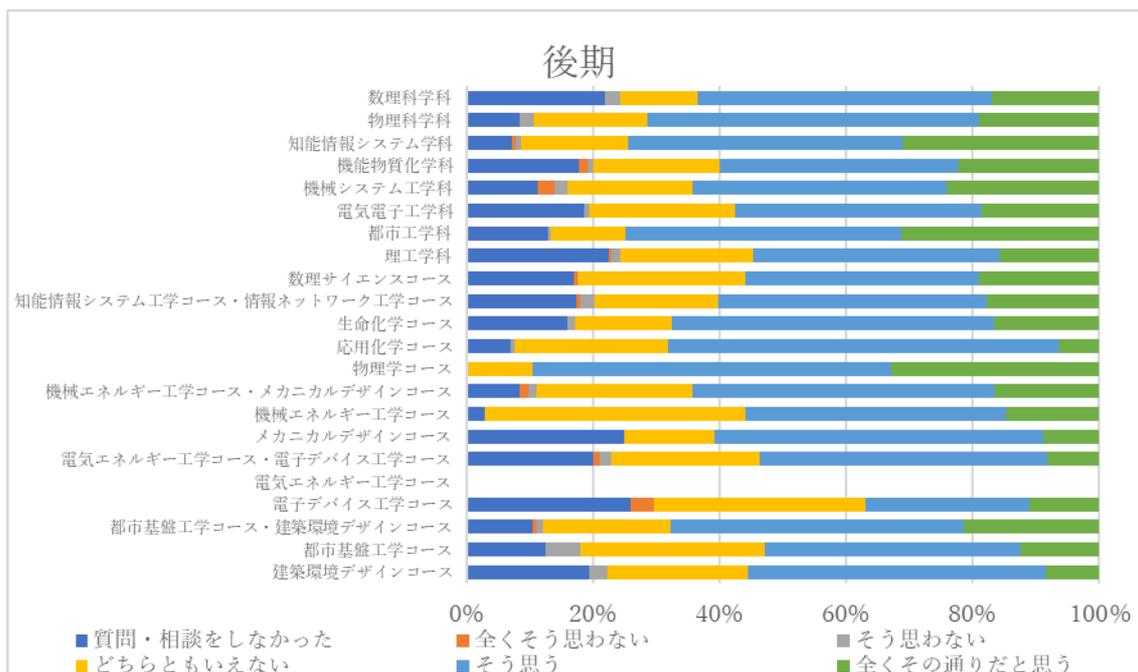
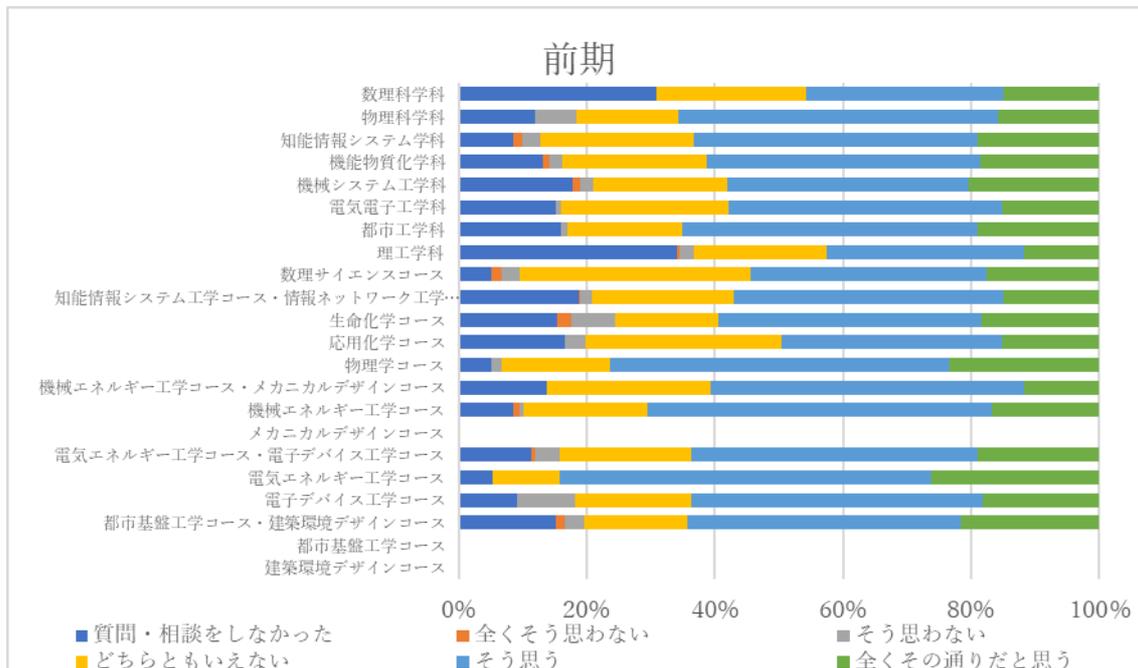
全ての学科・コースにおいて、学習到達目標や成績評価基準を 60%以上の学生が把握している。

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。



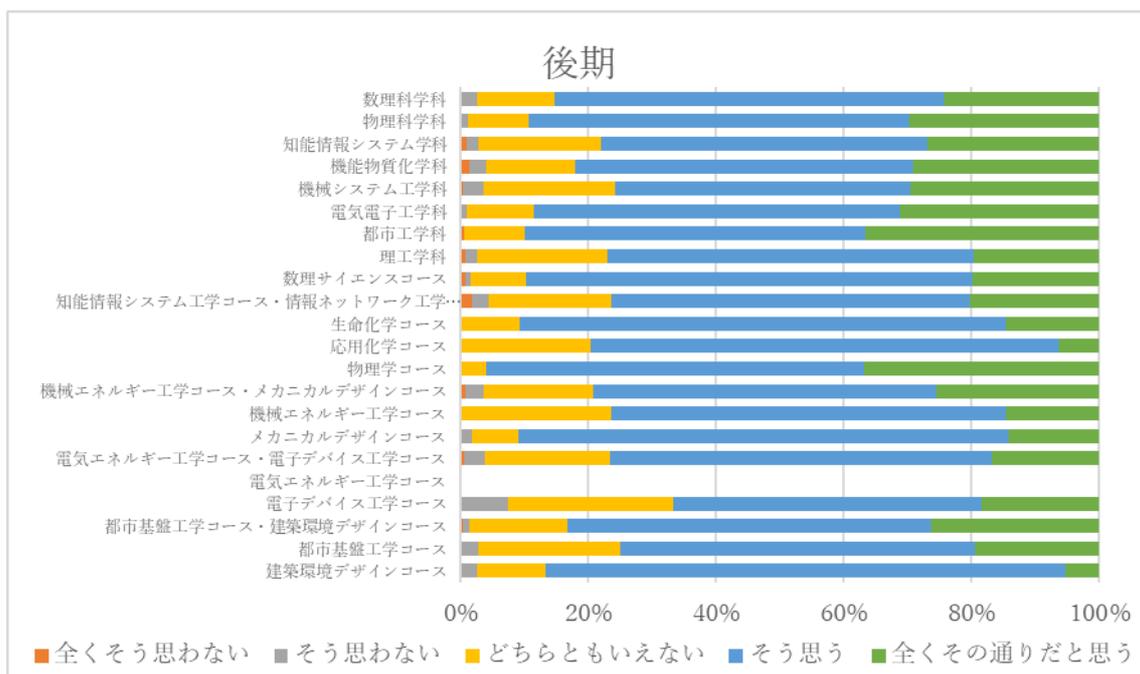
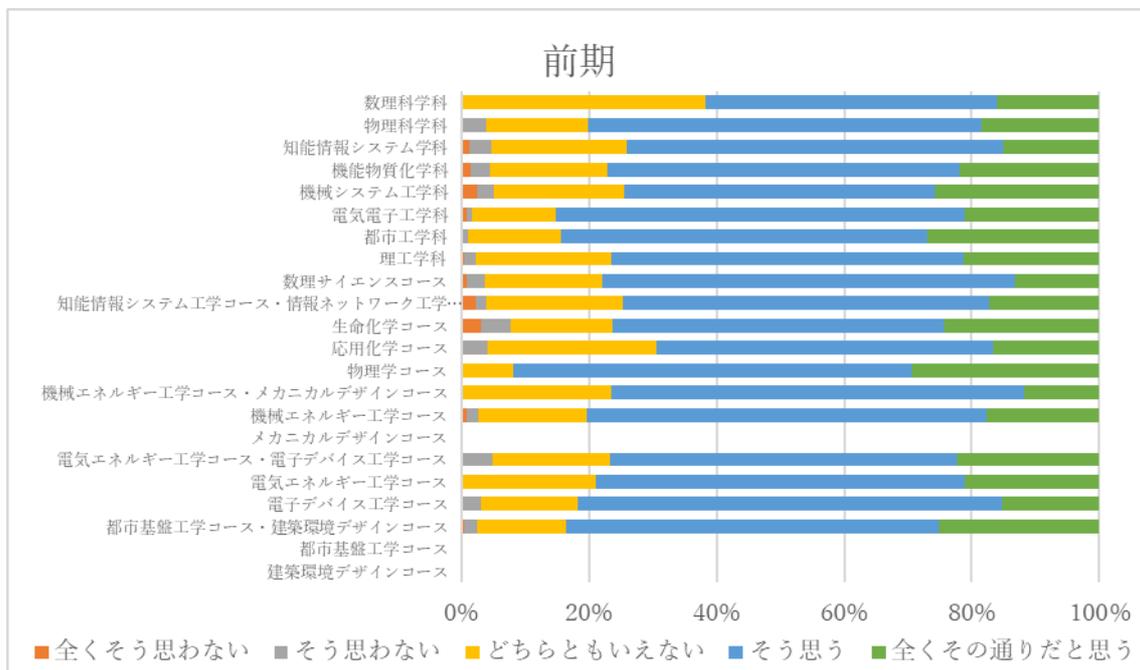
学科やコースによって多少ばらつきはあるが、70%以上の学生が教員による教育方法や成績評価方法などの説明が有益であると答えている。教員による説明が適切に行われている。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。



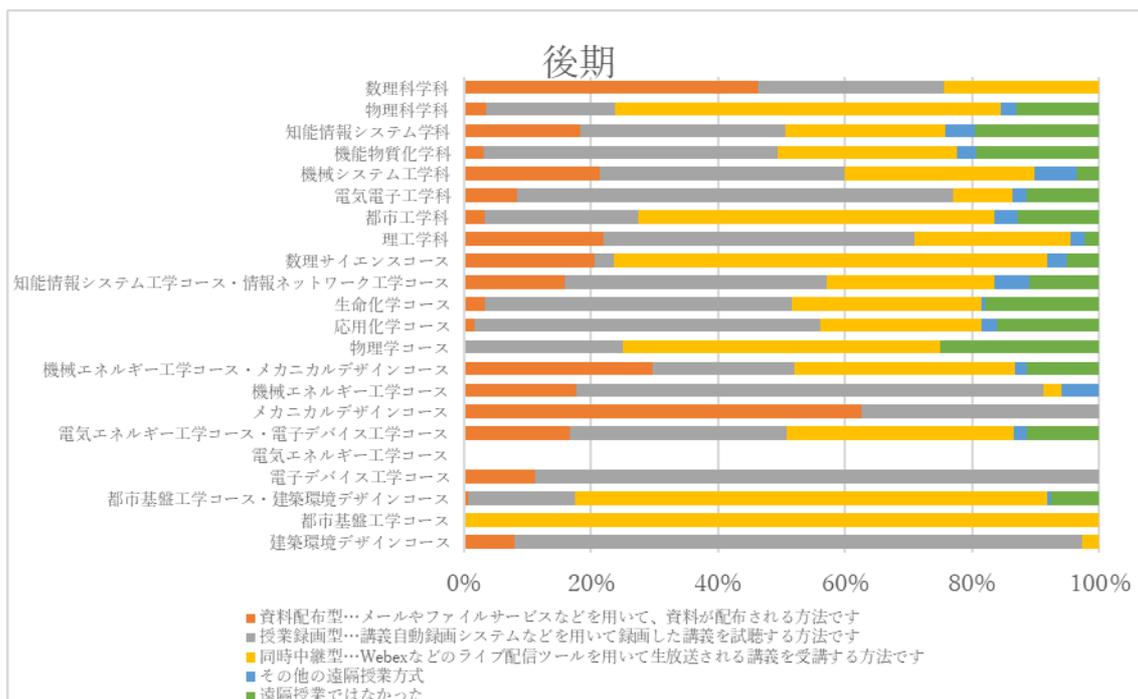
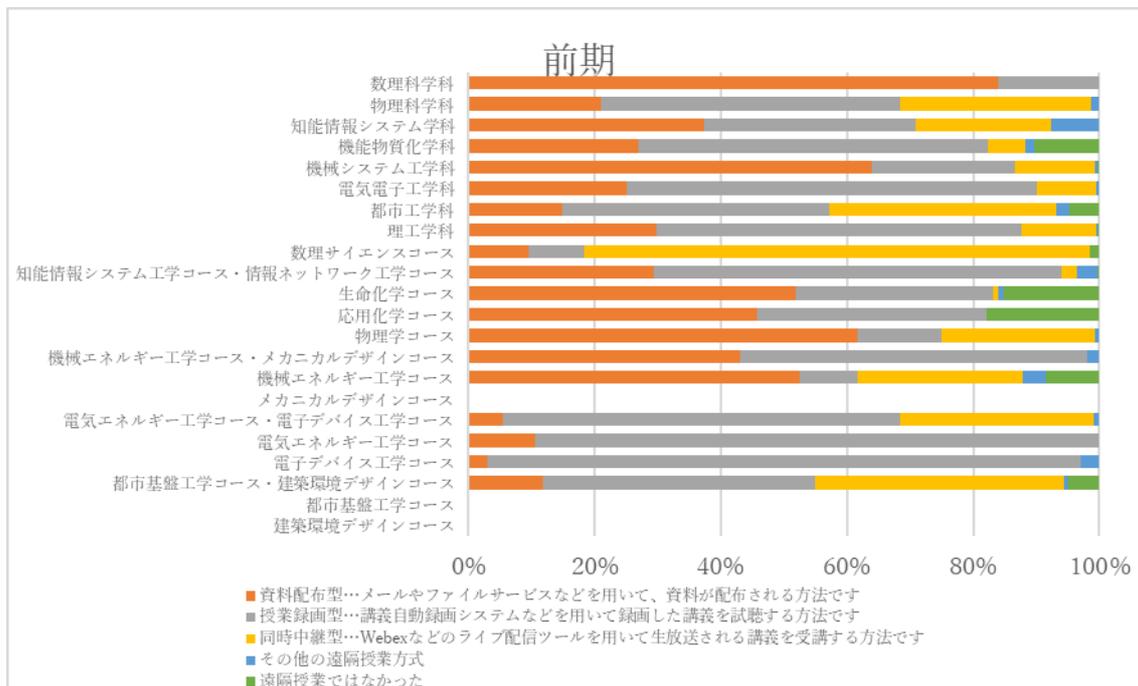
学科やコースによって多少ばらつきがあり、15%程度の学生は質問や相談をしていないが、60%以上の学生は質問や相談に適切に対応してくれたと回答している。したがって、教員の対応は概ね適切に行われていると判断できる。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。



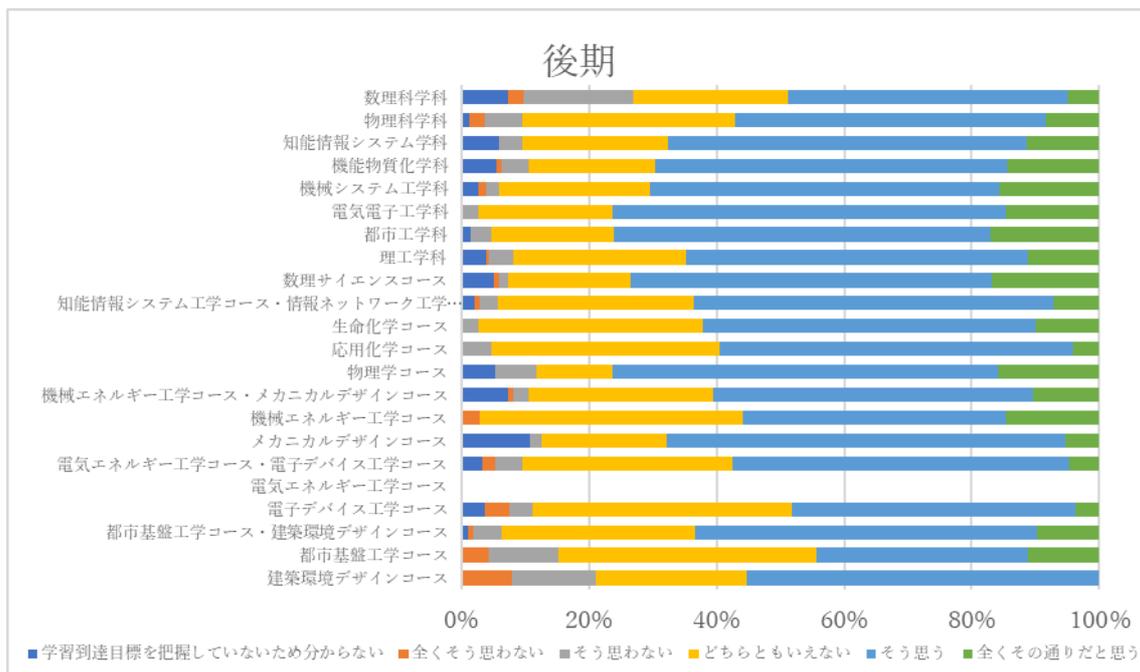
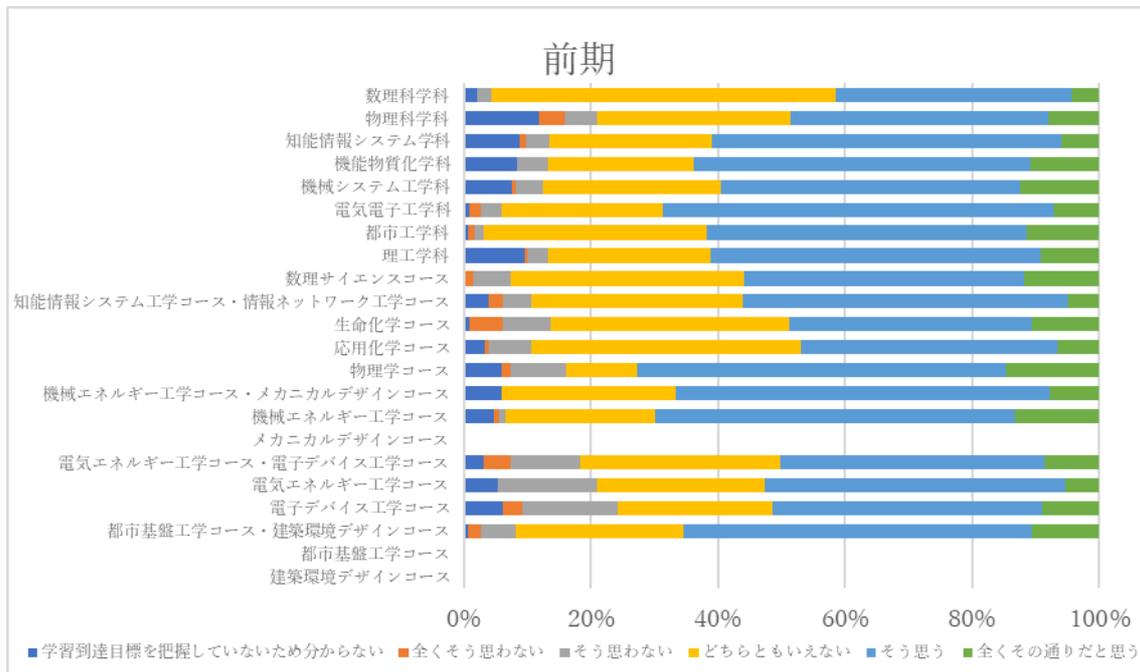
一部の学科やコースを除き、80%程度の学生が教員の授業に対する意欲や熱意が感じられたと回答している。このことから、多くの教員は授業に対して意欲や熱意をもって取り組んでいることがわかる。

C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。



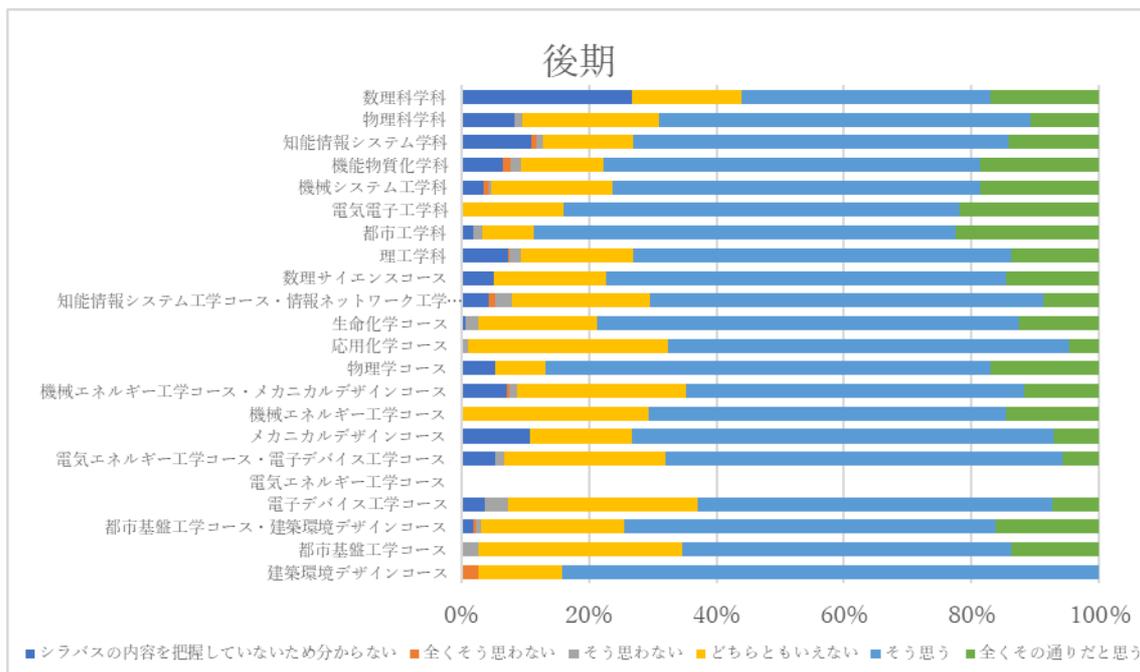
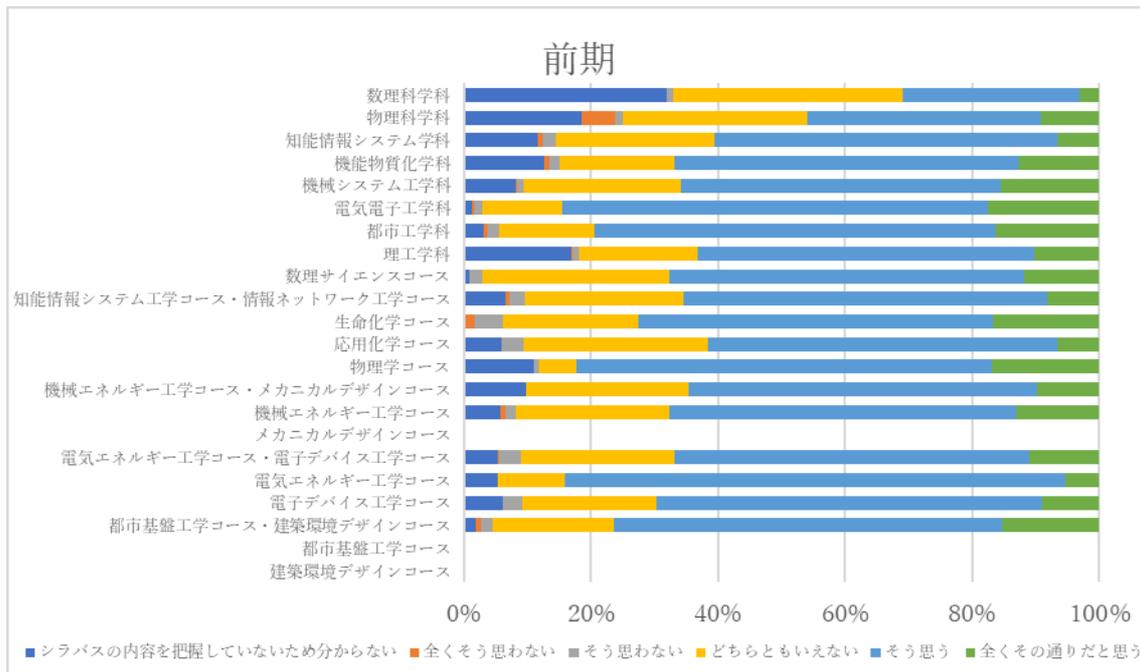
前期に比べ後期は資料配布型や授業録画型の授業形態が占める割合が減少しており、遠隔授業以外の形態の割合も増加している。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



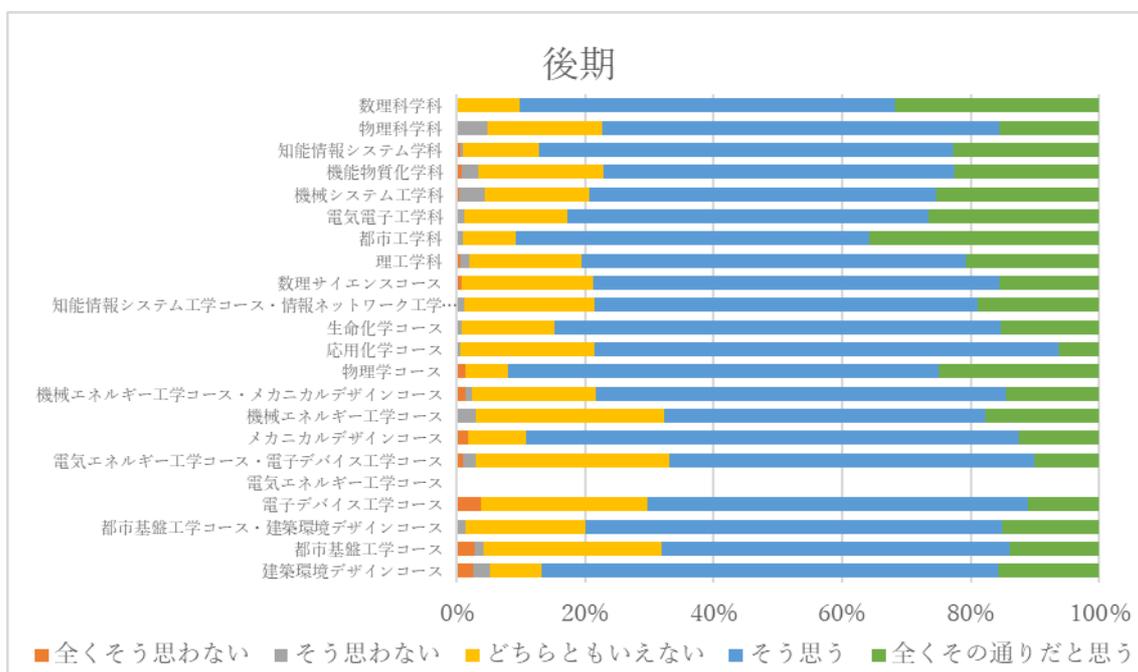
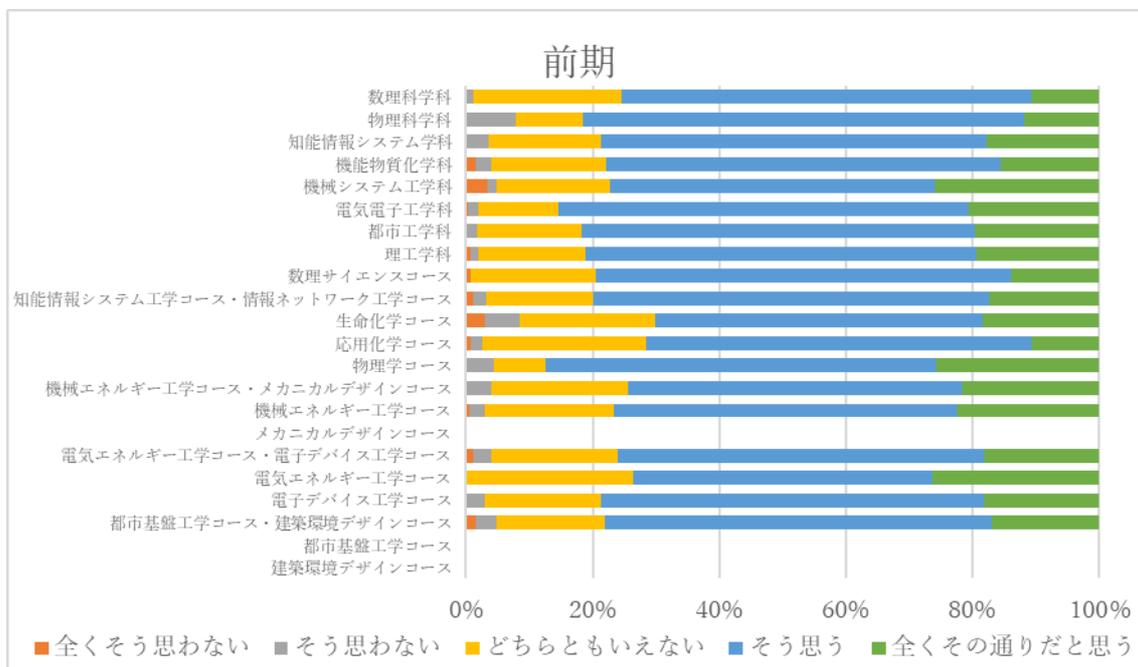
学科やコース、学期によって多少ばらつきはあるが、一部を除いて 60%程度の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。どちらともいえないと回答している学生が 20%程度はいることから、学習到達目標の周知を繰り返し行う必要があると思われる。

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



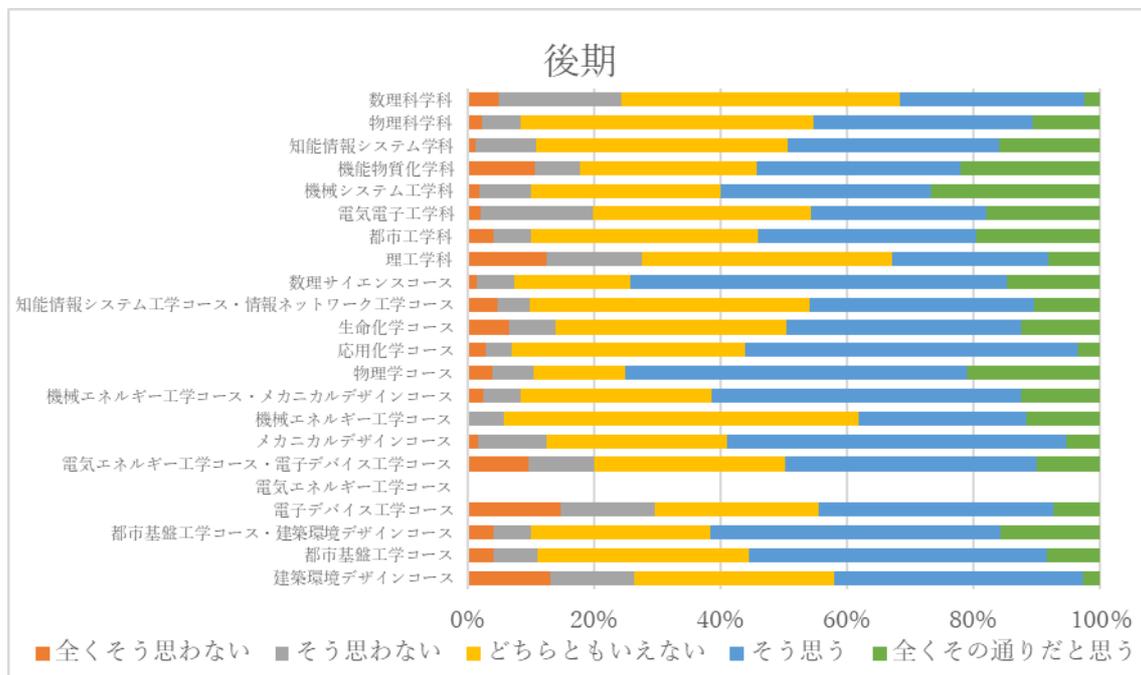
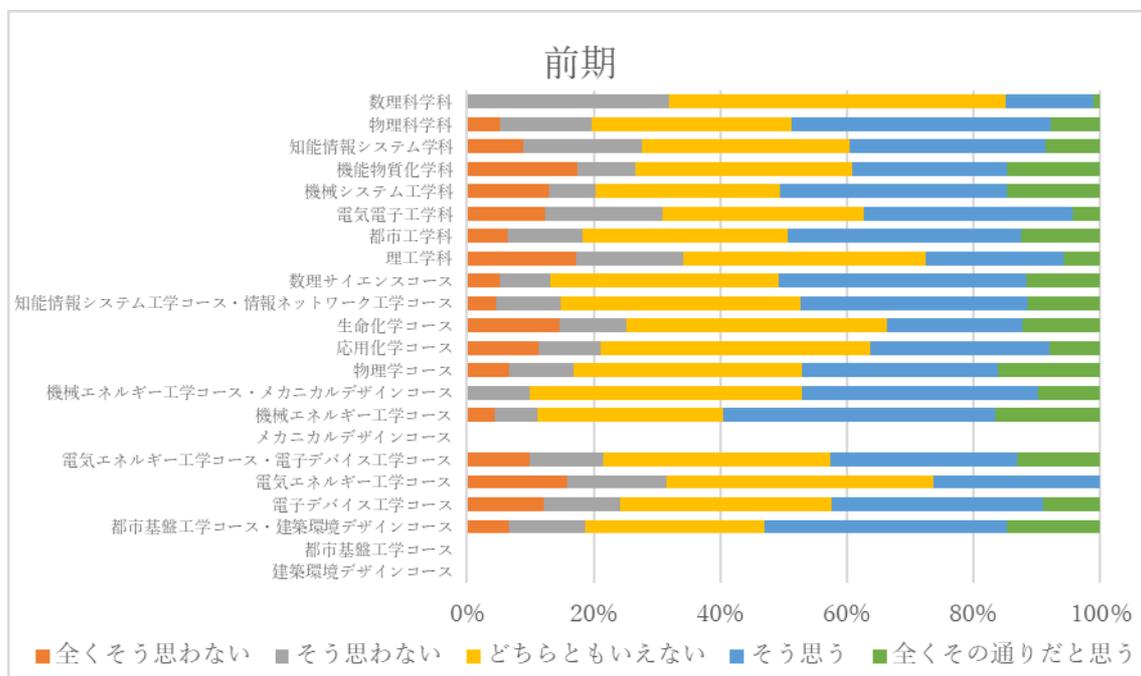
学科やコース、学期によって多少のばらつきはあるが、60～80%程度の学生が、授業内容がシラバスに基づいていたと回答している。一部の学科において、20%弱の学生がシラバスの内容を把握していないと回答しているため、毎回の講義時に授業内容を周知する必要性も残されている。

C-4 教材（教科書、配布資料）や ICT 環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用 WEB ページ、ネット授業、E ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。



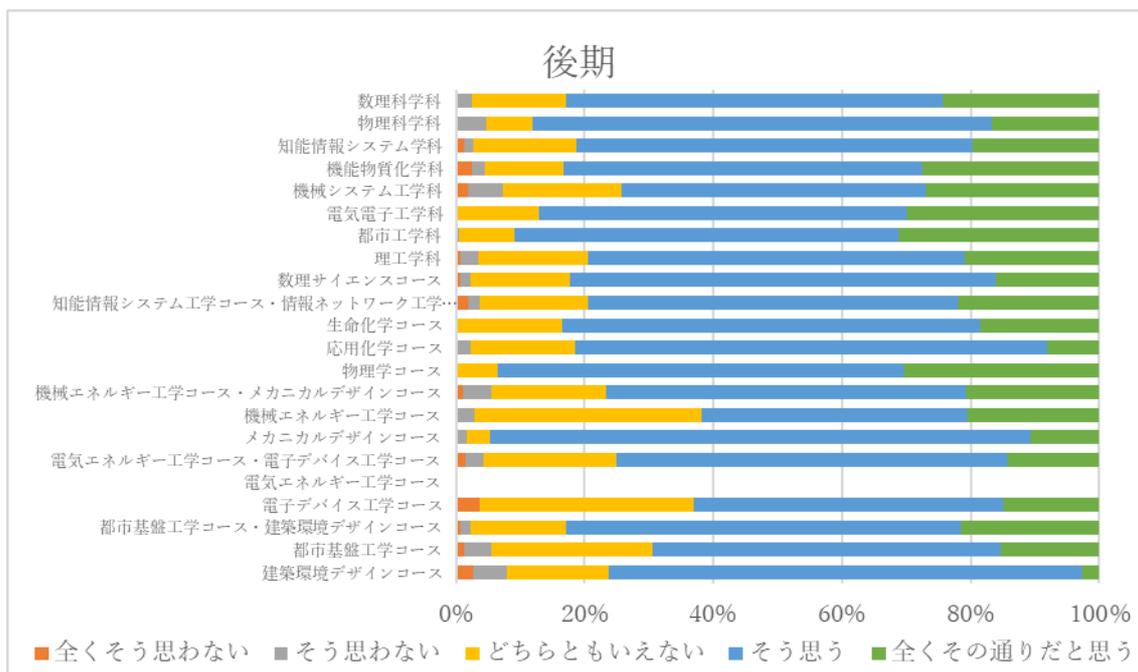
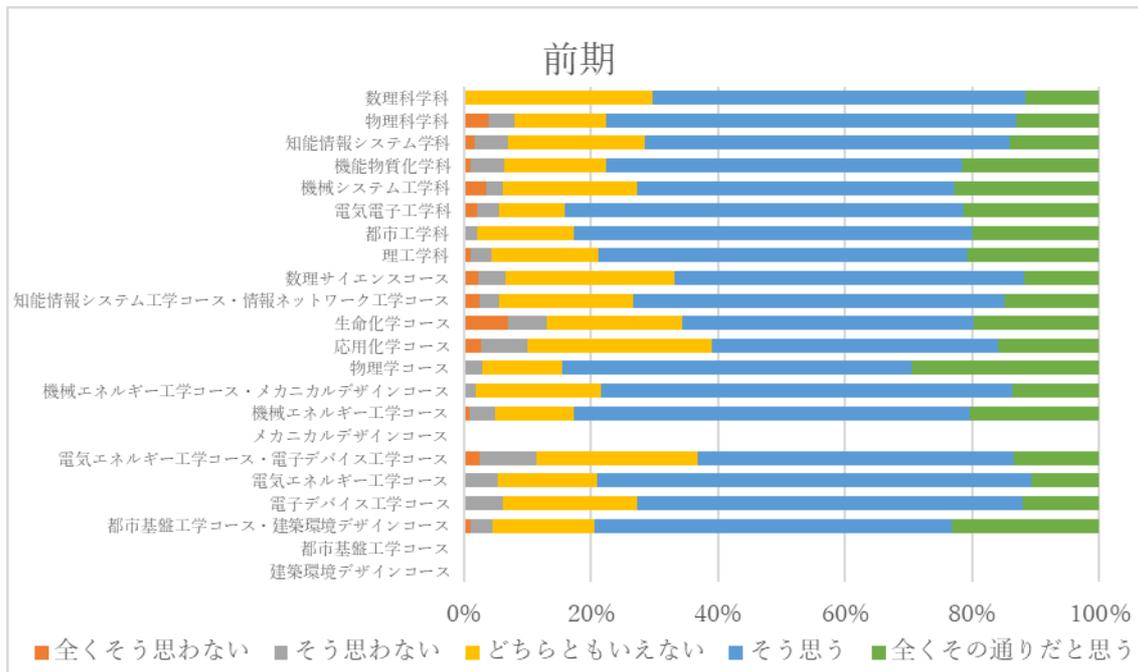
70%程度の学生が教材や ICT 環境が授業の理解に役立っていると回答している。概ね、適切に教材や ICT 環境が授業で利用されていると言える。

C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



学科やコース、学期によって多少ばらつきはあるが、そう思うと回答している学生が60%程度であった昨年度に比べ、肯定的な意見の割合が低下している。感染症対策を徹底しつつも、実験や演習などではアクティブラーニングの実施を強化する必要があると考えられる。

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。

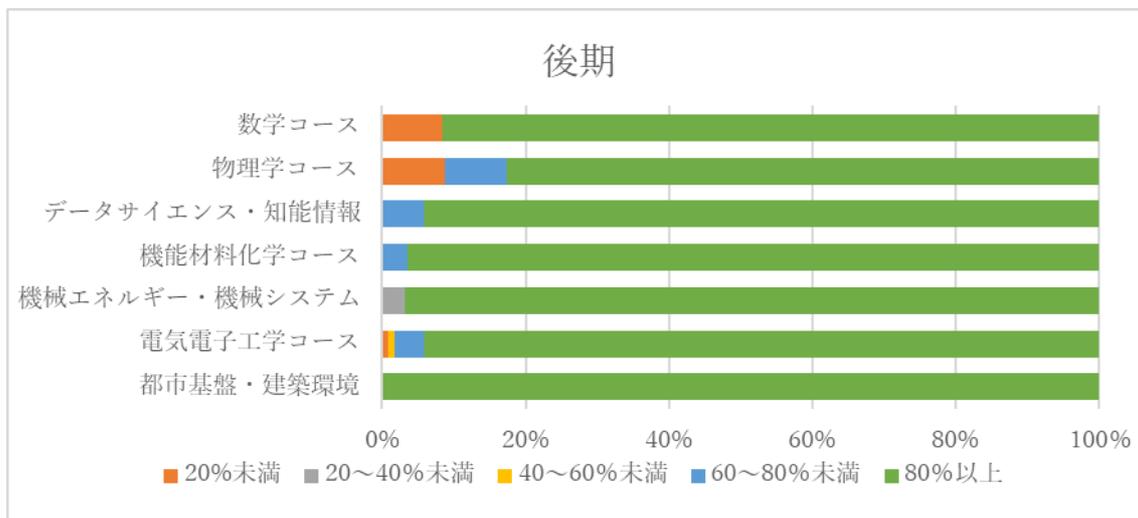
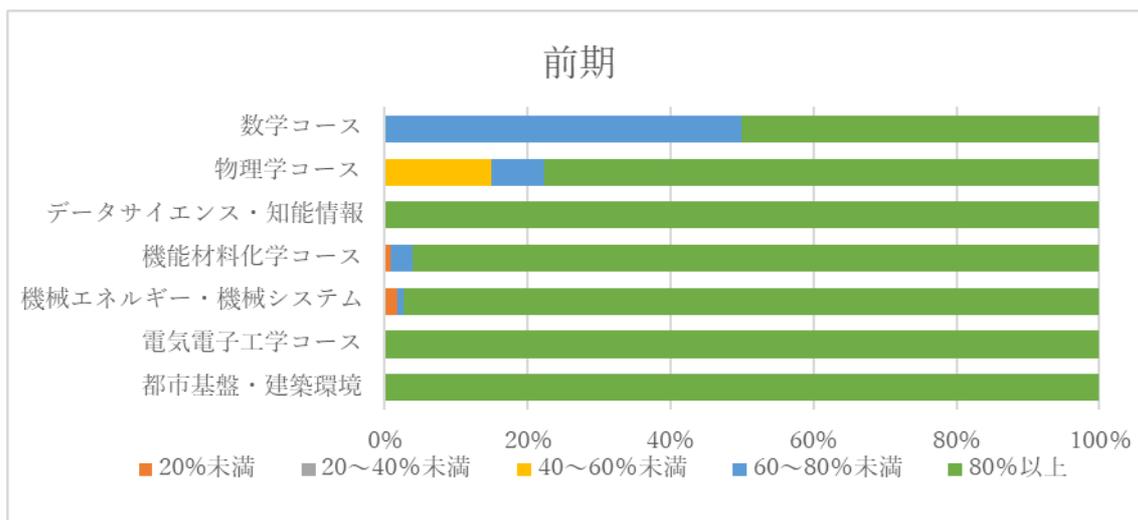


学科やコース、学期によってばらつきはあるが、80%程度の学生が授業全体としては満足していると回答している。したがって、教員は適切に授業を行っていると考えられる。

理工学研究科の状況

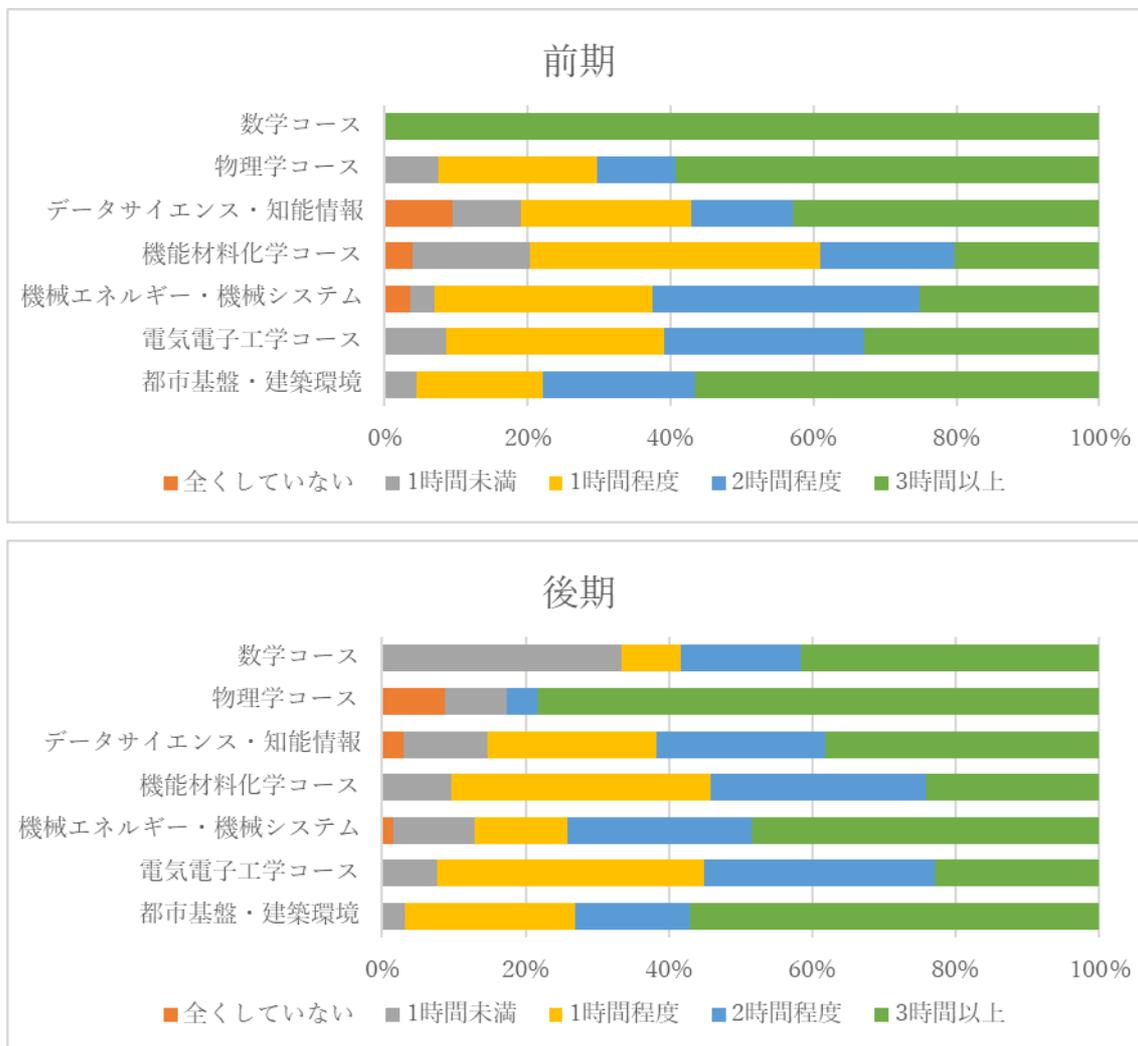
理工学研究科で開講している科目数は 330 件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は 231 件、回答率は 40.4%であった。以下の各項目について分析を行う。

A-1 出席率はどのくらいですか。



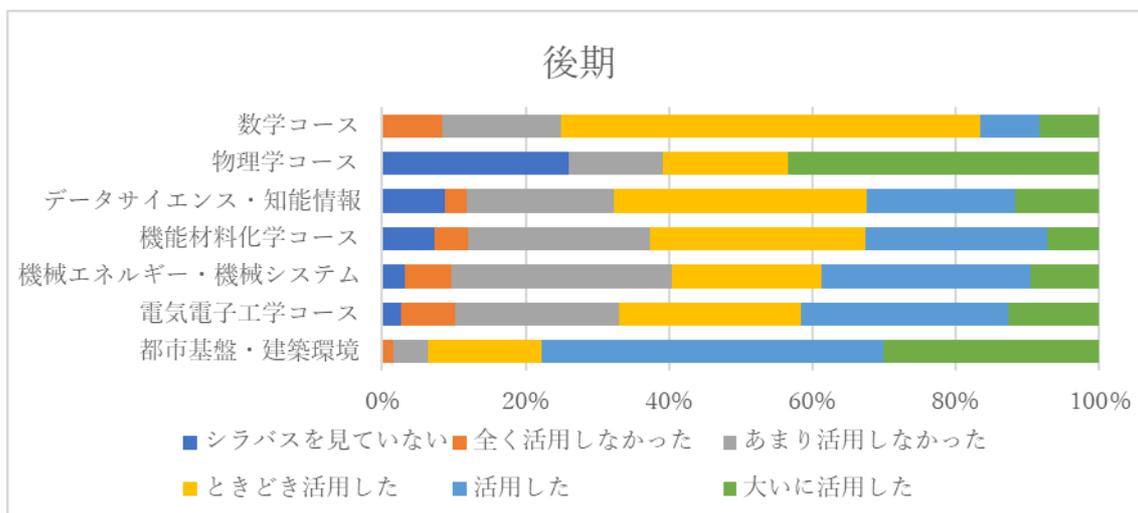
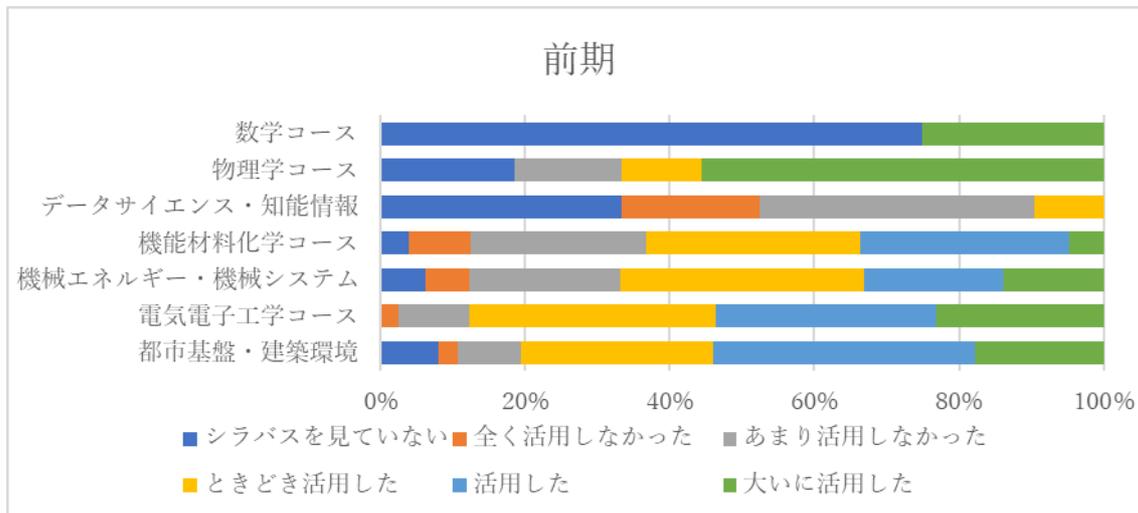
大半のコースにおいて、90%以上の学生が 80%以上出席している。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。



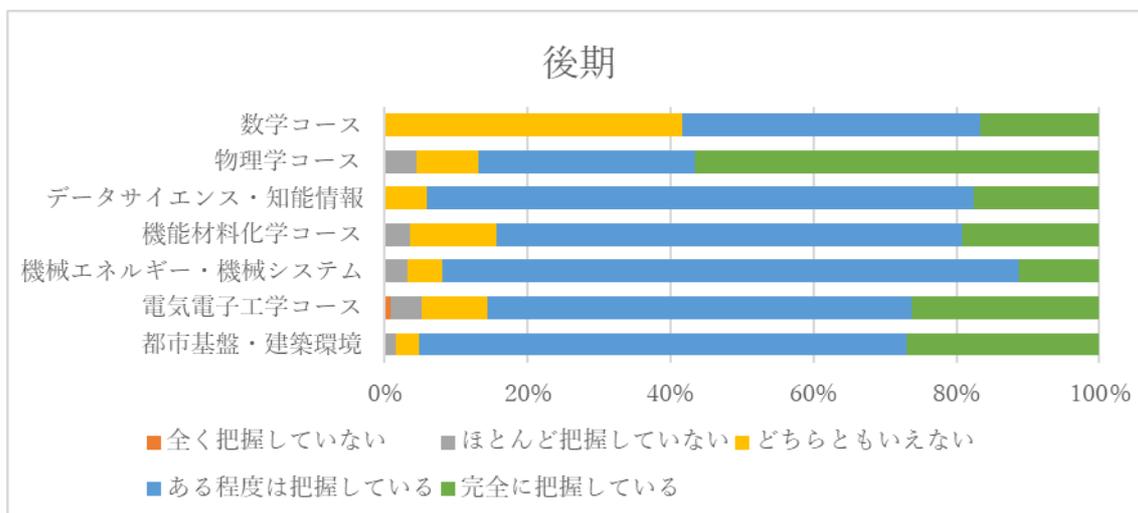
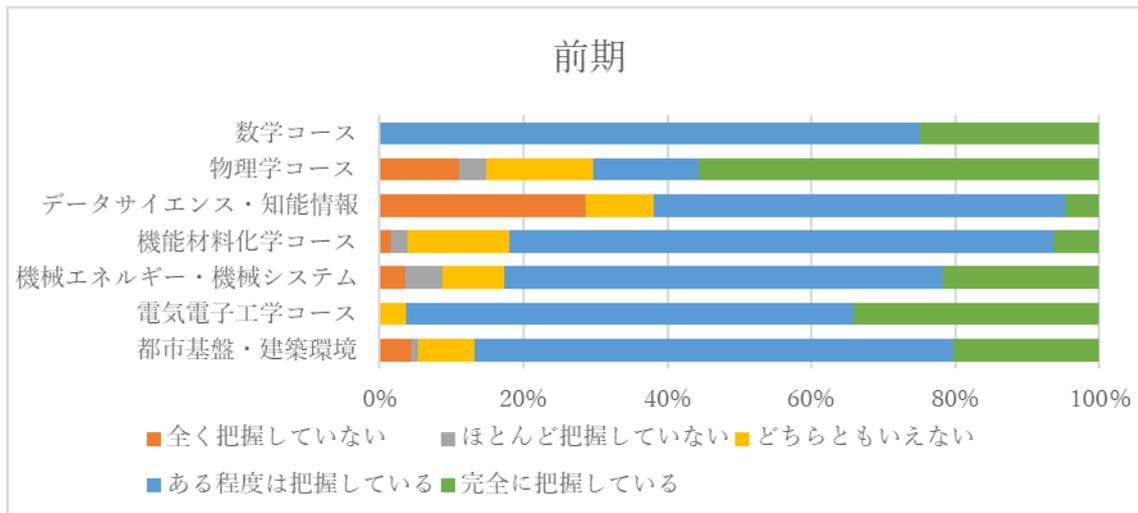
授業時間外学習の時間は、コースや学期によってばらつきがある。大半の場合、1時間以上を行っている学生の割合が80%以上である。特定のコースでは、学生の60%前後が年間を通じて3時間以上学習している。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



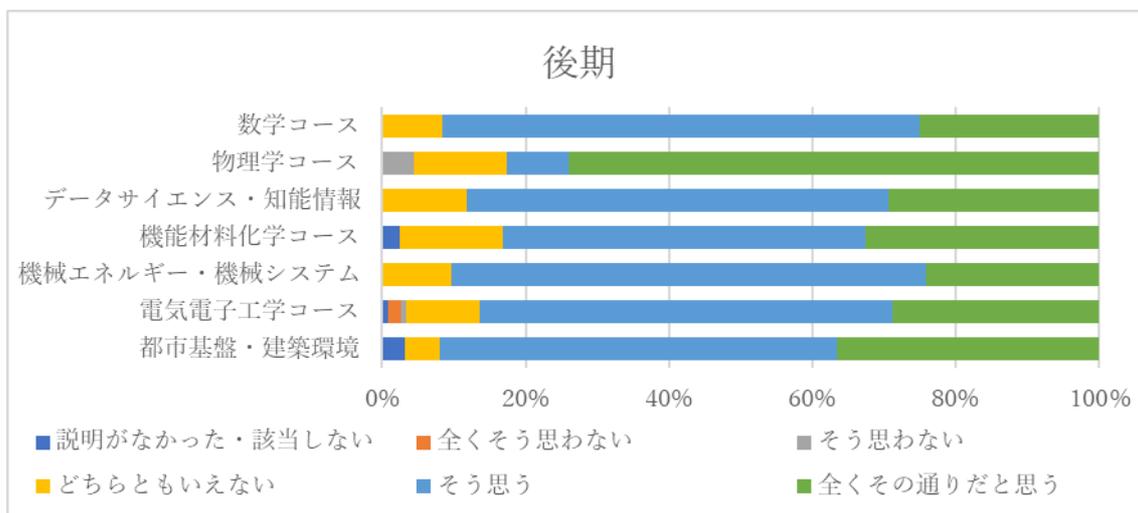
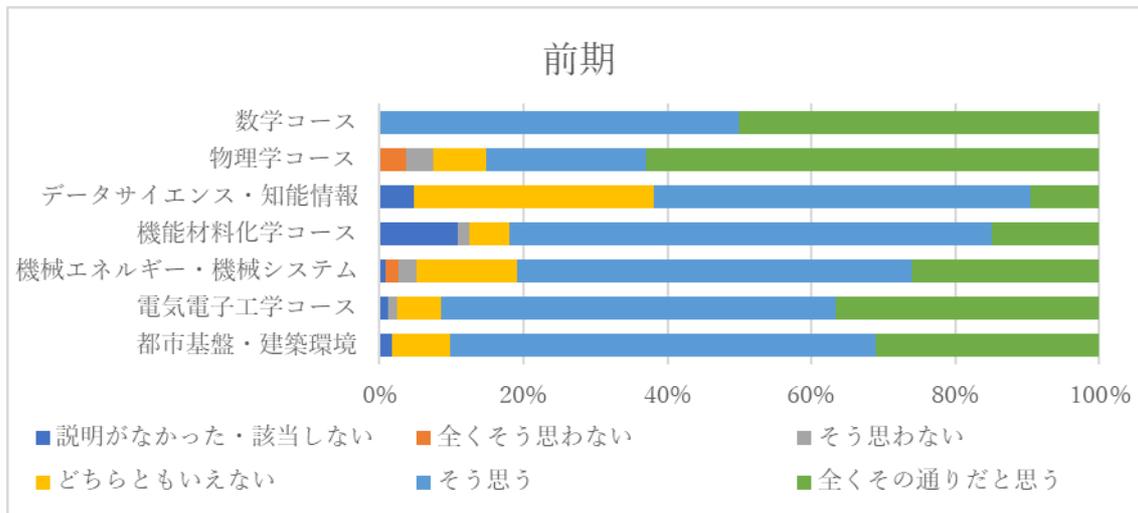
一部のコースを除いて、授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用した学生は60%以上である。しかしながら、講義等でシラバスの活用について引き続き周知する必要があると考えられる。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。



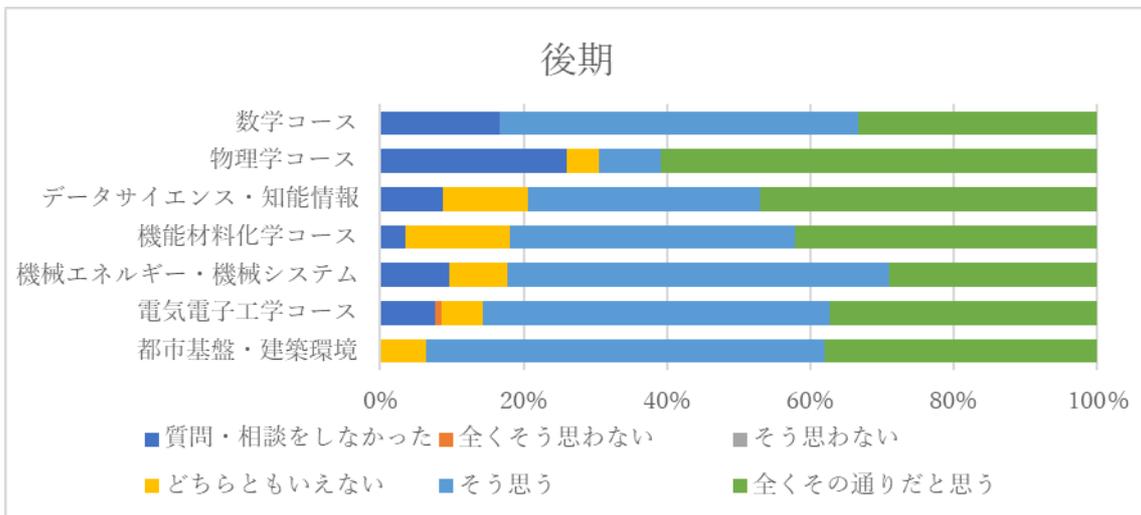
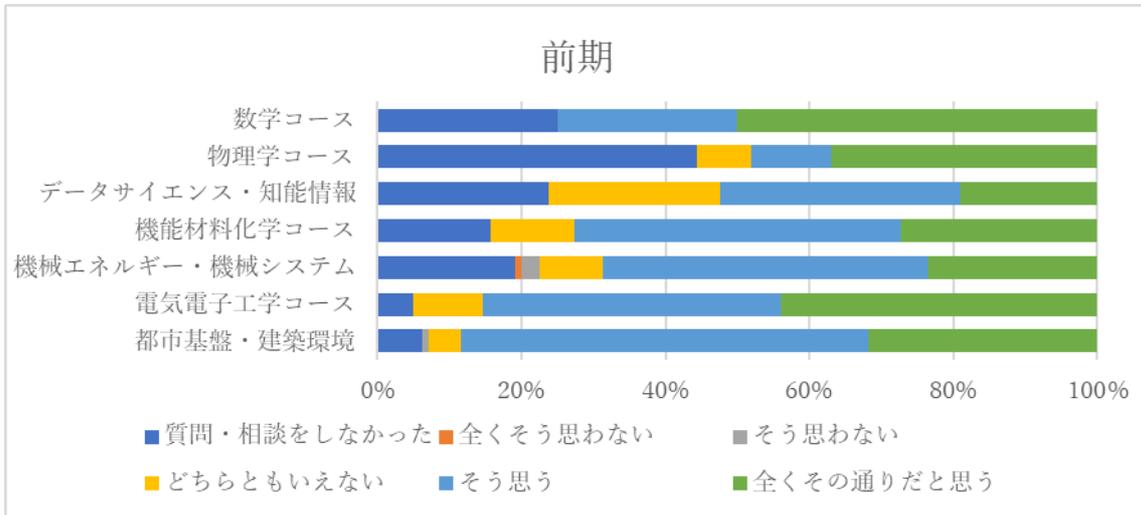
学習到達目標や成績評価基準については、一部のコースを除いて 80%以上の学生が把握している。シラバス活用の程度の割には高い値である。

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。



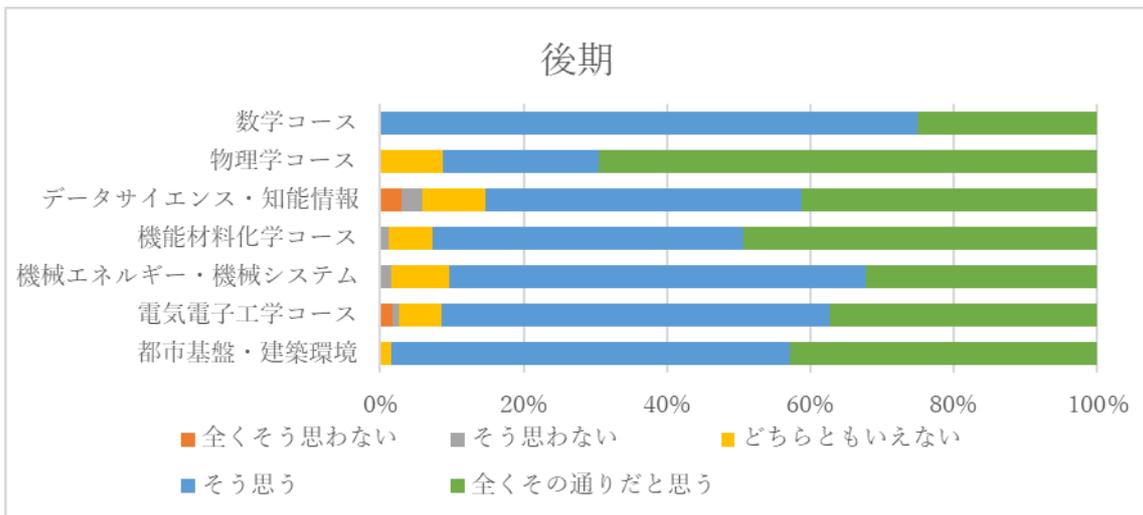
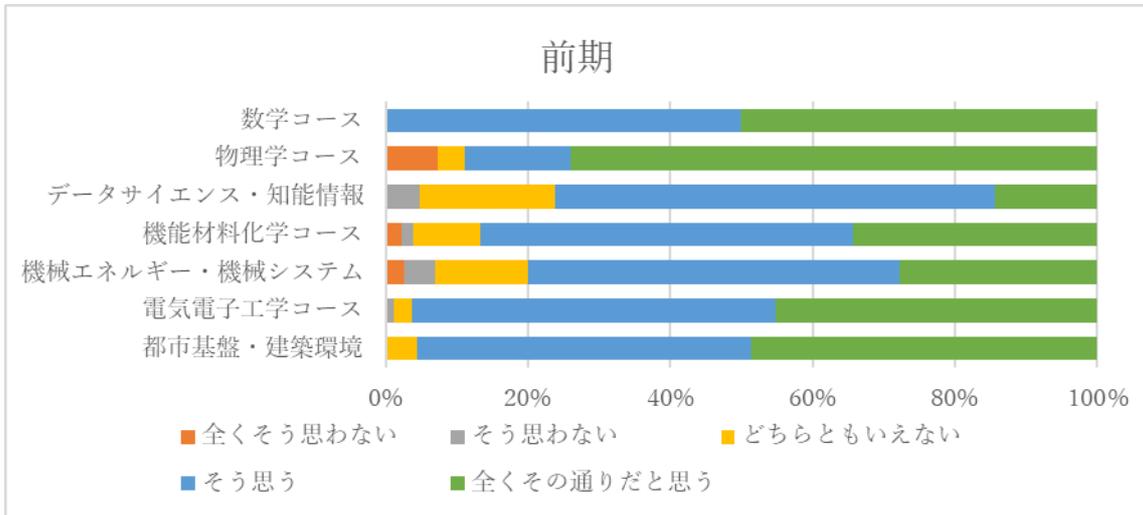
一部のコースを除いて、教員による教育方法や成績評価方法などの説明については、80%以上の学生が有益であったと回答しており、十分な説明がなされていると言える。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。



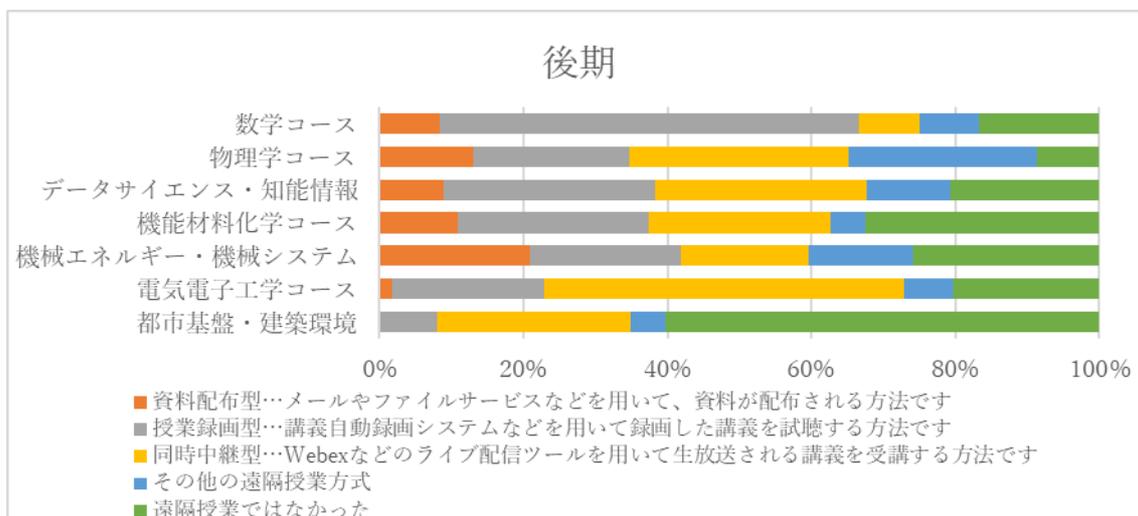
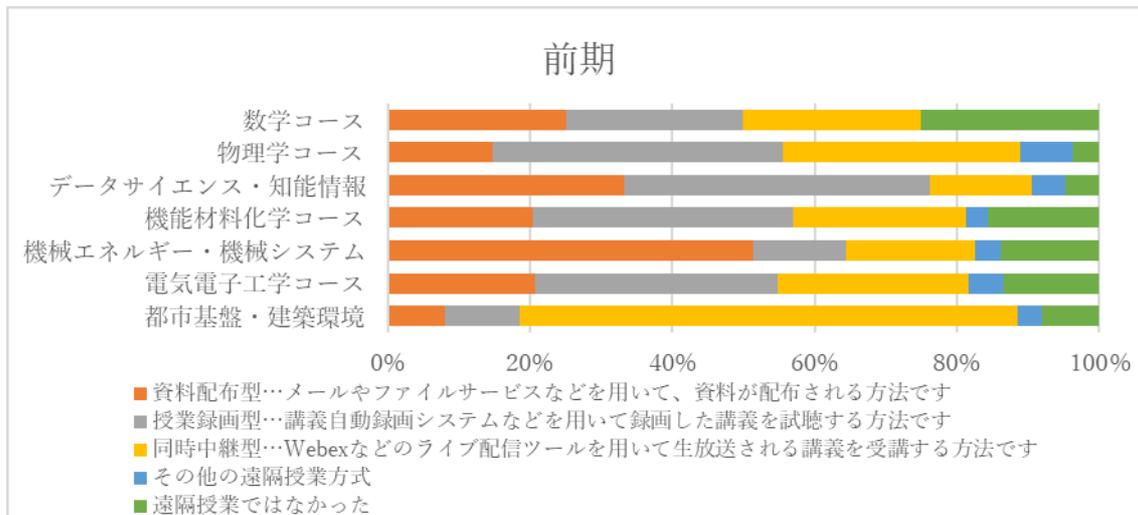
各コースの教員は、学生の質問や相談に対して概ね適切に対応している。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。



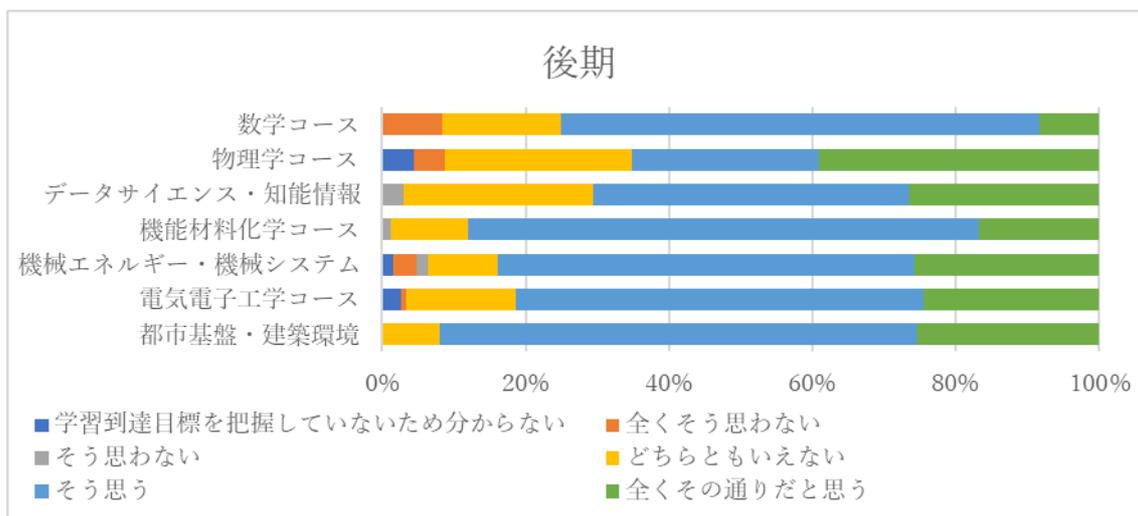
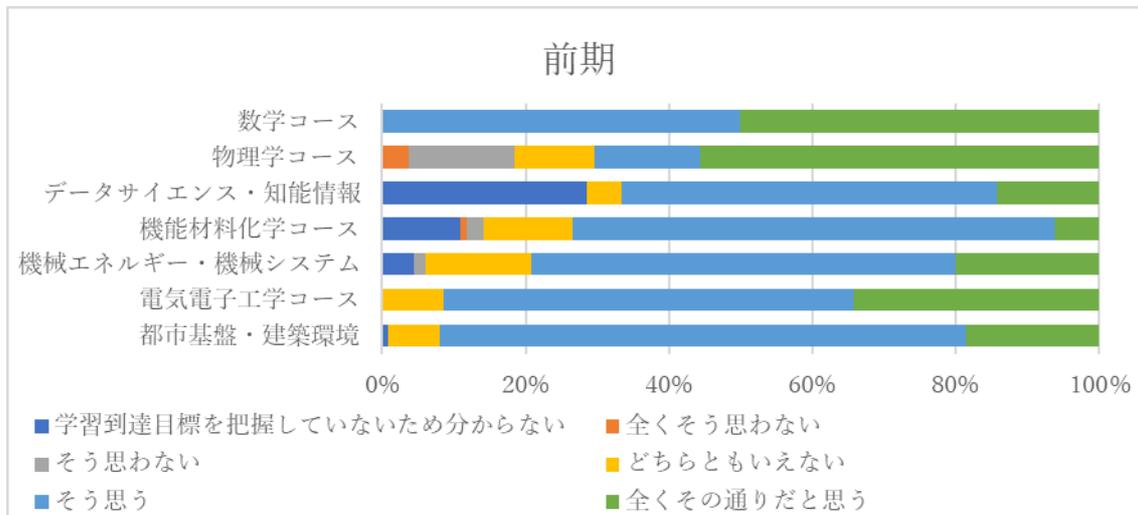
各コースの教員は、授業に対して概ね意欲や熱意をもって取り組んでいることがわかる。

C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。



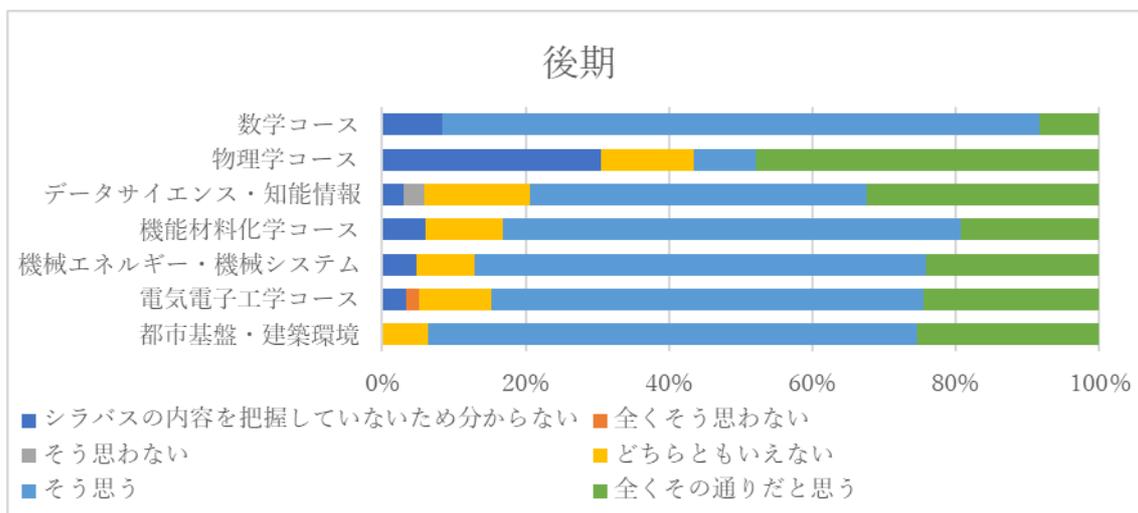
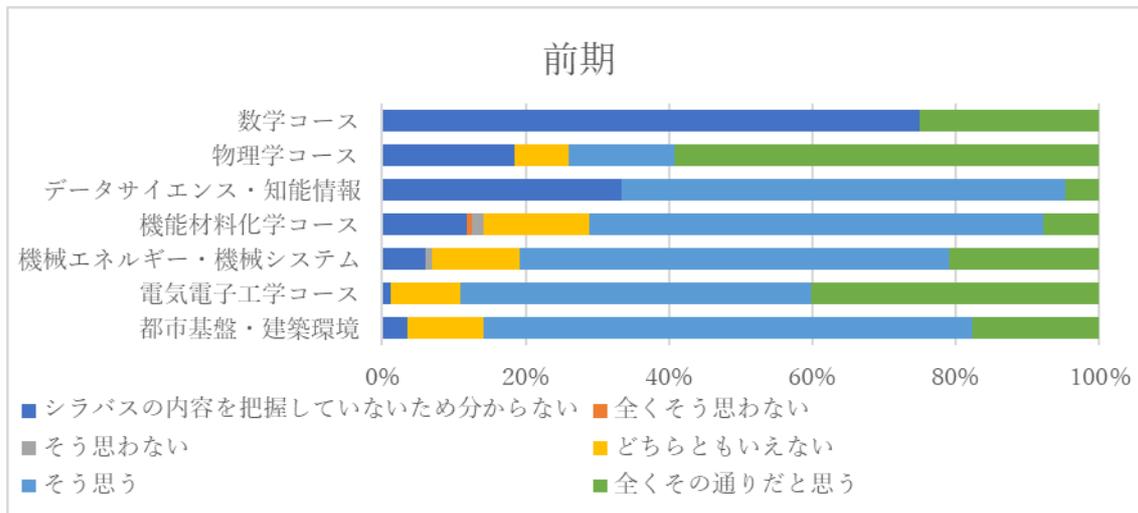
前期に比べ後期は資料配布型や授業録画型の授業形態が占める割合が減少しており、遠隔授業以外の形態の割合も増加している。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



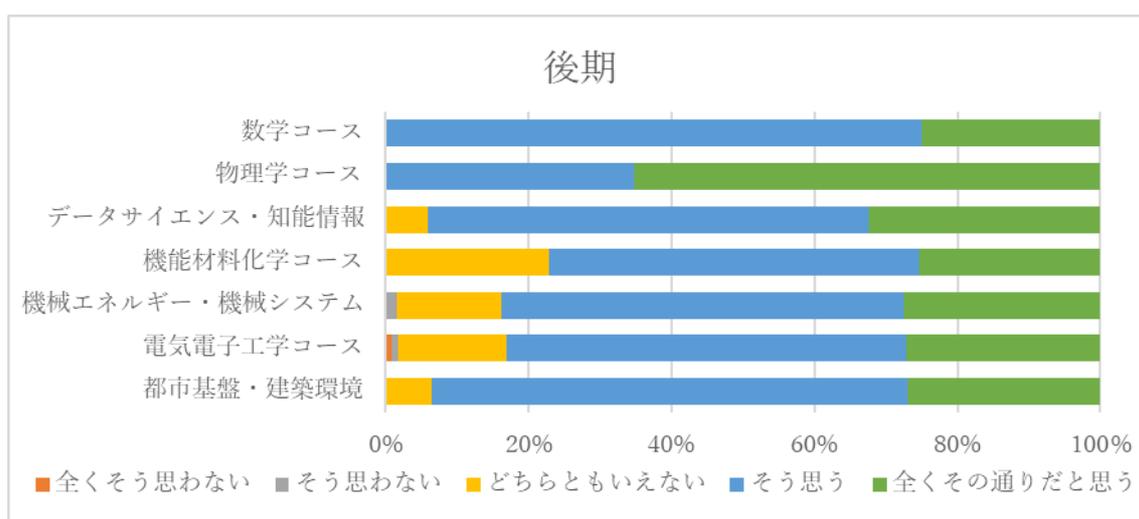
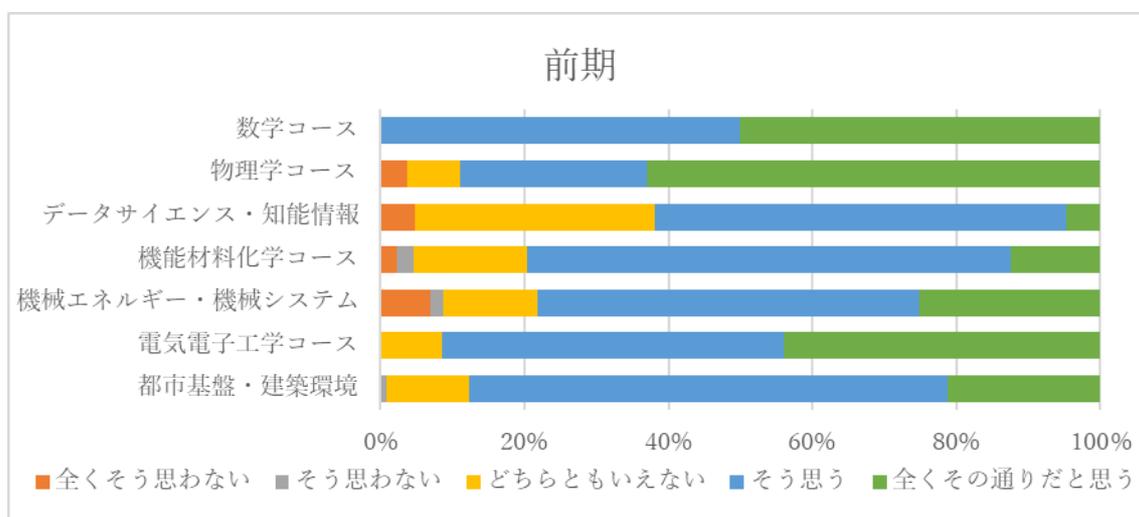
大半のコースにおいて、70%以上の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。これは B-3 の教員の授業への取り組みの成果と考えられる。

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



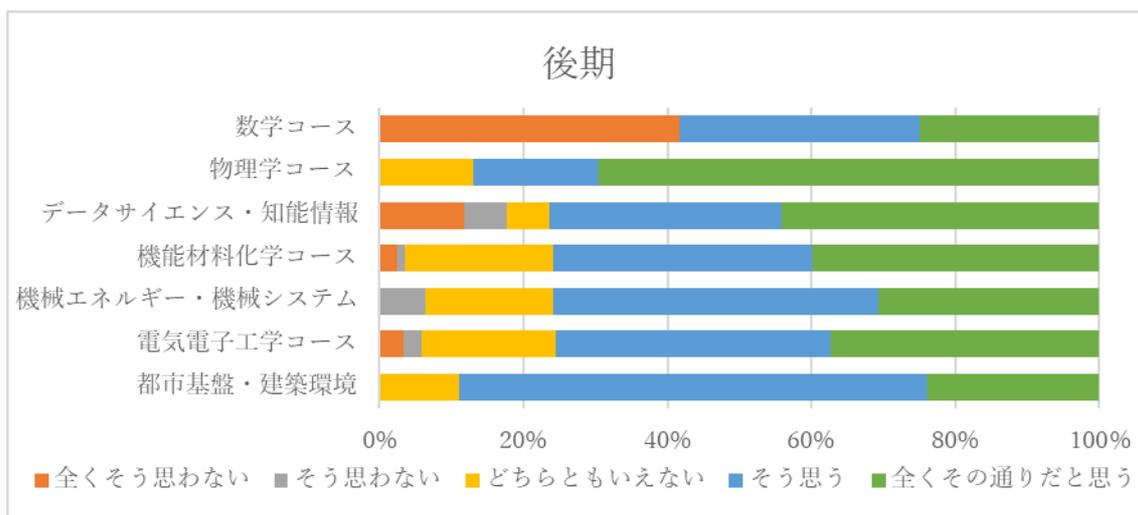
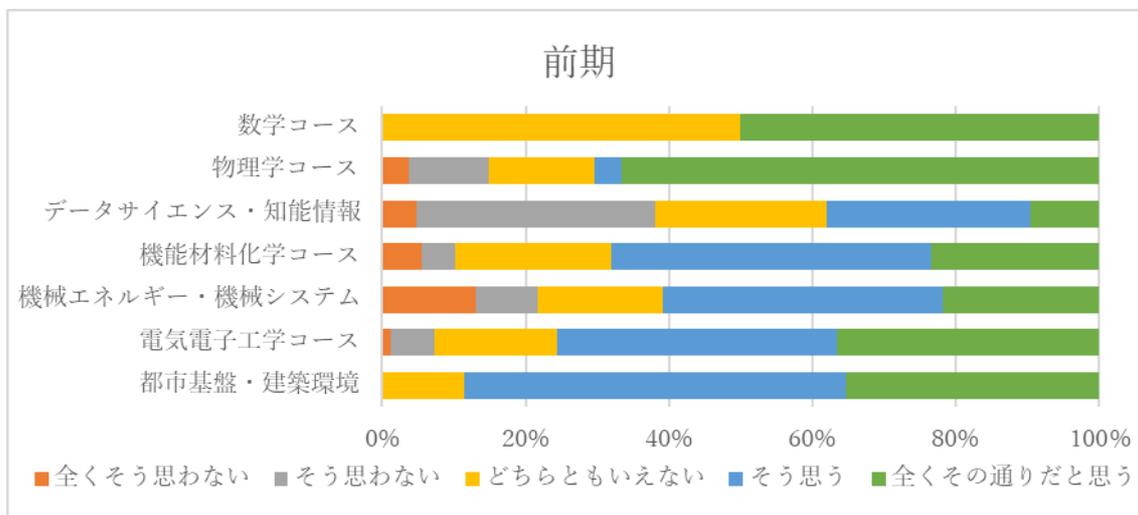
前期に比べ後期は「授業内容はシラバスとおりに行われている」と回答している割合が増加した。これは遠隔授業以外の形態の割合が増加したことにも関係すると思われる。

C-4 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。



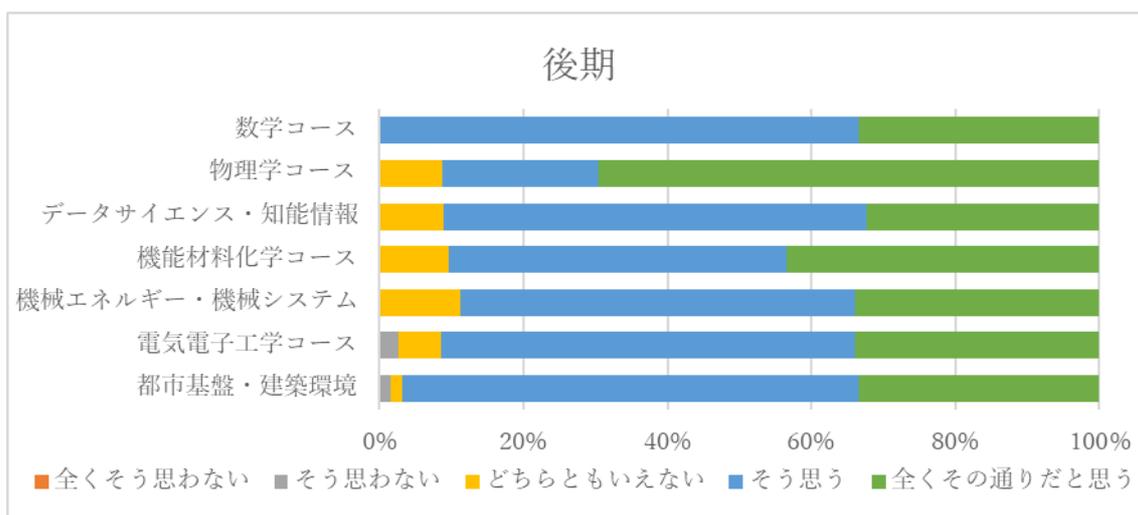
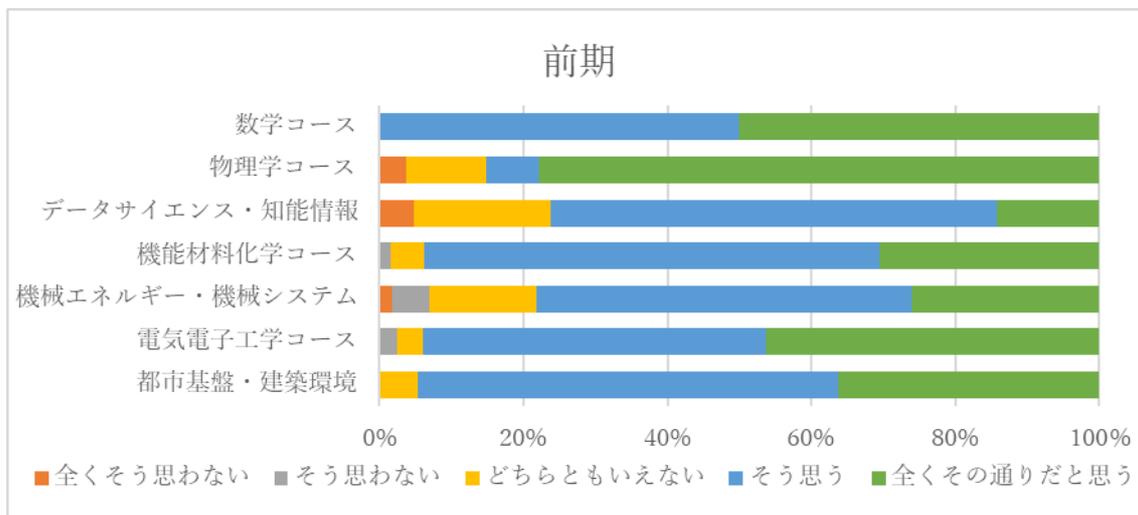
前期に比べ後期は「教材やICT環境は授業の理解に役立った」回答している割合が増加した。これは遠隔授業以外の形態の割合が増加したことにも関係すると思われるが、各教員が教材やICT環境を授業にうまく活用している成果と考えられる。

C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



コースによって、ばらつきがあるが、大学院科目についても、学生の理解度を促すために、アクティブラーニングを多く取り入れられていることがわかる。また、前期に比べ後期は「授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があった」と回答している割合も増加しており、授業の形態にも関係すると考えられる。

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。

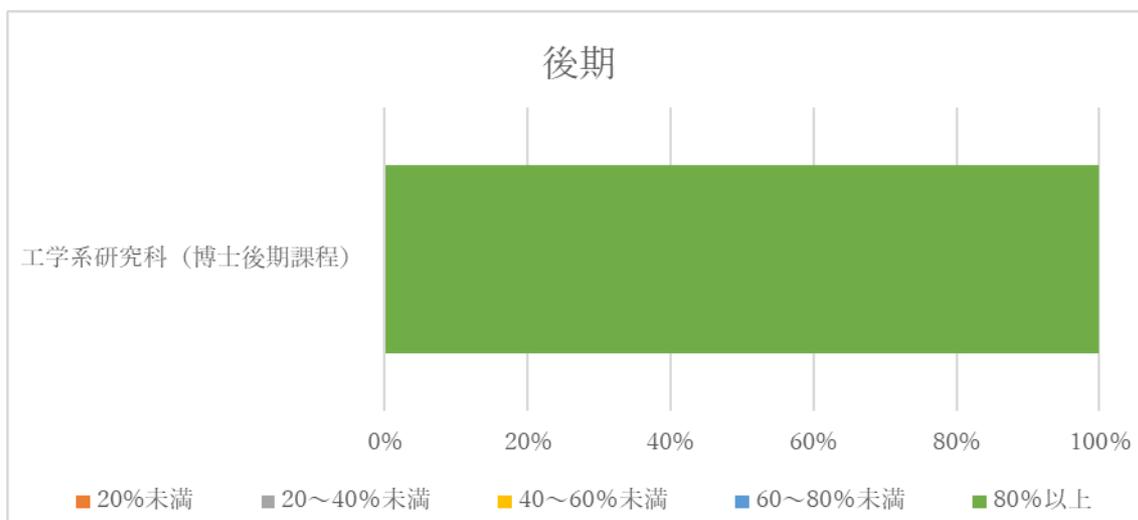
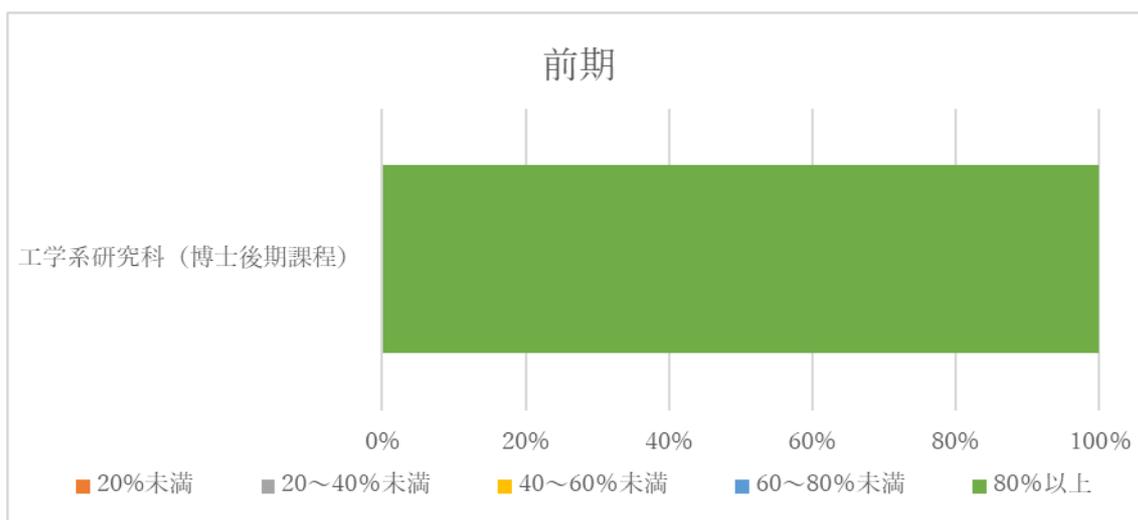


前期よりも後期の方が若干満足度が高いコースもあるが、いずれのコースにおいても授業に対する学生の満足度は比較的高いことがわかる。

工学系研究科（博士後期課程）の状況

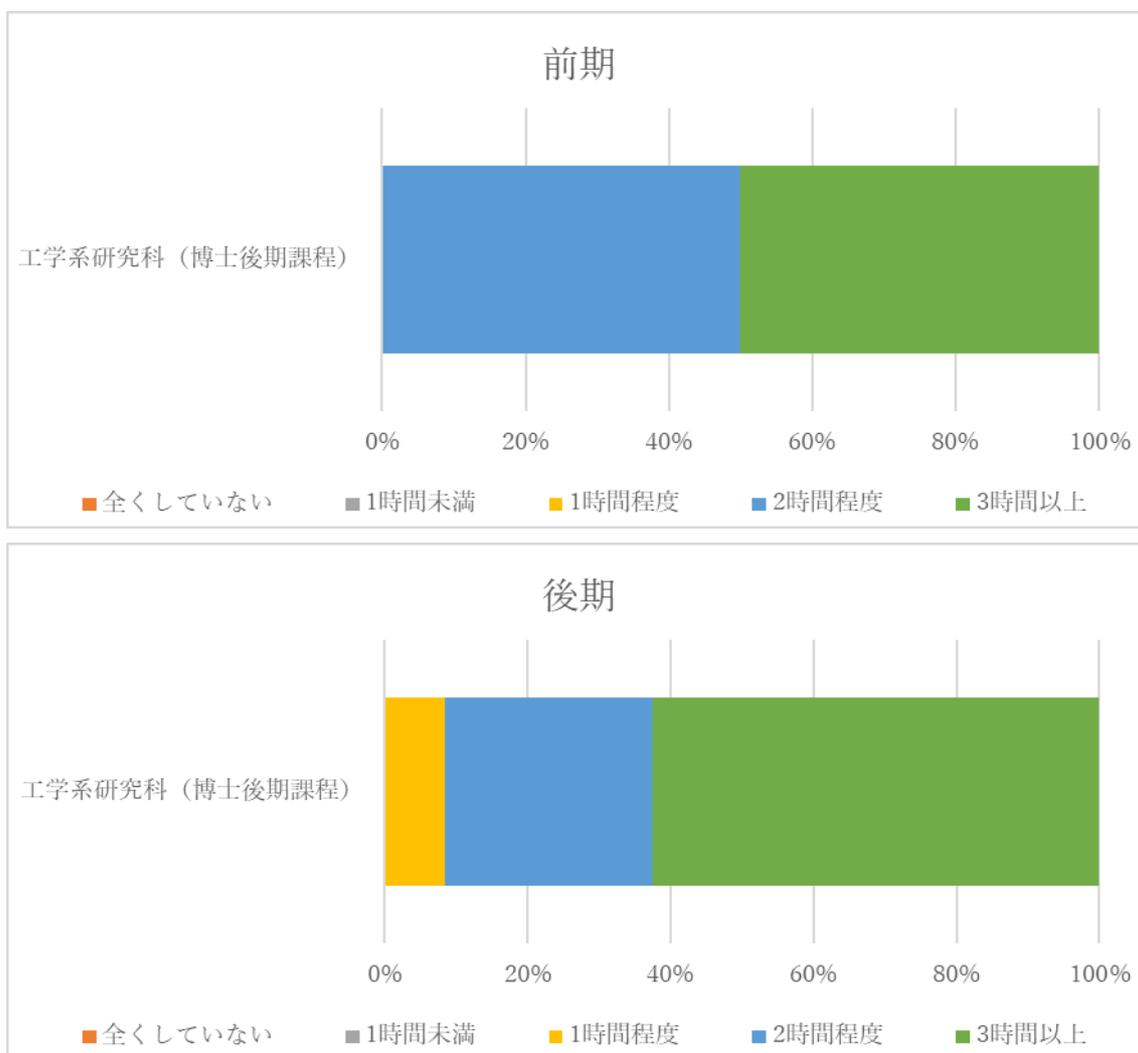
工学系研究科（博士後期課程）で開講している科目数は 101 件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は 24 件、回答率は 22.8%であった。以下の各項目について分析を行う。

A-1 出席率はどのくらいですか。



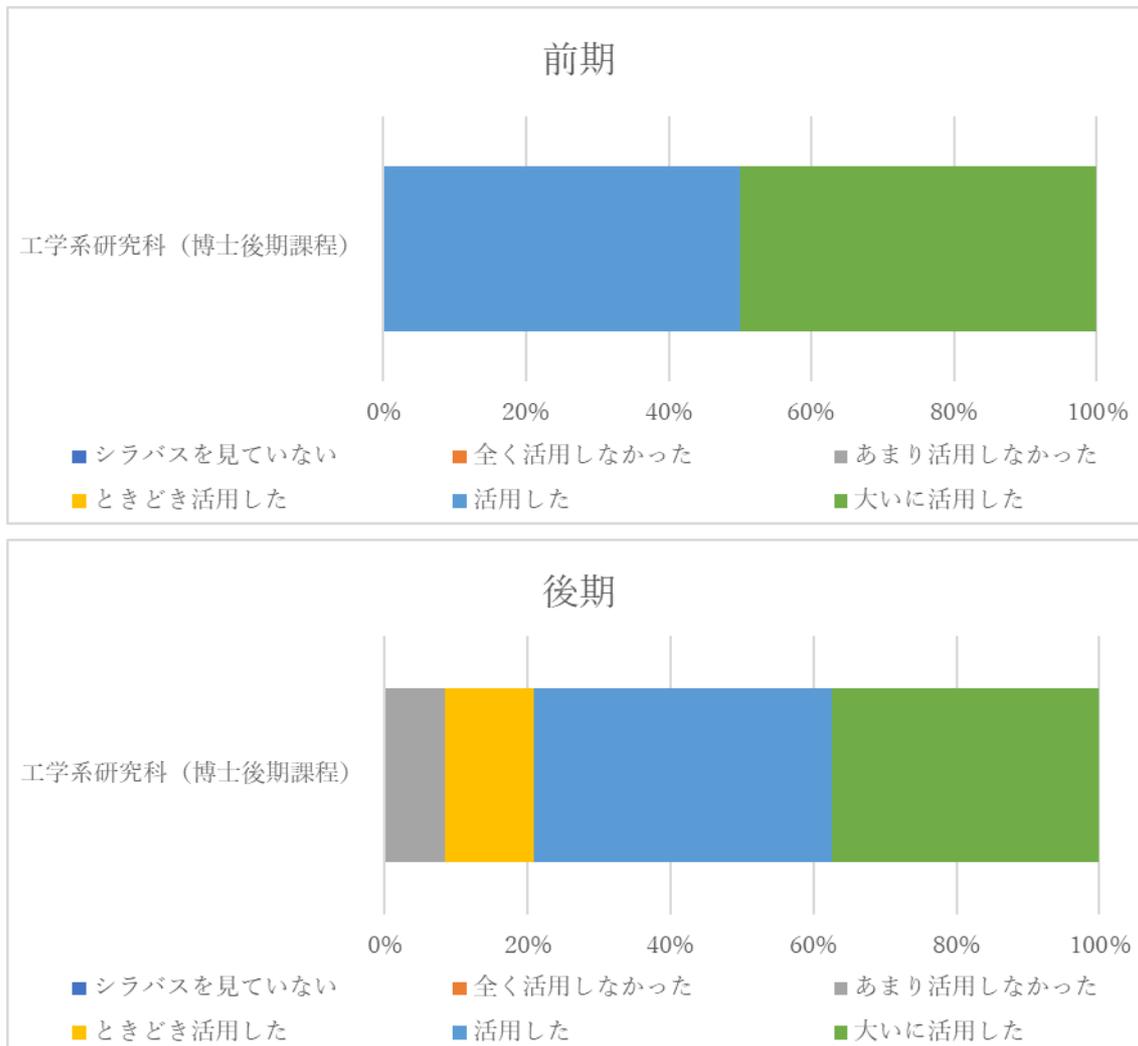
前後期に亘り全ての学生が 80%以上出席している。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。



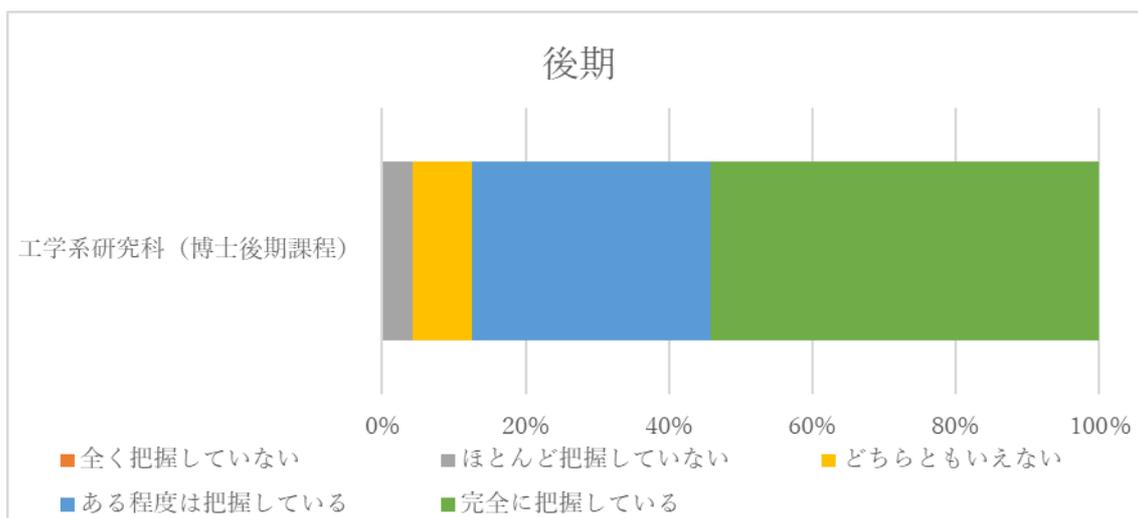
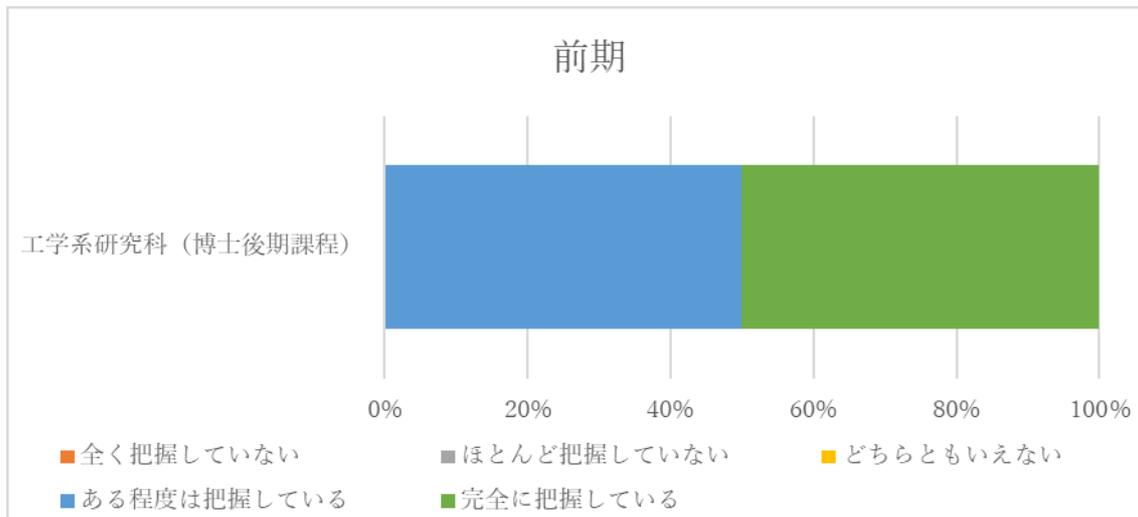
一部の学生を除いて2時間以上学習を行っている。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



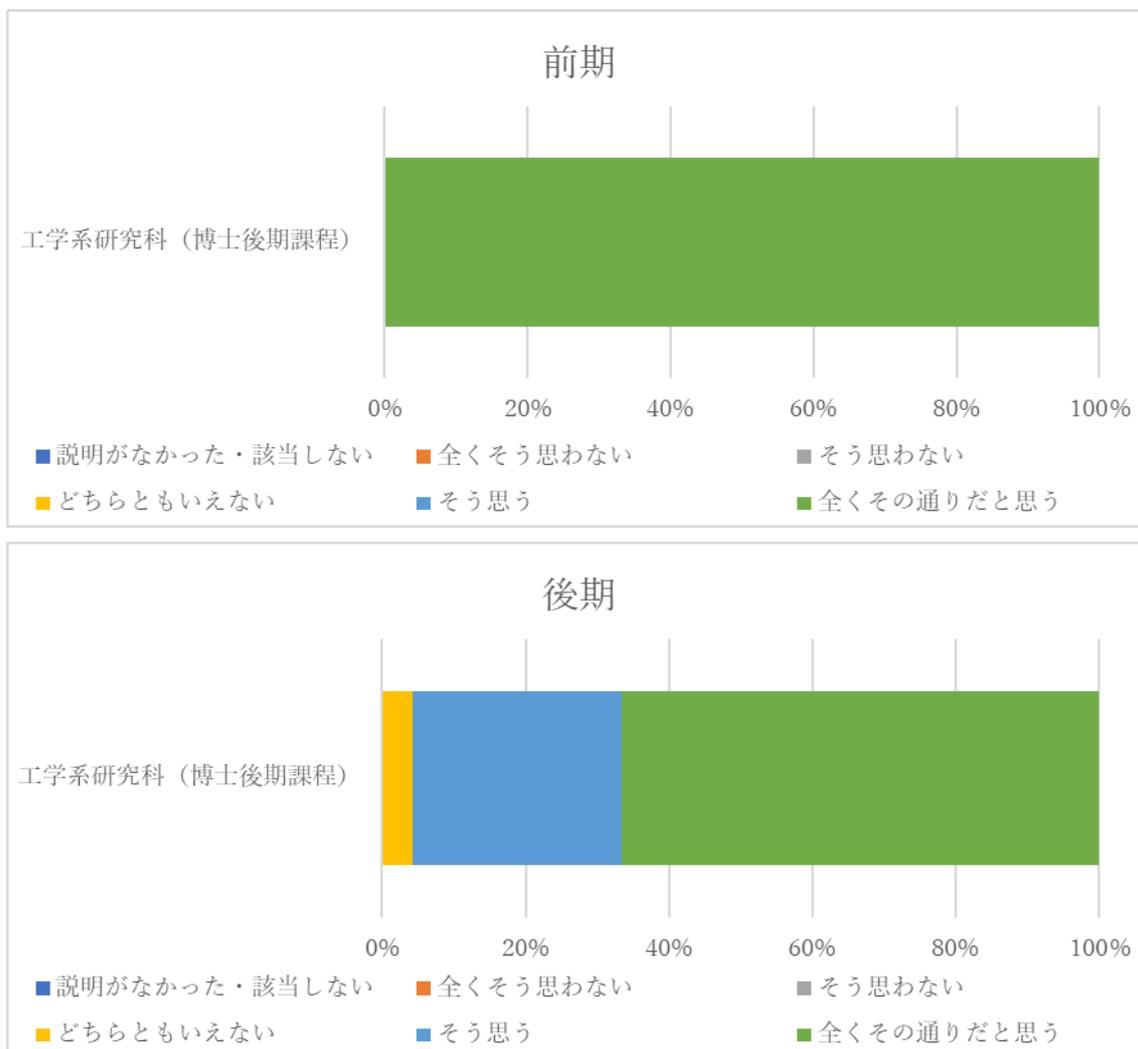
授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用した学生は 80%以上である。しかしながら、あまり活用していない学生もいることから、講義等でシラバスの活用について引き続き周知する必要があると考えられる。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。



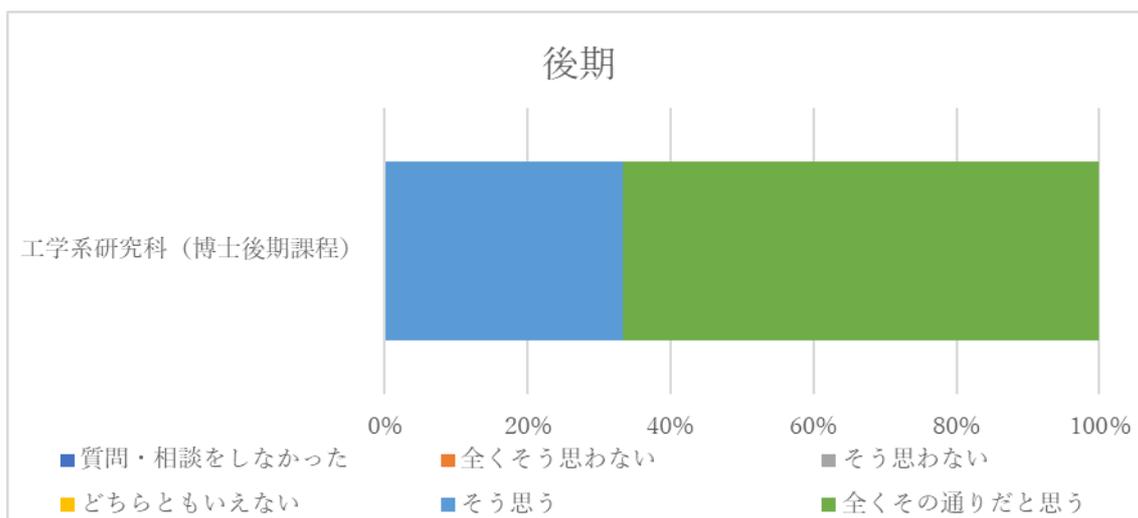
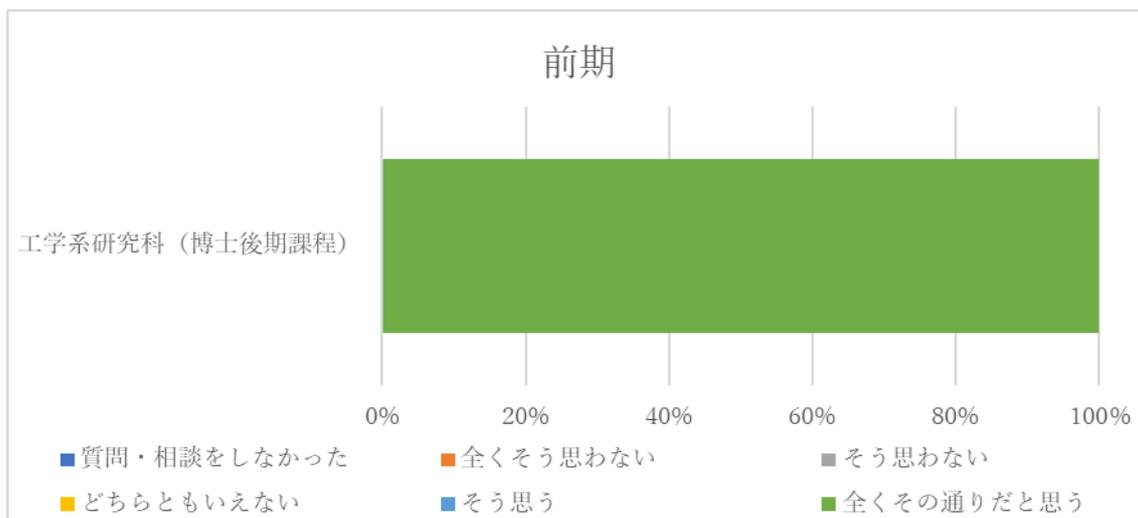
学習到達目標や成績評価基準については、80%以上の学生が把握しており、シラバス活用の程度と相関性があるように思われる。

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。



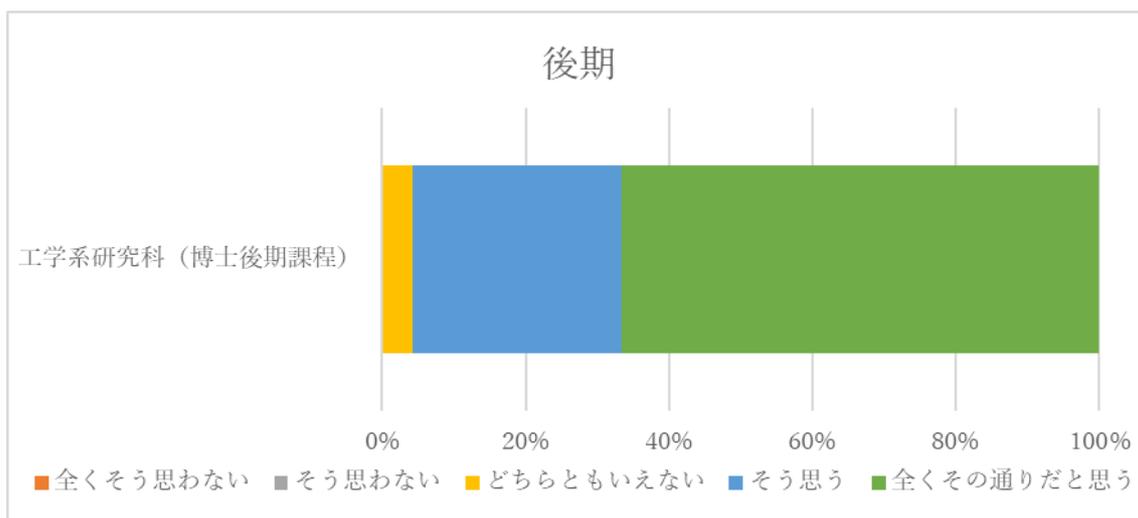
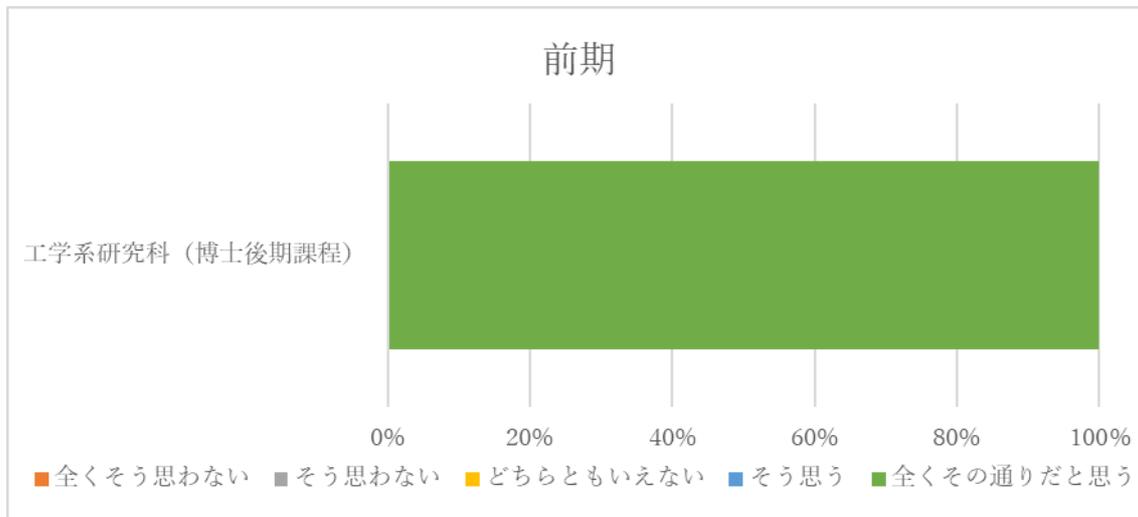
教員による教育方法や成績評価方法などの説明については、90%以上の学生が有益であったと回答しており、十分な説明がなされていると言える。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。



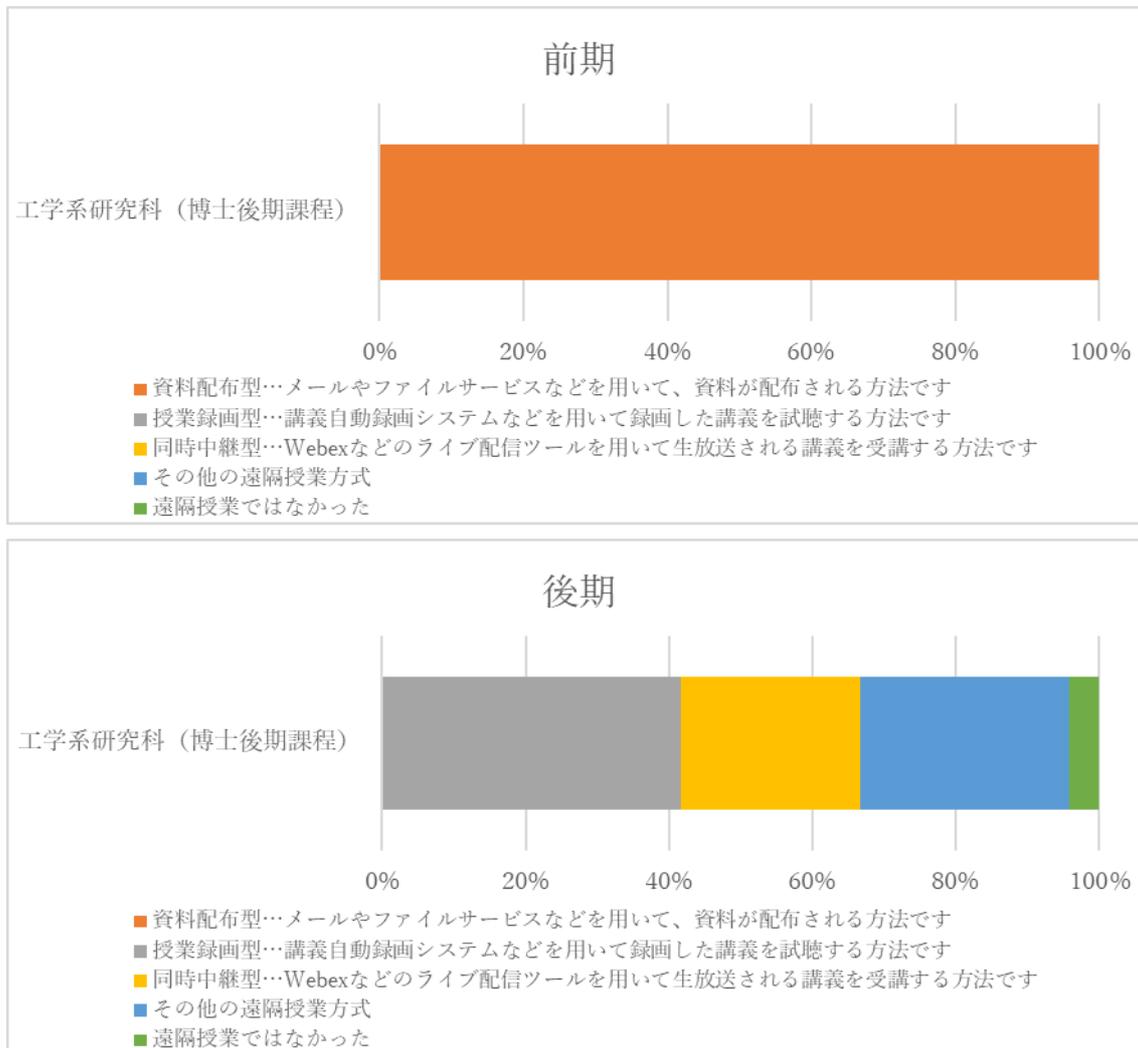
教員は学生の質問や相談に対して適切に対応していると考えられる。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。



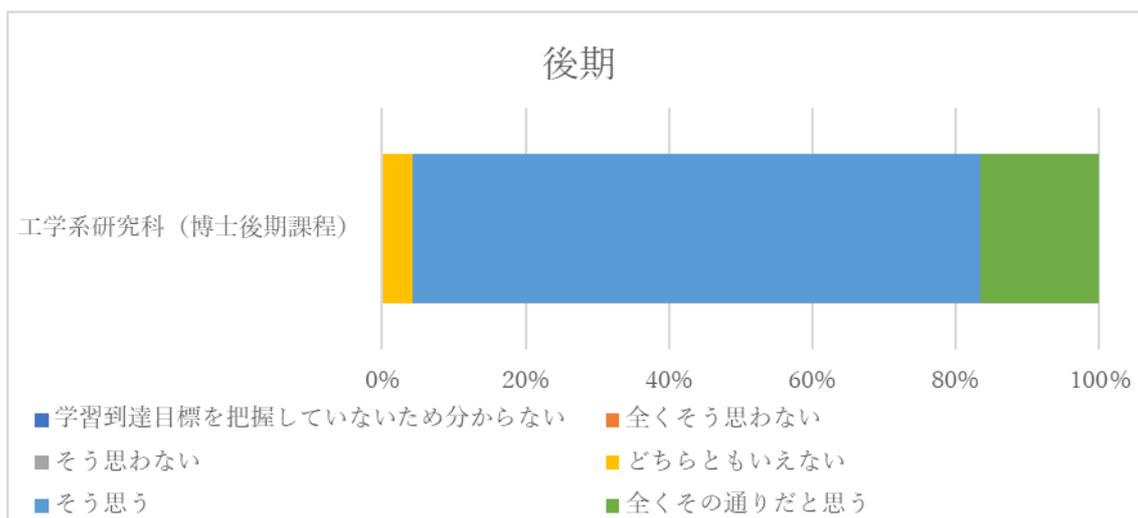
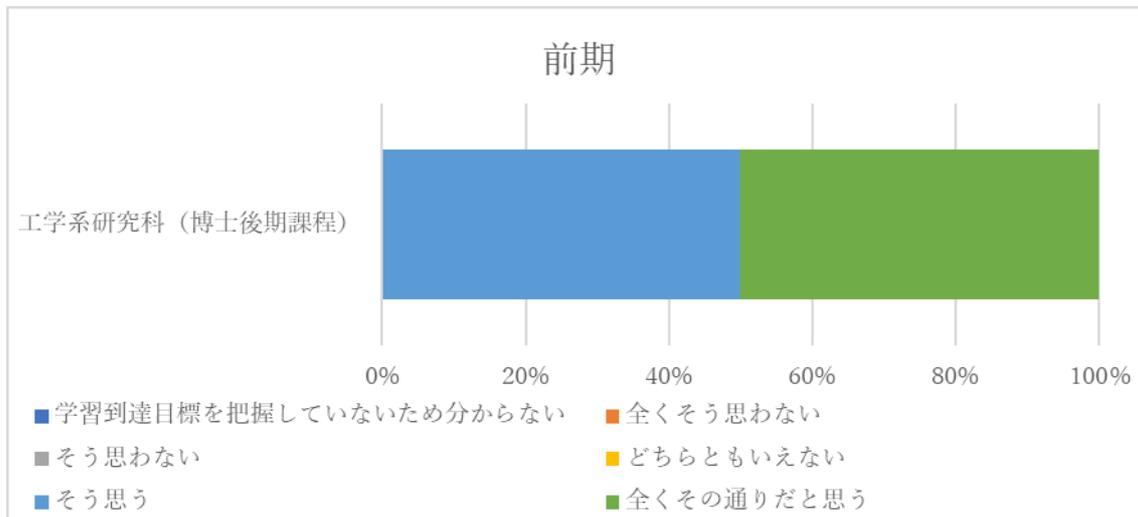
教員は、授業に対して概ね意欲や熱意をもって取り組んでいることがわかる。

C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。



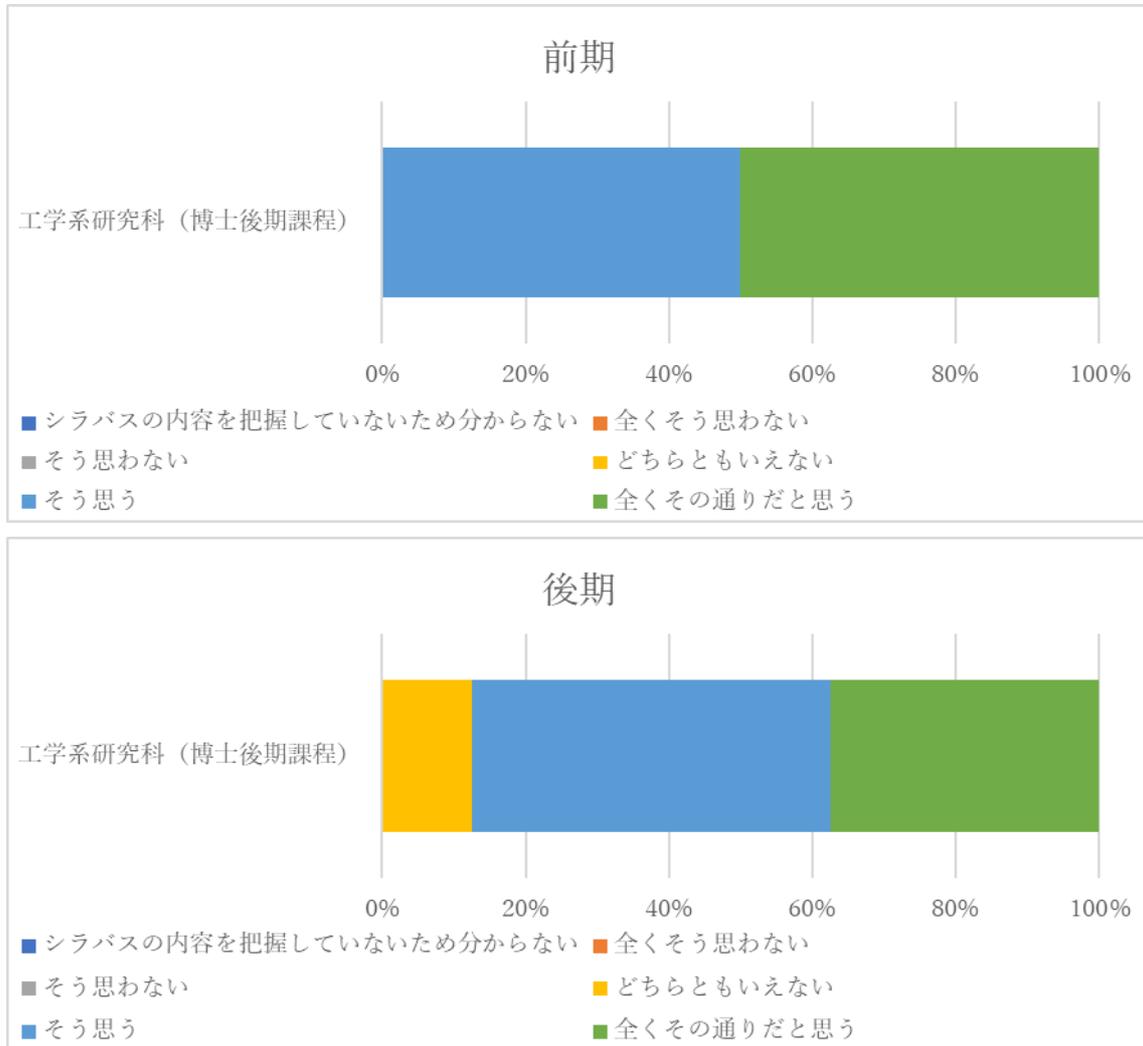
前期に比べ後期は資料配布型の授業形態が占める割合が減少しており、授業形態も多様化している。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



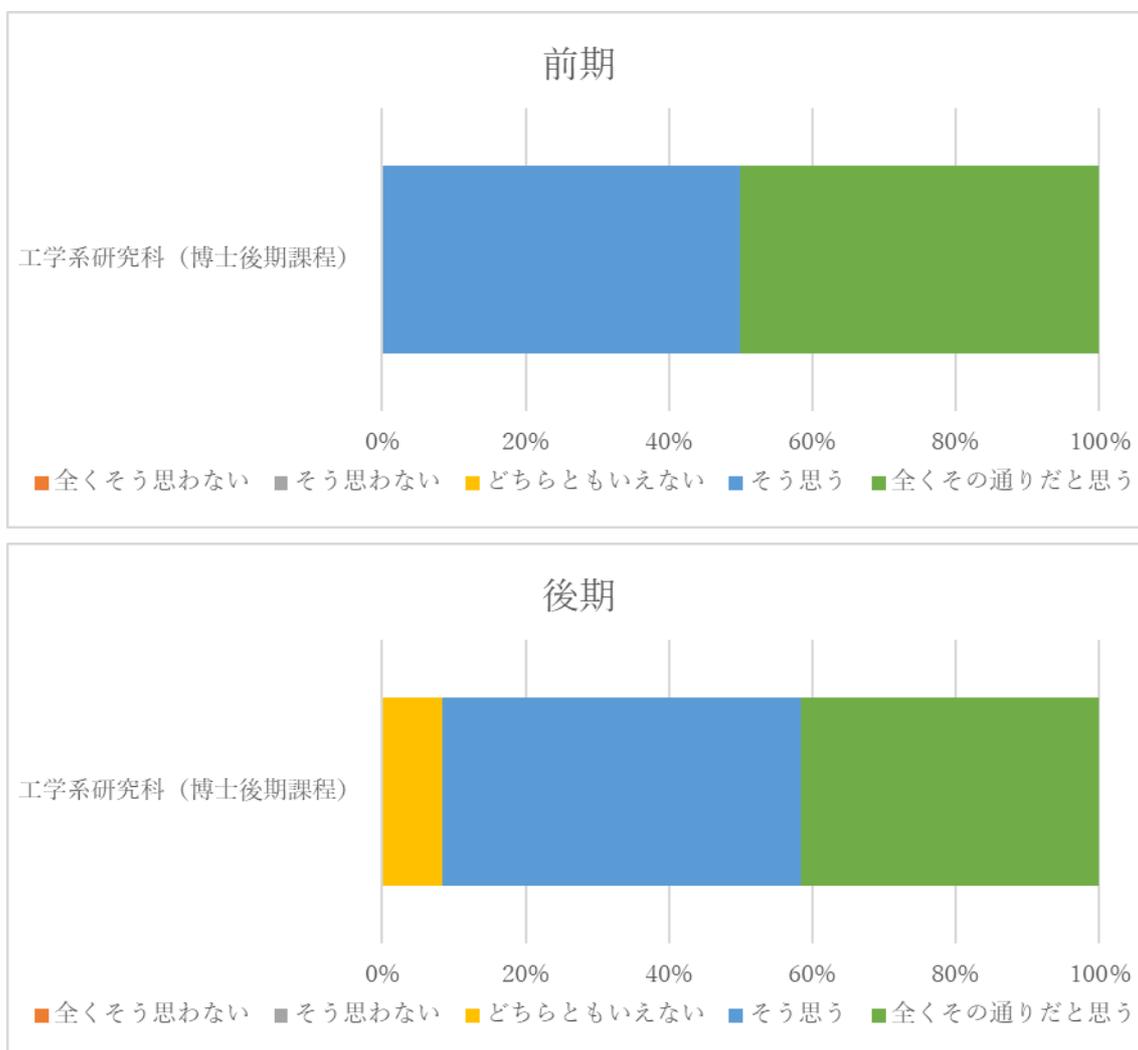
90%以上の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。これは B-3 の教員の授業への取り組みの成果と考えられる。

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



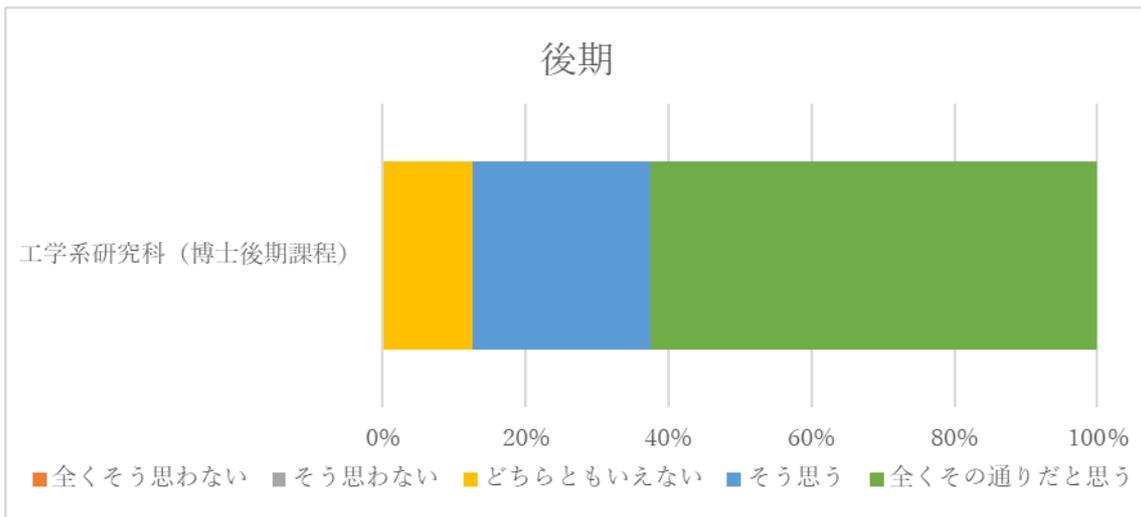
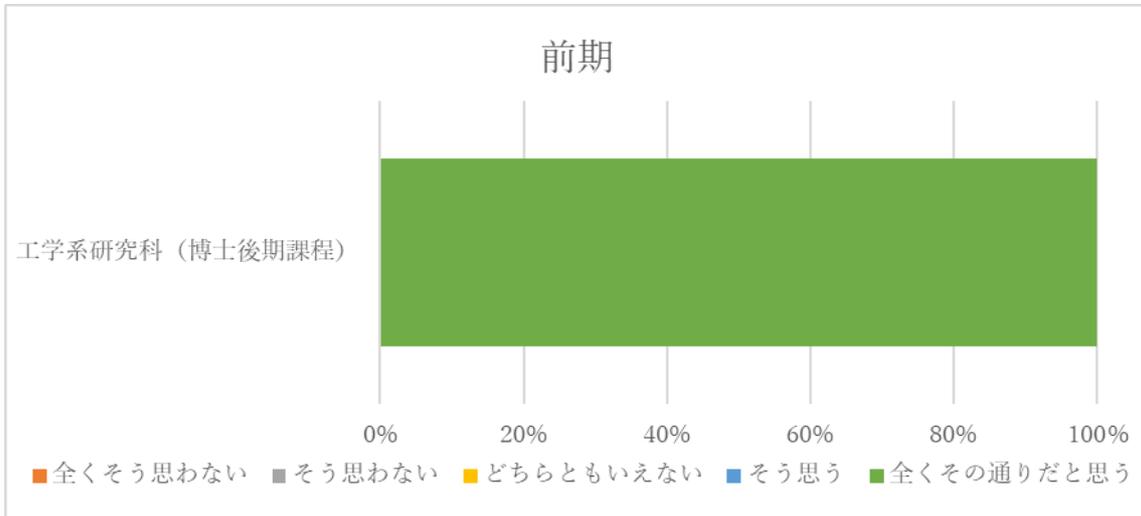
年間を通じて「授業内容はシラバスとおりに行われている」と回答している割合が 80% 以上を占めており、概ねシラバスに沿って授業が行われていることがわかる。

C-4 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用Web ページ、ネット授業、E ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。



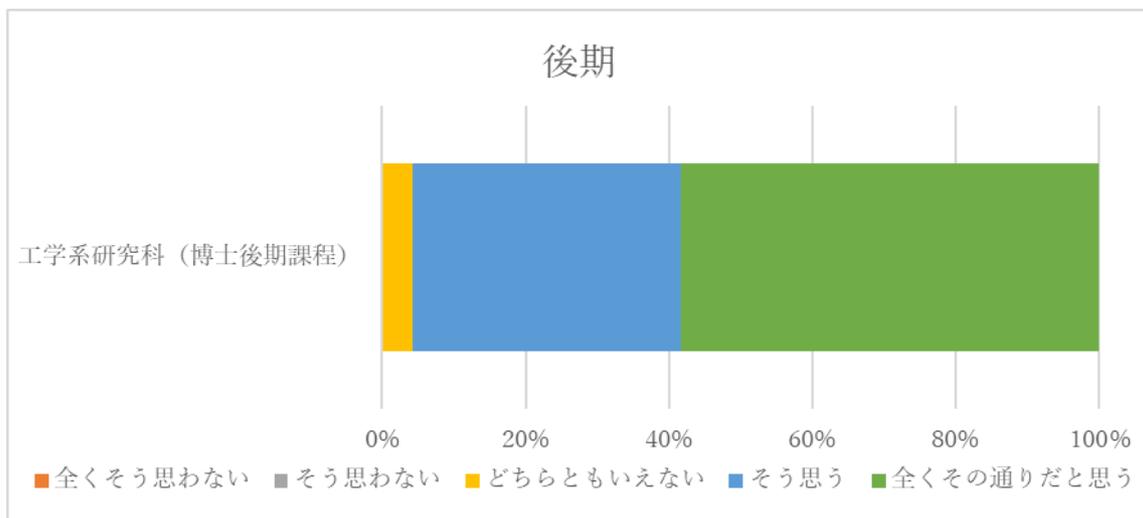
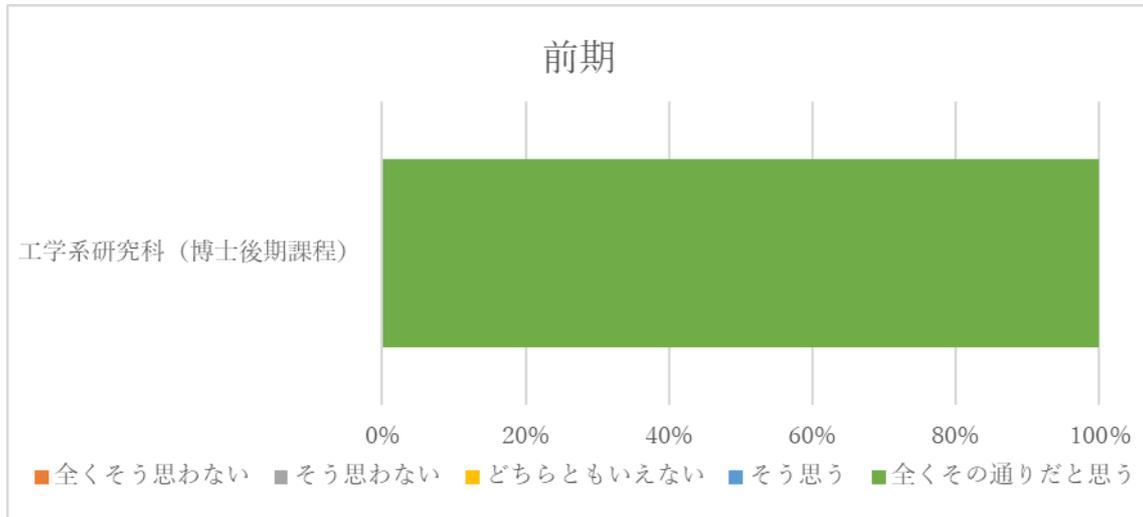
「教材やICT環境は授業の理解に役立った」回答している割合が90%を占めており、各教員が教材やICT環境を授業にうまく活用している成果と考えられる。

C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



学期によってばらつきはあるが、学生の理解度を促すために、アクティブラーニングを多く取り入れられていることがわかる。

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。



一部の学生の回答が曖昧ではあるが、授業に対する学生の満足度が高いことがわかる。

令和2年度 授業評価報告書

佐賀大学農学部

佐賀大学大学院農学研究科

令和3年

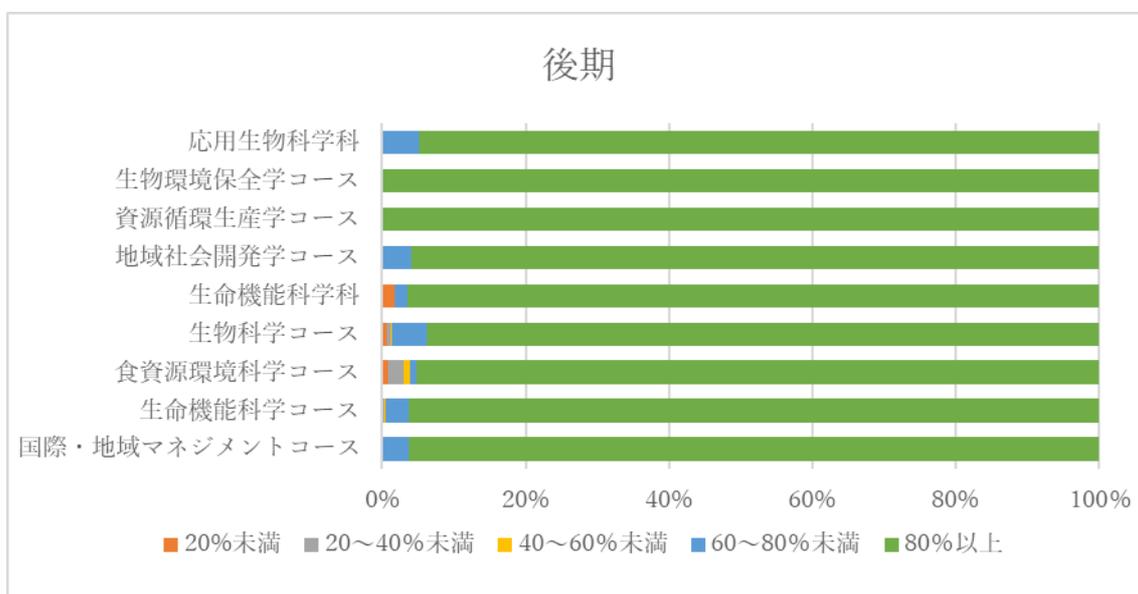
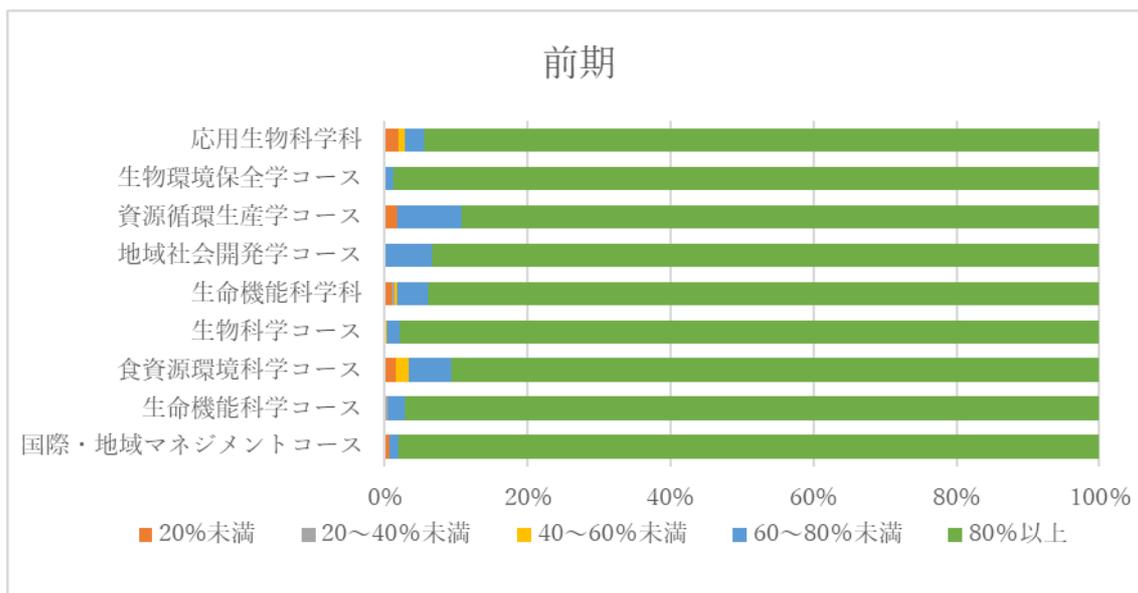
佐賀大学農学部FD委員会

佐賀大学大学院農学研究科FD 委員会

「授業評価アンケート結果と分析」

旧カリキュラム(3年次生以上が在籍)、新カリキュラム(2年次生以下が在籍)のいずれにおいても、講義を担当の教員の所属によってデータの取りまとめを行った。

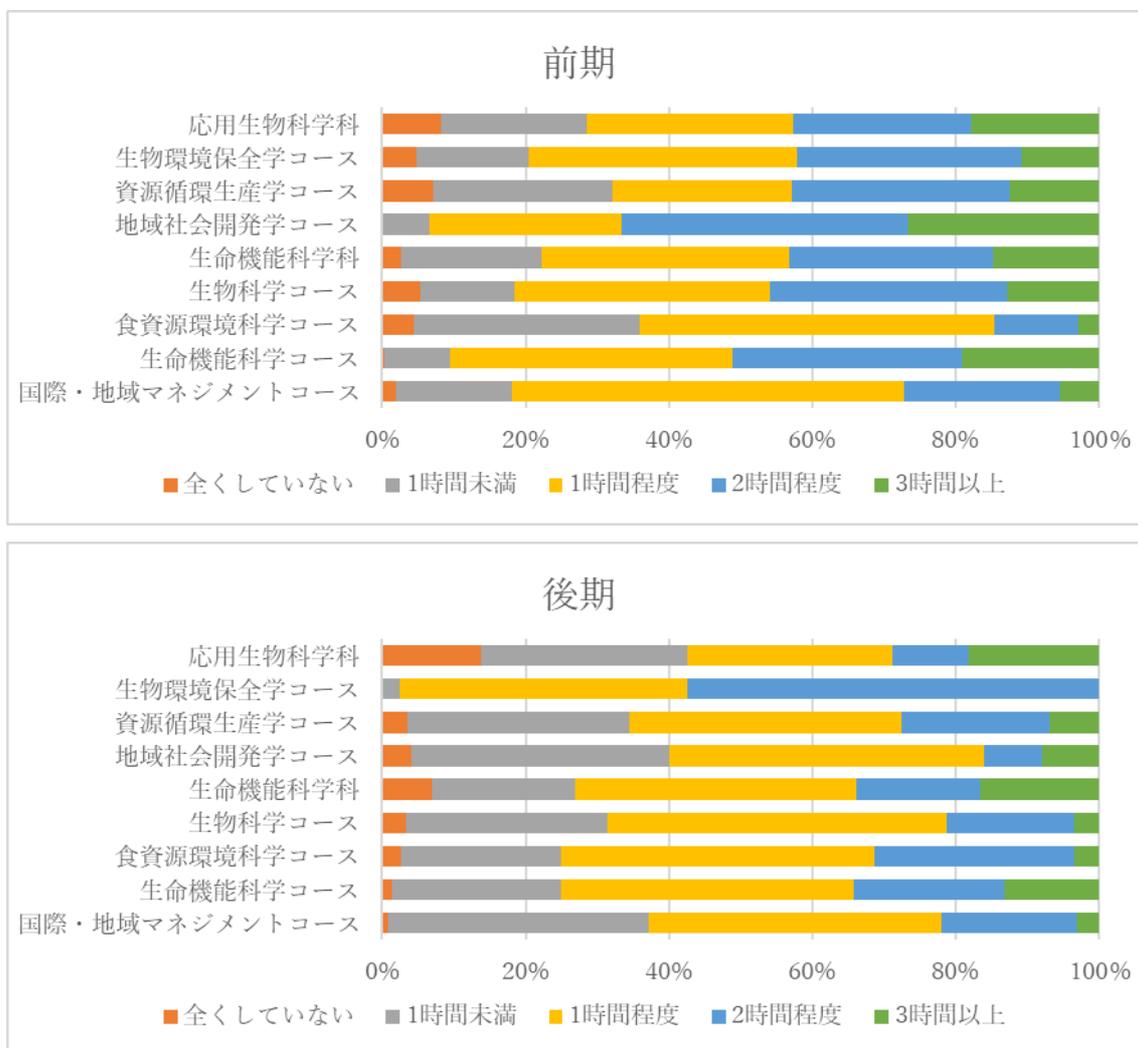
A-1 出席率はどのくらいですか。



出席率が80%以上の学生が概ね90%以上であり、高い水準であるといえる。一方で、出席率が80%の学生の割合は前学期で後学期よりも低い傾向がみられた。これは、令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため、急遽、前期の開講日の延期、すべての授業がオンラインでの遠隔授業で実施されることが決定されたことに起因すると考えられる。実際に、オンラ

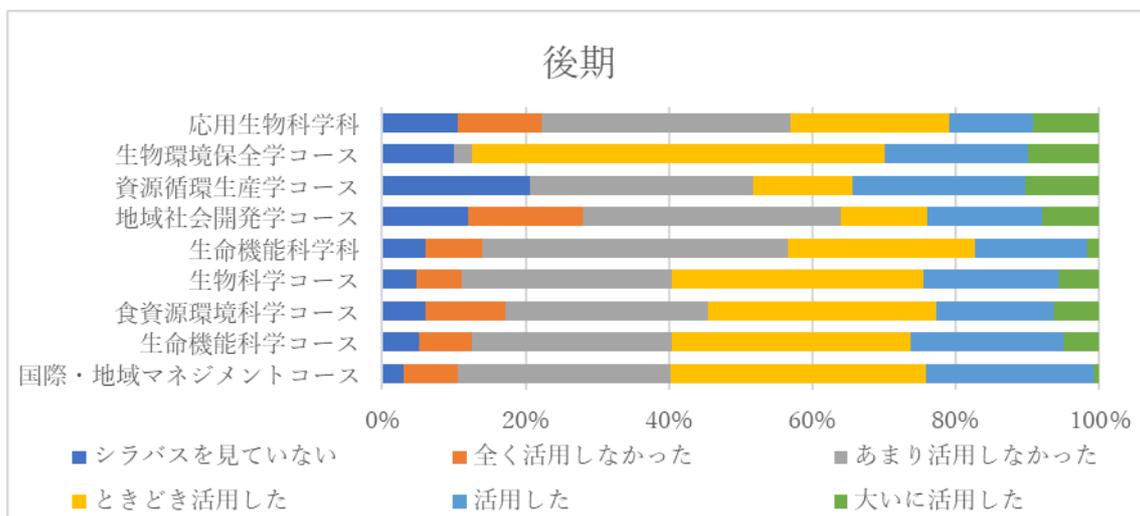
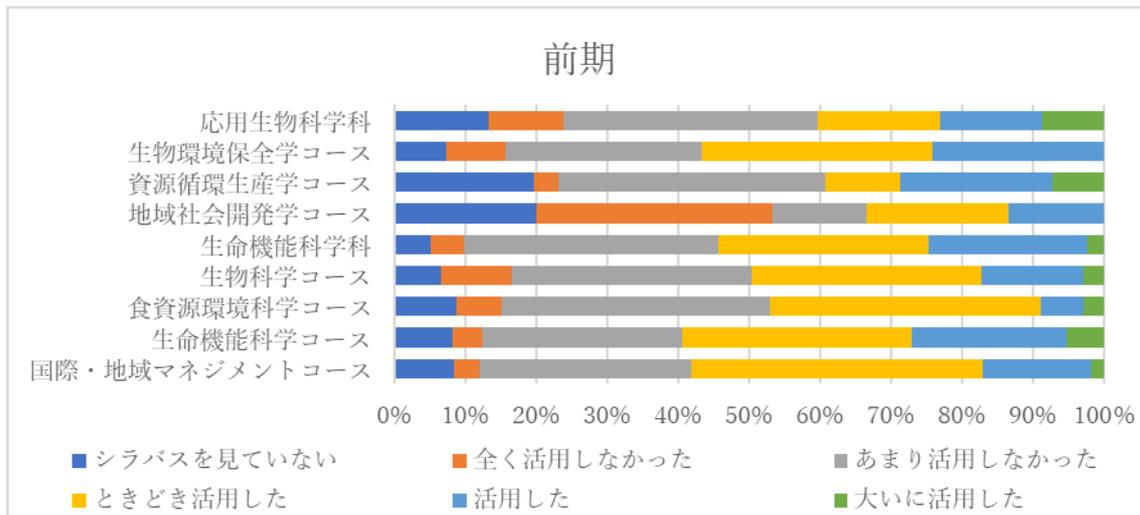
イン授業開始当初では、教員による連絡通知漏れ、学生自身の連絡確認不足、学生の自宅のインターネット環境の未整備、学生の受講設定ミスといったことが原因で一部の学生が出席できなかったという報告を受けている。一方で、教員・学生ともにオンラインでの授業に慣れた後期においては、例年と同水準に回復していることから、前期での出席率の低下は一時的なものと言えるが、新型コロナウイルス感染症の終息が不確かな状況においては、引き続き、連絡通知の徹底、手助けが必要な学生に対するケア、成績評価における配慮等、柔軟な対応を続ける必要がある。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。



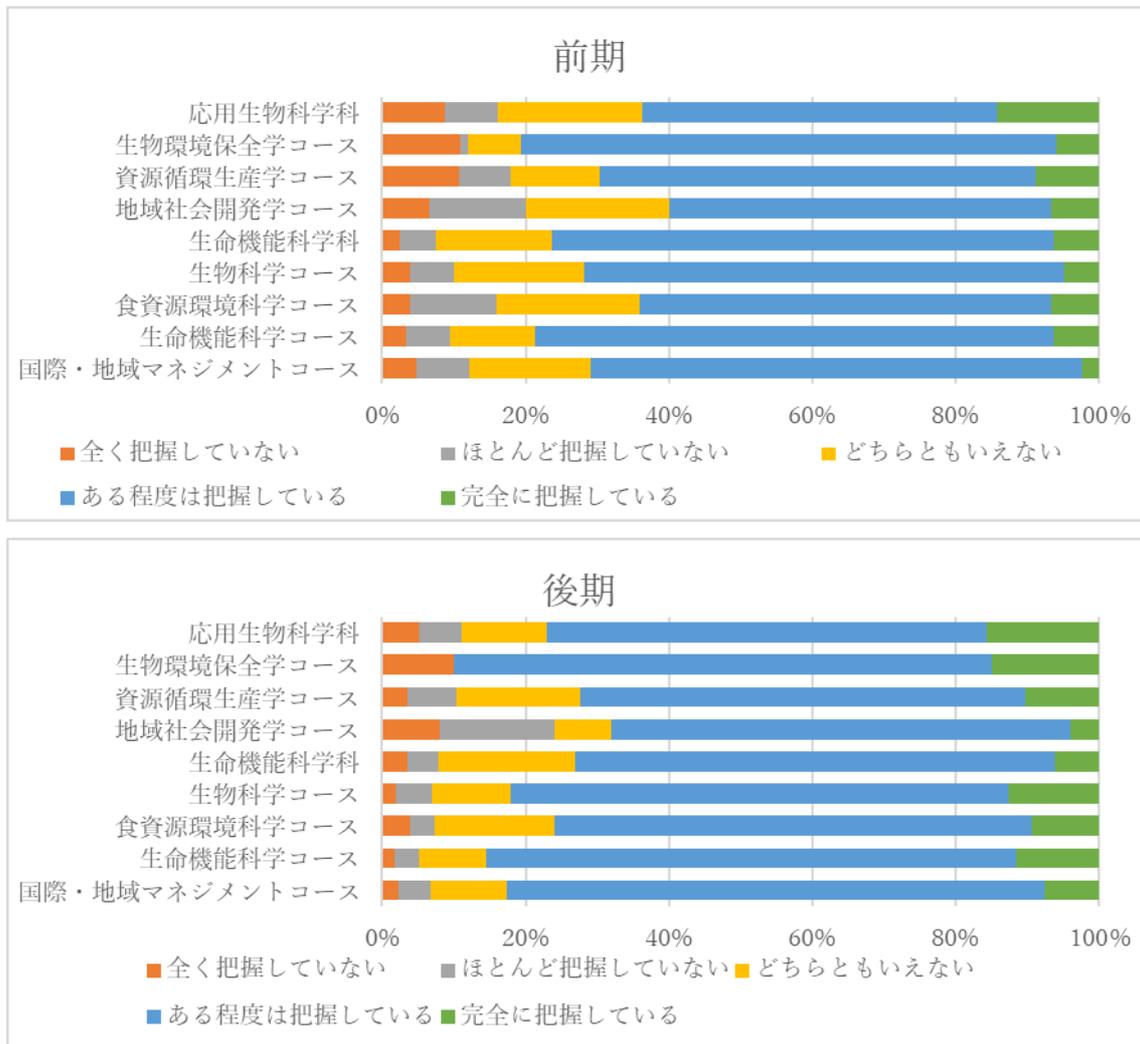
授業時間外学習は例年と比較して、どの学科コースにおいても大きく増加する傾向であった。このことは、特にオンデマンド型の授業では、視聴確認も兼ねて自己学習の証拠として毎回提出物を求める授業が増加したことが理由の一つと考えられる。加えて、コロナ禍で定期試験の実施を回避した授業も多かったため、成績評価のために定期試験の代わりとなる課題が多く課せられたことも理由と考えられる。前期終了時に学生から「課題が多く、その提出に毎日追われている」、「睡眠時間が確保できない」等の意見が多く寄せられ、農学部では課題提出が過剰になり過ぎないように配慮するよう教員へアナウンスされた。そのため、後期は前期と比較すると低下したが、それでも例年と比較するとより多くの時間を費やしている結果であった。時間外学習は単位制度の担保、教育効果の向上のためには一定量必要であるが、それらと学生の身体的・精神的健康を配慮したバランスのとれた課題量について組織的に模索する必要があると考えられる。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



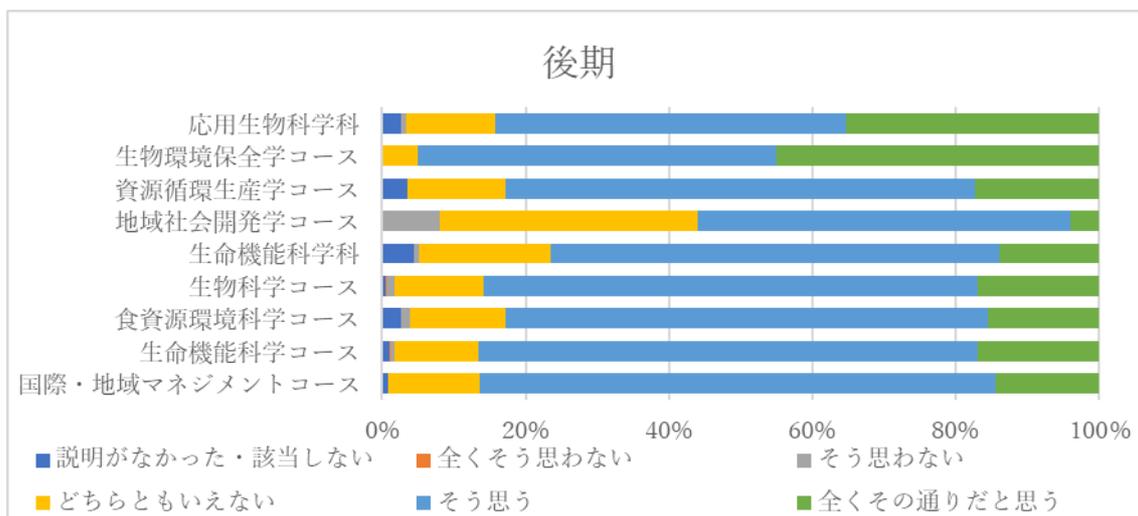
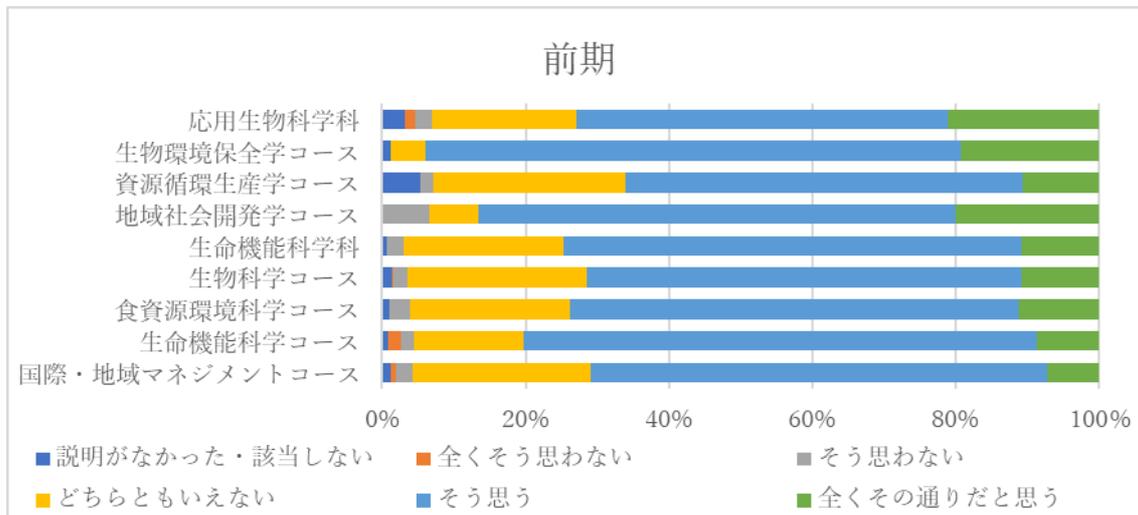
シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」割合は旧カリキュラム（3年次生以上）では約40%と低い結果であったのに対して、新カリキュラム（2年次生以下）では50-60%であった。数値に関しては例年と同水準であるが、学年が上がるにつれてシラバスを活用しない学生が増加する傾向がみられる。3年次から研究室に所属するため、高学年の学生はシラバスを確認せずに研究室と関連した授業をそのまま履修することが多いようであり、それが高学年で活用度が低下する原因と考えられる。授業の意義や達成目標をシラバスで確認することは最大限の教育効果を生むために重要であり、今後も活用を促す取り組みが必要である。一方で、オンライン授業では毎週、予習・復習課題についての連絡通知が学生に送られていたため、シラバスを活用しなかった学生も少なからずいると考えられる。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。



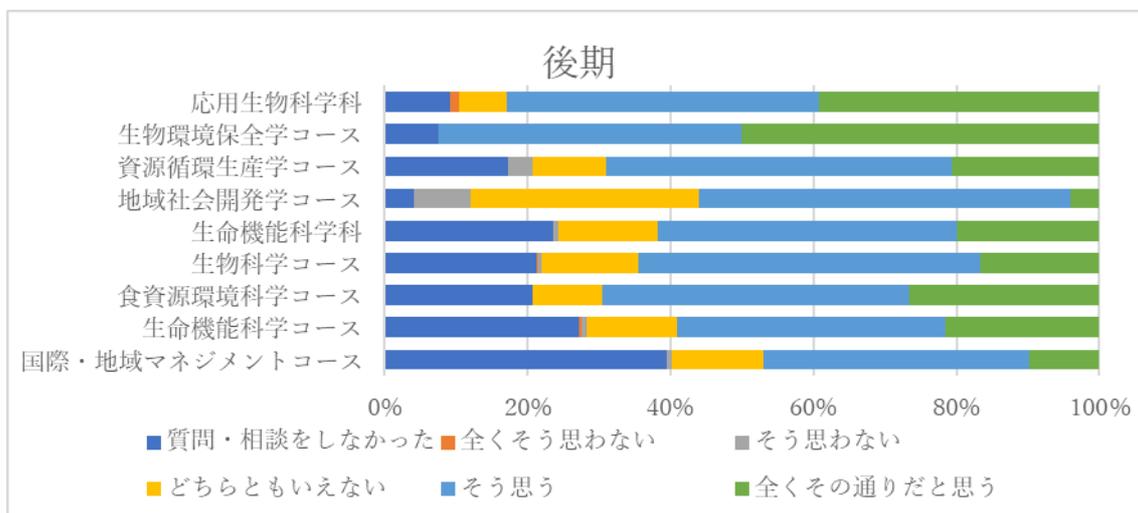
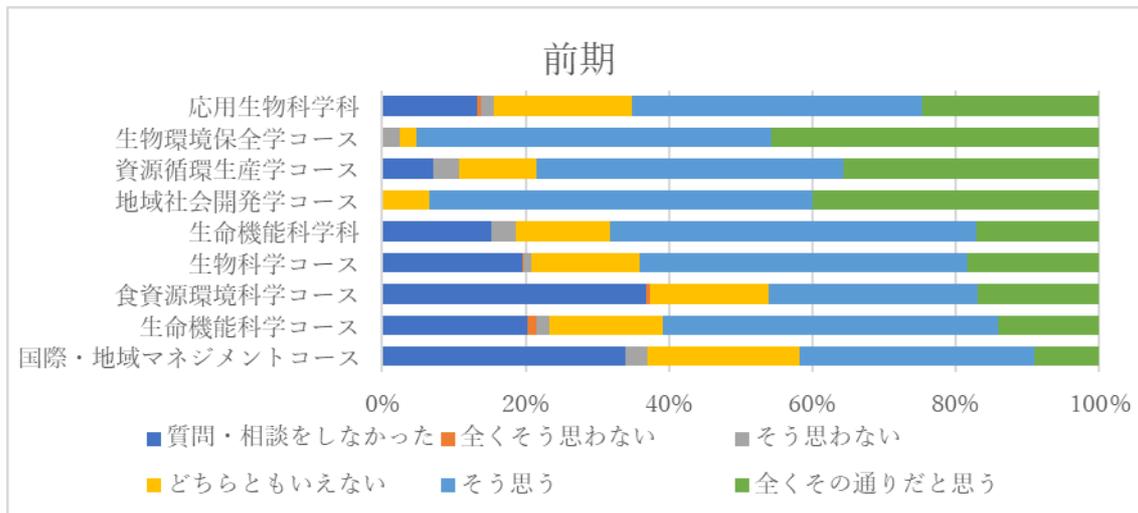
学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」と回答した学生の割合は、学科コースでばらつきはあるが、前期は約70%、後期は約80%という結果であった。多くの授業では、講義初回でこれらの項目について説明しているため、前の質問でシラバスをあまり活用していないと回答した学生が半数近くいるという状況下においては高い水準を保っていると考えられる。しかしながら、いまだ2、3割の学生があまり把握していない状況のため、シラバスの活用と同様に、授業内での説明を徹底するなどの取り組みが必要である。

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。



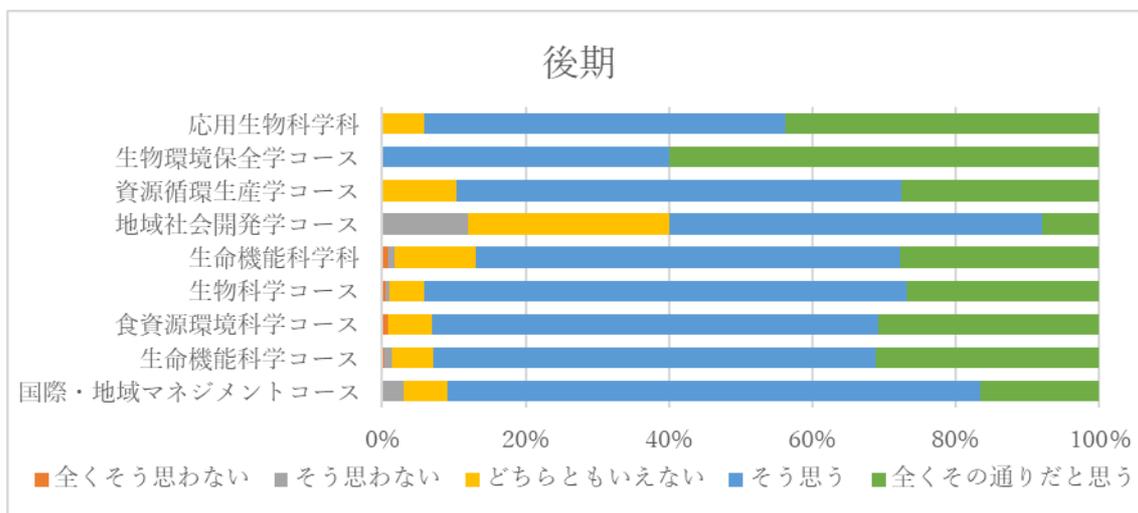
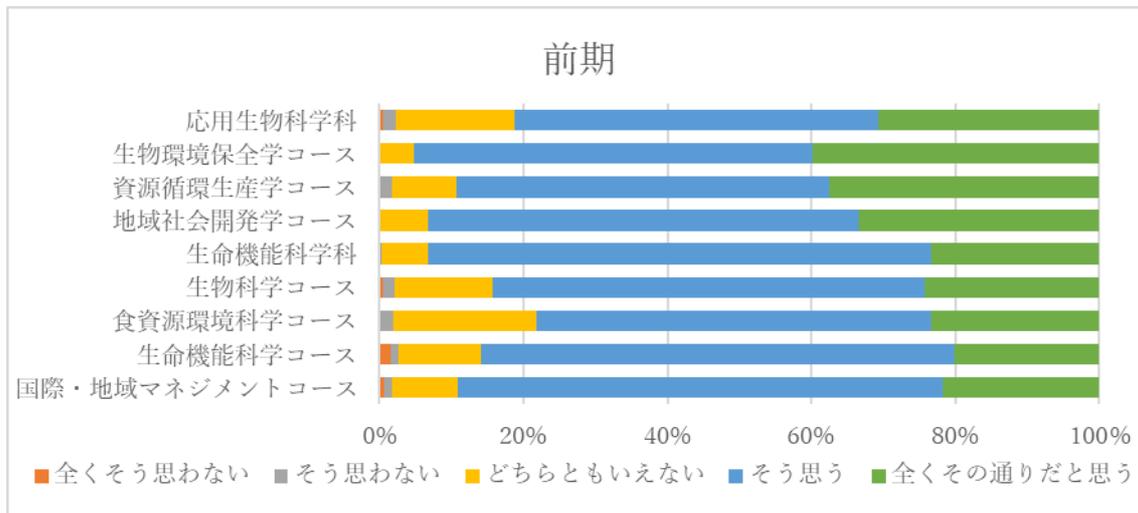
概ね前年度と同程度であり、約 80%の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した。前項と同様に、シラバス活用率を上回る結果が得られていることから、授業内において教員が教育方法や成績評価方法等の説明を丁寧にした結果であると判断される。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。



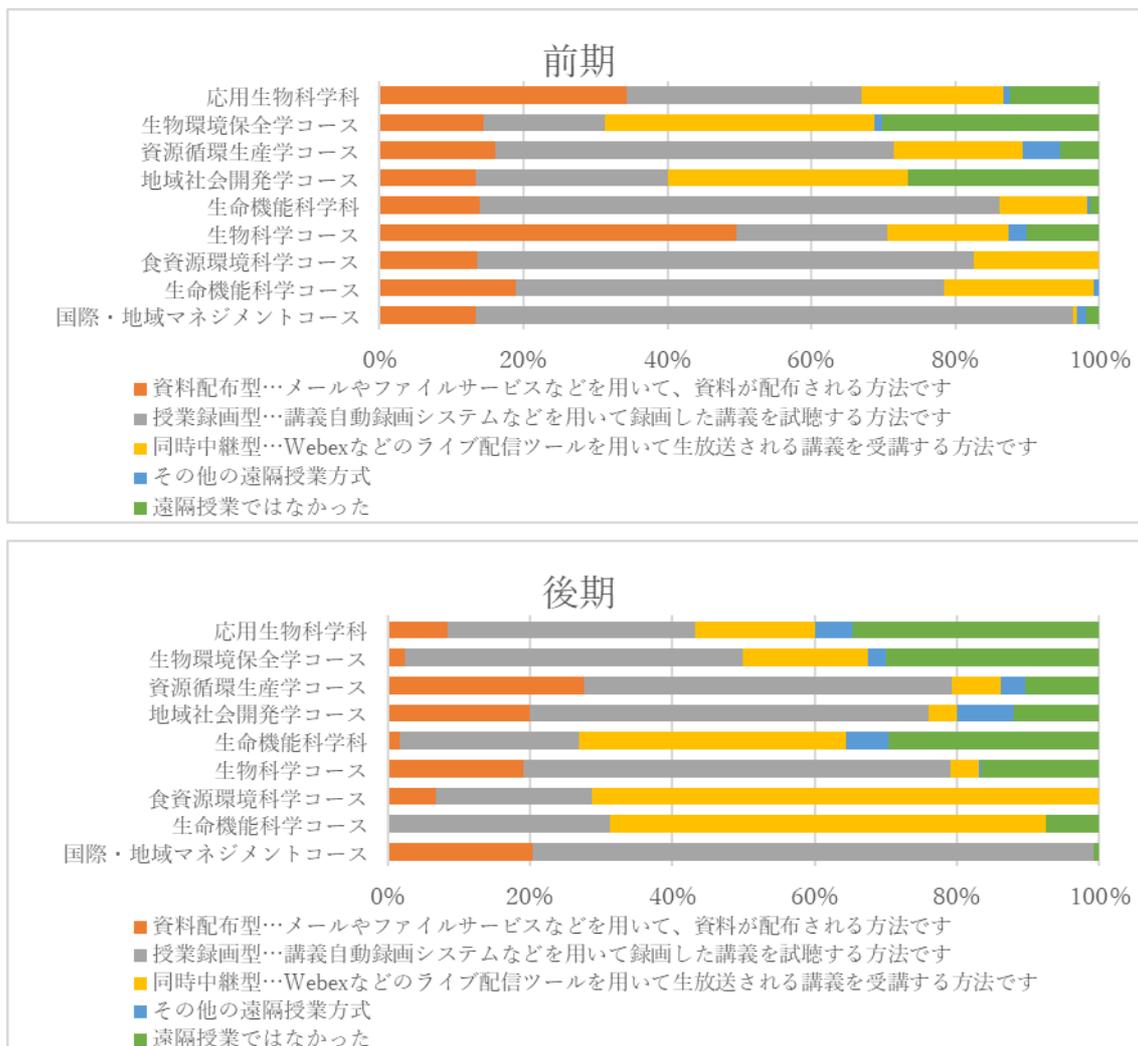
「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の割合が若干ではあるが、例年より低い傾向がみられた。この原因としては「質問・相談をしなかった」学生の割合が例年より高いことが挙げられ、特に新カリキュラム（2年次以下）の学生でその割合が高いことがわかる。令和2年度はほとんどの講義がオンラインとなったため、教員ともあまり面識がない低学年の学生にとっては質問しにくかったことが考えられる。加えて、低学年の学生は履修者数の多い基礎科目を中心に履修しており、多数の履修者がいる中で質問を躊躇した学生がいたことも原因の一つかもしれない。一方で、オンライン授業の多くでは、録画した授業や音声付き資料を配信しており、学生はそれらを利用して授業を反芻することで質問・疑問について自身で理解することができた結果であるという可能性も考えられる。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。



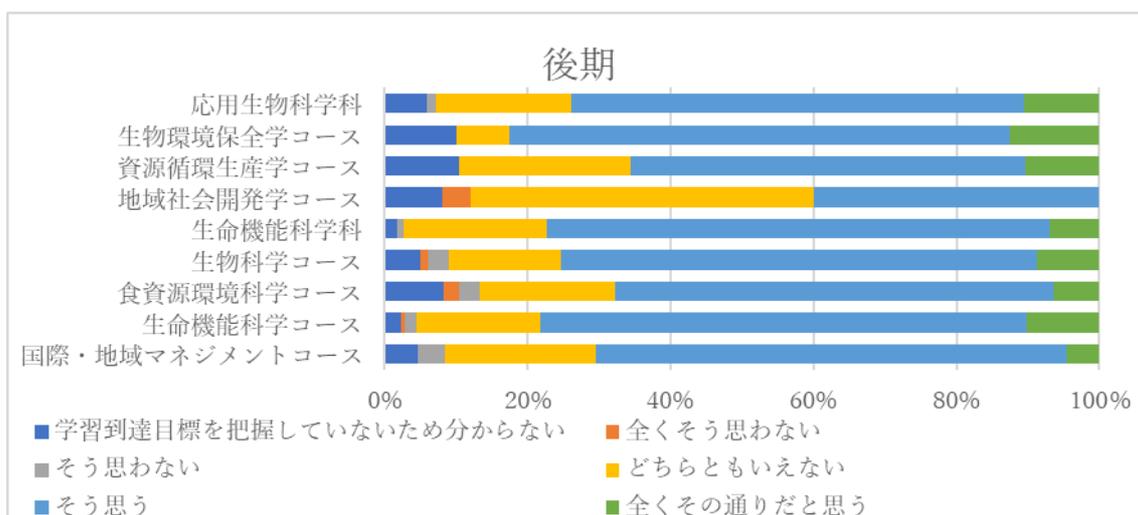
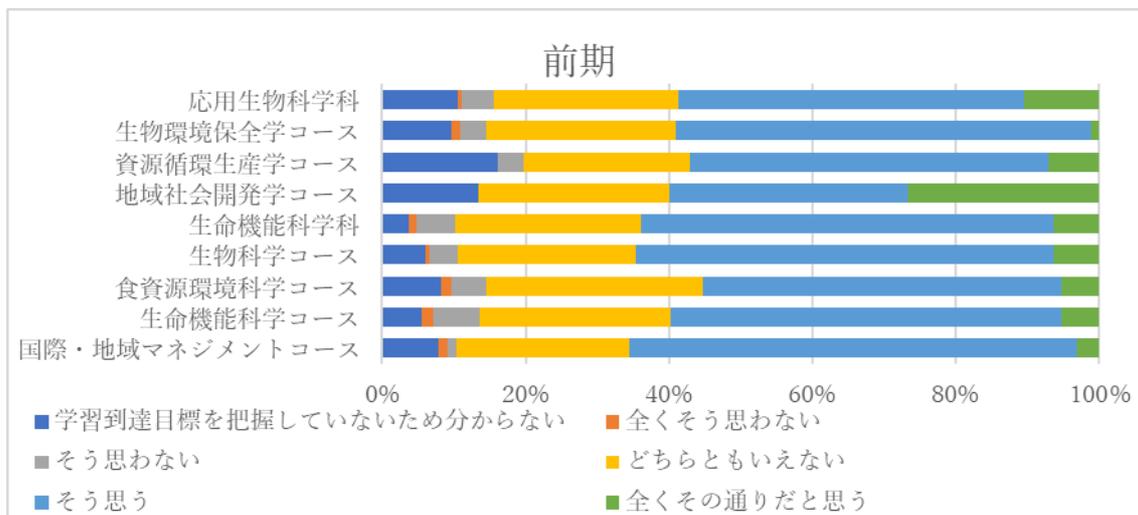
「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の割合が約 90%と高い水準であった。オンライン授業のため、教員の意欲や熱意が伝わりづらい環境と考えたが、遠隔でも教育の質を落とさないよう資料作成等にいつも以上に熱心に教員が取り組んだことが、例年通り高い水準を維持することができた要因と考える。

C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。



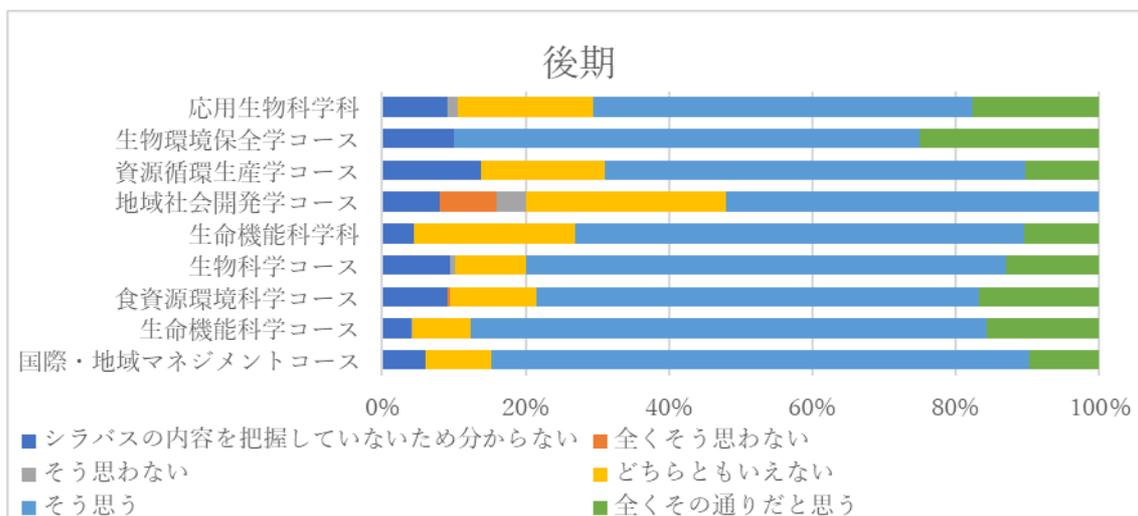
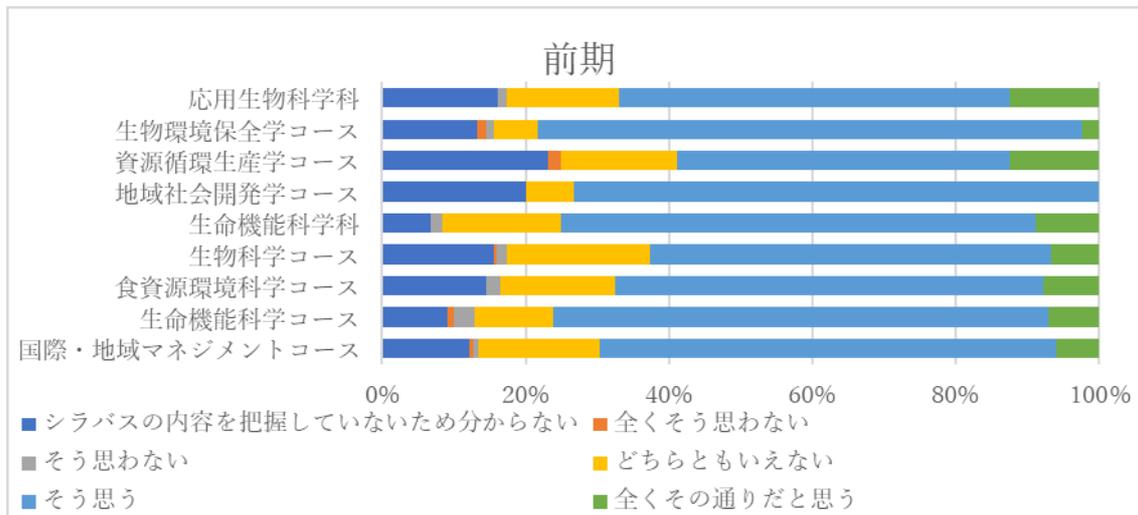
新型コロナウイルス感染症の状況を見て後期では「遠隔授業ではなかった」授業の割合を増加することができたが、年末の緊急事態宣言発令によって再度遠隔授業に変更した授業も多くあった。今後も with コロナの状況が続くと考えられ、その時の状況に適した授業形態を選択せざるを得ない。そのため、教員は引き続き、対面・遠隔どちらでも教育の質を担保した授業が提供できるように準備に努めることが肝要である。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



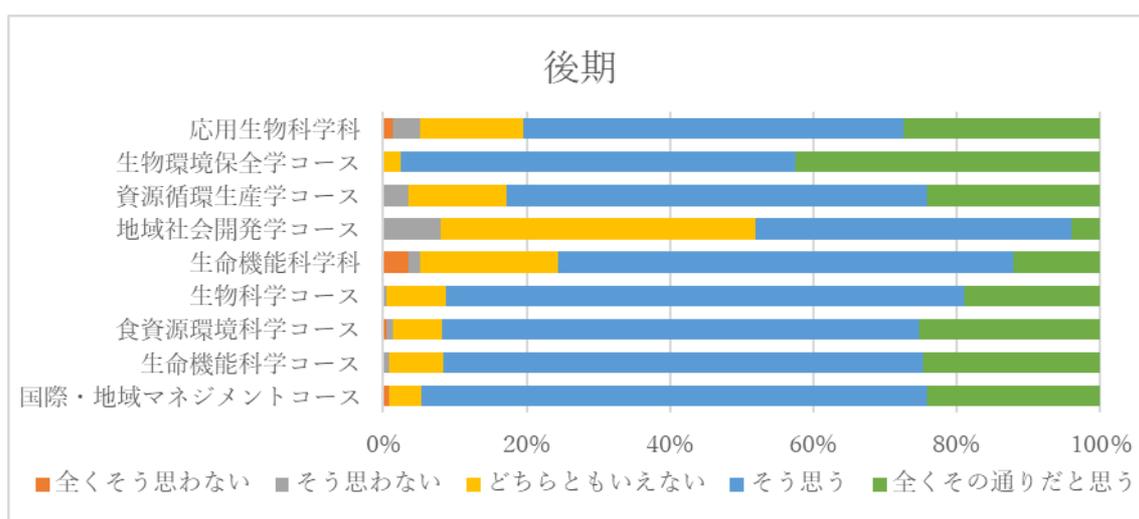
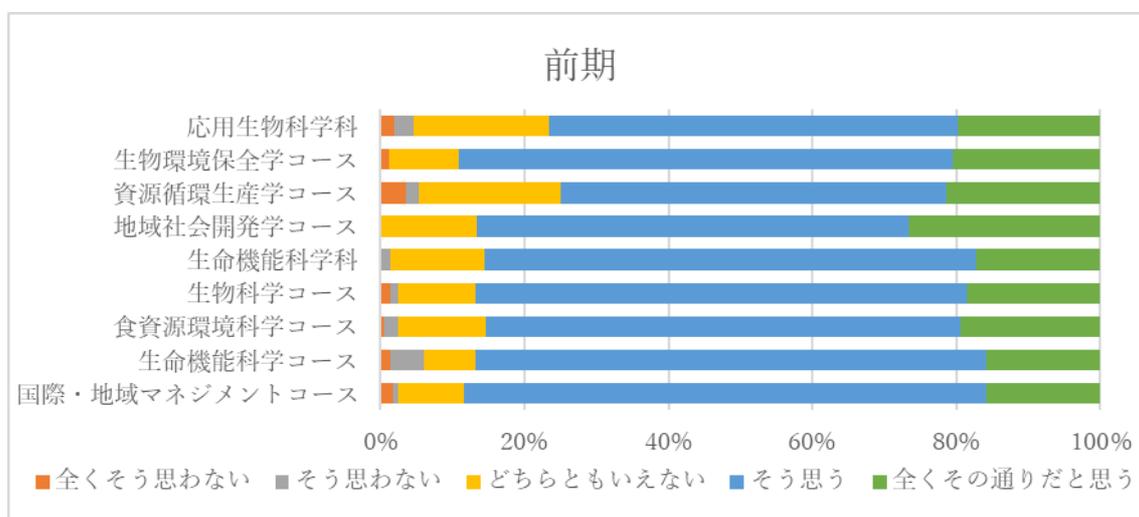
学習目標の達成度は、前期、後期ともに前年度と同等もしくはそれ以上の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した。前期と後期では、後期でその割合が高い傾向がみられた。これは、教員・学生ともにオンライン授業への適応が進んだためと考えられる。オンライン授業開始時は教育の質の低下を懸念する声も一部聞かれたが、結果としては、例年の対面授業以上の学生が学習目標を達成できた。また、このことは、対面と遠隔授業双方の良い点を組み合わせたハイブリッド型授業であれば、更なる教育効果が期待できる可能性を示しており、post コロナ時代の授業形態を考える上で非常に興味深い結果であるともいえる。

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



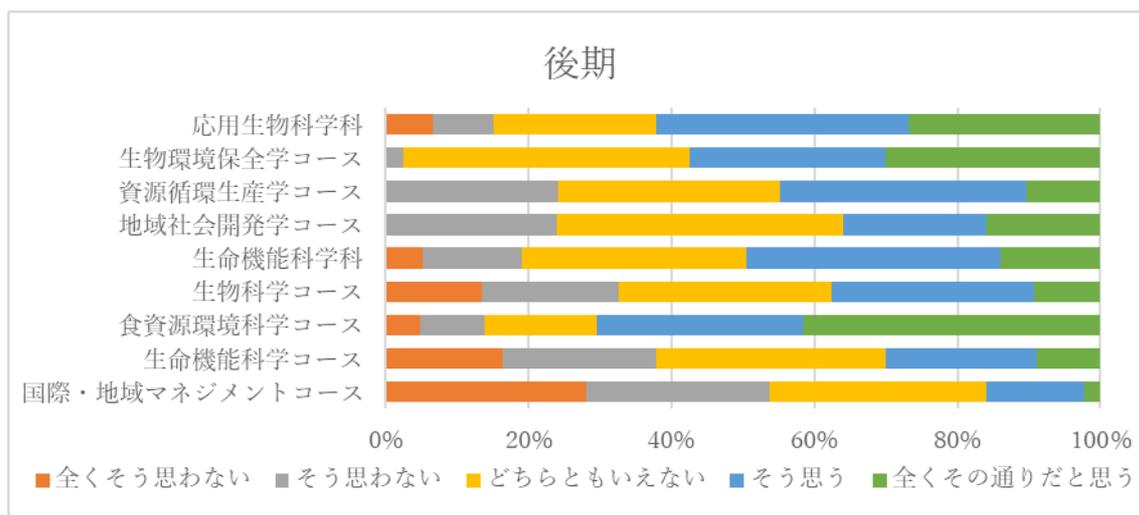
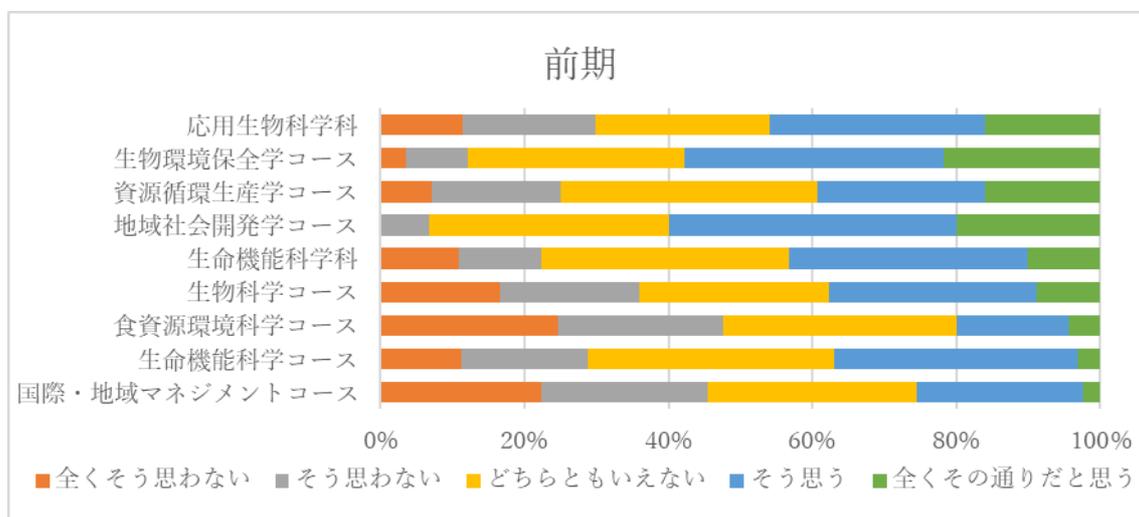
前の質問で約半数の学生が「シラバスをよんでいない」、「全く活用しなかった」、「あまり活用しなかった」と回答した中で、約 7 割の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答していることから、シラバスに基づいた内容を提供できたと判断できる。

C-4 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。



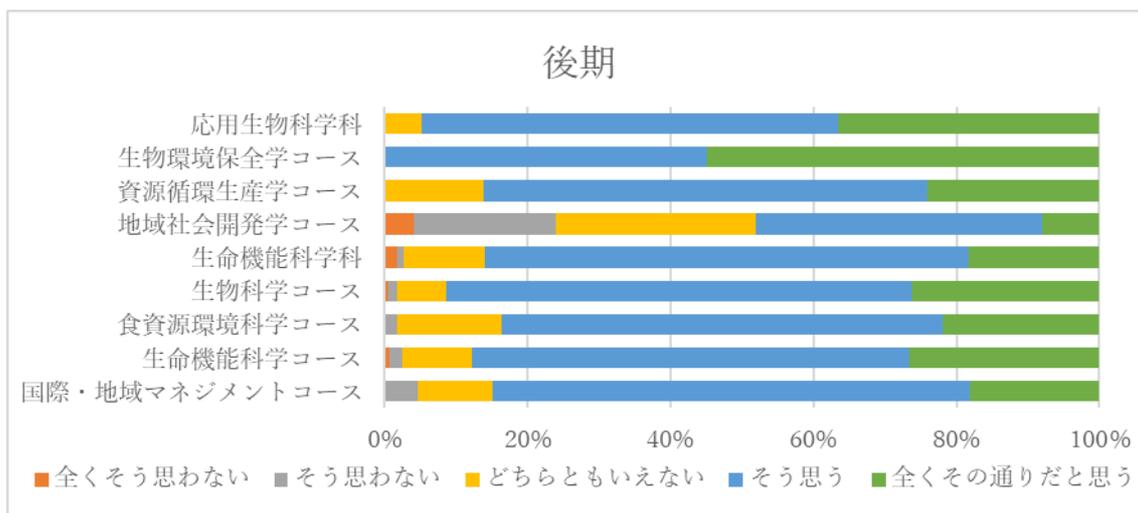
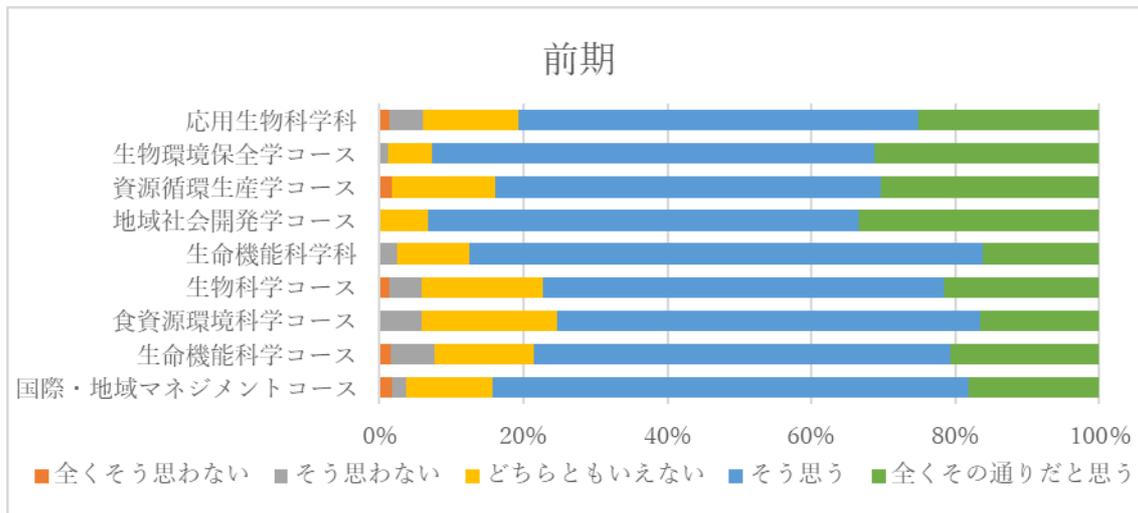
平均で9割近くの学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答している。オンライン授業では教材とICT環境が授業を理解するメインツールとなることから、質の高いものを提供できたと判断できる。

C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



例年と比較して「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の割合が低下した。この原因としてはオンライン授業においてはグループワークやディスカッション等の実施が困難であったためと考えられる。これに関しては、令和2年度のFD講習会として、オンラインでもこれらを円滑に行えるツールの紹介や実施例について2回の講演を行った。今後は、これらのツールを用いて遠隔でも積極的にアクティブラーニングを実施するように努める必要がある。

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。



「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の割合が1つのコースを除いて例年よりも増加した。学生からは、「繰り返し授業が視聴できる」や「資料が電子データで配布されるため、移動中などにも効率的に学習できた」、「オンラインのチャット機能の方が質問しやすかった」など、オンライン授業ならではの対面にはないメリットもあったという感想を受けている。アンケートの中でもこの質問は授業を評価するうえで最も重要なものであると考えられ、その数値が高い水準であったことは、質の高い授業を提供できたと判断できる。

令和元年度 授業評価報告書

佐賀大学大学院先進健康科学研究科

令和 3 年

佐賀大学大学院先進健康科学研究科 FD 委員会

はじめに

大学法人化後、佐賀大学は、高等教育機関としての機能を強化・充実することで社会的責任を果たすことを求められてきた。その方策のひとつとして、教育活動の実態を適確に把握し、課題を整理し、問題を解決するために、全ての授業科目について全学共通の様式を用いた「学生による授業評価アンケート」とその集計結果をうけての「科目担当教員による授業点検評価報告」による授業改善システムを構築し、運用を行ってきた。

先進健康科学研究科では、カリキュラムの見直しや単位実質化に関する改善など、教育改革や内部質保証のためのさまざまな取り組みとともに、授業評価アンケートを実施し、アンケート結果の集計・公表と、授業改善への利活用を進めている。

本報告には、令和元年度先進健康科学研究科の開講科目に関する授業評価アンケートの結果取り纏めと、アンケート結果の分析に基づく授業改善を進めるための提言を記している。アンケートでは、学生側の課題として、学習到達目標や成績評価基準の理解度、出席率、授業時間外学習の時間、シラバスの活用度、満足度などについて調査し、分析した。教員側の課題としては、教育方法や成績評価方法の説明、シラバスに準拠した授業の実施、教材の満足度、アクティブラーニングへの配慮、質問や相談への対応などについて調査し、分析した。

以上の様な取り組みを通して、活力のある教育システムを構築・実践し、先進健康科学研究科で掲げる教育目標の実質化及び質の向上を達成することによって、教育・研究活動に貢献することを目指している。

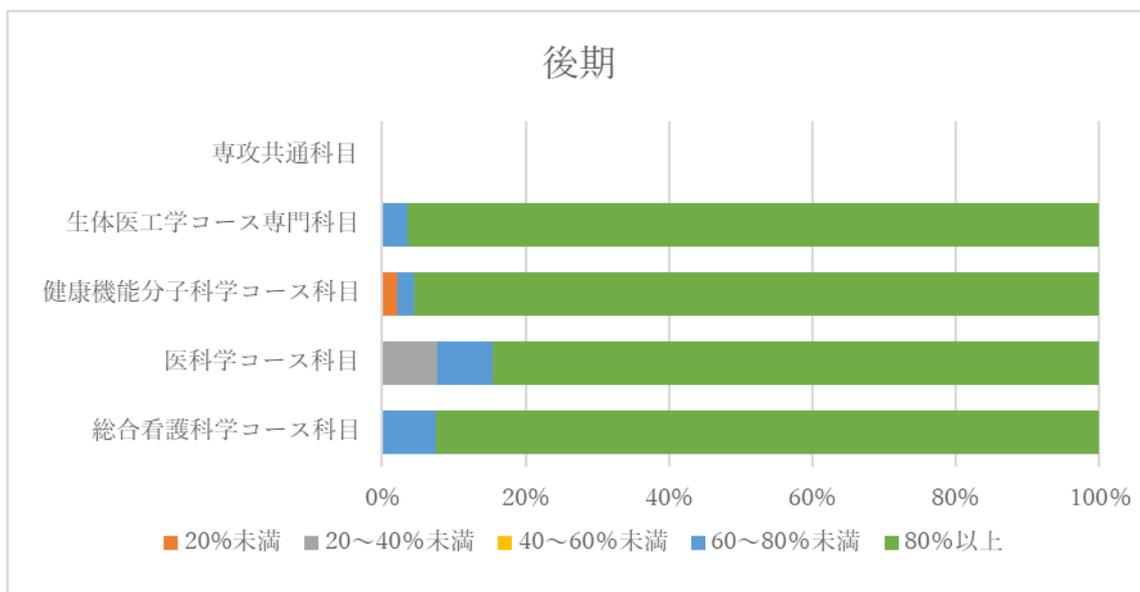
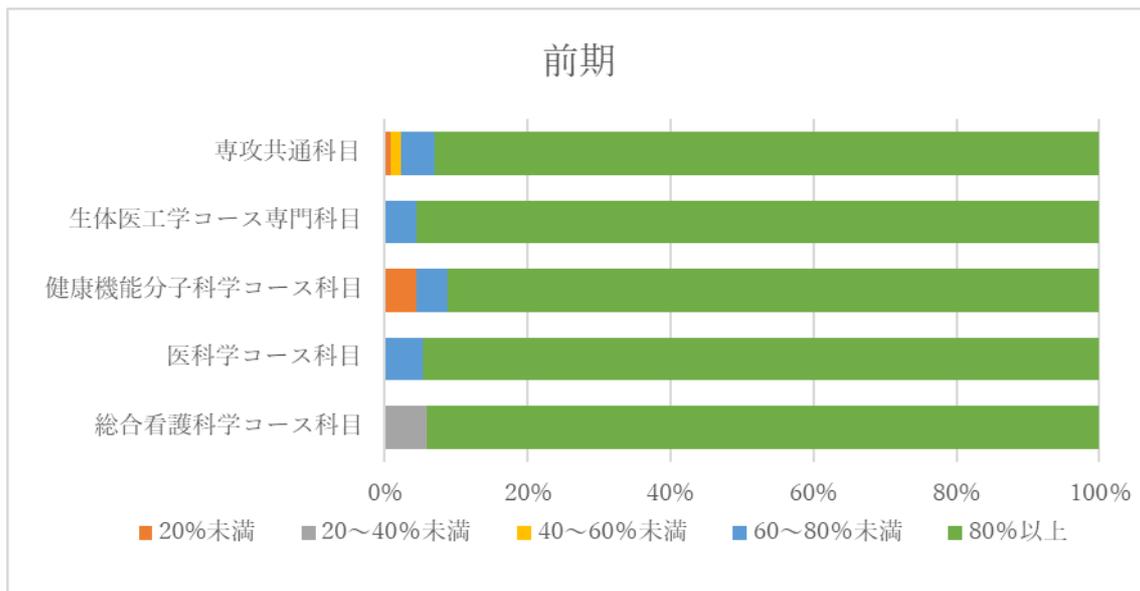
令和3年9月

大学院先進健康科学研究科 FD 委員会

大学院先進健康科学研究科授業評価分析結果

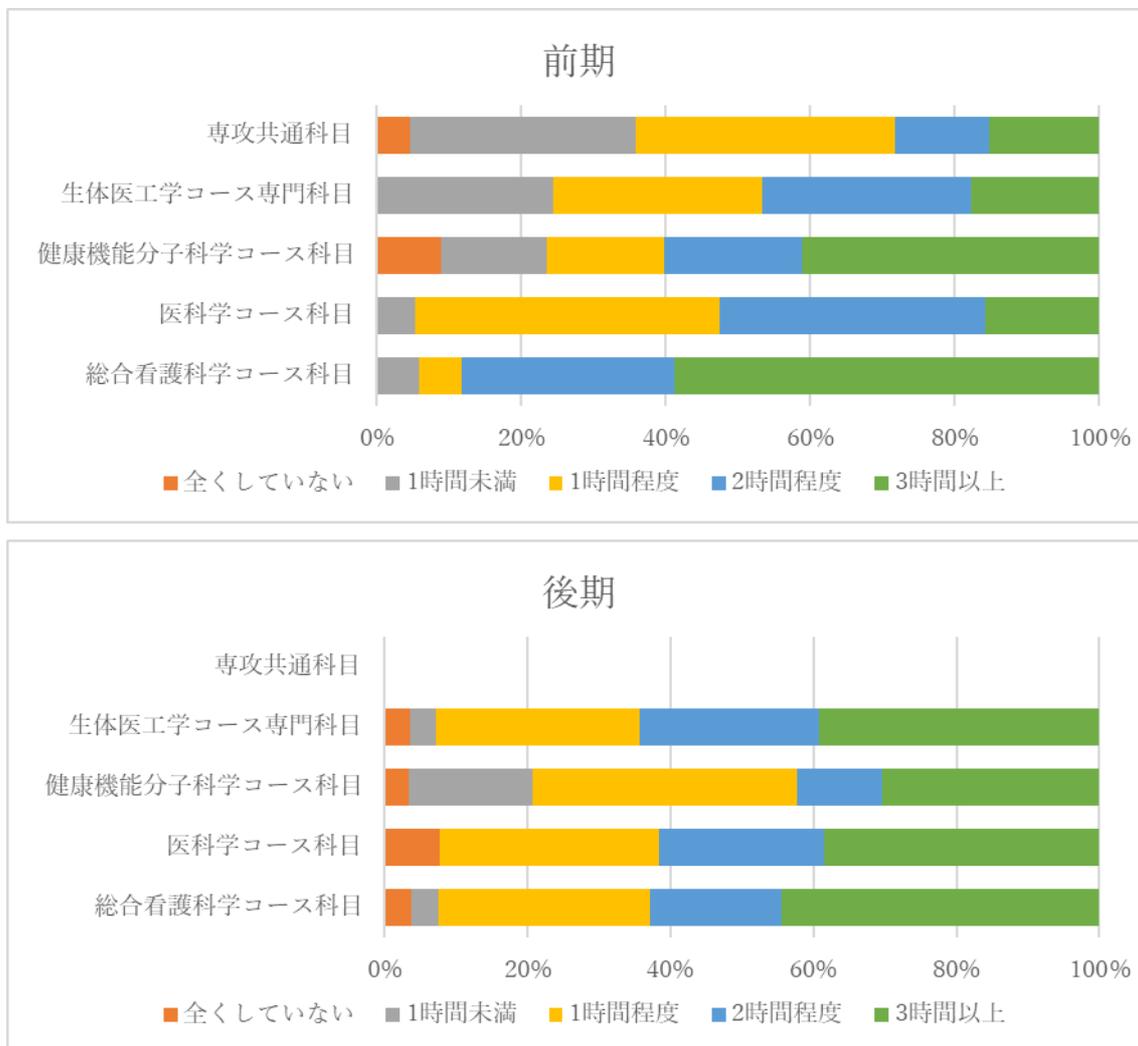
先進健康科学研究科は、5 コースから構成される。5 コースの教員が担当する授業科目を一つに集約した結果に基づいて報告する。

A-1 出席率はどのくらいですか。



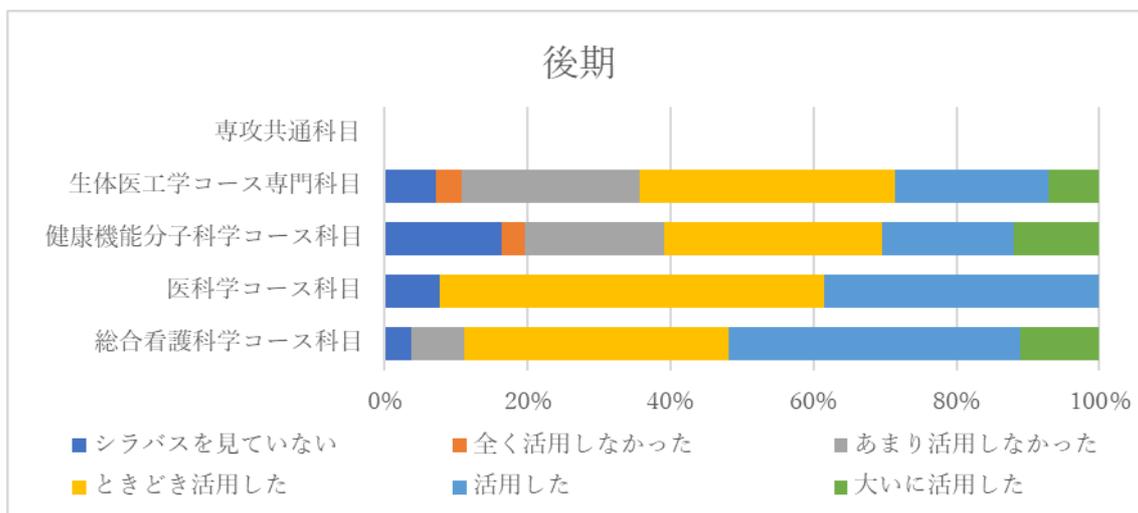
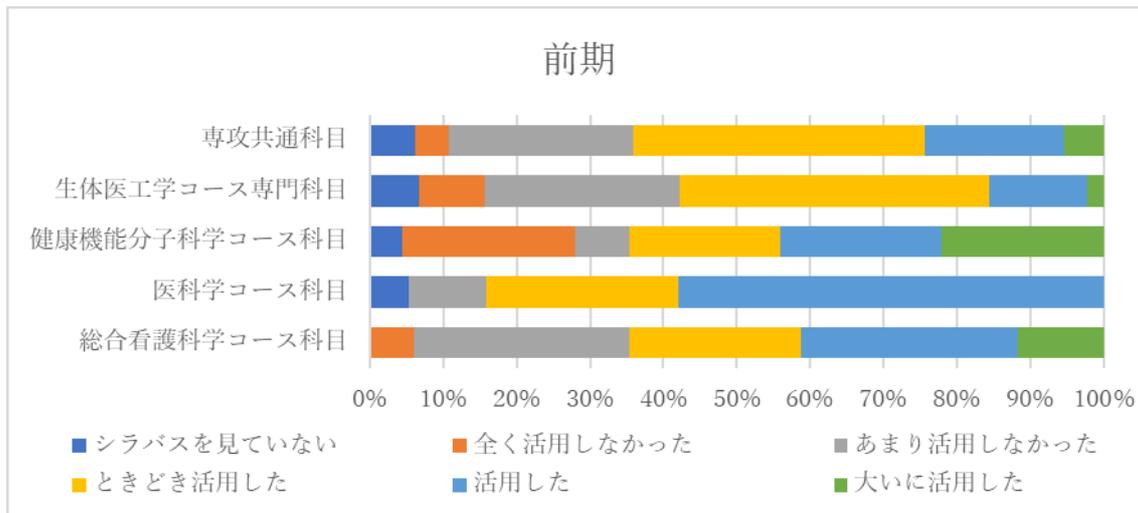
全体として概ね高い出席率であった。医科学コースは少し出席率の低い学生が見られたが、社会人学生が多いためだと考えられ問題はないと考えられる。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。



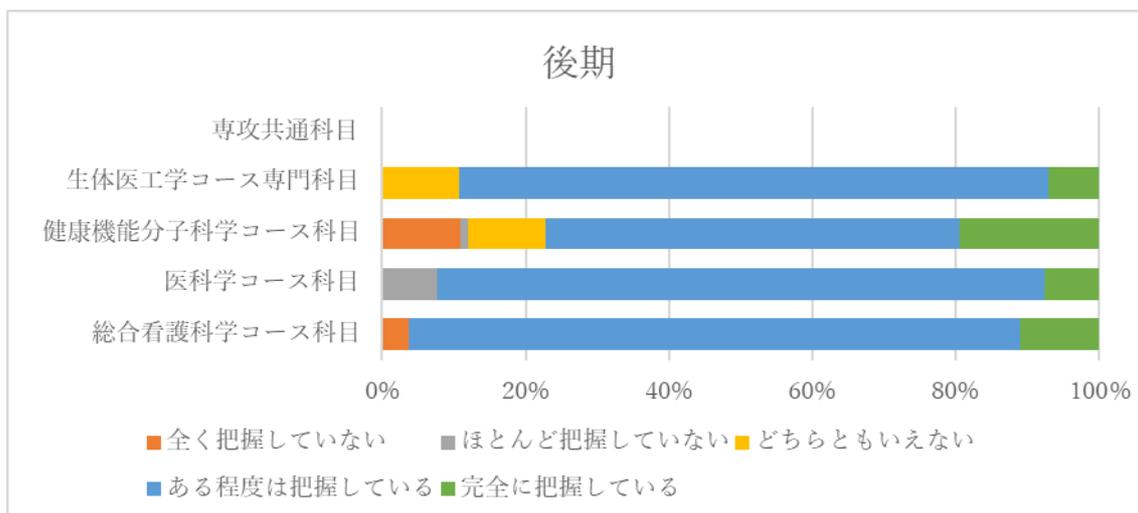
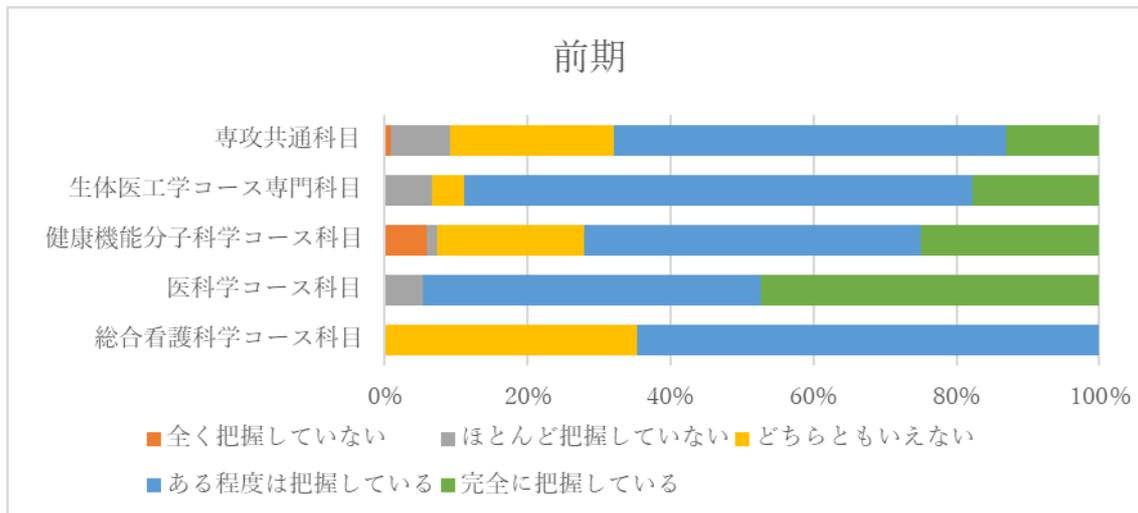
全体として概ねしっかりした授業時間外学習の時間をとっていると考えられた。一部のコースで全く授業時間外学習をしていない学生が見られたことから、学生に時間外学習を促す周知をすることも考えられる。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。



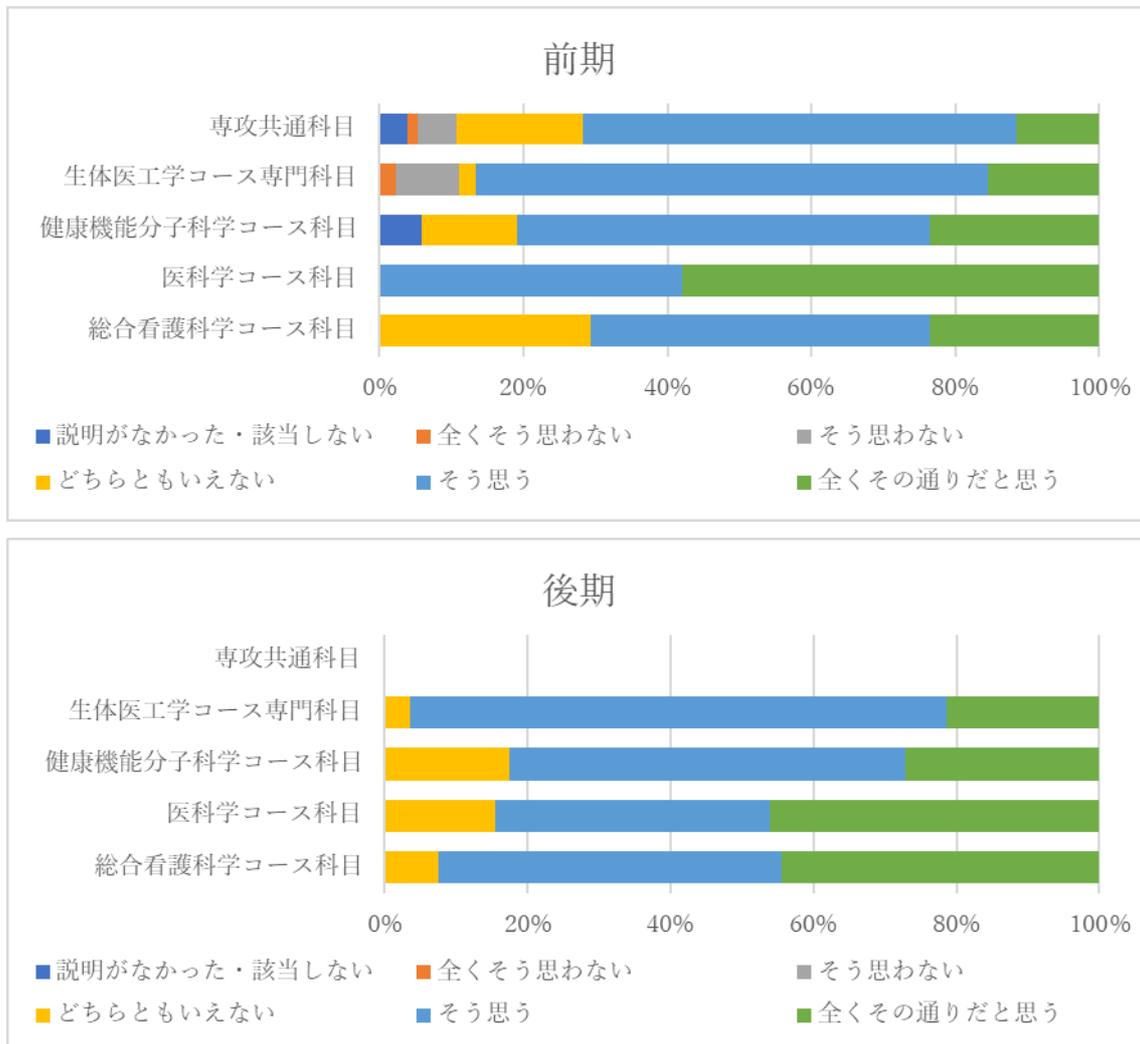
全体として概ねシラバスを活用していると考えられたが、一部シラバスを見ていないもしくは全く活用しなかった学生が見られた。シラバスを活用するように周知することも有効であると考えられる。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。



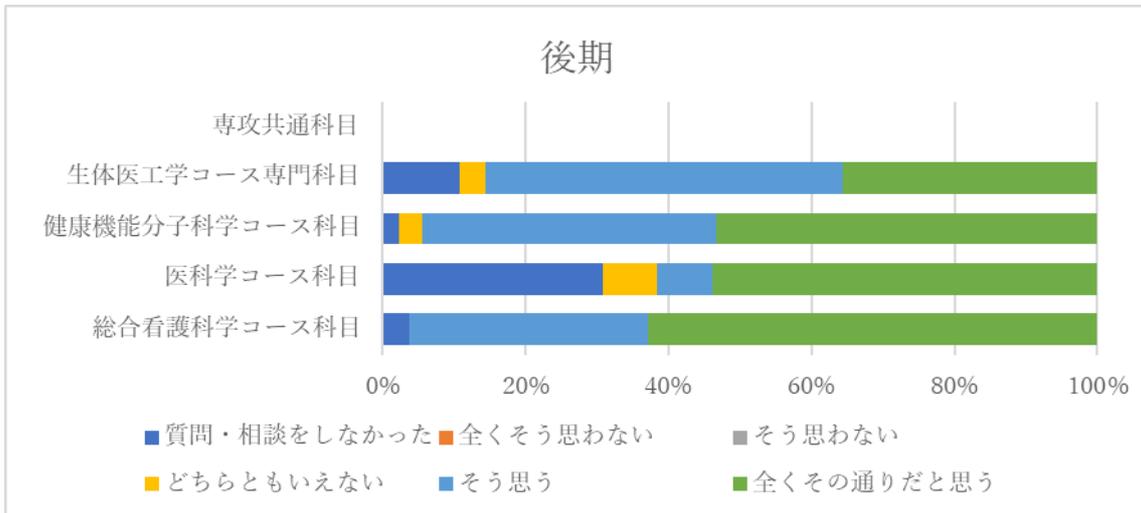
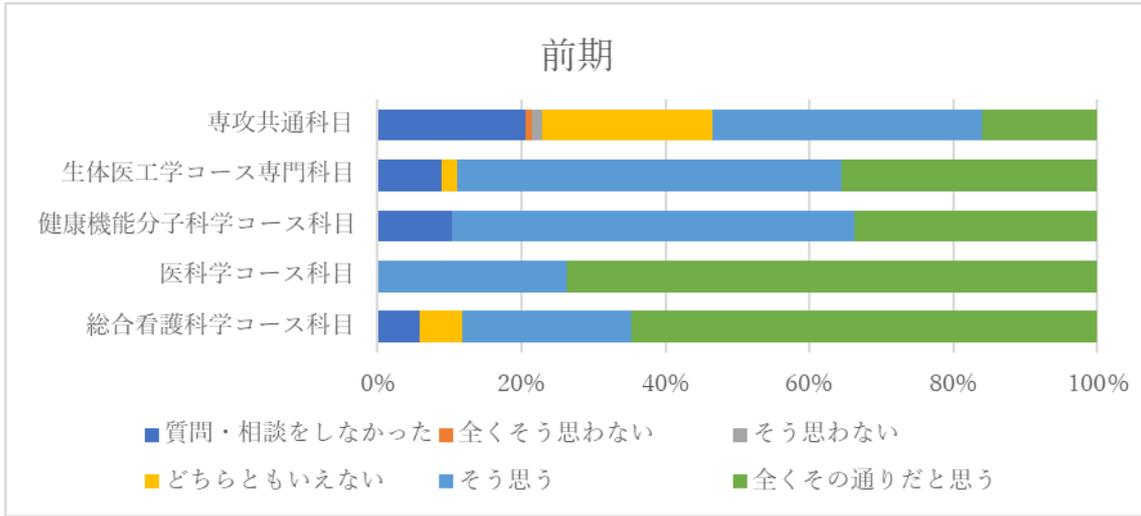
全体として概ね学習到達目標や成績評価基準を把握していることがわかった。一部に把握していない学生が見られたことから周知が必要であると考えられる。

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。



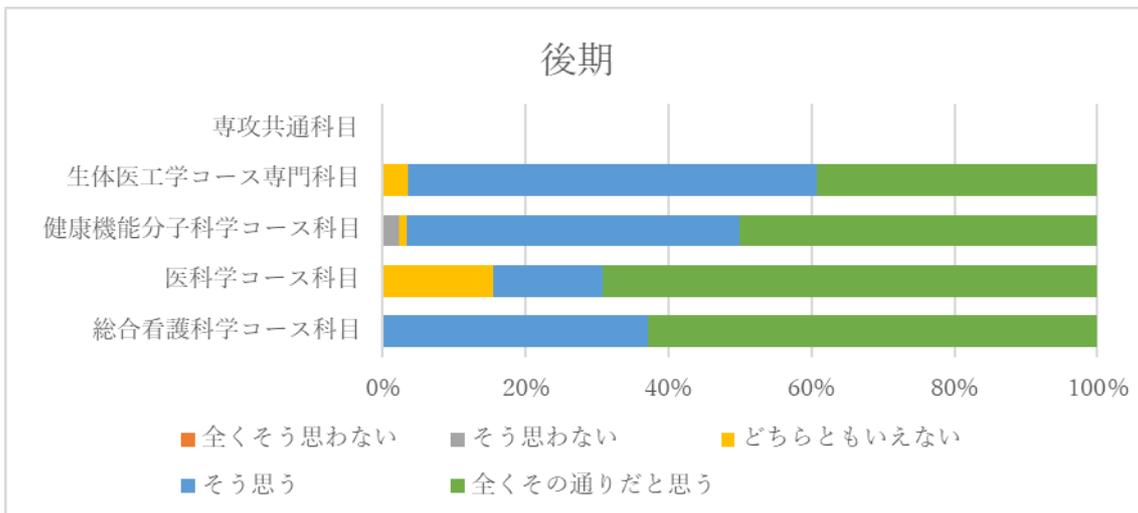
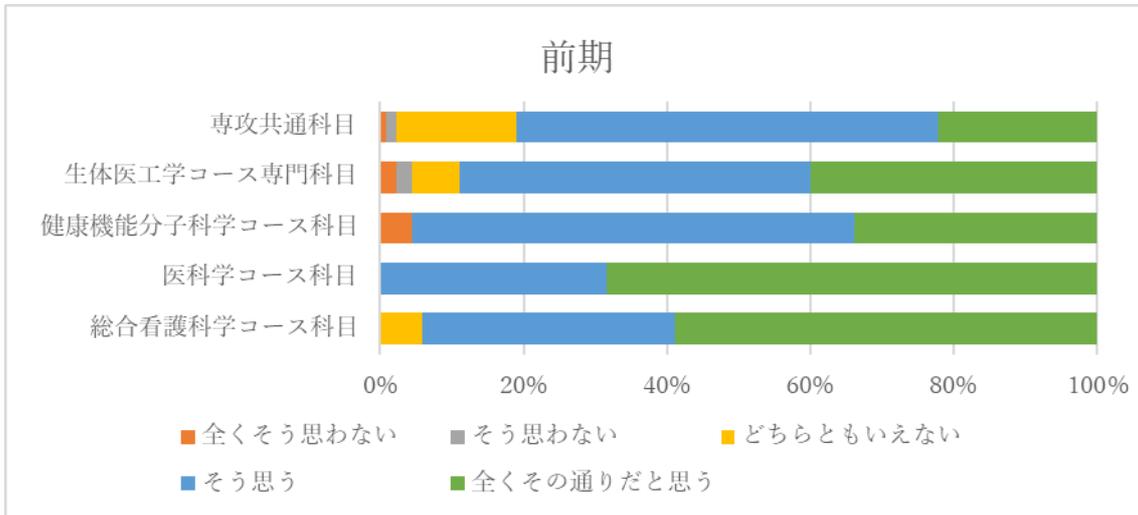
全体として概ね有益であるとの意見が得られた。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。



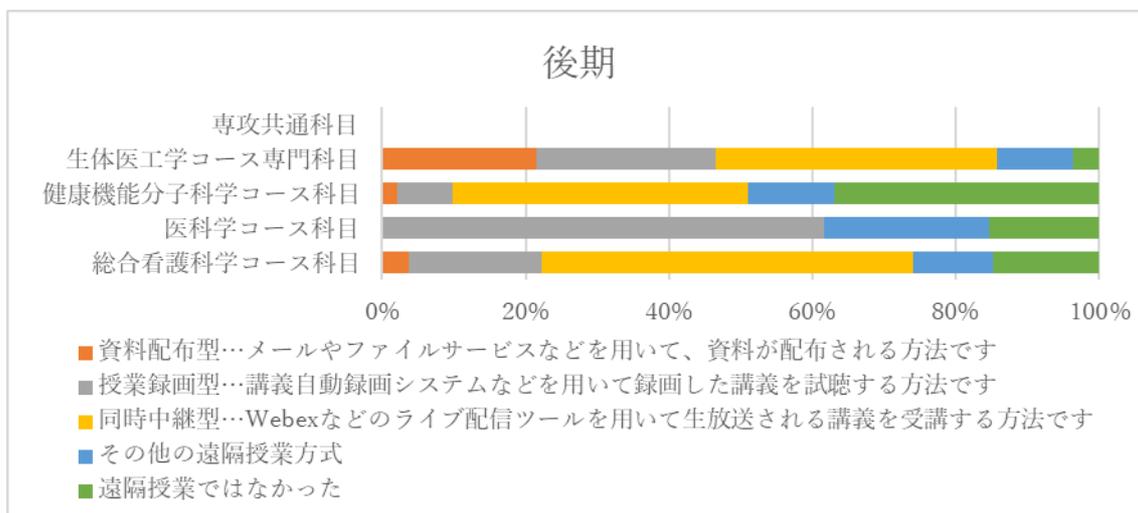
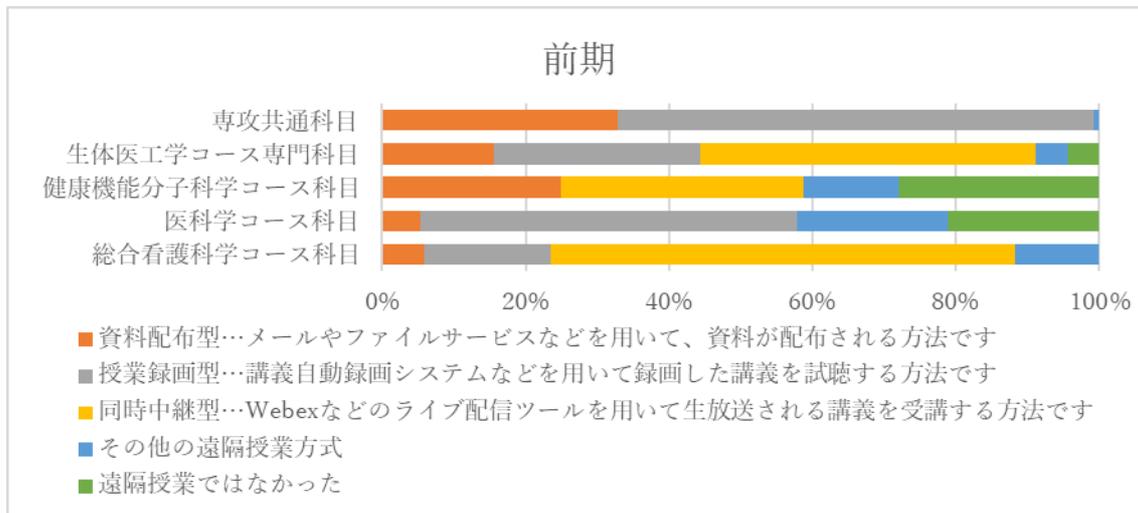
全体として概ね適切に対応してくれたという意見が得られた。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。



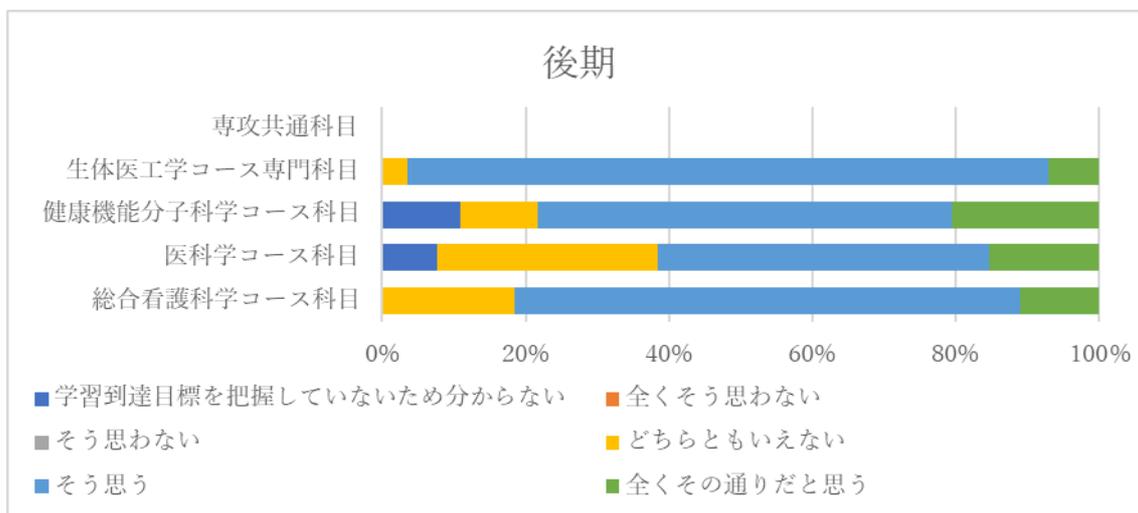
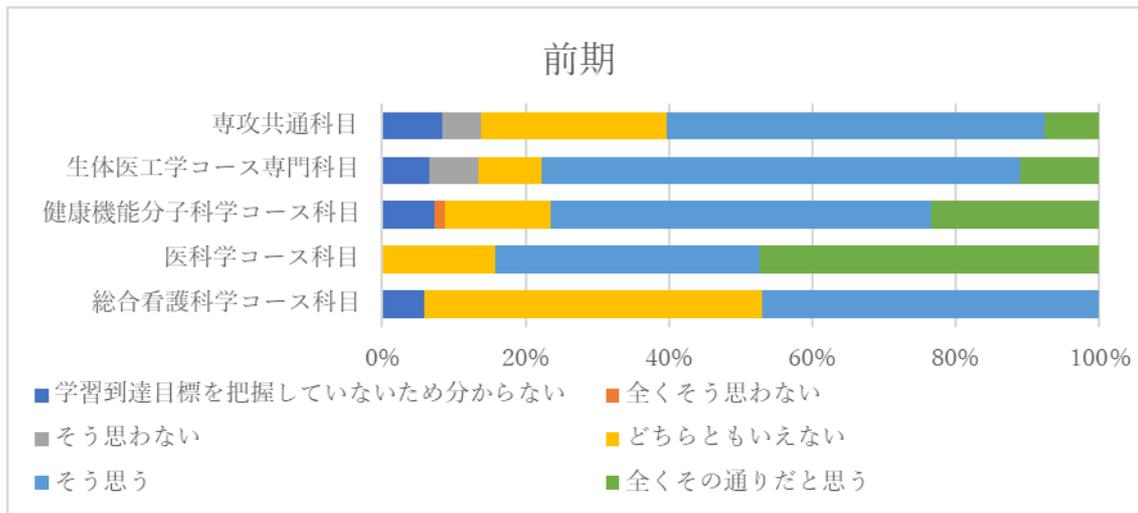
全体として概ね意欲や熱意が感じられたという意見が得られた。

C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。



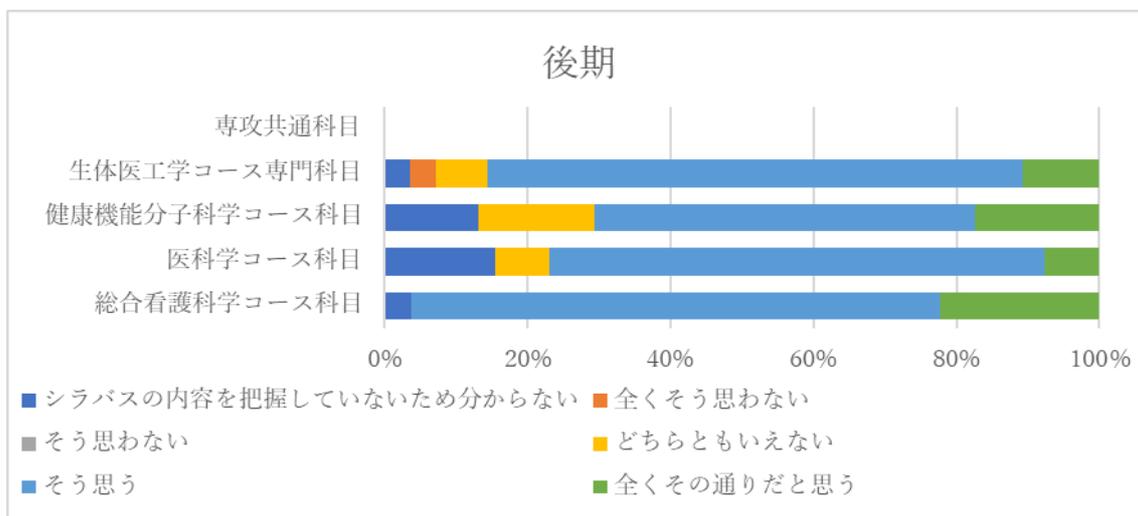
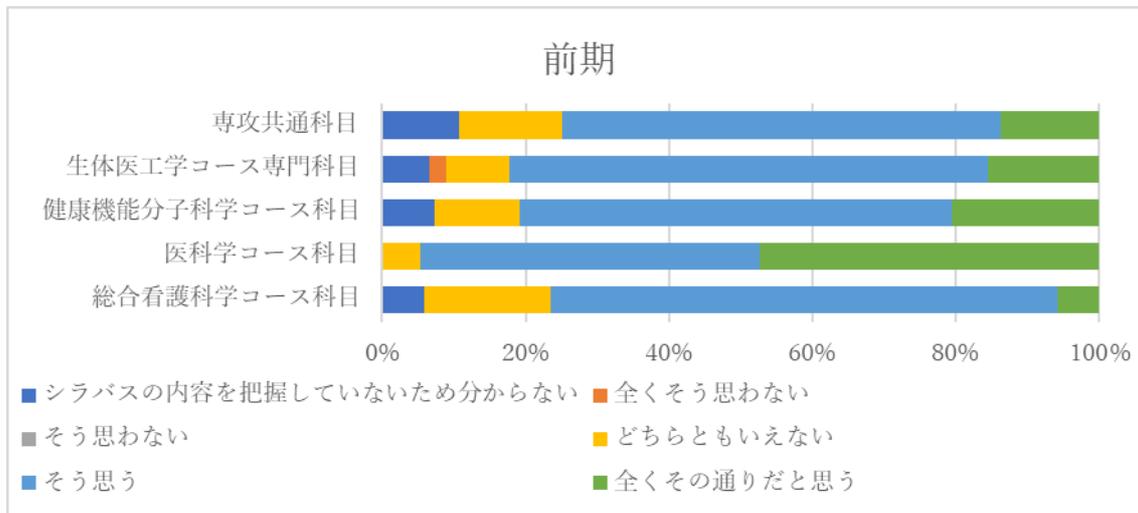
新型コロナウイルス蔓延防止のため、資料配布型や授業録画型、同時中継型の遠隔方式で多く行われたことがわかる。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



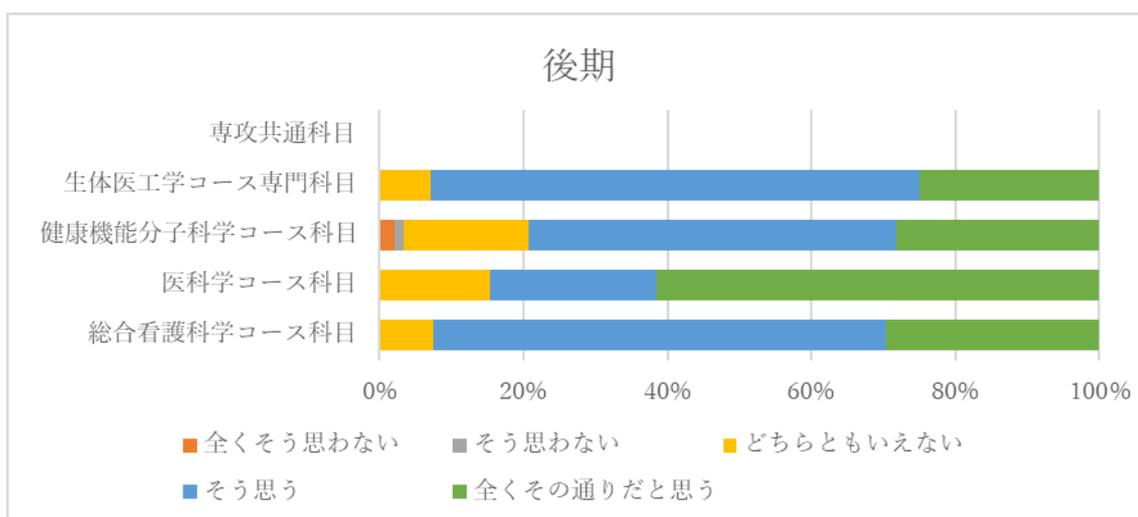
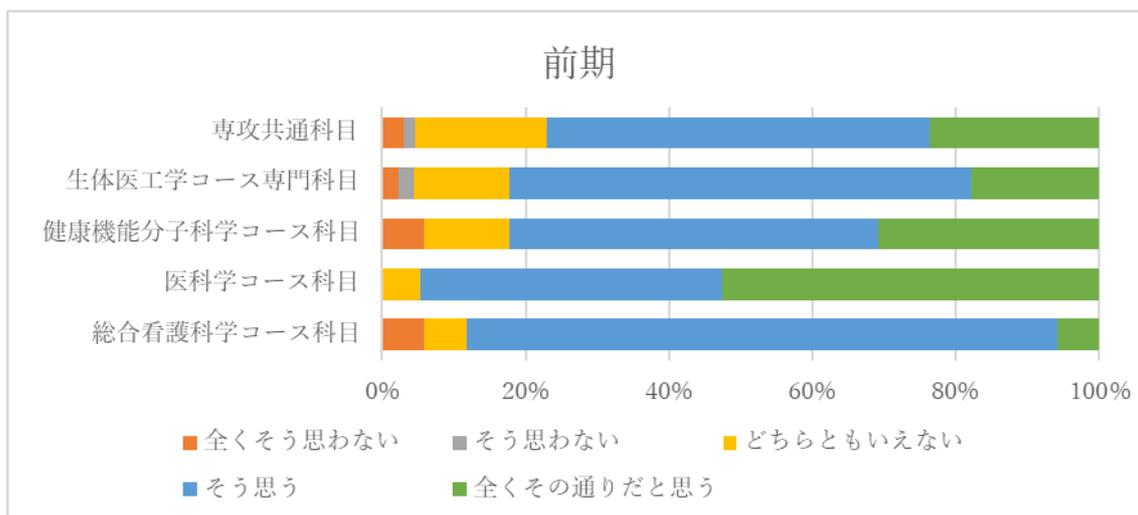
全体として概ね授業の学習到達目標を達成できたという意見が得られた。

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



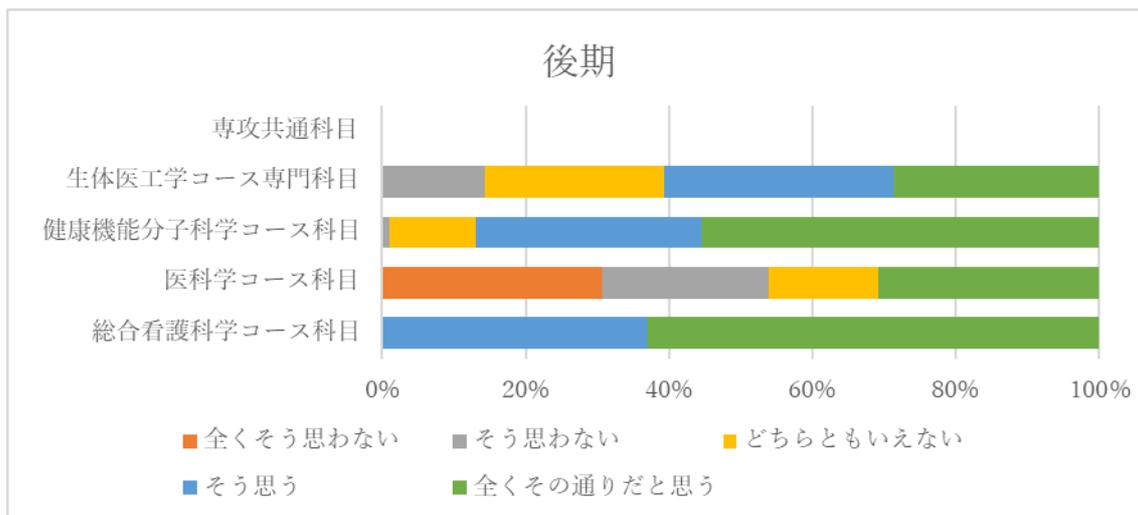
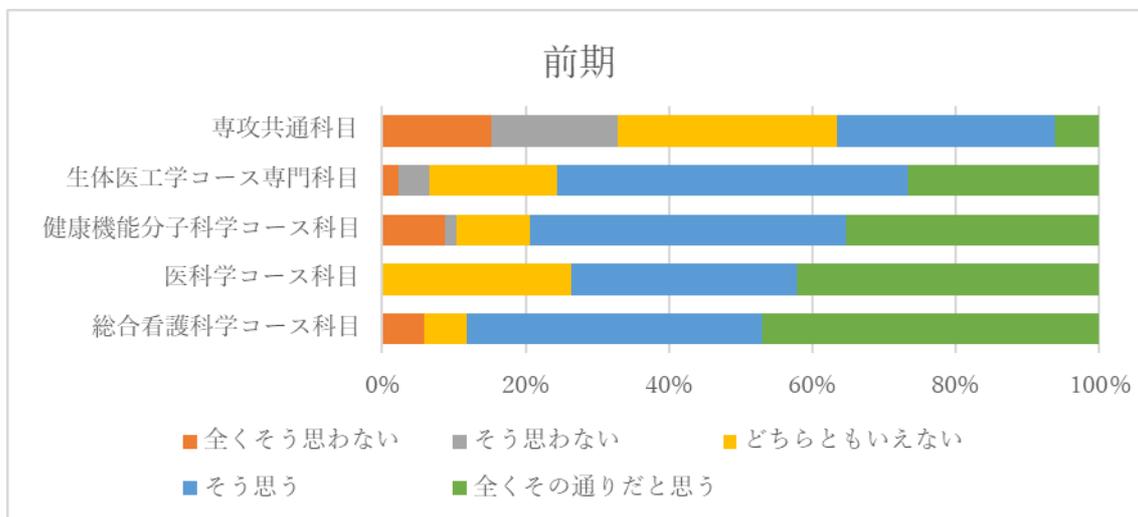
全体として概ねシラバスに基づいていたという意見が得られた。

C-4 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。



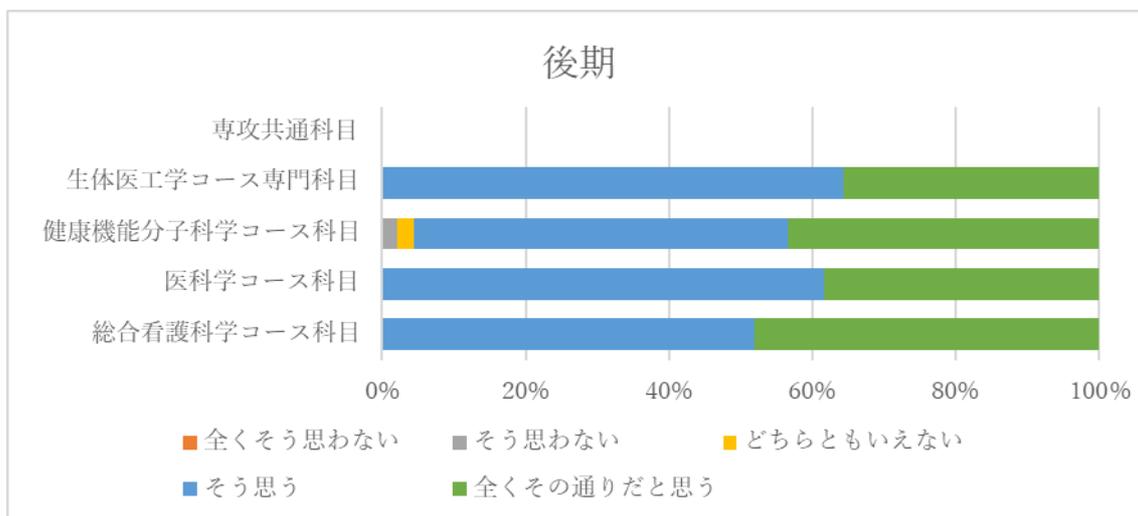
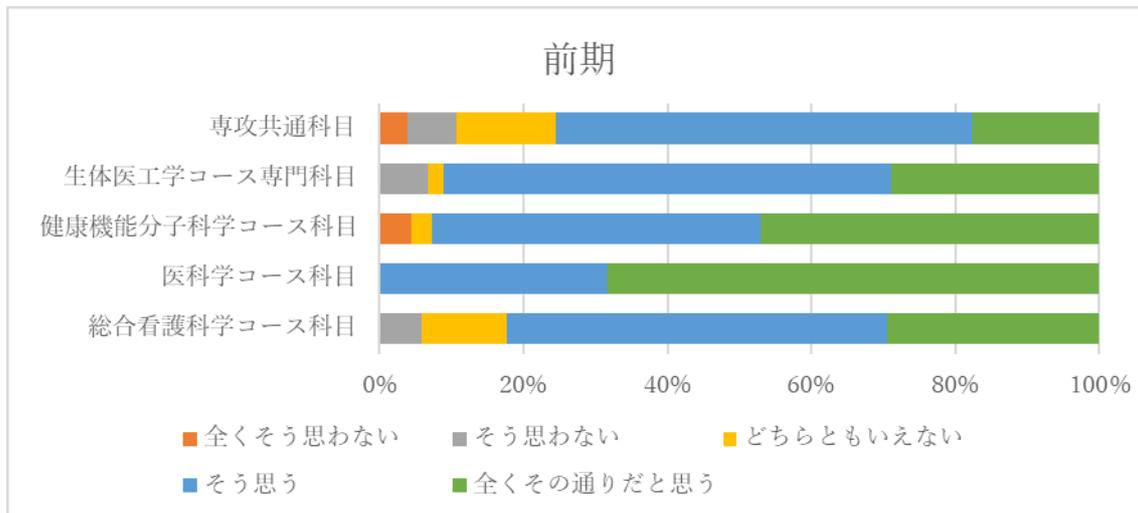
全体として概ね授業の理解に役立ったという意見が得られた。

C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



全体として概ね授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったという意見が得られた。

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。



全体として概ね満足できるという意見が得られた。

佐賀大学全学教育機構
令和 2 年度 組織別授業評価報告書

令和 3 年9月

佐賀大学全学教育機構質保証委員会

1. 全学教育機構の状況

全学教育機構の授業評価と分析は、下記の分類に基づいて行われる。

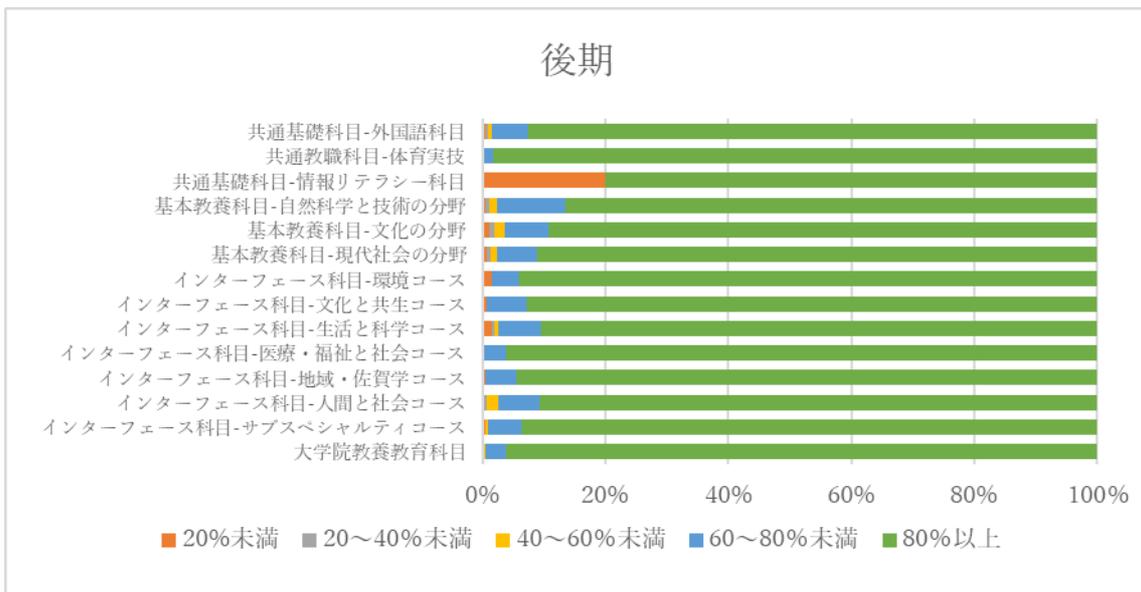
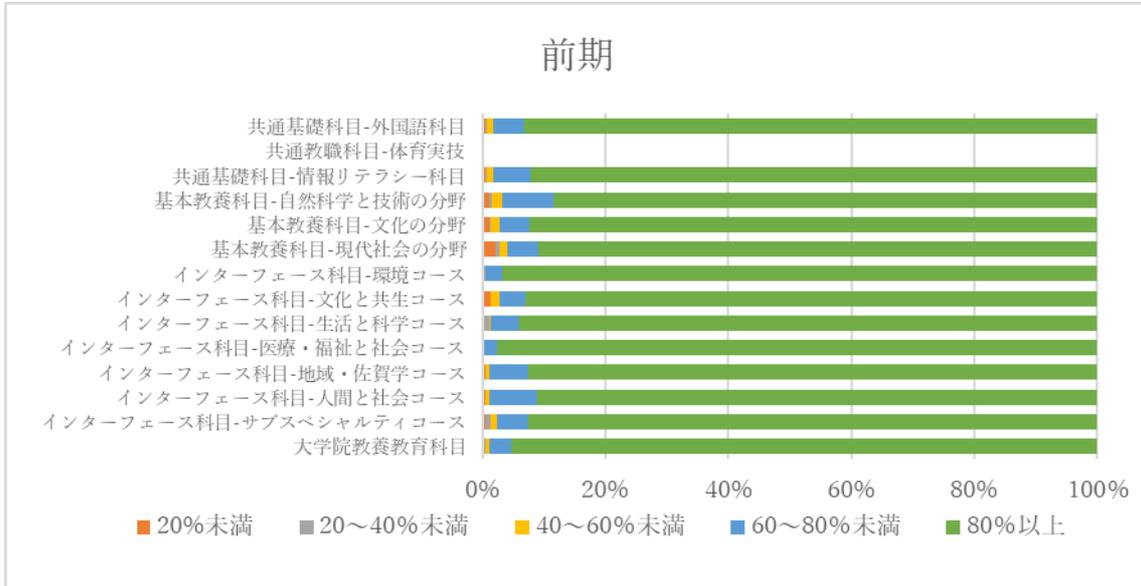
共通基礎科目	<ul style="list-style-type: none">・ 外国語科目・ 健康・スポーツ科目（現：共通教職科目）・ 情報リテラシー科目
基本教養科目	<ul style="list-style-type: none">・ 自然科学と技術の分野・ 文化の分野・ 現代社会の分野
インターフェース科目	<ul style="list-style-type: none">・ 環境コース・ 文化と共生コース・ 生活と科学コース・ 医療・福祉と社会コース・ 地域・佐賀学コース

2020年度は、全世界規模での新型コロナウイルス感染拡大により、社会生活は大きく一変した。大学においても、ほとんどの学生・教員が経験したことのなかった遠隔講義・動画配信など様々な教育手法を活用した、まさに変革の1年となった。このような中で全学教育機構では、教員の移動などに伴い開講数が例年に比べて減少傾向となっていることに加えて、感染防止の観点から実習科目の未開講などが重なり、2020年度は前・後期合わせて382科目の開講にとどまっているが、授業アンケートの総回答数は17,410件であり回答数はむしろ上昇している。

オンライン講義中心であったため、授業の質保証が十分にいかず授業の満足度が低下する懸念があったが、いずれの分野・コースとも例年のアンケート結果と比べてもそんな内容であった。特に、「出席率」や「教員の熱意」などの回答が良好であり、結果として「授業の満足度」が高く評価される傾向が強く表れている。一方で、授業時間外学習時間については演習的科目以外の分野では十分でないため、引き続き授業課題の設定などの見直しなどによる教育改善が必要だと思われる。

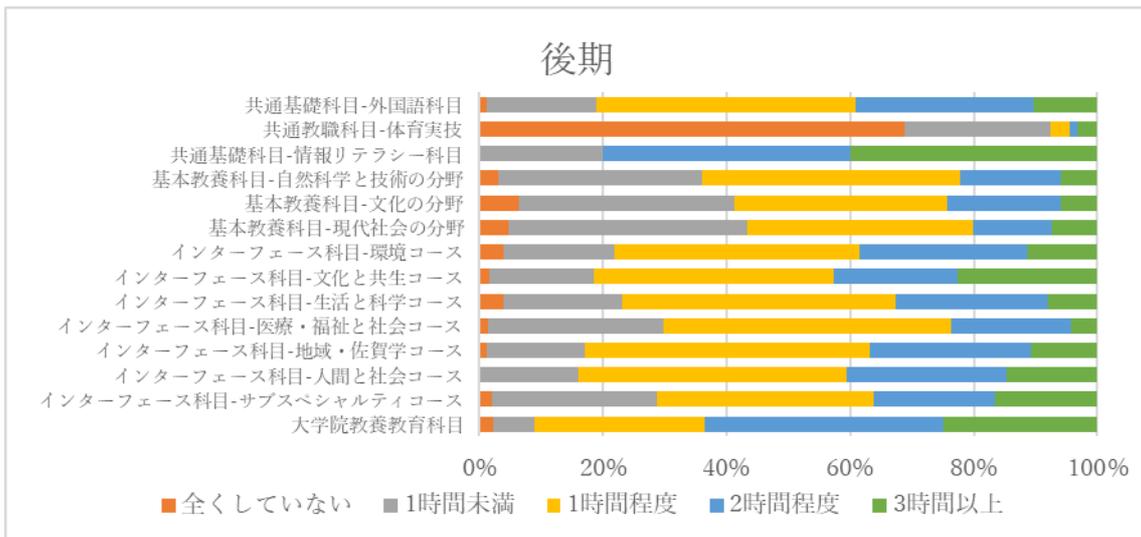
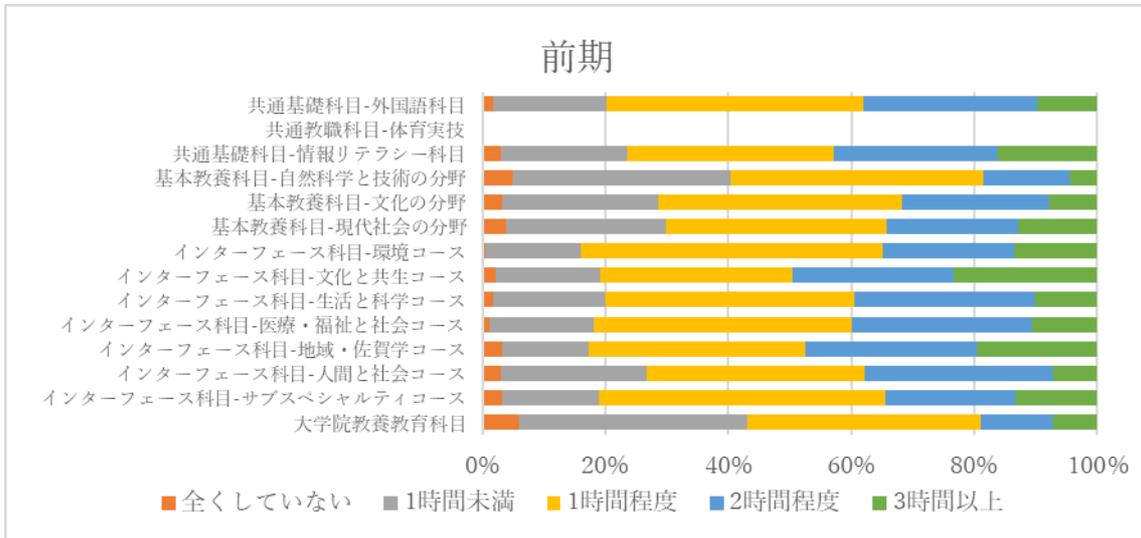
2. 授業アンケート結果と分析

A-1 出席率はどのくらいですか



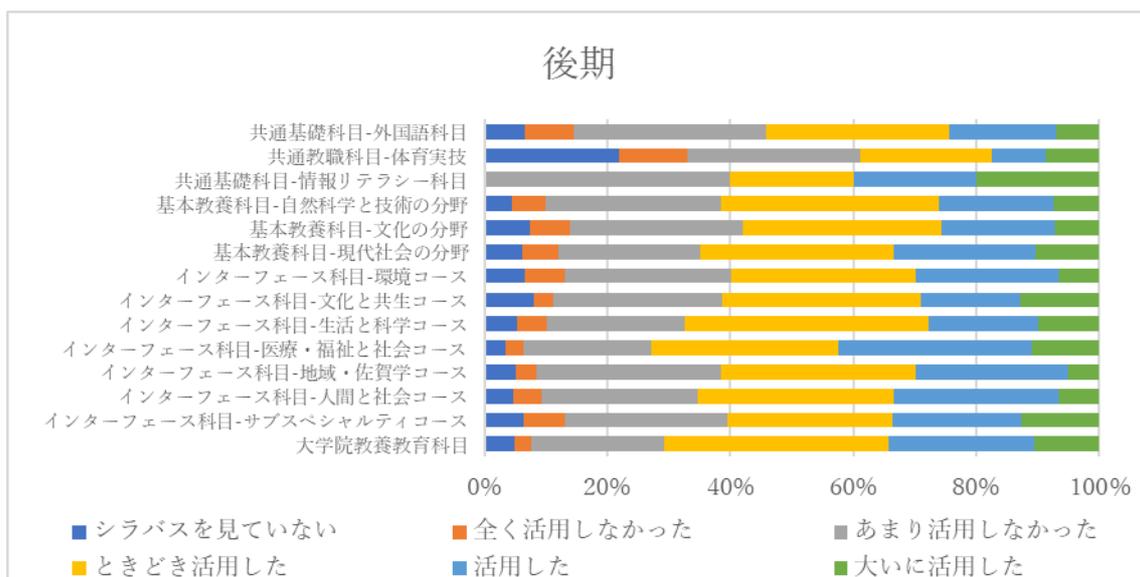
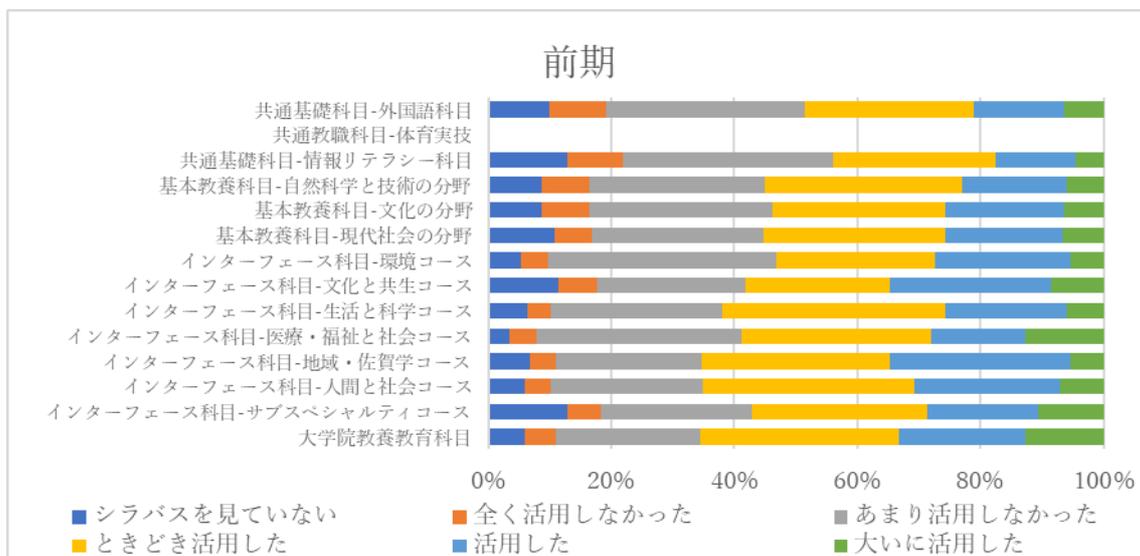
出席率は「80%以上」が9割を占めている。後期の「情報リテラシー科目」で「20%未満」が急増しているように見えるが、後期の「情報リテラシー科目」は履修者が少なく、実数としては回答者26名中の1名であるため、科目の問題ではないと判断される。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



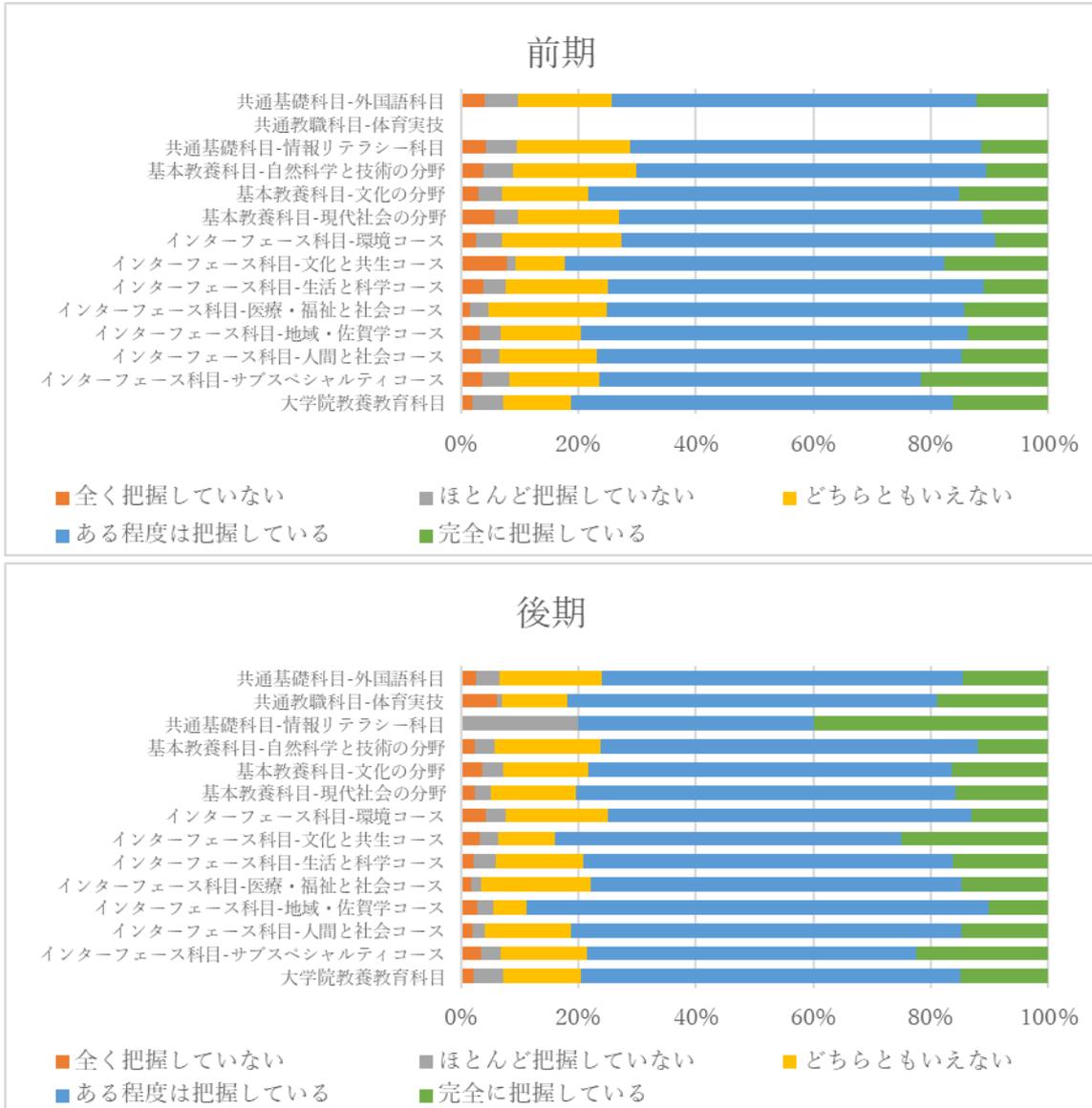
今年度は遠隔講義の影響もあり、従来1時間未満が半数を占めていた授業時間外学習時間が大幅に伸びており、2時間以上が約4割、1時間程度が約3割と増加している。特に後期の「情報リテラシー科目」、「大学院教養教育科目」で伸びが著しい。授業形態と合わせて分析することで、授業時間外学習時間の伸長のヒントが得られるかもしれない。「体育実技」についてはある程度仕方がない面もあるが、「全くしていない」が6割を超える現状は改善の工夫が必要である。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



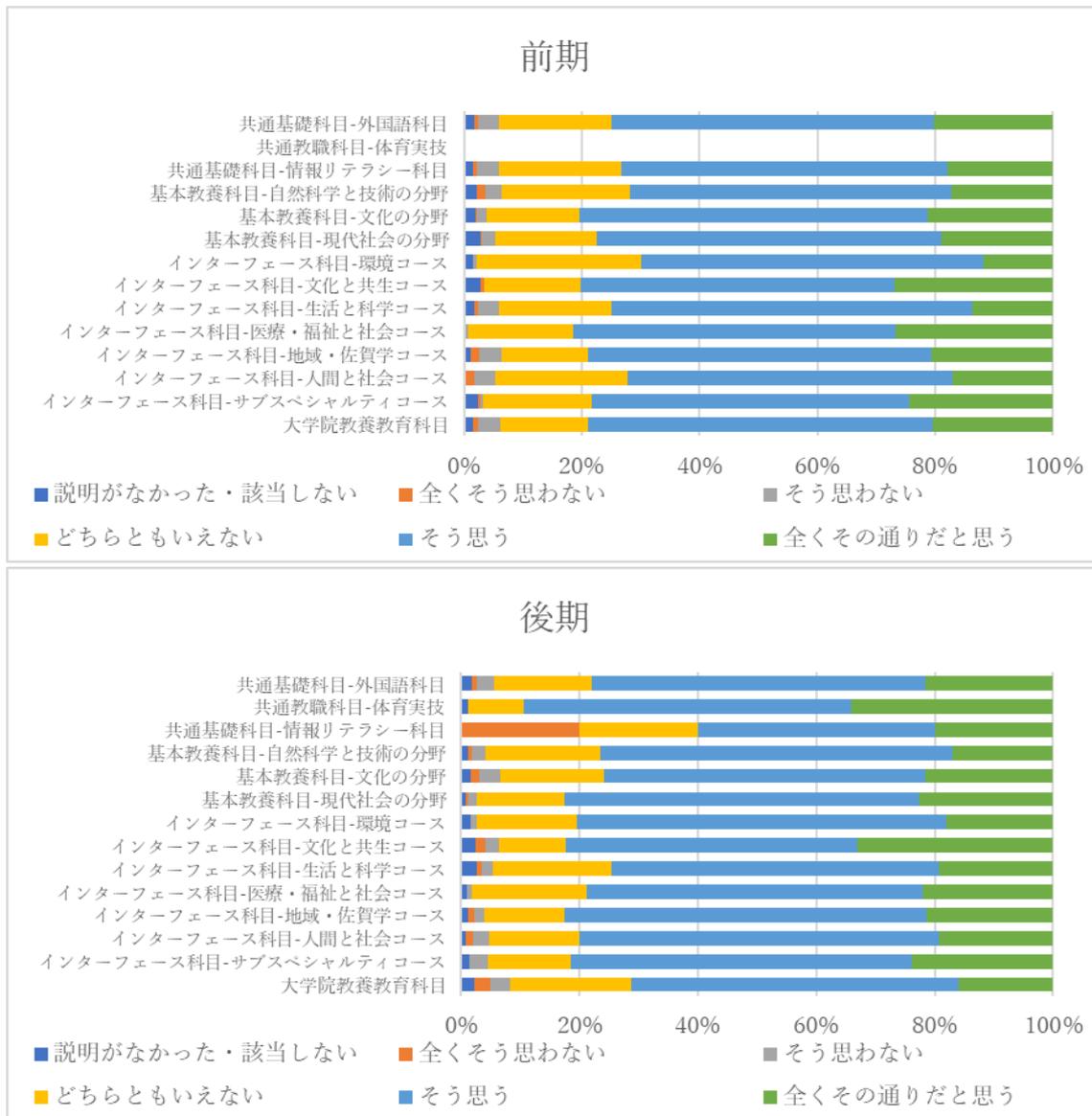
全体的に、例年同様に6割程度の学生はシラバスを活用していると判断できる。しかしながら、逆に学生の1割はシラバスを見てもおらず、受け身で授業を履修している学生も一定数存在していると判断される。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



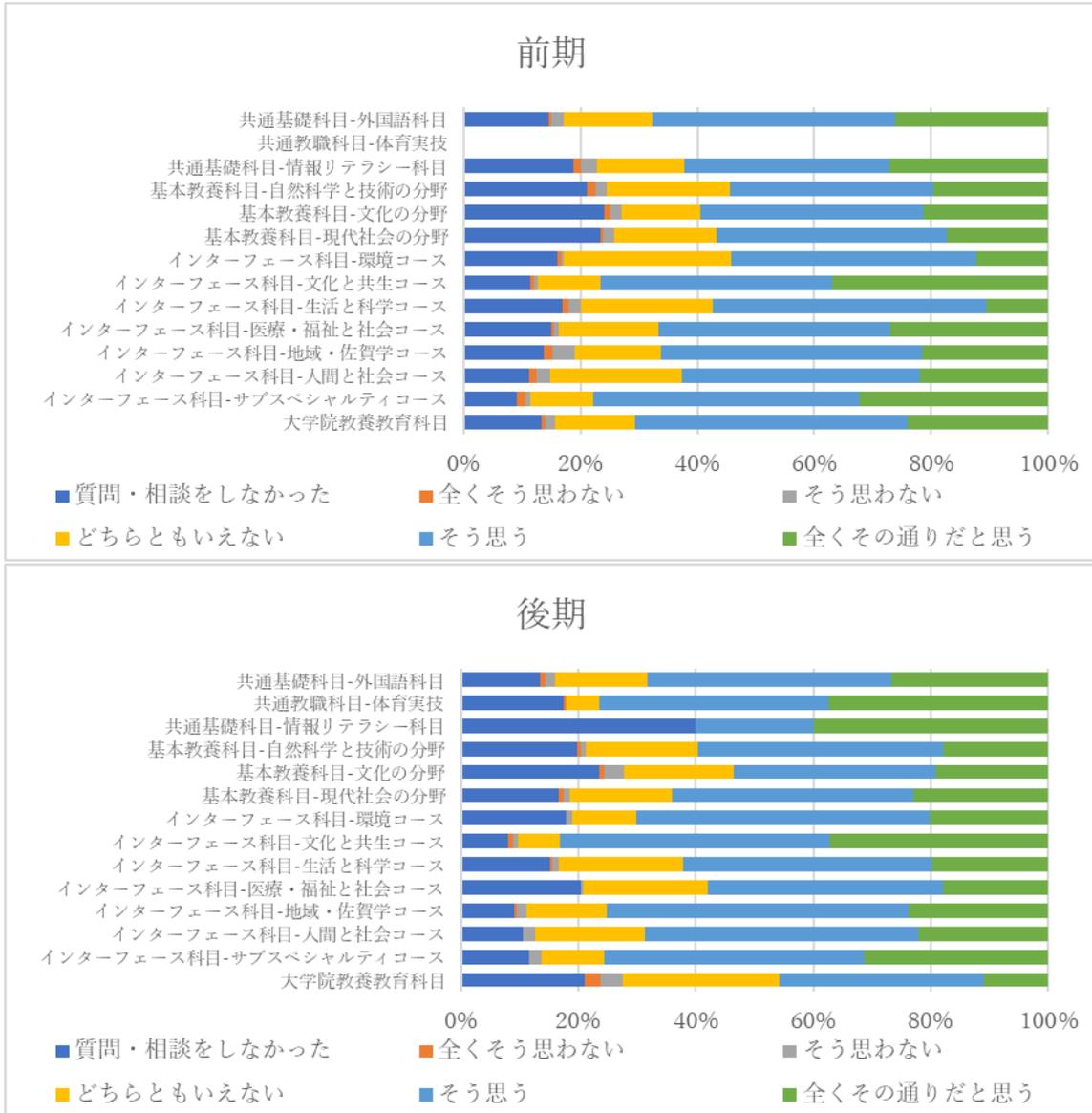
A-3 と A-4 の回答は連動するように思えるが、A-4 の把握率の方が毎回高く、今回も約 8 割の学生が学習到達目標・成績評価基準を理解しているという結果である。逆に言えば、3 割ほどの学生は「シラバスは見えていないけど成績評価基準は知っている」ということになる。このような学生の評点を分析して、シラバスの活用度と成績の相関を調べることで、シラバス改善につながるかもしれない。

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



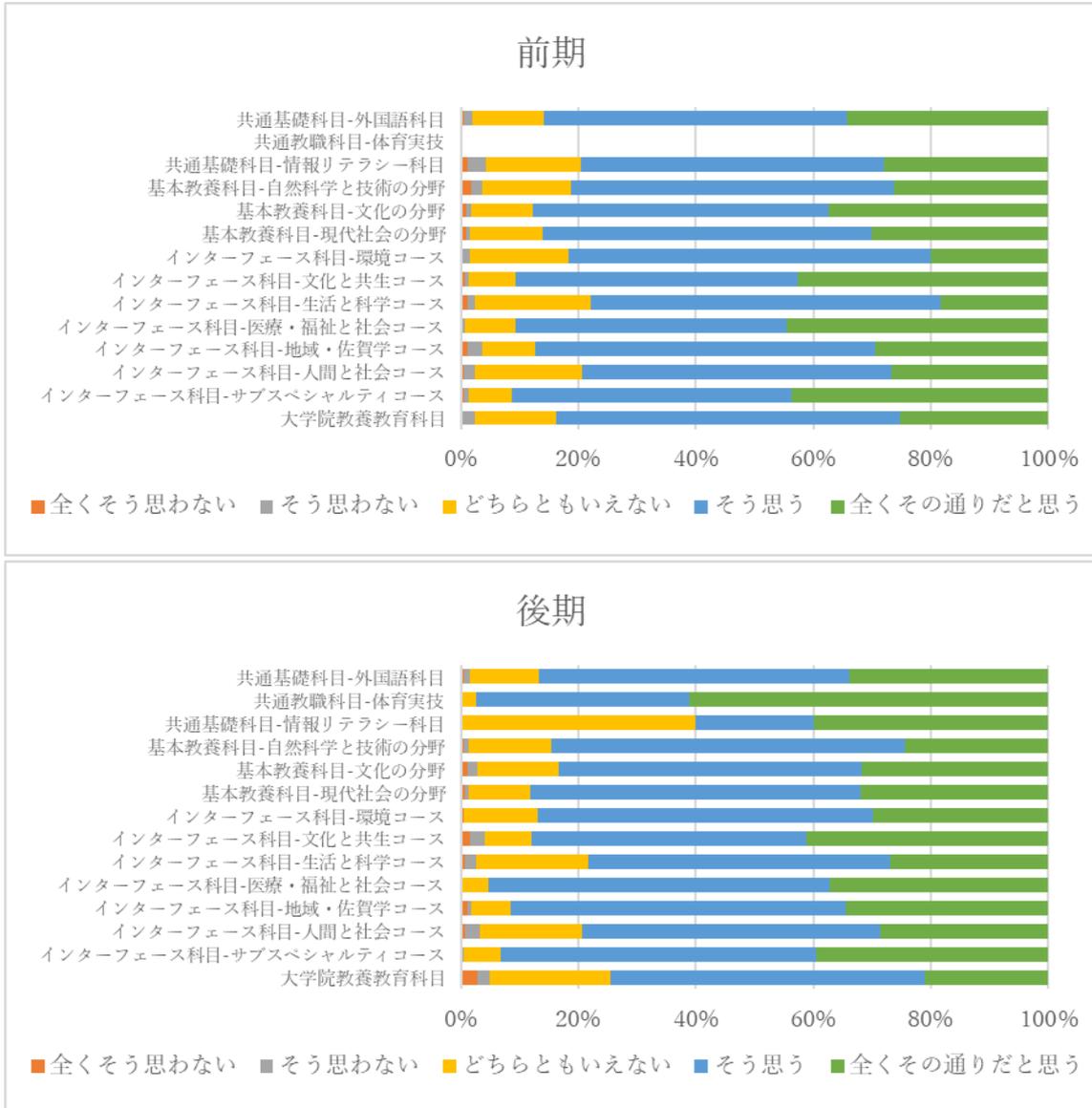
有益だと思われる回答が8割程度を占め、批判的な回答は後期の「情報リテラシー科目」を除いて少なかった。他の設問でもそうであるが、この後期の「情報リテラシー科目」は他の科目と傾向が著しく異なっている。次年度もこの傾向が続くようであれば、部会での具体的な対応を検討する必要がある。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



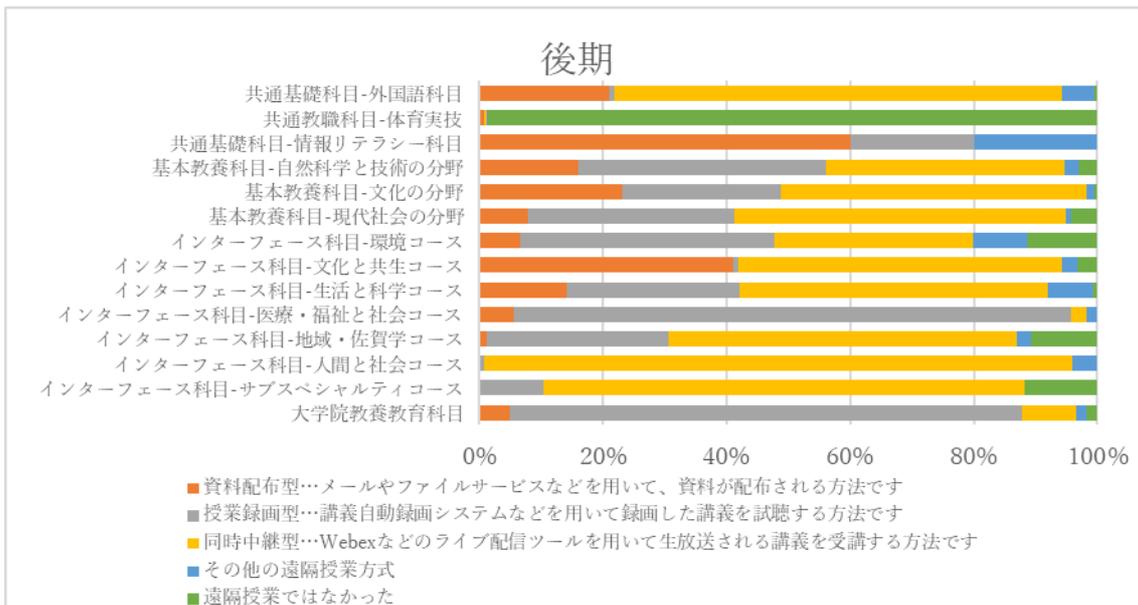
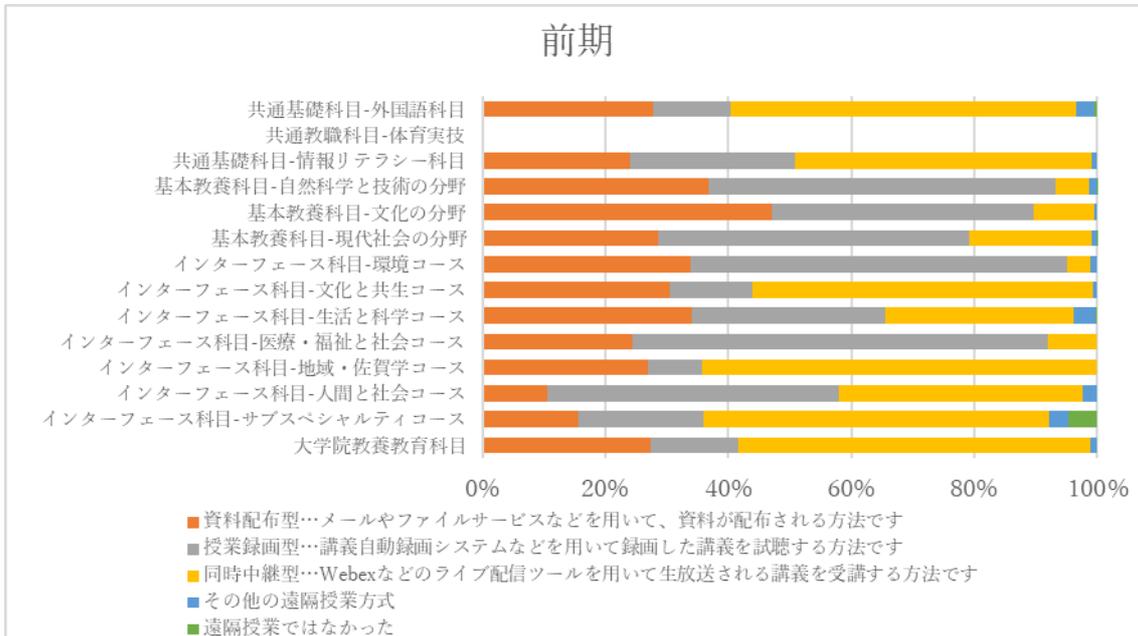
相談をしなかった人が約20%で、専門科目の動向に比べると質問者数が少ない傾向がある。全体的には約6割（質問者の約8割）が教員の対応は適切であったと回答しており、丁寧な学習指導が行われていることがわかる。昨年度から引き続き「文化と共生コース」、「サブスペシャルティコース」のポイントが高く、学生の主体性が生み出されていると判断できる。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



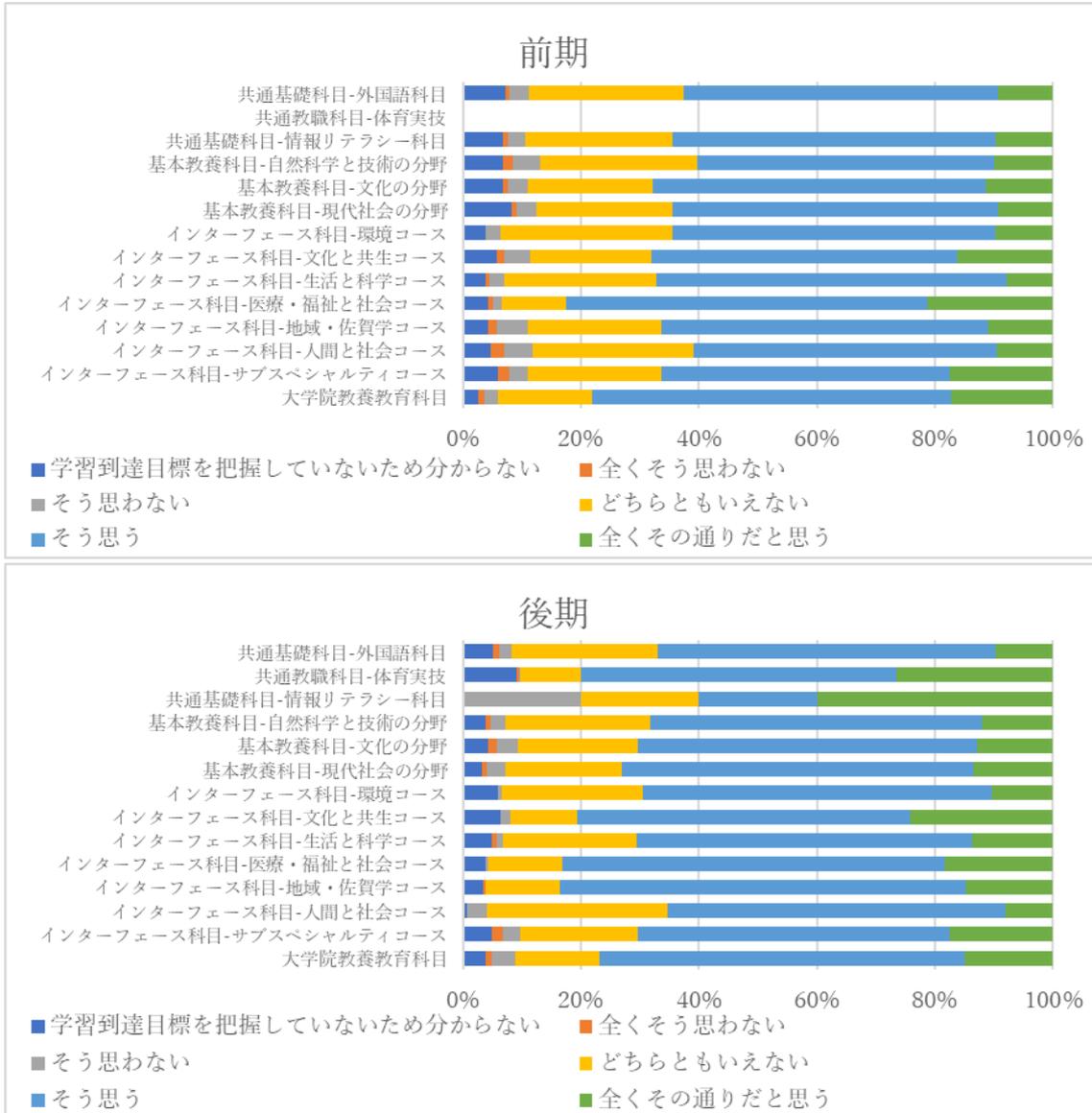
9割近い学生が好意的な回答をしており、批判的な回答は数%であることから教員の授業に対する熱意は十分であると判断できる。ここでは「医療・福祉と社会コース」、「体育実技」のポイントが極めて高く、教員と受講者の良好な関係が構築されていることが伺えた。

C-1 この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。



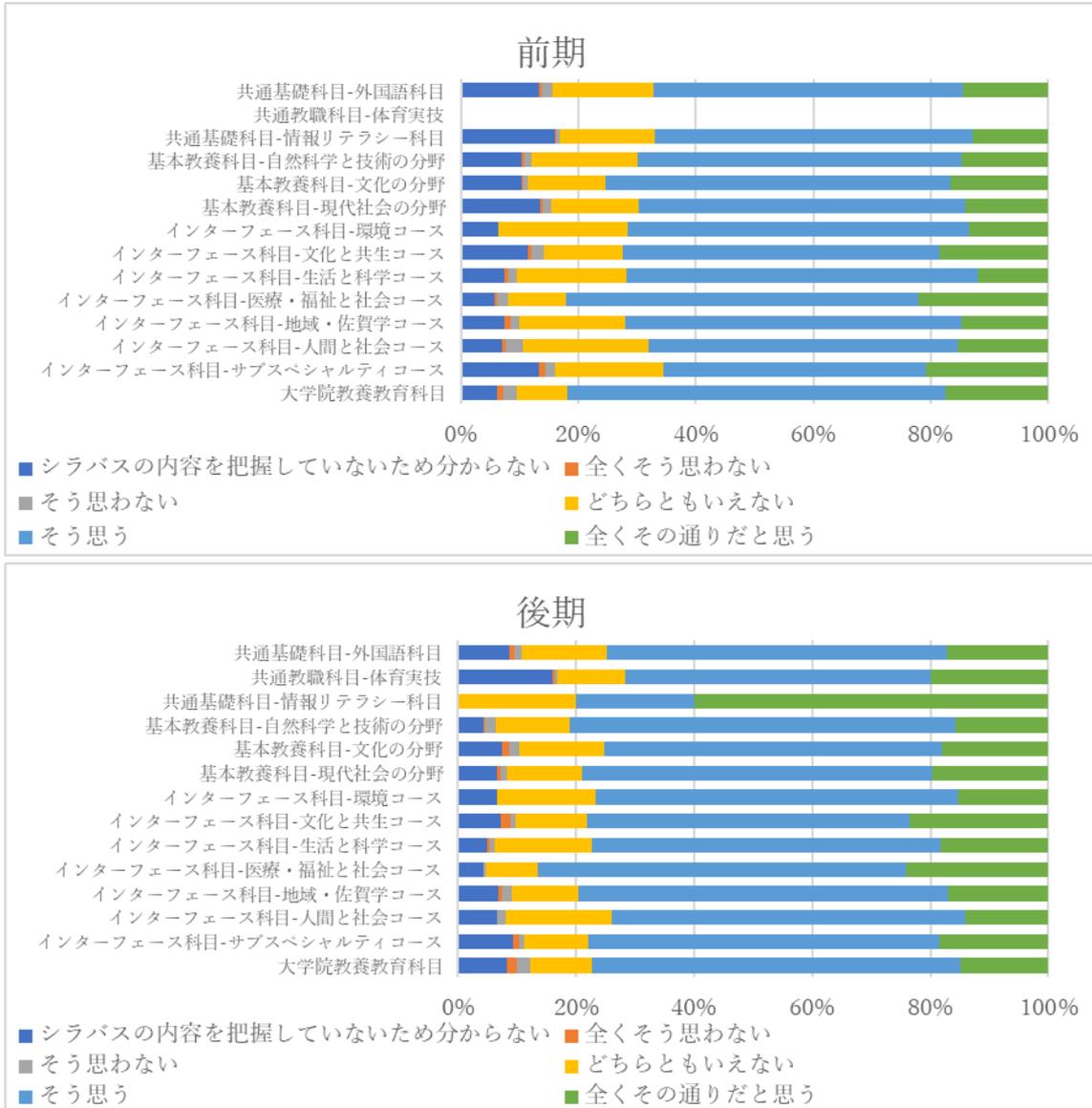
今年度の遠隔講義の実態調査のために新たに追加された設問である。前期は資料配布型・授業録画型・同時中継型がほぼ拮抗していたが、後期は分野ごとに違いはあるものの傾向として資料配布型が減少して同時中継型が増えている。

C-2 この授業の学習到達目標を達成できましたか。



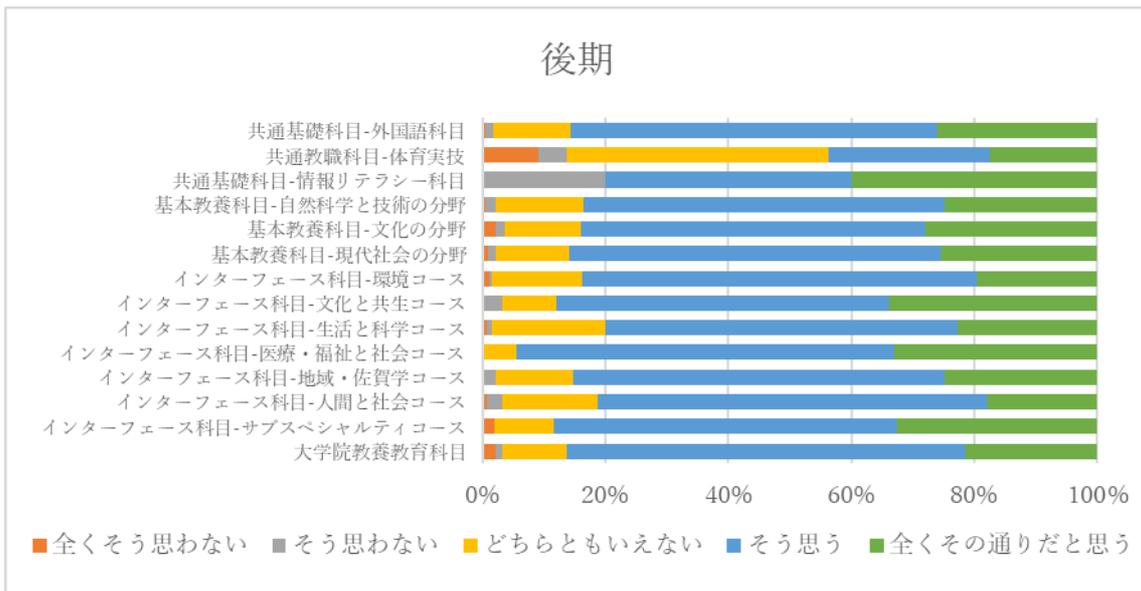
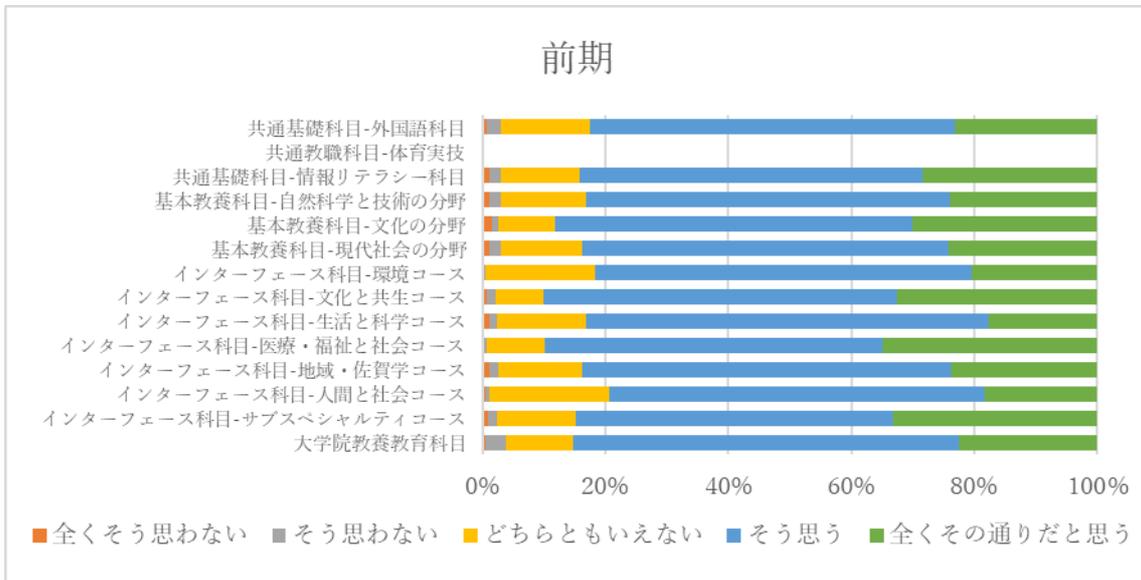
概ね7～8割の学生が学習到達目標を達成できたという実感しているようである。しかしながら、「全くその通りだと思う」の割合が昨年度より大きく減少している。この理由も遠隔講義に原因があるのかもしれないが、次年度の傾向を見て改めて評価する必要がある。

C-3 授業の内容はシラバスに基づいていましたか。



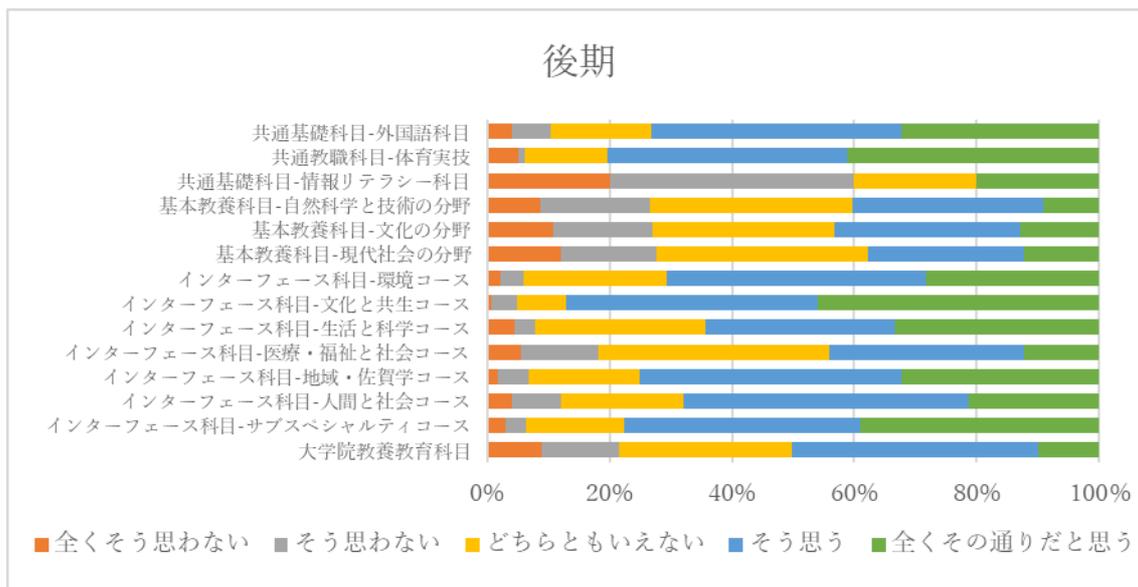
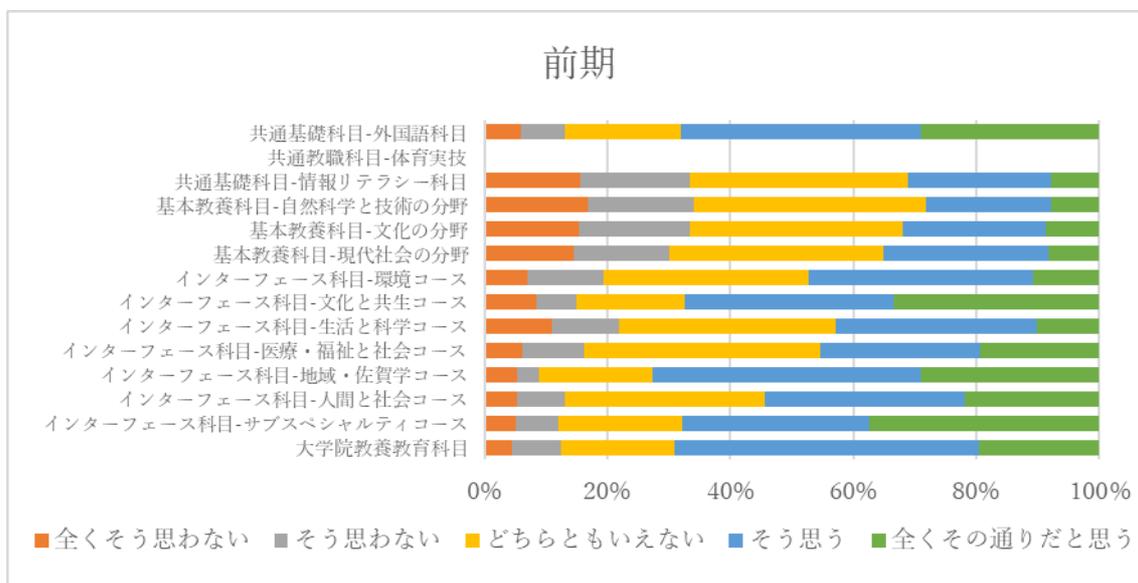
設問 A-4 と相関が良く出ており，到達目標の理解度の割合とほぼ同じ分布である。

C-4 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用Web ページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。



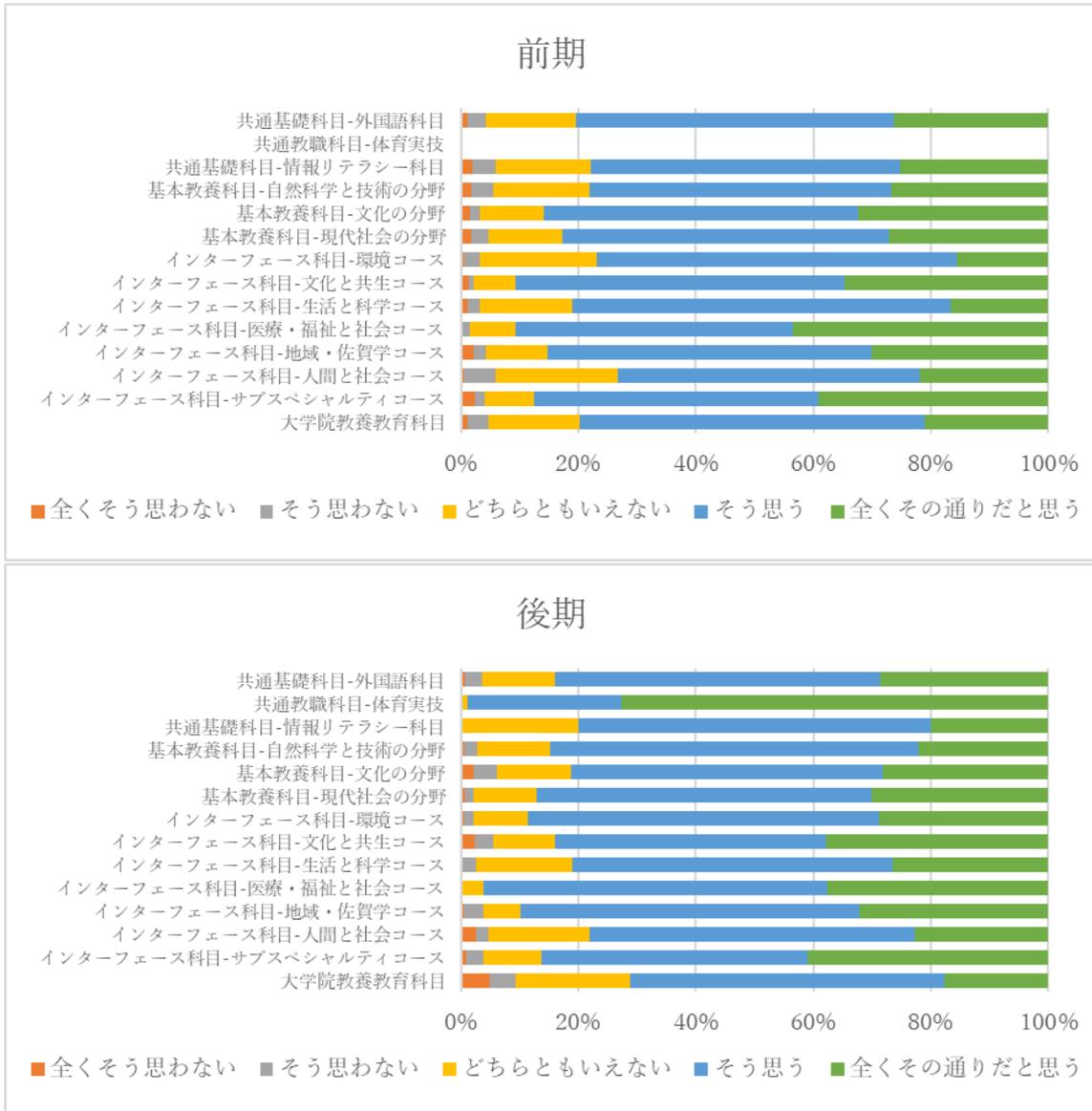
全体的に8割以上の学生が良好と感じているようである。いずれの遠隔授業形態においても、何らかの形で授業資料を残すことができているためと思われる。

C-5 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。



遠隔授業中心のため、グループワーク等の実施が困難であったことから、「全くその通りだと思う」の割合が大幅に低下している。昨年度は前後期ともに「全くその通り」、「そう思う」合わせて9割を超えていた「文化と共生コース」であっても、前期7割・後期8割にとどまっていることから、遠隔授業にアクティブ・ラーニングを取り入れることの難しさを物語っている。次年度以降、対面講義の増加に伴って回復はしてくるものと思われる。

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか。



遠隔講義による不安を払しょくして、全体を通してどの分野とも8～9割の学生が授業に対して満足しており、全学教育機構における遠隔講義は対面講義と比べても遜色のなく実施されていたことを確認できた。後期の「体育実技」では、「全くその通りだと思う」が7割を超えて例年のどの科目よりも高い割合を示したが、これは遠隔講義中心の中で行われた実技系科目がある種の気分転換の役割を果たしたためではないかと推測される。

おわりに

令和2年度も授業評価アンケートはLiveCampusによる共通アンケートシステムを用いて実施された。全学平均を俯瞰するとB2「質問や相談への対応」、B3「担当教員の熱意」の項目の向上傾向が続いており、引き続き各教員が授業改善に熱意をもって取り組んでいる様子が伺える。特筆すべき点として、C4「グループワーク」の項目にも上昇傾向が表れていることから、全学をあげて取り組んでいるアクティブ・ラーニングの成果が出始めているのではないかとということが伺える。結果として、総合評価のD1「授業の満足度」も良い数値を継続しているといえるだろう。

平成20年度から義務化されたFD活動においても、単なるFD講演会の開催・聴講に留まらず、平成24年度のティーチング・ポートフォリオ実施要項および実施要領の策定や参加型FDワークショップの開催などFD活動全般の改善を図っている。しかしながら、佐賀大学の全教員がその趣旨を理解し、授業改善に利用しているかと問われればまだまだ不十分であると言わざるを得ない。数字だけ見れば、簡易版ティーチング・ポートフォリオの作成率については、平成28年度末時点で100%を達成し「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」に基づき実施されている「授業点検・評価報告書」の作成率も100%となっはいるが、この数字が実質的なものとなるよう、これらの活動を有機的に結び付け、大学全体として教育力の向上を図る必要がある。

令和元年度には、前年度に規定された教育コーディネーターを中心とした組織的な教育点検システムの構築が進められ、各教育課程では「教育課程点検・改善実施要項」を定め、教育課程の計画（P）、実行（D）、点検・評価（C）、改善（A）を担当する組織を要項に沿って規定し組織的な内部質保証体制の構築を行った。

[最上位](#) > [第17編 学務](#)

佐賀大学学生による授業評価実施要項

(趣旨)

第1条 授業改善を目的とする学生による授業評価（以下「授業評価」という。）の実施に関する事項は、この要項に定めるところによる。

(評価の実施)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、学期毎、授業科目毎に授業評価（以下「個別授業評価」という。）を実施する。

2 学部及び学科等の教育組織（以下「教育組織」という。）は、前項の個別授業評価等を分析し、教育組織毎に授業評価（以下「組織別授業評価」という。）を実施する。

(評価の支援)

第3条 大学は、授業評価の実施に必要な全学共通のアンケートシステム（以下「授業評価アンケートシステム」という。）を提供し、集計を行うなどの方法により、前条の授業評価の実施を支援する。

(個別評価結果の利用)

第4条 個別授業評価の結果は、授業担当者に提供し、授業担当者は、個別授業評価の結果を授業の改善等に利用するものとする。

2 前項の規定は、各授業担当者による評価結果の公表又は提供及び組織別授業評価のための集計を妨げはない。

3 個別授業評価の結果は、教員個人の評価には用いない。

4 個別授業評価の結果は、学生個人の成績評価に利用してはならない。

(組織別評価結果の利用)

第5条 教育改善のための調査研究を行う組織は、佐賀大学教育委員会の了承を得て、授業評価の結果を利用することができる。

(調査項目等)

第6条 授業評価アンケートシステムを利用した調査項目等は別紙のとおりとする。

2 前項に規定する調査項目等を変更する場合（次項の規定により調査項目等を追加する場合を除く。）は、佐賀大学教育委員会において審議する。

3 前項の規定は、教員又は教育組織が調査項目等を追加することを妨げない。

(調査対象)

第7条 個別授業評価の対象となる授業科目は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 学部が開設する授業科目
- (2) 全学教育機構が開設する授業科目
- (3) 研究科が開設する授業科目

2 授業科目を開設する学部等（全学教育機構及び研究科を含む。）の長が、授業科目の特性により、授業評価アンケートシステムを用いて調査することが適切でないと判断した場合は、他の方法により調査することができるものとする。この場合において、授業評価アンケートシステムを用いない授業担当者は、佐賀大学教育委員会が指定する日までに当該授業科目名を教務課に届け出るものとする。

(実施方法)

第8条 個別授業評価の実施，集計及び集計結果の公表の方法については，佐賀大学教育委員会の議を経て，委員長が別に定める。

2 前項の規定は，教員又は教育組織が，独自の調査を実施することを妨げない。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか，授業評価の実施に関して必要な事項は，佐賀大学教育委員会の議を経て，委員長が定める。

附 則

1 この要項は，平成18年10月1日から実施する。

2 この要項は，当分の間，医学部・医学系研究科には適用しない。

附 則（平成22年11月22日改正）

この要項は，平成22年11月22日から実施する。

附 則（平成25年2月5日改正）

この要項は，平成25年4月1日から実施する。

附 則（平成26年2月18日改正）

この要項は，平成26年4月1日から実施する。

附 則（平成26年4月25日改正）

この要項は，平成26年4月25日から実施し，平成26年4月1日から適用する。

附 則（令和元年8月21日改正）

この要項は，令和元年8月21日から実施し，平成31年4月1日から適用する。

[別紙（第6条関係）](#)

[最上位](#) > [第17編 学務](#)

佐賀大学学生による授業評価結果を用いた授業改善実施要項

(平成18年12月22日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学学生による授業評価実施要項（平成18年6月27日制定。以下「授業評価実施要項」という。）第2条に定める個別授業評価及び組織別授業評価の結果は、授業評価実施要項に定めるもののほか、この要項の定めるところにより、授業の改善を通じて教育の質の向上に利用する。

(報告)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、授業科目ごとに実施する授業評価の結果及び授業の改善目標について、学期ごとに、ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して、授業全体について又は授業科目別に報告する。

2 前項の規定にかかわらず、非常勤講師については、同項中「ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して」とあるのを「別紙様式に定める授業点検・評価報告書に準じて」と読み替えて適用する。

3 学部又は学科等（以下「教育組織」という。）は、個別授業評価及び組織別授業評価の結果に基づき、次に掲げる事項について組織別授業点検・評価報告書を作成する。

- (1) 各種アンケートの学科等別及び授業科目別の集計結果
- (2) 各種アンケートの結果から総合的に判断して、学生から高い評価を得ていると教育組織が認定する授業科目
- (3) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目
- (4) 教育組織の授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点
- (5) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

(報告書等の利用)

第3条 教育組織の長は、前条第3項に定める組織別授業点検・評価報告書に基づき、必要に応じて教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策を講じる。

2 前条第1項及び第2項の規定による個別授業点検・評価報告書及び同条第3項の組織別授業点検・評価報告書は、教育組織が実施する研修会等に利用し、オンラインで公表する。

3 前条第3項第2号に該当する授業科目における取組は、授業の改善に広く資するよう、教育組織が実施する研修会等又は公開授業により周知する。

附 則

- 1 この要項は、平成18年12月22日から実施する。
- 2 この要項は、当分の間、医学部及び医学系研究科において実施される授業評価には適用しない

附 則

この要項は、平成20年2月8日から実施する。

附 則（平成25年9月12日改正）

この要項は、平成25年9月12日から実施する。

附 則（令和元年8月21日改正）

この要項は、令和元年8月21日から実施し、平成31年4月1日から適用する。

資料 3

別紙（第6条関係）

設問Aあなた自身について

設問A-1

出席率はどのくらいですか。/ What is the percentage of your own class attendance during the whole class?

選択肢A-1

・ 20%未満 (under 20%) ・ 20～40%未満 (20～40%) ・ 40～60%未満 (40～60%) ・ 60～80%未満 (60～80%) ・ 80%以上 (more than 80%)

設問A-2

授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。/How many hours did you spend doing your homework (the preparation and review of lessons, the writing of research papers, etc.) for each lesson?

選択肢A-2

・ 全くしていない (0 hours) ・ 1時間未満 (under 1 hour) ・ 1時間程度 (about 1 hour) ・ 2時間程度 (about 2 hours) ・ 3時間以上 (more than 3 hours)

設問A-3

この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。/ Did you make use of a syllabus to choose this class or to prepare and review the lessons?

選択肢A-3

・ シラバスを見ていない (no idea) ・ 全く活用しなかった (never) ・ あまり活用しなかった (little) ・ ときどき活用した (sometimes) ・ 活用した (to some extent) ・ 大いに活用した (much)

設問A-4

この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。/ I understand the objectives and assessment of academic achievement of this class.

選択肢A-4

・ 全く把握していない (Strongly Disagree) ・ ほとんど把握していない (Disagree) ・ どちらともいえない (Neutral) ・ ある程度は把握している (Agree) ・ 完全に把握している (Strongly Agree)

設問B教員の対応

設問B-1

教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。/The teacher's explanation of his/her teaching methods and information about the assessment based on his/her teaching philosophy was useful.

選択肢B-1

説明がなかった・該当しない (no idea) ・ 全くそう思わない (Strongly Disagree) ・ そう思わない (Disagree) ・ どちらともいえない (Neutral) ・ そう思う (Agree) ・ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問B-2

担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。/ The teacher's responsiveness to students' questions and concerns was appropriate.

選択肢B-2

・ 質問・相談をしなかった (no idea) ・ 全くそう思わない (Strongly Disagree) ・ そう思わない (Disagree) ・ どちらともいえない (Neutral) ・ そう思う (Agree) ・ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問B-3

教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。/ The teacher appeared enthusiastic and interested.

選択肢B-3

・ 全くそう思わない (Strongly Disagree) ・ そう思わない (Disagree) ・ どちらともいえない (Neutral) ・ そう思う (Agree) ・ 全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C授業内容および授業方法について

設問C-1

この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか。/Which of the following was closest type for this lecture?

選択肢C-1

資料配布型・・・メールやファイルサービスなどを用いて、資料が配布される方法です（資料・教材の動画や音声などによる解説を含まないもの）/Material distribution type・・・Materials distributed using email, file service, or etc.

授業録画型・・・講義自動録画システムなどを用いて録画した講義を視聴する方法です (Streamによる動画の配信、音声付きPowerPointを含む) /Video on-demand type・・・Content provided through watching a recorded lecture.

同時中継型・・・Webexなどのライブ配信ツールを用いて生放送される講義を受講する方法です/Live lecture type・・・ Content received by joining in a lecture using a live distribution tool such as Webex.

その他の遠隔授業方式/Other online lecture type.

対面授業だった/It was a face-to-face lecture type.

設問C-2

この授業の学習到達目標を達成できましたか。 / I reached the class objectives.

選択肢C-2

・学習到達目標を把握していないため分からない (no idea) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-3

授業の内容はシラバスに基づいていましたか。 / The class was conducted based on the syllabus.

選択肢C-3

・シラバスの内容を把握していないため分からない (no idea) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-4

理解しやすいように教え方や教材の工夫がされてきましたか。 / Were the classes and materials designed to be easy to understand?

選択肢C-4

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-5

この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか。 / To support learning autonomy, the teacher prepared "writing", "speaking", and "presentation" activities with other students.

選択肢C-5

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問D 満足度

設問D-1

・この授業は全体として満足できるものでしたか。 / Overall, the class was satisfactory.

選択肢D-1

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

自由記述欄

この授業科目について気づいたことがあれば、何でもお書き下さい。 / Please give your comments about this class freely.

※学籍番号(8ケタ)を記入し、鉛筆で数字をマークしてください。

実施年月日：平成 年 月 日

資料4 共通様式以外のアンケート様式 〈医学部アンケート様式〉

授業科目名

〔注意事項〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) ◁ ▷ の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。



※ 学 籍 番 号							
◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷	◁0▷
◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷	◁1▷
◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷	◁2▷
◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷	◁3▷
◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷	◁4▷
◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷	◁5▷
◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷	◁6▷
◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷	◁7▷
◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷	◁8▷
◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷	◁9▷

1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) 講義に対する出席の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
2) 復習や関連事項の自己学習の程度(1回あたり、5[3時間以上]4[2時間程度]3[1時間程度]2[1時間未満]1[全くしていない])	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
3) 授業内容の修得、理解度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) この授業に対する総合的満足度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
3) 授業内容に対して抱いた興味の種類	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
4) 講義の編成や内容における一貫性、統合性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
5) 講義の工夫、講義資料等の活用・有効性の程度	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷
6) この授業に対する配分時間の妥当性	◁5▷	◁4▷	◁3▷	◁2▷	◁1▷

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。		
◁A▷ 学習要項(シラバス)と講義の内容が一致していない	◁B▷ 講義の内容がばらばらである	◁C▷ 講義内容に無意味な重複がある
◁D▷ 一方的な講義で追い付いていけない	◁E▷ 講義資料が分かりにくい	◁F▷ スライド、OHPなどが分かりにくい
◁G▷ 講義内容が多すぎる	◁H▷ 授業時間が多すぎる	◁I▷ もっと授業時間を増やして欲しい
◁J▷ 現行より早い時期に開講して欲しい	◁K▷ 現行より遅い時期に開講して欲しい	

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

.....

.....

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。

.....

.....

※このアンケートと成績は関係ありません。

学生による授業評価アンケートⅡ (実習科目)

※学籍番号(8ケタ)を記入し、鉛筆で数字をマークしてください。

実施年月日：平成 年 月 日

氏名

授業科目名

※学籍番号							
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

〔注意事項〕

- 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- < > の枠をはみ出さないようになりにぎつぶして下さい。



1. この実習に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) 実習に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度(1回あたり,5[3時間以上]4[2時間程度]3[1時間程度]2[1時間未満]1[全くしていない])	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容の修得, 理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この実習全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) この実習に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの実習の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容に対して抱いた興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 実習の編成や内容における一貫性, 統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) 実習の工夫, 実習書や配布資料の活用・有効性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この実習に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
7) 実習環境の充実性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。

- | | | |
|------------------------------|----------------------|---------------------|
| <A> 学習要項(シラバス)と実習の内容が一致していない | 実習内容が多すぎる | <C> 実習時間が多すぎる |
| <D> もっと実習時間を増やして欲しい | <E> 現行より早い時期に開講して欲しい | <F> もっと遅い時期に開講して欲しい |
| <G> もっと指導教員の数を増やして欲しい | <H> 実習書が分かりにくい | <I> 機材が不足している |
| <J> グループの人数が多すぎる | | |

2-3. この実習について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

.....

.....

2-4. この実習について、よかったと思うことを書いて下さい。

.....

.....

学生による授業評価アンケートⅢ (PhaseⅢ授業科目)

※学籍番号(8ケタ)を記入し、鉛筆で数字をマークしてください。

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

※ 学 籍 番 号							
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

〔注意事項〕

- 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- <>の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。



1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) 講義に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度(1回あたり、5[3時間以上]4[2時間程度]3[1時間程度]2[1時間未満]1[全くしていない])	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容の修得、理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) この授業に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容に対して抱いた興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 講義の編成や内容における統一性、統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) シナリオに対する興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この授業に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。		
<A> 講義の内容がばらばらである	 講義内容に重複がある	<C> 講義内容が少なすぎる
<D> 講義分担教員が多すぎる	<E> シラバスが統一されていない	<F> シナリオが複雑すぎる
<G> シナリオが単純すぎる	<H> もっと授業時間を増やして欲しい	<I> もっと実習時間を増やして欲しい
<J> 現行より早い時期に開講して欲しい	<K> もっと遅い時期に開講して欲しい	

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。

※このアンケートと成績は関係ありません。

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
全体	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	96.6%
幼小連携教育コース	0.2%	0.3%	0.2%	2.4%	97.0%
小中連携教育コース	0.2%	0.3%	0.1%	2.5%	96.8%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
全体	1.1%	29.9%	26.4%	24.1%	18.4%
幼小連携教育コース	1.4%	19.6%	36.0%	29.3%	13.7%
小中連携教育コース	1.9%	17.7%	34.3%	29.6%	16.4%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
全体	16.1%	9.2%	29.9%	19.5%	18.4%	6.9%
幼小連携教育コース	8.7%	5.5%	29.2%	28.0%	20.4%	8.2%
小中連携教育コース	10.5%	5.2%	27.7%	26.1%	20.9%	9.6%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
全体	4.6%	6.9%	13.8%	54.0%	20.7%
幼小連携教育コース	3.1%	6.2%	16.9%	60.7%	13.0%
小中連携教育コース	3.9%	5.0%	16.5%	59.9%	14.8%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	3.4%	1.1%	4.6%	11.5%	43.7%	35.6%
幼小連携教育コース	2.0%	1.2%	3.2%	19.1%	51.4%	23.0%
小中連携教育コース	2.1%	1.1%	3.0%	18.1%	49.4%	26.3%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	13.8%	1.1%	0.0%	5.7%	36.8%	42.5%
幼小連携教育コース	22.1%	1.4%	3.5%	16.8%	33.2%	23.0%
小中連携教育コース	17.9%	1.4%	2.9%	15.2%	33.8%	28.8%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	0.0%	2.3%	4.6%	37.9%	55.2%
幼小連携教育コース	1.7%	2.4%	12.0%	45.9%	38.0%
小中連携教育コース	1.6%	2.1%	11.3%	42.6%	42.5%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
全体	18.4%	58.6%	19.5%	3.4%	0.0%
幼小連携教育コース	32.8%	56.8%	6.6%	2.4%	1.4%
小中連携教育コース	33.5%	45.5%	16.1%	2.2%	2.8%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	4.6%	0.0%	3.4%	14.9%	59.8%	17.2%
幼小連携教育コース	6.6%	0.9%	2.8%	21.6%	56.3%	11.9%
小中連携教育コース	6.8%	1.2%	2.3%	21.3%	53.8%	14.6%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	13.8%	3.4%	2.3%	12.6%	44.8%	23.0%
幼小連携教育コース	12.5%	0.9%	1.8%	17.8%	52.2%	14.8%
小中連携教育コース	13.7%	0.9%	1.7%	17.4%	49.3%	17.0%

C-4教材（教科書、配布資料）やI C T環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	0.0%	0.0%	9.2%	56.3%	34.5%
幼小連携教育コース	1.6%	3.2%	13.3%	54.2%	27.7%
小中連携教育コース	1.6%	3.0%	13.6%	51.3%	30.5%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	4.6%	5.7%	24.1%	39.1%	26.4%
幼小連携教育コース	11.2%	15.7%	34.0%	26.4%	12.7%
小中連携教育コース	11.3%	13.1%	31.0%	25.2%	19.3%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	0.0%	5.7%	9.2%	46.0%	39.1%
幼小連携教育コース	2.0%	4.6%	14.8%	48.8%	29.8%
小中連携教育コース	2.0%	4.1%	13.7%	46.4%	33.8%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
全体	0.6%	0.0%	1.1%	6.3%	92.0%
幼小連携教育コース	0.7%	0.2%	0.6%	3.2%	95.4%
小中連携教育コース	0.6%	0.1%	0.7%	3.0%	95.6%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
全体	2.9%	14.9%	36.0%	30.9%	15.4%
幼小連携教育コース	2.4%	21.0%	41.9%	23.3%	11.4%
小中連携教育コース	3.6%	20.2%	37.7%	24.8%	13.7%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
全体	10.3%	7.4%	35.4%	22.9%	12.6%	11.4%
幼小連携教育コース	10.1%	4.5%	29.7%	29.2%	16.1%	10.3%
小中連携教育コース	10.4%	5.0%	29.4%	27.1%	16.1%	12.0%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
全体	3.4%	6.9%	17.1%	56.0%	16.6%
幼小連携教育コース	3.0%	4.4%	16.4%	59.3%	17.0%
小中連携教育コース	3.1%	3.9%	14.4%	58.8%	19.7%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	2.3%	0.6%	3.4%	12.6%	56.6%	24.6%
幼小連携教育コース	0.7%	0.0%	1.7%	13.8%	54.9%	29.0%
小中連携教育コース	0.9%	0.3%	1.7%	11.3%	53.0%	32.8%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	24.0%	0.6%	3.4%	20.6%	25.7%	25.7%
幼小連携教育コース	18.7%	0.2%	0.9%	14.6%	35.9%	29.7%
小中連携教育コース	13.5%	0.4%	1.1%	11.1%	36.5%	37.4%

B-3教員の授業に対する意欲や²

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	1.1%	2.3%	10.3%	48.0%	38.3%
幼小連携教育コース	0.4%	0.8%	8.9%	45.6%	44.3%
小中連携教育コース	0.4%	1.0%	7.9%	41.1%	49.6%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画面型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
全体	10.9%	53.1%	28.6%	1.7%	5.7%
幼小連携教育コース	15.4%	51.8%	18.4%	1.3%	13.1%
小中連携教育コース	14.8%	31.9%	33.9%	1.5%	17.9%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	9.1%	1.1%	1.1%	20.0%	50.9%	17.7%
幼小連携教育コース	5.3%	0.1%	1.0%	17.4%	58.5%	17.7%
小中連携教育コース	4.6%	0.4%	1.5%	15.8%	58.5%	19.1%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	13.7%	1.7%	1.7%	17.1%	47.4%	18.3%
幼小連携教育コース	12.4%	0.2%	0.7%	13.6%	53.6%	19.4%
小中連携教育コース	11.9%	0.3%	1.0%	13.0%	51.7%	22.1%

C-4教材（教科書、配布資料）やI C T環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	0.6%	1.7%	16.6%	50.3%	30.9%
幼小連携教育コース	1.0%	0.9%	12.3%	53.3%	32.5%
小中連携教育コース	1.2%	0.9%	12.0%	50.5%	35.4%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	15.4%	12.0%	25.7%	28.6%	18.3%
幼小連携教育コース	9.1%	14.2%	28.6%	29.4%	18.8%
小中連携教育コース	7.4%	10.1%	22.6%	32.7%	27.3%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
全体	2.3%	1.7%	13.7%	48.6%	33.7%
幼小連携教育コース	0.3%	1.7%	8.1%	50.0%	39.8%
小中連携教育コース	0.4%	1.8%	7.6%	43.8%	46.3%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
学校教育学研究科	0.0%	15.3%	28.7%	28.0%	28.0%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
学校教育学研究科	1.9%	3.8%	15.3%	33.8%	30.6%	14.6%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
学校教育学研究科	0.0%	3.2%	9.6%	73.2%	14.0%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	0.0%	0.6%	5.1%	13.4%	47.1%	33.8%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	1.3%	1.3%	3.8%	10.2%	36.9%	46.5%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	0.6%	3.8%	9.6%	33.1%	52.9%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
学校教育学研究科	15.3%	0.0%	84.7%	0.0%	0.0%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	1.9%	0.6%	1.9%	24.2%	65.0%	6.4%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	3.8%	0.6%	0.6%	1.9%	61.8%	31.2%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

		全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	0.0%	1.9%	3.8%	12.1%	48.4%	33.8%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	8.3%	8.3%	17.8%	33.8%	31.8%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	3.2%	4.5%	10.8%	49.7%	31.8%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
学校教育学研究科	0.0%	21.4%	50.0%	23.8%	4.8%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	4.8%	33.3%	42.9%	19.0%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	73.8%	26.2%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	47.6%	52.4%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	19.0%	81.0%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	97.6%	2.4%	0.0%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	54.8%	23.8%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	38.1%	57.1%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	45.2%	54.8%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	11.9%	38.1%	50.0%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	2.4%	40.5%	57.1%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
芸術地域デザイン学部	0.6%	0.0%	1.6%	7.2%	90.6%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
芸術地域デザイン学部	3.1%	16.6%	31.0%	29.2%	20.1%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
芸術地域デザイン学部	9.4%	8.2%	38.9%	22.9%	18.8%	1.9%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

		全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
芸術地域デザイン学部	0.0%	1.9%	4.7%	15.4%	69.0%	9.1%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	1.6%	0.9%	0.6%	12.9%	68.3%	15.7%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	16.6%	0.9%	0.9%	6.9%	44.2%	30.4%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	0.6%	0.0%	6.3%	48.9%	44.2%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
芸術地域デザイン学部	29.2%	3.8%	62.7%	2.5%	1.9%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	6.0%	0.6%	1.6%	21.0%	63.0%	7.8%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	10.3%	0.6%	0.6%	20.1%	58.9%	9.4%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（Live Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	1.6%	0.9%	11.9%	61.8%	23.8%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	2.8%	9.1%	21.9%	41.1%	25.1%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	0.6%	0.6%	6.9%	53.0%	38.9%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.3%	0.6%	6.8%	92.3%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
芸術地域デザイン学部	8.6%	20.9%	28.6%	24.4%	17.5%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
芸術地域デザイン学部	9.1%	10.1%	31.6%	27.5%	18.6%	3.0%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

		全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
芸術地域デザイン学部	0.0%	3.9%	3.3%	13.8%	70.7%	8.3%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	2.1%	0.3%	1.1%	9.2%	64.3%	23.0%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	12.6%	0.2%	0.3%	6.2%	49.8%	31.0%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.2%	4.5%	53.7%	41.6%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
芸術地域デザイン学部	1.1%	2.1%	57.2%	1.7%	38.0%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	7.6%	0.3%	1.1%	13.0%	70.0%	8.0%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	10.7%	0.0%	0.9%	11.2%	64.9%	12.3%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	1.2%	1.4%	13.3%	60.5%	23.6%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	2.7%	5.9%	16.2%	46.7%	28.4%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.9%	5.6%	53.6%	39.9%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%	94.8%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
地域デザイン研究科	3.4%	6.9%	17.2%	43.1%	29.3%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
地域デザイン研究科	1.7%	3.4%	20.7%	8.6%	39.7%	25.9%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
地域デザイン研究科	1.7%	1.7%	0.0%	63.8%	32.8%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	1.7%	5.2%	36.2%	56.9%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%	34.5%	62.1%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	1.7%	3.4%	32.8%	62.1%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
地域デザイン研究科	31.0%	3.4%	55.2%	1.7%	8.6%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	62.1%	27.6%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	1.7%	0.0%	8.6%	48.3%	41.4%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	1.7%	3.4%	53.4%	41.4%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	1.7%	0.0%	3.4%	43.1%	51.7%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	3.4%	1.7%	34.5%	60.3%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
地域デザイン研究科	0.0%	5.6%	30.6%	41.7%	22.2%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	52.8%	22.2%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	61.1%	38.9%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	30.6%	66.7%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.8%	72.2%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	2.8%	0.0%	0.0%	19.4%	77.8%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
地域デザイン研究科	13.9%	0.0%	61.1%	13.9%	11.1%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	55.6%	38.9%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.8%	33.3%	63.9%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	2.8%	0.0%	2.8%	27.8%	66.7%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
地域デザイン研究科	0.0%	2.8%	2.8%	30.6%	63.9%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
1年次科目	0.1%	0.1%	0.7%	2.9%	96.2%
経済学科	0.4%	0.2%	1.3%	6.9%	91.2%
経営学科	0.6%	0.0%	0.8%	6.4%	92.3%
経済法学科	0.7%	0.0%	1.4%	5.6%	92.2%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
1年次科目	1.5%	34.6%	47.6%	13.9%	2.4%
経済学科	4.0%	32.2%	38.0%	16.3%	9.6%
経営学科	7.9%	39.4%	35.7%	12.6%	4.3%
経済法学科	3.2%	32.7%	43.3%	14.8%	6.0%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
1年次科目	15.0%	10.2%	32.7%	26.3%	13.4%	2.5%
経済学科	4.4%	9.0%	24.4%	29.6%	21.1%	11.5%
経営学科	9.1%	7.0%	25.5%	25.8%	20.9%	11.7%
経済法学科	7.8%	7.8%	24.9%	30.3%	21.3%	7.9%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
1年次科目	3.0%	4.9%	15.4%	69.4%	7.4%
経済学科	2.1%	3.5%	16.5%	57.4%	20.5%
経営学科	3.2%	3.8%	16.8%	56.2%	20.0%
経済法学科	3.2%	3.1%	16.1%	65.2%	12.5%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	1.2%	0.2%	1.3%	14.9%	63.8%	18.6%
経済学科	1.3%	0.6%	2.7%	15.2%	52.2%	28.0%
経営学科	1.3%	0.2%	2.1%	15.3%	51.3%	29.8%
経済法学科	1.4%	0.4%	1.3%	14.8%	61.0%	21.1%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	17.1%	0.3%	1.3%	11.4%	45.1%	24.7%
経済学科	19.2%	0.8%	1.5%	16.7%	37.8%	24.0%
経営学科	19.8%	0.6%	1.9%	11.3%	39.6%	26.8%
経済法学科	18.1%	0.7%	2.2%	14.6%	41.9%	22.6%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	0.0%	0.5%	6.1%	60.4%	33.0%
経済学科	1.3%	1.3%	10.6%	52.2%	34.7%
経営学科	0.9%	1.7%	10.8%	50.0%	36.6%
経済法学科	0.5%	0.7%	8.5%	55.6%	34.7%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
1年次科目	8.0%	3.1%	88.4%	0.4%	0.0%
経済学科	19.6%	8.4%	71.2%	0.6%	0.2%
経営学科	8.9%	8.3%	82.5%	0.4%	0.0%
経済法学科	6.9%	7.6%	85.4%	0.2%	0.0%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	6.1%	0.4%	2.0%	24.0%	60.7%	6.8%
経済学科	5.6%	0.0%	2.9%	23.6%	52.4%	15.4%
経営学科	5.7%	0.4%	3.0%	23.2%	51.1%	16.6%
経済法学科	7.2%	0.5%	1.8%	24.5%	53.6%	12.3%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	18.1%	0.4%	1.0%	15.1%	55.8%	9.5%
経済学科	8.6%	0.0%	0.8%	14.4%	56.2%	20.0%
経営学科	12.5%	0.4%	0.8%	15.5%	50.6%	20.4%
経済法学科	11.4%	0.0%	1.3%	15.7%	57.2%	14.4%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	0.2%	1.6%	11.8%	67.3%	19.2%
経済学科	1.5%	1.3%	10.6%	54.3%	32.4%
経営学科	1.3%	1.7%	11.3%	53.6%	32.1%
経済法学科	1.3%	0.4%	11.4%	59.4%	27.6%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	7.7%	18.1%	37.0%	32.2%	5.0%
経済学科	8.4%	13.4%	30.3%	32.6%	15.4%
経営学科	9.1%	12.3%	31.9%	29.2%	17.5%
経済法学科	9.7%	11.2%	32.7%	35.7%	10.6%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	0.6%	2.3%	10.2%	62.5%	24.5%
経済学科	1.3%	4.4%	10.4%	52.0%	31.9%
経営学科	1.3%	2.6%	10.6%	49.4%	36.0%
経済法学科	0.9%	1.6%	10.1%	56.5%	30.9%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
1年次科目	0.0%	0.1%	1.4%	5.7%	92.8%
経済学科	1.5%	0.5%	0.6%	6.2%	91.2%
経営学科	0.7%	0.1%	1.2%	5.8%	92.1%
経済法学科	0.4%	0.6%	1.4%	7.7%	89.9%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
1年次科目	1.1%	29.4%	48.5%	16.6%	4.3%
経済学科	3.2%	32.1%	41.8%	15.6%	7.3%
経営学科	4.7%	36.0%	41.0%	13.9%	4.4%
経済法学科	2.8%	31.6%	42.2%	16.4%	7.1%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
1年次科目	6.1%	9.8%	30.4%	35.8%	13.9%	4.0%
経済学科	5.0%	7.8%	19.8%	34.2%	25.1%	8.1%
経営学科	7.3%	6.6%	23.5%	31.1%	21.0%	10.5%
経済法学科	6.8%	6.1%	24.8%	31.0%	22.5%	8.8%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
1年次科目	1.0%	4.4%	15.1%	68.8%	10.7%
経済学科	2.4%	2.1%	11.8%	66.8%	16.9%
経営学科	3.2%	4.1%	10.3%	65.3%	17.1%
経済法学科	2.8%	2.3%	13.3%	68.3%	13.3%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	1.2%	1.0%	3.5%	16.1%	60.2%	18.0%
経済学科	1.8%	1.1%	1.5%	12.3%	58.7%	24.6%
経営学科	2.3%	0.6%	0.7%	9.7%	58.7%	27.9%
経済法学科	2.5%	0.1%	2.0%	13.0%	61.3%	21.0%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	17.8%	0.7%	4.0%	17.8%	41.9%	17.9%
経済学科	19.9%	1.3%	1.9%	16.9%	39.5%	20.4%
経営学科	19.3%	0.6%	0.7%	11.7%	43.1%	24.6%
経済法学科	22.5%	0.3%	2.9%	14.3%	41.2%	18.8%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	0.6%	1.1%	10.7%	61.4%	26.2%
経済学科	1.5%	1.1%	10.0%	56.7%	30.6%
経営学科	0.7%	1.0%	6.6%	52.8%	38.9%
経済法学科	0.9%	1.2%	9.0%	57.5%	31.4%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
1年次科目	0.1%	0.1%	99.7%	0.0%	0.0%
経済学科	6.0%	10.0%	82.0%	1.8%	0.2%
経営学科	6.9%	1.7%	90.4%	0.5%	0.5%
経済法学科	12.0%	5.7%	81.7%	0.4%	0.1%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	4.6%	0.8%	4.0%	22.5%	59.9%	8.2%
経済学科	2.8%	1.9%	4.2%	18.3%	59.6%	13.1%
経営学科	6.4%	0.1%	1.4%	14.4%	62.5%	15.3%
経済法学科	4.8%	0.3%	2.9%	20.6%	57.4%	14.1%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	9.3%	0.7%	2.5%	14.6%	62.6%	10.4%
経済学科	6.0%	0.5%	1.5%	12.2%	61.3%	18.6%
経営学科	10.7%	0.0%	0.7%	8.9%	59.9%	19.8%
経済法学科	10.1%	0.3%	0.9%	12.3%	60.0%	16.4%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	0.6%	2.1%	13.5%	61.9%	22.1%
経済学科	0.5%	2.6%	10.0%	59.6%	27.2%
経営学科	0.9%	0.5%	8.1%	60.1%	30.4%
経済法学科	1.3%	0.6%	11.2%	62.6%	24.3%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	6.8%	14.1%	33.4%	39.3%	6.4%
経済学科	7.9%	15.1%	32.9%	32.6%	11.5%
経営学科	7.7%	10.3%	34.6%	35.1%	12.3%
経済法学科	9.7%	12.8%	37.4%	29.9%	10.3%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
1年次科目	0.8%	3.5%	15.3%	59.5%	20.9%
経済学科	1.8%	3.2%	10.9%	56.2%	27.9%
経営学科	0.6%	1.6%	5.9%	56.0%	35.9%
経済法学科	0.7%	3.3%	11.6%	58.3%	26.1%

A-1出席率はどのくらいですか。

A-1	20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上
数理科学科	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	96.8%
物理科学科	0.0%	1.3%	2.6%	1.3%	94.7%
知能情報システム学科	0.7%	0.3%	0.3%	5.2%	93.4%
機能物質化学科	0.2%	0.4%	0.2%	3.6%	95.6%
機械システム工学科	1.5%	0.3%	0.5%	6.3%	91.4%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	94.4%
都市工学科	0.3%	0.0%	0.0%	3.4%	96.3%
理工学科	0.3%	0.3%	1.0%	5.8%	92.8%
数理サイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	11.0%	89.0%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	1.9%	1.2%	1.9%	5.1%	89.8%
生命化学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	99.2%
応用化学コース	0.0%	0.0%	0.0%	11.3%	88.7%
物理学コース	0.0%	0.0%	1.5%	8.8%	89.7%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.3%	2.7%	97.0%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	1.8%	1.8%	0.9%	8.3%	87.1%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	73.7%
電子デバイス工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	97.0%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	96.4%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
数理科学科	0.0%	0.0%	23.4%	36.2%	40.4%
物理科学科	0.0%	6.6%	44.7%	30.3%	18.4%
知能情報システム学科	1.3%	15.4%	39.3%	26.2%	17.7%
機能物質化学科	1.1%	12.6%	42.9%	25.7%	17.7%
機械システム工学科	1.5%	12.9%	31.3%	27.8%	26.5%
電気電子工学科	0.4%	7.9%	61.1%	17.9%	12.7%
都市工学科	1.4%	18.6%	37.2%	24.7%	18.2%
理工学科	3.7%	17.9%	40.9%	24.8%	12.7%
数理サイエンスコース	0.0%	14.0%	48.5%	21.3%	16.2%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	2.2%	10.2%	34.2%	32.5%	20.9%
生命化学コース	0.0%	0.0%	29.8%	38.9%	31.3%
応用化学コース	0.0%	5.3%	28.5%	40.4%	25.8%
物理学コース	0.0%	9.6%	30.1%	26.5%	33.8%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	0.0%	7.8%	52.9%	27.5%	11.8%
機械エネルギー工学コース	2.2%	10.1%	39.1%	34.8%	13.9%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	0.9%	4.0%	26.7%	31.9%	36.5%
電気エネルギー工学コース	0.0%	5.3%	57.9%	26.3%	10.5%
電子デバイス工学コース	3.0%	45.5%	39.4%	0.0%	12.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	4.9%	14.3%	35.0%	26.9%	18.9%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
数理科学科	35.1%	8.5%	16.0%	7.4%	22.3%	10.6%
物理科学科	26.3%	3.9%	36.8%	21.1%	7.9%	3.9%
知能情報システム学科	8.5%	7.5%	33.4%	29.2%	19.7%	1.6%
機能物質化学科	13.1%	4.0%	27.8%	25.3%	24.0%	5.9%
機械システム工学科	8.3%	4.8%	25.0%	29.5%	21.7%	10.6%
電気電子工学科	1.6%	4.4%	23.0%	36.1%	27.8%	7.1%
都市工学科	4.1%	9.8%	22.0%	34.1%	22.0%	8.1%
理工学科	15.3%	8.5%	30.3%	26.5%	14.6%	4.8%
数理サイエンスコース	2.2%	0.0%	36.0%	33.1%	19.9%	8.8%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	6.1%	1.9%	28.6%	36.7%	21.1%	5.6%
生命化学コース	0.0%	0.0%	25.2%	30.5%	26.0%	18.3%
応用化学コース	6.0%	2.6%	19.9%	39.7%	23.2%	8.6%
物理学コース	11.8%	3.7%	8.1%	33.1%	33.1%	10.3%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	3.9%	2.0%	23.5%	41.2%	21.6%	7.8%
機械エネルギー工学コース	3.0%	3.0%	23.6%	38.3%	24.5%	7.6%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	4.0%	0.6%	26.4%	27.6%	32.8%	8.6%
電気エネルギー工学コース	5.3%	0.0%	21.1%	36.8%	31.6%	5.3%
電子デバイス工学コース	3.0%	0.0%	36.4%	21.2%	27.3%	12.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	2.0%	1.3%	12.0%	39.7%	32.5%	12.5%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
数理科学科	0.0%	2.1%	31.9%	56.4%	9.6%
物理科学科	11.8%	2.6%	17.1%	52.6%	15.8%
知能情報システム学科	5.9%	4.6%	19.3%	64.3%	5.9%
機能物質化学科	7.6%	4.6%	15.6%	61.9%	10.3%
機械システム工学科	5.8%	3.5%	19.9%	55.6%	15.2%
電気電子工学科	0.0%	0.8%	9.9%	69.8%	19.4%
都市工学科	0.3%	4.4%	13.5%	66.9%	14.9%
理工学科	7.4%	5.1%	20.4%	59.1%	7.9%
数理サイエンスコース	0.0%	0.7%	21.3%	66.9%	11.0%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	3.4%	2.7%	24.0%	62.1%	7.8%
生命化学コース	0.0%	2.3%	28.2%	48.1%	21.4%
応用化学コース	3.3%	0.7%	20.5%	62.3%	13.2%
物理学コース	7.4%	0.0%	4.4%	66.9%	21.3%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	3.9%	2.0%	21.6%	60.8%	11.8%
機械エネルギー工学コース	1.6%	4.6%	17.9%	63.9%	12.0%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	1.8%	4.6%	19.0%	62.0%	12.6%
電気エネルギー工学コース	5.3%	10.5%	10.5%	63.2%	10.5%
電子デバイス工学コース	3.0%	6.1%	24.2%	54.5%	12.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.0%	0.4%	20.0%	65.3%	14.3%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	4.3%	0.0%	0.0%	43.6%	41.5%	10.6%
物理科学科	3.9%	1.3%	2.6%	22.4%	56.6%	13.2%
知能情報システム学科	2.3%	2.0%	2.6%	27.2%	57.4%	8.5%
機能物質化学科	2.3%	0.2%	4.6%	21.3%	54.1%	17.5%
機械システム工学科	1.5%	1.3%	2.3%	22.7%	52.0%	20.2%
電気電子工学科	0.0%	0.4%	2.0%	13.5%	65.1%	19.0%
都市工学科	0.0%	0.0%	0.7%	15.2%	65.2%	18.9%
理工学科	3.5%	0.7%	3.2%	26.4%	53.5%	12.7%
数理サイエンスコース	0.0%	0.7%	1.5%	30.9%	51.5%	15.4%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	1.5%	0.0%	1.9%	26.2%	59.2%	11.2%
生命化学コース	0.0%	1.5%	7.6%	23.7%	48.1%	19.1%
応用化学コース	3.3%	0.0%	3.3%	26.5%	53.0%	13.9%
物理学コース	1.5%	0.0%	0.0%	12.5%	65.4%	20.6%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	3.9%	29.4%	52.9%	13.7%
機械エネルギー工学コース	0.3%	0.8%	2.2%	23.6%	59.5%	13.6%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	0.3%	0.9%	4.6%	22.4%	58.0%	13.8%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	21.1%	57.9%	21.1%
電子デバイス工学コース	0.0%	0.0%	6.1%	18.2%	66.7%	9.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.0%	1.5%	2.9%	16.7%	62.6%	16.3%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	30.9%	0.0%	0.0%	23.4%	30.9%	14.9%
物理科学科	11.8%	0.0%	6.6%	15.8%	50.0%	15.8%
知能情報システム学科	8.5%	1.3%	3.0%	23.9%	44.3%	19.0%
機能物質化学科	13.1%	1.1%	2.1%	22.5%	42.7%	18.5%
機械システム工学科	17.7%	1.3%	2.0%	21.0%	37.6%	20.5%
電気電子工学科	15.1%	0.0%	0.8%	26.2%	42.9%	15.1%
都市工学科	15.9%	0.0%	1.0%	17.9%	46.3%	18.9%
理工学科	34.1%	0.4%	2.1%	20.7%	30.9%	11.7%
数理サイエンスコース	5.1%	1.5%	2.9%	36.0%	36.8%	17.6%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	18.7%	0.2%	1.9%	22.1%	42.0%	15.0%
生命化学コース	15.3%	2.3%	6.9%	16.0%	41.2%	18.3%
応用化学コース	16.6%	0.0%	3.3%	30.5%	34.4%	15.2%
物理学コース	5.1%	0.0%	1.5%	16.9%	52.9%	23.5%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	13.7%	0.0%	0.0%	25.5%	49.0%	11.8%
機械エネルギー工学コース	8.4%	1.1%	0.5%	19.3%	53.8%	16.8%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	11.3%	0.6%	3.7%	20.6%	44.8%	19.0%
電気エネルギー工学コース	5.3%	0.0%	0.0%	10.5%	57.9%	26.3%
電子デバイス工学コース	9.1%	0.0%	9.1%	18.2%	45.5%	18.2%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	15.1%	1.5%	3.1%	16.2%	42.6%	21.6%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	0.0%	0.0%	38.3%	45.7%	16.0%
物理科学科	0.0%	3.9%	15.8%	61.8%	18.4%
知能情報システム学科	1.3%	3.3%	21.3%	59.0%	15.1%
機能物質化学科	1.5%	2.9%	18.5%	55.2%	21.9%
機械システム工学科	2.5%	2.5%	20.5%	48.7%	25.8%
電気電子工学科	0.8%	0.8%	13.1%	64.3%	21.0%
都市工学科	0.0%	1.0%	14.5%	57.4%	27.0%
理工学科	0.5%	1.7%	21.2%	55.3%	21.3%
数理サイエンスコース	0.7%	2.9%	18.4%	64.7%	13.2%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	2.2%	1.7%	21.4%	57.5%	17.2%
生命化学コース	3.1%	4.6%	16.0%	51.9%	24.4%
応用化学コース	0.0%	4.0%	26.5%	53.0%	16.6%
物理学コース	0.0%	0.0%	8.1%	62.5%	29.4%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	23.5%	64.7%	11.8%
機械エネルギー工学コース	0.8%	1.9%	16.8%	62.8%	17.7%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	0.3%	4.6%	18.4%	54.3%	22.4%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	21.1%	57.9%	21.1%
電子デバイス工学コース	0.0%	3.0%	15.2%	66.7%	15.2%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.4%	2.0%	14.0%	58.6%	25.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
数理科学科	84.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理科学科	21.1%	47.4%	30.3%	1.3%	0.0%
知能情報システム学科	37.4%	33.4%	21.6%	7.5%	0.0%
機能物質化学科	26.9%	55.4%	5.9%	1.5%	10.3%
機械システム工学科	63.9%	22.7%	12.6%	0.5%	0.3%
電気電子工学科	25.0%	65.1%	9.5%	0.4%	0.0%
都市工学科	14.9%	42.2%	36.1%	2.0%	4.7%
理工学科	29.7%	58.0%	11.8%	0.4%	0.2%
数理サイエンスコース	9.6%	8.8%	80.1%	0.0%	1.5%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	29.4%	64.6%	2.4%	3.4%	0.2%
生命化学コース	51.9%	31.3%	0.8%	0.8%	15.3%
応用化学コース	45.7%	36.4%	0.0%	0.0%	17.9%
物理学コース	61.8%	13.2%	24.3%	0.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	43.1%	54.9%	0.0%	2.0%	0.0%
機械エネルギー工学コース	52.4%	9.2%	26.1%	3.8%	8.4%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	5.5%	62.9%	30.7%	0.9%	0.0%
電気エネルギー工学コース	10.5%	89.5%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	3.0%	93.9%	0.0%	3.0%	0.0%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	11.8%	43.2%	39.4%	0.7%	4.9%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	2.1%	0.0%	2.1%	54.3%	37.2%	4.3%
物理科学科	11.8%	3.9%	5.3%	30.3%	40.8%	7.9%
知能情報システム学科	8.9%	1.0%	3.6%	25.6%	55.1%	5.9%
機能物質化学科	8.4%	0.0%	4.8%	22.9%	53.1%	10.7%
機械システム工学科	7.6%	0.5%	4.3%	28.0%	47.2%	12.4%
電気電子工学科	0.8%	2.0%	3.2%	25.4%	61.5%	7.1%
都市工学科	0.7%	1.0%	1.4%	35.1%	50.3%	11.5%
理工学科	9.7%	0.4%	3.1%	25.6%	52.1%	9.1%
数理サイエンスコース	0.0%	1.5%	5.9%	36.8%	44.1%	11.8%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	3.9%	2.2%	4.6%	33.3%	51.2%	4.9%
生命化学コース	0.8%	5.3%	7.6%	37.4%	38.2%	10.7%
応用化学コース	3.3%	0.7%	6.6%	42.4%	40.4%	6.6%
物理学コース	5.9%	1.5%	8.8%	11.0%	58.1%	14.7%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	5.9%	0.0%	0.0%	27.5%	58.8%	7.8%
機械エネルギー工学コース	4.6%	0.8%	1.1%	23.6%	56.5%	13.3%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	3.1%	4.3%	11.0%	31.3%	41.7%	8.6%
電気エネルギー工学コース	5.3%	0.0%	15.8%	26.3%	47.4%	5.3%
電子デバイス工学コース	6.1%	3.0%	15.2%	24.2%	42.4%	9.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.7%	2.0%	5.4%	26.3%	54.8%	10.7%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	
数理科学科		31.9%	0.0%	1.1%	36.2%	27.7%	3.2%
物理科学科		18.4%	5.3%	1.3%	28.9%	36.8%	9.2%
知能情報システム学科		11.5%	1.0%	2.0%	24.9%	54.1%	6.6%
機能物質化学科		12.6%	0.8%	1.5%	18.1%	54.3%	12.6%
機械システム工学科		8.1%	0.3%	1.0%	24.7%	50.5%	15.4%
電気電子工学科		1.2%	0.4%	1.2%	12.7%	67.1%	17.5%
都市工学科		3.0%	0.7%	1.7%	15.2%	63.2%	16.2%
理工学科		16.9%	0.3%	1.0%	18.6%	53.1%	10.3%
数理サイエンスコース		0.7%	0.0%	2.2%	29.4%	55.9%	11.8%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース		6.6%	0.5%	2.4%	25.0%	57.3%	8.3%
生命化学コース		0.0%	1.5%	4.6%	21.4%	55.7%	16.8%
応用化学コース		6.0%	0.0%	3.3%	29.1%	55.0%	6.6%
物理学コース		11.0%	0.0%	0.7%	5.9%	65.4%	16.9%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース		9.8%	0.0%	0.0%	25.5%	54.9%	9.8%
機械エネルギー工学コース		5.7%	0.8%	1.6%	24.2%	54.6%	13.0%
メカニカルデザインコース		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース		5.2%	0.3%	3.4%	24.2%	55.8%	11.0%
電気エネルギー工学コース		5.3%	0.0%	0.0%	10.5%	78.9%	5.3%
電子デバイス工学コース		6.1%	0.0%	3.0%	21.2%	60.6%	9.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース		1.8%	0.7%	2.0%	19.1%	61.2%	15.2%
都市基盤工学コース		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（Live Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	0.0%	1.1%	23.4%	64.9%	10.6%
物理科学科	0.0%	7.9%	10.5%	69.7%	11.8%
知能情報システム学科	0.0%	3.6%	17.7%	61.0%	17.7%
機能物質化学科	1.5%	2.5%	18.1%	62.3%	15.6%
機械システム工学科	3.3%	1.5%	17.9%	51.3%	26.0%
電気電子工学科	0.4%	1.6%	12.7%	64.7%	20.6%
都市工学科	0.0%	1.7%	16.6%	62.2%	19.6%
理工学科	0.8%	1.2%	16.9%	61.6%	19.5%
数理サイエンスコース	0.7%	0.0%	19.9%	65.4%	14.0%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	1.2%	1.9%	17.0%	62.4%	17.5%
生命化学コース	3.1%	5.3%	21.4%	51.9%	18.3%
応用化学コース	0.7%	2.0%	25.8%	60.9%	10.6%
物理学コース	0.0%	4.4%	8.1%	61.8%	25.7%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	0.0%	3.9%	21.6%	52.9%	21.6%
機械エネルギー工学コース	0.5%	2.4%	20.4%	54.1%	22.6%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	1.2%	2.8%	19.9%	58.0%	18.1%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	26.3%	47.4%	26.3%
電子デバイス工学コース	0.0%	3.0%	18.2%	60.6%	18.2%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	1.5%	3.4%	17.1%	61.0%	17.1%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	0.0%	31.9%	53.2%	13.8%	1.1%
物理科学科	5.3%	14.5%	31.6%	40.8%	7.9%
知能情報システム学科	8.9%	18.7%	32.8%	31.1%	8.5%
機能物質化学科	17.5%	9.1%	34.3%	24.4%	14.7%
機械システム工学科	12.9%	7.3%	29.3%	35.9%	14.6%
電気電子工学科	12.3%	18.7%	31.7%	32.9%	4.4%
都市工学科	6.4%	11.8%	32.4%	36.8%	12.5%
理工学科	17.3%	16.8%	38.4%	21.7%	5.8%
数理サイエンスコース	5.1%	8.1%	36.0%	39.0%	11.8%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	4.6%	10.2%	37.9%	35.9%	11.4%
生命化学コース	14.5%	10.7%	41.2%	21.4%	12.2%
応用化学コース	11.3%	9.9%	42.4%	28.5%	7.9%
物理学コース	6.6%	10.3%	36.0%	30.9%	16.2%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	0.0%	9.8%	43.1%	37.3%	9.8%
機械エネルギー工学コース	4.3%	6.8%	29.3%	42.9%	16.6%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	9.8%	11.7%	35.9%	29.4%	13.2%
電気エネルギー工学コース	15.8%	15.8%	42.1%	26.3%	0.0%
電子デバイス工学コース	12.1%	12.1%	33.3%	33.3%	9.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	6.7%	12.0%	28.3%	38.3%	14.7%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	0.0%	0.0%	29.8%	58.5%	11.7%
物理科学科	3.9%	3.9%	14.5%	64.5%	13.2%
知能情報システム学科	1.6%	5.2%	21.6%	57.4%	14.1%
機能物質化学科	1.1%	5.3%	16.0%	56.0%	21.7%
機械システム工学科	3.5%	2.5%	21.2%	50.0%	22.7%
電気電子工学科	2.0%	3.6%	10.3%	62.7%	21.4%
都市工学科	0.3%	1.7%	15.2%	62.8%	19.9%
理工学科	1.1%	3.1%	16.9%	58.0%	20.8%
数理サイエンスコース	2.2%	4.4%	26.5%	55.1%	11.8%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	2.4%	3.2%	21.1%	58.5%	14.8%
生命化学コース	6.9%	6.1%	21.4%	45.8%	19.8%
応用化学コース	2.6%	7.3%	29.1%	45.0%	15.9%
物理学コース	0.0%	2.9%	12.5%	55.1%	29.4%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	0.0%	2.0%	19.6%	64.7%	13.7%
機械エネルギー工学コース	0.8%	4.1%	12.5%	62.2%	20.4%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	2.5%	8.9%	25.5%	49.7%	13.5%
電気エネルギー工学コース	0.0%	5.3%	15.8%	68.4%	10.5%
電子デバイス工学コース	0.0%	6.1%	21.2%	60.6%	12.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	1.1%	3.4%	16.0%	56.3%	23.2%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-1出席率はどのくらいですか。

A-1	20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上
数理科学科	2.4%	0.0%	4.9%	22.0%	70.7%
物理科学科	2.4%	0.0%	0.0%	13.1%	84.5%
知能情報システム学科	0.9%	0.5%	0.0%	8.7%	90.0%
機能物質化学科	0.8%	0.3%	0.0%	5.2%	93.7%
機械システム工学科	1.9%	0.0%	0.0%	0.8%	97.3%
電気電子工学科	0.6%	0.0%	0.0%	5.5%	93.9%
都市工学科	0.5%	0.5%	0.5%	6.4%	92.2%
理工学科	0.3%	0.3%	0.9%	6.5%	92.0%
数理サイエンスコース	0.7%	0.0%	0.7%	10.3%	88.2%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	1.1%	0.9%	1.6%	4.7%	91.6%
生命化学コース	0.0%	0.7%	0.0%	0.7%	98.7%
応用化学コース	0.0%	0.0%	0.0%	10.4%	89.6%
物理学コース	2.6%	0.0%	0.0%	1.3%	96.1%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	1.3%	0.0%	0.5%	3.1%	95.1%
機械エネルギー工学コース	2.9%	0.0%	2.9%	5.9%	88.2%
メカニカルデザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	96.4%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	1.9%	1.0%	0.0%	9.6%	87.6%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	96.3%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.3%	3.2%	96.5%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	98.6%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	2.6%	7.9%	89.5%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
数理科学科	2.4%	17.1%	43.9%	22.0%	14.6%
物理科学科	2.4%	27.4%	38.1%	21.4%	10.7%
知能情報システム学科	2.3%	11.0%	28.8%	33.8%	24.2%
機能物質化学科	1.9%	14.3%	37.5%	25.3%	20.9%
機械システム工学科	2.3%	7.4%	26.8%	29.6%	33.9%
電気電子工学科	1.5%	16.6%	56.9%	19.2%	5.8%
都市工学科	2.3%	18.3%	29.4%	27.5%	22.5%
理工学科	0.9%	13.2%	41.1%	33.0%	11.8%
数理サイエンスコース	0.7%	11.0%	48.5%	27.9%	11.8%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	1.6%	11.1%	40.0%	32.1%	15.3%
生命化学コース	0.7%	4.0%	51.0%	31.8%	12.6%
応用化学コース	0.0%	6.4%	49.7%	29.5%	14.5%
物理学コース	2.6%	10.5%	32.9%	28.9%	25.0%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	5.9%	17.3%	40.8%	27.4%	8.5%
機械エネルギー工学コース	2.9%	14.7%	44.1%	17.6%	20.6%
メカニカルデザインコース	0.0%	5.4%	58.9%	32.1%	3.6%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	3.8%	14.4%	37.8%	21.1%	23.0%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	0.0%	0.0%	63.0%	25.9%	11.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	2.8%	30.1%	38.6%	17.1%	11.4%
都市基盤工学コース	1.4%	13.9%	52.8%	25.0%	6.9%
建築環境デザインコース	0.0%	10.5%	47.4%	31.6%	10.5%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
数理科学科	26.8%	12.2%	19.5%	24.4%	14.6%	2.4%
物理科学科	13.1%	2.4%	36.9%	26.2%	15.5%	6.0%
知能情報システム学科	11.0%	2.7%	19.6%	30.6%	25.6%	10.5%
機能物質化学科	10.5%	5.0%	24.8%	31.4%	20.4%	8.0%
機械システム工学科	3.1%	5.1%	32.3%	19.8%	25.7%	14.0%
電気電子工学科	0.6%	3.8%	21.0%	37.3%	23.6%	13.7%
都市工学科	0.5%	5.0%	27.5%	28.9%	24.8%	13.3%
理工学科	7.7%	6.7%	25.0%	31.1%	21.2%	8.4%
数理サイエンスコース	5.1%	7.4%	26.5%	31.6%	16.9%	12.5%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	5.4%	2.3%	26.9%	38.8%	22.1%	4.5%
生命化学コース	3.3%	0.7%	17.9%	34.4%	31.1%	12.6%
応用化学コース	1.2%	2.9%	22.0%	45.1%	25.4%	3.5%
物理学コース	7.9%	1.3%	23.7%	31.6%	26.3%	9.2%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	9.6%	2.3%	23.0%	31.0%	27.4%	6.7%
機械エネルギー工学コース	8.8%	5.9%	20.6%	35.3%	17.6%	11.8%
メカニカルデザインコース	8.9%	0.0%	23.2%	26.8%	33.9%	7.1%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	4.3%	4.3%	22.5%	34.0%	30.6%	4.3%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	3.7%	7.4%	18.5%	48.1%	18.5%	3.7%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	2.5%	3.8%	21.5%	32.0%	27.5%	12.7%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	26.4%	33.3%	26.4%	13.9%
建築環境デザインコース	0.0%	2.6%	15.8%	47.4%	28.9%	5.3%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
数理科学科	9.8%	0.0%	26.8%	46.3%	17.1%
物理科学科	2.4%	0.0%	21.4%	65.5%	10.7%
知能情報システム学科	6.8%	0.5%	13.2%	65.3%	14.2%
機能物質化学科	3.3%	4.4%	12.7%	60.1%	19.6%
機械システム工学科	1.2%	3.1%	17.1%	58.0%	20.6%
電気電子工学科	0.3%	0.6%	12.5%	65.3%	21.3%
都市工学科	0.0%	0.9%	11.9%	66.5%	20.6%
理工学科	4.1%	2.8%	16.6%	61.3%	15.3%
数理サイエンスコース	0.0%	0.7%	12.5%	69.9%	16.9%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	1.6%	1.4%	21.9%	63.7%	11.5%
生命化学コース	0.0%	0.0%	12.6%	73.5%	13.9%
応用化学コース	0.0%	0.6%	16.8%	77.5%	5.2%
物理学コース	6.6%	1.3%	5.3%	68.4%	18.4%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	6.2%	3.4%	23.0%	57.4%	10.1%
機械エネルギー工学コース	2.9%	2.9%	29.4%	47.1%	17.6%
メカニカルデザインコース	7.1%	5.4%	17.9%	62.5%	7.1%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	2.9%	2.9%	13.4%	73.7%	7.2%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	3.7%	3.7%	22.2%	63.0%	7.4%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.9%	2.2%	14.6%	62.3%	19.9%
都市基盤工学コース	0.0%	1.4%	22.2%	58.3%	18.1%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	15.8%	68.4%	15.8%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	4.9%	0.0%	0.0%	17.1%	61.0%	17.1%
物理科学科	0.0%	1.2%	2.4%	13.1%	64.3%	19.0%
知能情報システム学科	0.9%	0.0%	2.3%	23.7%	55.3%	17.8%
機能物質化学科	0.8%	0.8%	2.8%	19.0%	52.6%	24.0%
機械システム工学科	0.8%	1.9%	4.7%	21.4%	46.7%	24.5%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	1.2%	15.5%	61.8%	21.6%
都市工学科	0.5%	0.0%	0.9%	9.6%	56.9%	32.1%
理工学科	2.2%	0.2%	2.3%	22.4%	56.9%	16.1%
数理サイエンスコース	0.0%	0.7%	0.7%	19.9%	58.8%	19.9%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	1.6%	0.7%	2.0%	23.5%	60.3%	12.0%
生命化学コース	0.0%	0.0%	1.3%	15.9%	68.9%	13.9%
応用化学コース	0.0%	0.0%	1.7%	26.0%	65.9%	6.4%
物理学コース	0.0%	0.0%	1.3%	5.3%	71.1%	22.4%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	2.3%	0.8%	3.6%	25.6%	54.0%	13.7%
機械エネルギー工学コース	2.9%	0.0%	2.9%	35.3%	44.1%	14.7%
メカニカルデザインコース	3.6%	0.0%	0.0%	16.1%	73.2%	7.1%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	1.0%	1.0%	1.9%	29.7%	59.3%	7.2%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	0.0%	3.7%	0.0%	48.1%	37.0%	11.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.3%	0.3%	1.3%	18.7%	60.8%	18.7%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	4.2%	27.8%	50.0%	18.1%
建築環境デザインコース	0.0%	2.6%	2.6%	10.5%	76.3%	7.9%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	22.0%	0.0%	2.4%	12.2%	46.3%	17.1%
物理科学科	8.3%	0.0%	2.4%	17.9%	52.4%	19.0%
知能情報システム学科	7.3%	0.5%	0.9%	16.9%	43.4%	31.1%
機能物質化学科	17.9%	1.4%	0.8%	19.8%	37.7%	22.3%
機械システム工学科	11.3%	2.7%	1.9%	19.8%	40.1%	24.1%
電気電子工学科	18.7%	0.0%	0.9%	23.0%	38.8%	18.7%
都市工学科	12.8%	0.0%	0.5%	11.9%	43.6%	31.2%
理工学科	22.5%	0.4%	1.4%	21.0%	38.7%	15.8%
数理サイエンスコース	16.9%	0.7%	0.0%	26.5%	36.8%	19.1%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	17.4%	0.7%	2.3%	19.4%	42.4%	17.8%
生命化学コース	15.9%	0.0%	1.3%	15.2%	51.0%	16.6%
応用化学コース	6.9%	0.0%	0.6%	24.3%	61.8%	6.4%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	56.6%	32.9%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	8.5%	1.3%	1.3%	24.5%	47.8%	16.5%
機械エネルギー工学コース	2.9%	0.0%	0.0%	41.2%	41.2%	14.7%
メカニカルデザインコース	25.0%	0.0%	0.0%	14.3%	51.8%	8.9%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	20.1%	1.0%	1.9%	23.4%	45.5%	8.1%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	25.9%	3.7%	0.0%	33.3%	25.9%	11.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	10.4%	0.6%	0.9%	20.3%	46.2%	21.5%
都市基盤工学コース	12.5%	0.0%	5.6%	29.2%	40.3%	12.5%
建築環境デザインコース	18.4%	5.3%	2.6%	21.1%	44.7%	7.9%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	0.0%	2.4%	12.2%	61.0%	24.4%
物理科学科	0.0%	1.2%	9.5%	59.5%	29.8%
知能情報システム学科	0.9%	1.8%	19.2%	51.1%	26.9%
機能物質化学科	1.4%	2.5%	14.0%	52.9%	29.2%
機械システム工学科	0.4%	3.1%	20.6%	46.3%	29.6%
電気電子工学科	0.0%	0.9%	10.5%	57.4%	31.2%
都市工学科	0.5%	0.0%	9.6%	53.2%	36.7%
理工学科	0.8%	1.7%	20.4%	57.5%	19.6%
数理サイエンスコース	0.7%	0.7%	8.8%	69.9%	19.9%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	1.8%	2.5%	19.2%	56.2%	20.3%
生命化学コース	0.0%	0.0%	9.3%	76.2%	14.6%
応用化学コース	0.0%	0.0%	20.2%	73.4%	6.4%
物理学コース	0.0%	0.0%	3.9%	59.2%	36.8%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	0.8%	2.8%	17.1%	53.7%	25.6%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	23.5%	61.8%	14.7%
メカニカルデザインコース	0.0%	1.8%	7.1%	76.8%	14.3%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	0.5%	3.3%	19.6%	59.8%	16.7%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	0.0%	7.4%	25.9%	48.1%	18.5%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.3%	0.9%	15.5%	57.0%	26.3%
都市基盤工学コース	0.0%	2.8%	22.2%	55.6%	19.4%
建築環境デザインコース	0.0%	2.6%	10.5%	81.6%	5.3%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
数理科学科	46.3%	29.3%	24.4%	0.0%	0.0%
物理科学科	3.6%	20.2%	60.7%	2.4%	13.1%
知能情報システム学科	18.3%	32.4%	25.1%	4.6%	19.6%
機能物質化学科	3.0%	46.3%	28.4%	3.0%	19.3%
機械システム工学科	21.4%	38.5%	30.0%	6.6%	3.5%
電気電子工学科	8.5%	68.5%	9.3%	2.3%	11.4%
都市工学科	3.2%	24.3%	56.0%	3.7%	12.8%
理工学科	21.9%	49.0%	24.5%	2.1%	2.4%
数理サイエンスコース	20.6%	2.9%	68.4%	2.9%	5.1%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	15.8%	41.3%	26.4%	5.4%	11.1%
生命化学コース	3.3%	48.3%	29.8%	0.7%	17.9%
応用化学コース	1.7%	54.3%	25.4%	2.3%	16.2%
物理学コース	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	29.7%	22.2%	34.9%	1.8%	11.4%
機械エネルギー工学コース	17.6%	73.5%	2.9%	5.9%	0.0%
メカニカルデザインコース	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	16.7%	34.0%	35.9%	1.9%	11.5%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.6%	16.8%	74.4%	0.6%	7.6%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
建築環境デザインコース	7.9%	89.5%	2.6%	0.0%	0.0%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	7.3%	2.4%	17.1%	24.4%	43.9%	4.9%
物理科学科	1.2%	2.4%	6.0%	33.3%	48.8%	8.3%
知能情報システム学科	5.9%	0.0%	3.7%	22.8%	56.2%	11.4%
機能物質化学科	5.5%	0.8%	4.1%	19.8%	55.4%	14.3%
機械システム工学科	2.7%	1.2%	1.9%	23.7%	54.9%	15.6%
電気電子工学科	0.0%	0.0%	2.6%	21.0%	61.8%	14.6%
都市工学科	1.4%	0.0%	3.2%	19.3%	59.2%	17.0%
理工学科	3.8%	0.5%	3.8%	27.2%	53.6%	11.1%
数理サイエンスコース	5.1%	0.7%	1.5%	19.1%	56.6%	16.9%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	2.0%	0.9%	2.7%	30.7%	56.4%	7.2%
生命化学コース	0.0%	0.0%	2.6%	35.1%	52.3%	9.9%
応用化学コース	0.0%	0.0%	4.6%	35.8%	55.5%	4.0%
物理学コース	5.3%	0.0%	6.6%	11.8%	60.5%	15.8%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	7.2%	0.8%	2.6%	28.9%	50.1%	10.3%
機械エネルギー工学コース	0.0%	2.9%	0.0%	41.2%	41.2%	14.7%
メカニカルデザインコース	10.7%	0.0%	1.8%	19.6%	62.5%	5.4%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	3.3%	1.9%	4.3%	33.0%	52.6%	4.8%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	3.7%	3.7%	3.7%	40.7%	44.4%	3.7%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.9%	0.9%	4.4%	30.4%	53.5%	9.8%
都市基盤工学コース	0.0%	4.2%	11.1%	40.3%	33.3%	11.1%
建築環境デザインコース	0.0%	7.9%	13.2%	23.7%	55.3%	0.0%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	
数理科学科		26.8%	0.0%	0.0%	17.1%	39.0%	17.1%
物理科学科		8.3%	0.0%	1.2%	21.4%	58.3%	10.7%
知能情報システム学科		11.0%	0.9%	0.9%	14.2%	58.9%	14.2%
機能物質化学科		6.6%	1.1%	1.7%	12.9%	59.0%	18.7%
機械システム工学科		3.5%	0.8%	0.4%	19.1%	57.6%	18.7%
電気電子工学科		0.3%	0.0%	0.0%	15.7%	62.1%	21.9%
都市工学科		1.8%	0.0%	1.4%	8.3%	66.1%	22.5%
理工学科		7.3%	0.2%	1.8%	17.7%	59.2%	13.8%
数理サイエンスコース		5.1%	0.0%	0.0%	17.6%	62.5%	14.7%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース		4.3%	1.1%	2.5%	21.7%	61.6%	8.8%
生命化学コース		0.7%	0.0%	2.0%	18.5%	66.2%	12.6%
応用化学コース		0.0%	0.0%	1.2%	31.2%	63.0%	4.6%
物理学コース		5.3%	0.0%	0.0%	7.9%	69.7%	17.1%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース		7.2%	0.3%	1.3%	26.4%	53.0%	11.9%
機械エネルギー工学コース		0.0%	0.0%	0.0%	29.4%	55.9%	14.7%
メカニカルデザインコース		10.7%	0.0%	0.0%	16.1%	66.1%	7.1%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース		5.3%	0.0%	1.4%	25.4%	62.2%	5.7%
電気エネルギー工学コース		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース		3.7%	0.0%	3.7%	29.6%	55.6%	7.4%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース		1.9%	0.3%	0.9%	22.5%	58.2%	16.1%
都市基盤工学コース		0.0%	0.0%	2.8%	31.9%	51.4%	13.9%
建築環境デザインコース		0.0%	2.6%	0.0%	13.2%	84.2%	0.0%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（Live Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	0.0%	0.0%	9.8%	58.5%	31.7%
物理科学科	0.0%	4.8%	17.9%	61.9%	15.5%
知能情報システム学科	0.5%	0.5%	11.9%	64.4%	22.8%
機能物質化学科	0.8%	2.5%	19.6%	54.5%	22.6%
機械システム工学科	0.4%	3.9%	16.3%	54.1%	25.3%
電気電子工学科	0.0%	1.2%	16.0%	56.3%	26.5%
都市工学科	0.0%	0.9%	8.3%	55.0%	35.8%
理工学科	0.6%	1.4%	17.5%	59.8%	20.7%
数理サイエンスコース	0.7%	0.0%	20.6%	63.2%	15.4%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	0.2%	0.9%	20.3%	59.6%	19.0%
生命化学コース	0.0%	0.7%	14.6%	69.5%	15.2%
応用化学コース	0.0%	0.6%	20.8%	72.3%	6.4%
物理学コース	1.3%	0.0%	6.6%	67.1%	25.0%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	1.3%	1.0%	19.4%	63.8%	14.5%
機械エネルギー工学コース	0.0%	2.9%	29.4%	50.0%	17.6%
メカニカルデザインコース	1.8%	0.0%	8.9%	76.8%	12.5%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	1.0%	1.9%	30.1%	56.9%	10.0%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	3.7%	0.0%	25.9%	59.3%	11.1%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.0%	1.3%	18.7%	64.9%	15.2%
都市基盤工学コース	2.8%	1.4%	27.8%	54.2%	13.9%
建築環境デザインコース	2.6%	2.6%	7.9%	71.1%	15.8%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	4.9%	19.5%	43.9%	29.3%	2.4%
物理科学科	2.4%	6.0%	46.4%	34.5%	10.7%
知能情報システム学科	1.4%	9.6%	39.7%	33.3%	16.0%
機能物質化学科	10.7%	7.2%	27.8%	32.2%	22.0%
機械システム工学科	1.9%	8.2%	30.0%	33.1%	26.8%
電気電子工学科	2.0%	17.8%	34.4%	27.7%	18.1%
都市工学科	4.1%	6.0%	35.8%	34.4%	19.7%
理工学科	12.5%	15.1%	39.4%	24.8%	8.2%
数理サイエンスコース	1.5%	5.9%	18.4%	59.6%	14.7%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	4.7%	5.2%	44.2%	35.4%	10.4%
生命化学コース	6.6%	7.3%	36.4%	37.1%	12.6%
応用化学コース	2.9%	4.0%	37.0%	52.6%	3.5%
物理学コース	3.9%	6.6%	14.5%	53.9%	21.1%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	2.6%	5.9%	30.0%	49.1%	12.4%
機械エネルギー工学コース	0.0%	5.9%	55.9%	26.5%	11.8%
メカニカルデザインコース	1.8%	10.7%	28.6%	53.6%	5.4%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	9.6%	10.5%	30.1%	39.7%	10.0%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	14.8%	14.8%	25.9%	37.0%	7.4%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	4.1%	6.0%	28.2%	45.9%	15.8%
都市基盤工学コース	4.2%	6.9%	33.3%	47.2%	8.3%
建築環境デザインコース	13.2%	13.2%	31.6%	39.5%	2.6%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数理科学科	0.0%	2.4%	14.6%	58.5%	24.4%
物理科学科	0.0%	4.8%	7.1%	71.4%	16.7%
知能情報システム学科	1.4%	1.4%	16.0%	61.6%	19.6%
機能物質化学科	2.5%	1.9%	12.4%	55.6%	27.5%
機械システム工学科	1.9%	5.4%	18.3%	47.5%	26.8%
電気電子工学科	0.0%	0.3%	12.5%	57.1%	30.0%
都市工学科	0.0%	0.5%	8.7%	59.6%	31.2%
理工学科	0.7%	2.7%	17.1%	58.6%	20.8%
数理サイエンスコース	0.7%	1.5%	15.4%	66.2%	16.2%
知能情報システム工学コース・情報ネットワーク工学コース	1.8%	1.8%	16.9%	57.6%	21.9%
生命化学コース	0.0%	0.0%	16.6%	64.9%	18.5%
応用化学コース	0.0%	2.3%	16.2%	73.4%	8.1%
物理学コース	0.0%	0.0%	6.6%	63.2%	30.3%
機械エネルギー工学コース・メカニカルデザインコース	1.0%	4.4%	17.8%	56.1%	20.7%
機械エネルギー工学コース	0.0%	2.9%	35.3%	41.2%	20.6%
メカニカルデザインコース	0.0%	1.8%	3.6%	83.9%	10.7%
電気エネルギー工学コース・電子デバイス工学コース	1.4%	2.9%	20.6%	60.8%	14.4%
電気エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電子デバイス工学コース	3.7%	0.0%	33.3%	48.1%	14.8%
都市基盤工学コース・建築環境デザインコース	0.6%	1.6%	14.9%	61.4%	21.5%
都市基盤工学コース	1.4%	4.2%	25.0%	54.2%	15.3%
建築環境デザインコース	2.6%	5.3%	15.8%	73.7%	2.6%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	14.8%	7.4%	77.8%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
機能材料化学コース	0.8%	0.0%	0.0%	3.1%	96.1%
機械エネルギー工学コース	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	98.5%
機械システム工学コース	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	95.9%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
物理学コース	0.0%	7.4%	22.2%	11.1%	59.3%
データサイエンスコース	9.1%	18.2%	27.3%	18.2%	27.3%
知能情報工学コース	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	60.0%
機能材料化学コース	3.9%	16.4%	40.6%	18.8%	20.3%
機械エネルギー工学コース	1.5%	4.5%	25.8%	43.9%	24.2%
機械システム工学コース	6.1%	2.0%	36.7%	28.6%	26.5%
電気電子工学コース	0.0%	8.5%	30.5%	28.0%	32.9%
都市基盤工学コース	0.0%	6.9%	26.4%	29.2%	37.5%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	2.4%	7.3%	90.2%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
数学コース	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
物理学コース	18.5%	0.0%	14.8%	11.1%	0.0%	55.6%
データサイエンスコース	27.3%	9.1%	45.5%	18.2%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%
機能材料化学コース	3.9%	8.6%	24.2%	29.7%	28.9%	4.7%
機械エネルギー工学コース	3.0%	4.5%	21.2%	31.8%	25.8%	13.6%
機械システム工学コース	10.2%	8.2%	20.4%	36.7%	10.2%	14.3%
電気電子工学コース	0.0%	2.4%	9.8%	34.1%	30.5%	23.2%
都市基盤工学コース	4.2%	1.4%	5.6%	23.6%	45.8%	19.4%
建築環境デザインコース	14.6%	4.9%	14.6%	31.7%	19.5%	14.6%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%
物理学コース	11.1%	3.7%	14.8%	14.8%	55.6%
データサイエンスコース	27.3%	0.0%	18.2%	45.5%	9.1%
知能情報工学コース	30.0%	0.0%	0.0%	70.0%	0.0%
機能材料化学コース	1.6%	2.3%	14.1%	75.8%	6.3%
機械エネルギー工学コース	1.5%	3.0%	10.6%	62.1%	22.7%
機械システム工学コース	6.1%	8.2%	6.1%	59.2%	20.4%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	3.7%	62.2%	34.1%
都市基盤工学コース	2.8%	1.4%	2.8%	70.8%	22.2%
建築環境デザインコース	7.3%	0.0%	17.1%	58.5%	17.1%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
物理学コース	0.0%	3.7%	3.7%	7.4%	22.2%	63.0%
データサイエンスコース	9.1%	0.0%	0.0%	36.4%	45.5%	9.1%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%	10.0%
機能材料化学コース	10.9%	0.0%	1.6%	5.5%	67.2%	14.8%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	1.5%	13.6%	54.5%	30.3%
機械システム工学コース	2.0%	4.1%	4.1%	14.3%	55.1%	20.4%
電気電子工学コース	1.2%	0.0%	1.2%	6.1%	54.9%	36.6%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	59.7%	34.7%
建築環境デザインコース	4.9%	0.0%	0.0%	12.2%	58.5%	24.4%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%
物理学コース	44.4%	0.0%	0.0%	7.4%	11.1%	37.0%
データサイエンスコース	36.4%	0.0%	0.0%	18.2%	36.4%	9.1%
知能情報工学コース	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	30.0%	30.0%
機能材料化学コース	15.6%	0.0%	0.0%	11.7%	45.3%	27.3%
機械エネルギー工学コース	10.6%	0.0%	1.5%	9.1%	50.0%	28.8%
機械システム工学コース	30.6%	2.0%	4.1%	8.2%	38.8%	16.3%
電気電子工学コース	4.9%	0.0%	0.0%	9.8%	41.5%	43.9%
都市基盤工学コース	9.7%	0.0%	1.4%	1.4%	55.6%	31.9%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	58.5%	31.7%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
物理学コース	7.4%	0.0%	3.7%	14.8%	74.1%
データサイエンスコース	0.0%	9.1%	0.0%	81.8%	9.1%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%
機能材料化学コース	2.3%	1.6%	9.4%	52.3%	34.4%
機械エネルギー工学コース	0.0%	4.5%	9.1%	53.0%	33.3%
機械システム工学コース	6.1%	4.1%	18.4%	51.0%	20.4%
電気電子工学コース	0.0%	1.2%	2.4%	51.2%	45.1%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	2.8%	48.6%	48.6%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	7.3%	43.9%	48.8%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
数学コース	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%
物理学コース	14.8%	40.7%	33.3%	7.4%	3.7%
データサイエンスコース	18.2%	72.7%	9.1%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	50.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%
機能材料化学コース	20.3%	36.7%	24.2%	3.1%	15.6%
機械エネルギー工学コース	59.1%	12.1%	21.2%	0.0%	7.6%
機械システム工学コース	40.8%	14.3%	14.3%	8.2%	22.4%
電気電子工学コース	20.7%	34.1%	26.8%	4.9%	13.4%
都市基盤工学コース	5.6%	16.7%	68.1%	0.0%	9.7%
建築環境デザインコース	12.2%	0.0%	73.2%	9.8%	4.9%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
物理学コース	0.0%	3.7%	14.8%	11.1%	14.8%	55.6%
データサイエンスコース	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	54.5%	9.1%
知能情報工学コース	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	20.0%
機能材料化学コース	10.9%	0.8%	2.3%	12.5%	67.2%	6.3%
機械エネルギー工学コース	1.5%	0.0%	0.0%	15.2%	62.1%	21.2%
機械システム工学コース	8.2%	0.0%	4.1%	14.3%	55.1%	18.4%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%	57.3%	34.1%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	81.9%	13.9%
建築環境デザインコース	2.4%	0.0%	0.0%	12.2%	58.5%	26.8%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
物理学コース	18.5%	0.0%	0.0%	7.4%	14.8%	59.3%
データサイエンスコース	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	9.1%
知能情報工学コース	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%
機能材料化学コース	11.7%	0.8%	1.6%	14.8%	63.3%	7.8%
機械エネルギー工学コース	1.5%	0.0%	0.0%	12.1%	65.2%	21.2%
機械システム工学コース	12.2%	0.0%	2.0%	12.2%	53.1%	20.4%
電気電子工学コース	1.2%	0.0%	0.0%	9.8%	48.8%	40.2%
都市基盤工学コース	2.8%	0.0%	0.0%	6.9%	75.0%	15.3%
建築環境デザインコース	4.9%	0.0%	0.0%	17.1%	56.1%	22.0%

C-4教材（教科書、配布資料）やI C T環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
物理学コース	3.7%	0.0%	7.4%	25.9%	63.0%
データサイエンスコース	9.1%	0.0%	18.2%	63.6%	9.1%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
機能材料化学コース	2.3%	2.3%	15.6%	67.2%	12.5%
機械エネルギー工学コース	0.0%	1.5%	9.1%	57.6%	31.8%
機械システム工学コース	16.3%	2.0%	18.4%	46.9%	16.3%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	8.5%	47.6%	43.9%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	8.3%	66.7%	25.0%
建築環境デザインコース	0.0%	2.4%	17.1%	65.9%	14.6%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
物理学コース	3.7%	11.1%	14.8%	3.7%	66.7%
データサイエンスコース	9.1%	36.4%	27.3%	18.2%	9.1%
知能情報工学コース	0.0%	30.0%	20.0%	40.0%	10.0%
機能材料化学コース	5.5%	4.7%	21.9%	44.5%	23.4%
機械エネルギー工学コース	10.6%	10.6%	13.6%	42.4%	22.7%
機械システム工学コース	16.3%	6.1%	22.4%	34.7%	20.4%
電気電子工学コース	1.2%	6.1%	17.1%	39.0%	36.6%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	11.1%	59.7%	29.2%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	12.2%	41.5%	46.3%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
物理学コース	3.7%	0.0%	11.1%	7.4%	77.8%
データサイエンスコース	9.1%	0.0%	9.1%	63.6%	18.2%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%	10.0%
機能材料化学コース	0.0%	1.6%	4.7%	63.3%	30.5%
機械エネルギー工学コース	0.0%	3.0%	13.6%	53.0%	30.3%
機械システム工学コース	4.1%	8.2%	16.3%	51.0%	20.4%
電気電子工学コース	0.0%	2.4%	3.7%	47.6%	46.3%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	2.8%	59.7%	37.5%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	9.8%	56.1%	34.1%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上
数学コース	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	91.7%
物理学コース	8.7%	0.0%	0.0%	8.7%	82.6%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	95.8%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	90.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	96.4%
機械エネルギー工学コース	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	94.4%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
電気電子工学コース	0.8%	0.0%	0.8%	4.2%	94.1%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
数学コース	0.0%	33.3%	8.3%	16.7%	41.7%
物理学コース	8.7%	8.7%	0.0%	4.3%	78.3%
データサイエンスコース	0.0%	16.7%	33.3%	20.8%	29.2%
知能情報工学コース	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	60.0%
機能材料化学コース	0.0%	9.6%	36.1%	30.1%	24.1%
機械エネルギー工学コース	2.8%	5.6%	22.2%	19.4%	50.0%
機械システム工学コース	0.0%	19.2%	0.0%	34.6%	46.2%
電気電子工学コース	0.0%	7.6%	37.3%	32.2%	22.9%
都市基盤工学コース	0.0%	5.9%	38.2%	26.5%	29.4%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	6.9%	3.4%	89.7%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
数学コース	0.0%	8.3%	16.7%	58.3%	8.3%	8.3%
物理学コース	26.1%	0.0%	13.0%	17.4%	0.0%	43.5%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	29.2%	45.8%	16.7%	8.3%
知能情報工学コース	30.0%	10.0%	0.0%	10.0%	30.0%	20.0%
機能材料化学コース	7.2%	4.8%	25.3%	30.1%	25.3%	7.2%
機械エネルギー工学コース	2.8%	2.8%	33.3%	30.6%	22.2%	8.3%
機械システム工学コース	3.8%	11.5%	26.9%	7.7%	38.5%	11.5%
電気電子工学コース	2.5%	7.6%	22.9%	25.4%	28.8%	12.7%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	2.9%	17.6%	58.8%	20.6%
建築環境デザインコース	0.0%	3.4%	6.9%	13.8%	34.5%	41.4%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
数学コース	0.0%	0.0%	41.7%	41.7%	16.7%
物理学コース	0.0%	4.3%	8.7%	30.4%	56.5%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	4.2%	87.5%	8.3%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	10.0%	50.0%	40.0%
機能材料化学コース	0.0%	3.6%	12.0%	65.1%	19.3%
機械エネルギー工学コース	0.0%	2.8%	5.6%	86.1%	5.6%
機械システム工学コース	0.0%	3.8%	3.8%	73.1%	19.2%
電気電子工学コース	0.8%	4.2%	9.3%	59.3%	26.3%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	2.9%	85.3%	11.8%
建築環境デザインコース	0.0%	3.4%	3.4%	48.3%	44.8%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	66.7%	25.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	4.3%	13.0%	8.7%	73.9%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%
機能材料化学コース	2.4%	0.0%	0.0%	14.5%	50.6%	32.5%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	69.4%	25.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	61.5%	23.1%
電気電子工学コース	0.8%	1.7%	0.8%	10.2%	57.6%	28.8%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	70.6%	23.5%
建築環境デザインコース	6.9%	0.0%	0.0%	3.4%	37.9%	51.7%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%
物理学コース	26.1%	0.0%	0.0%	4.3%	8.7%	60.9%
データサイエンスコース	12.5%	0.0%	0.0%	16.7%	37.5%	33.3%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%
機能材料化学コース	3.6%	0.0%	0.0%	14.5%	39.8%	42.2%
機械エネルギー工学コース	8.3%	0.0%	0.0%	2.8%	61.1%	27.8%
機械システム工学コース	11.5%	0.0%	0.0%	15.4%	42.3%	30.8%
電気電子工学コース	7.6%	0.8%	0.0%	5.9%	48.3%	37.3%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	70.6%	23.5%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	37.9%	55.2%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	8.7%	21.7%	69.6%
データサイエンスコース	4.2%	4.2%	12.5%	54.2%	25.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%
機能材料化学コース	0.0%	1.2%	6.0%	43.4%	49.4%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	5.6%	63.9%	30.6%
機械システム工学コース	0.0%	3.8%	11.5%	50.0%	34.6%
電気電子工学コース	1.7%	0.8%	5.9%	54.2%	37.3%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	2.9%	70.6%	26.5%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	37.9%	62.1%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
数学コース	8.3%	58.3%	8.3%	8.3%	16.7%
物理学コース	13.0%	21.7%	30.4%	26.1%	8.7%
データサイエンスコース	12.5%	37.5%	33.3%	4.2%	12.5%
知能情報工学コース	0.0%	10.0%	20.0%	30.0%	40.0%
機能材料化学コース	10.8%	26.5%	25.3%	4.8%	32.5%
機械エネルギー工学コース	30.6%	19.4%	11.1%	22.2%	16.7%
機械システム工学コース	7.7%	23.1%	26.9%	3.8%	38.5%
電気電子工学コース	1.7%	21.2%	50.0%	6.8%	20.3%
都市基盤工学コース	0.0%	14.7%	23.5%	2.9%	58.8%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	31.0%	6.9%	62.1%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	8.3%	0.0%	16.7%	66.7%	8.3%
物理学コース	4.3%	4.3%	0.0%	26.1%	26.1%	39.1%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	4.2%	29.2%	50.0%	16.7%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	30.0%	50.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	1.2%	10.8%	71.1%	16.9%
機械エネルギー工学コース	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	63.9%	25.0%
機械システム工学コース	3.8%	0.0%	3.8%	15.4%	50.0%	26.9%
電気電子工学コース	2.5%	0.8%	0.0%	15.3%	56.8%	24.6%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%	73.5%	17.6%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	58.6%	34.5%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	8.3%
物理学コース	30.4%	0.0%	0.0%	13.0%	8.7%	47.8%
データサイエンスコース	4.2%	0.0%	4.2%	12.5%	58.3%	20.8%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%
機能材料化学コース	6.0%	0.0%	0.0%	10.8%	63.9%	19.3%
機械エネルギー工学コース	2.8%	0.0%	0.0%	5.6%	69.4%	22.2%
機械システム工学コース	7.7%	0.0%	0.0%	11.5%	53.8%	26.9%
電気電子工学コース	3.4%	1.7%	0.0%	10.2%	60.2%	24.6%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	73.5%	20.6%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	62.1%	31.0%

C-4教材（教科書、配布資料）やI C T環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEBページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	34.8%	65.2%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	4.2%	75.0%	20.8%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	60.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	22.9%	51.8%	25.3%
機械エネルギー工学コース	0.0%	2.8%	11.1%	63.9%	22.2%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	19.2%	46.2%	34.6%
電気電子工学コース	0.8%	0.8%	15.3%	55.9%	27.1%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	5.9%	70.6%	23.5%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	6.9%	62.1%	31.0%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	41.7%	0.0%	0.0%	33.3%	25.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	13.0%	17.4%	69.6%
データサイエンスコース	16.7%	8.3%	8.3%	33.3%	33.3%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	70.0%
機能材料化学コース	2.4%	1.2%	20.5%	36.1%	39.8%
機械エネルギー工学コース	0.0%	2.8%	13.9%	55.6%	27.8%
機械システム工学コース	0.0%	11.5%	23.1%	30.8%	34.6%
電気電子工学コース	3.4%	2.5%	18.6%	38.1%	37.3%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	20.6%	67.6%	11.8%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	62.1%	37.9%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%
物理学コース	0.0%	0.0%	8.7%	21.7%	69.6%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	12.5%	66.7%	20.8%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	9.6%	47.0%	43.4%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	8.3%	61.1%	30.6%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	15.4%	46.2%	38.5%
電気電子工学コース	0.0%	2.5%	5.9%	57.6%	33.9%
都市基盤工学コース	0.0%	2.9%	2.9%	67.6%	26.5%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	58.6%	41.4%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
工学系研究科（博士後期課程）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	8.3%	29.2%	62.5%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	8.3%	12.5%	41.7%	37.5%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	4.2%	8.3%	33.3%	54.2%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	29.2%	66.7%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	4.2%	29.2%	66.7%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	41.7%	25.0%	29.2%	4.2%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	79.2%	16.7%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%	37.5%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（Live Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	8.3%	50.0%	41.7%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	62.5%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
工学系研究科（博士後期課程）	0.0%	0.0%	4.2%	37.5%	58.3%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
応用生物科学科	1.8%	0.0%	0.9%	2.8%	94.5%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	98.8%
資源循環生産学コース	1.8%	0.0%	0.0%	8.9%	89.3%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	93.3%
生命機能科学科	1.0%	0.3%	0.3%	4.4%	93.9%
生物科学コース	0.2%	0.0%	0.2%	1.7%	97.9%
食資源環境科学コース	1.5%	0.0%	1.9%	5.8%	90.8%
生命機能科学コース	0.0%	0.5%	0.0%	2.4%	97.1%
国際・地域マネジメントコース	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%	98.2%

A-2授業時間外学習（予習や復習）

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
応用生物科学科	8.3%	20.2%	28.9%	24.8%	17.9%
生物環境保全学コース	4.8%	15.7%	37.3%	31.3%	10.8%
資源循環生産学コース	7.1%	25.0%	25.0%	30.4%	12.5%
地域社会開発学コース	0.0%	6.7%	26.7%	40.0%	26.7%
生命機能科学科	2.7%	19.6%	34.5%	28.4%	14.9%
生物科学コース	5.3%	13.1%	35.6%	33.0%	12.9%
食資源環境科学コース	4.4%	31.6%	49.5%	11.7%	2.9%
生命機能科学コース	0.3%	9.2%	39.4%	32.0%	19.2%
国際・地域マネジメントコース	1.8%	16.4%	54.5%	21.8%	5.5%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
応用生物科学科	13.3%	10.6%	35.8%	17.4%	14.2%	8.7%
生物環境保全学コース	7.2%	8.4%	27.7%	32.5%	24.1%	0.0%
資源循環生産学コース	19.6%	3.6%	37.5%	10.7%	21.4%	7.1%
地域社会開発学コース	20.0%	33.3%	13.3%	20.0%	13.3%	0.0%
生命機能科学科	5.1%	4.7%	35.8%	29.7%	22.3%	2.4%
生物科学コース	6.5%	10.0%	33.9%	32.4%	14.5%	2.8%
食資源環境科学コース	8.7%	6.3%	37.9%	38.3%	5.8%	2.9%
生命機能科学コース	8.1%	4.2%	28.3%	32.3%	21.8%	5.2%
国際・地域マネジメントコース	8.5%	3.6%	29.7%	41.2%	15.2%	1.8%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
応用生物科学科	8.7%	7.3%	20.2%	49.5%	14.2%
生物環境保全学コース	10.8%	1.2%	7.2%	74.7%	6.0%
資源循環生産学コース	10.7%	7.1%	12.5%	60.7%	8.9%
地域社会開発学コース	6.7%	13.3%	20.0%	53.3%	6.7%
生命機能科学科	2.4%	5.1%	16.2%	69.9%	6.4%
生物科学コース	4.0%	6.0%	18.2%	66.8%	5.0%
食資源環境科学コース	3.9%	12.1%	19.9%	57.3%	6.8%
生命機能科学コース	3.4%	6.0%	11.8%	72.4%	6.3%
国際・地域マネジメントコース	4.8%	7.3%	17.0%	68.5%	2.4%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	3.2%	1.4%	2.3%	20.2%	51.8%	21.1%
生物環境保全学コース	1.2%	0.0%	0.0%	4.8%	74.7%	19.3%
資源循環生産学コース	5.4%	0.0%	1.8%	26.8%	55.4%	10.7%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	66.7%	20.0%
生命機能科学科	0.7%	0.0%	2.4%	22.3%	63.9%	10.8%
生物科学コース	1.4%	0.2%	1.9%	25.1%	60.6%	10.8%
食資源環境科学コース	1.0%	0.0%	2.9%	22.3%	62.6%	11.2%
生命機能科学コース	0.8%	1.8%	1.8%	15.2%	71.7%	8.7%
国際・地域マネジメントコース	1.2%	0.6%	2.4%	24.8%	63.6%	7.3%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	13.3%	0.5%	1.8%	19.3%	40.4%	24.8%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	49.4%	45.8%
資源循環生産学コース	7.1%	0.0%	3.6%	10.7%	42.9%	35.7%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	53.3%	40.0%
生命機能科学科	15.2%	0.0%	3.4%	13.2%	51.0%	17.2%
生物科学コース	19.6%	0.2%	1.0%	15.1%	45.6%	18.4%
食資源環境科学コース	36.9%	0.5%	0.0%	16.5%	29.1%	17.0%
生命機能科学コース	20.2%	1.3%	1.8%	15.7%	46.7%	14.2%
国際・地域マネジメントコース	33.9%	0.0%	3.0%	21.2%	32.7%	9.1%

B-3教員の授業に対する意欲や

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	0.5%	1.8%	16.5%	50.5%	30.7%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	4.8%	55.4%	39.8%
資源循環生産学コース	0.0%	1.8%	8.9%	51.8%	37.5%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	6.7%	60.0%	33.3%
生命機能科学科	0.0%	0.3%	6.4%	69.9%	23.3%
生物科学コース	0.5%	1.5%	13.6%	60.1%	24.3%
食資源環境科学コース	0.0%	1.9%	19.9%	54.9%	23.3%
生命機能科学コース	1.6%	1.0%	11.5%	65.6%	20.2%
国際・地域マネジメントコース	0.6%	1.2%	9.1%	67.3%	21.8%

C-1この授業の授業形態のうち、

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
応用生物科学科	34.4%	32.6%	19.7%	0.9%	12.4%
生物環境保全学コース	14.5%	16.9%	37.3%	1.2%	30.1%
資源循環生産学コース	16.1%	55.4%	17.9%	5.4%	5.4%
地域社会開発学コース	13.3%	26.7%	33.3%	0.0%	26.7%
生命機能科学科	13.9%	72.3%	12.2%	0.3%	1.4%
生物科学コース	49.6%	21.0%	16.9%	2.4%	10.2%
食資源環境科学コース	13.6%	68.9%	17.5%	0.0%	0.0%
生命機能科学コース	18.9%	59.6%	20.7%	0.8%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	13.3%	83.0%	0.6%	1.2%	1.8%

C-2この授業の学習到達目標を

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	10.6%	0.5%	4.6%	25.7%	48.2%	10.6%
生物環境保全学コース	9.6%	1.2%	3.6%	26.5%	57.8%	1.2%
資源循環生産学コース	16.1%	0.0%	3.6%	23.2%	50.0%	7.1%
地域社会開発学コース	13.3%	0.0%	0.0%	26.7%	33.3%	26.7%
生命機能科学科	3.7%	1.0%	5.4%	26.0%	57.4%	6.4%
生物科学コース	6.0%	0.5%	4.0%	24.8%	58.3%	6.4%
食資源環境科学コース	8.3%	1.5%	4.9%	30.1%	50.0%	5.3%
生命機能科学コース	5.5%	1.6%	6.6%	26.5%	54.6%	5.2%
国際・地域マネジメントコース	7.9%	1.2%	1.2%	24.2%	62.4%	3.0%

C-3授業の内容はシラバスに基づ

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	16.1%	0.0%	1.4%	15.6%	54.6%	12.4%
生物環境保全学コース	13.3%	1.2%	1.2%	6.0%	75.9%	2.4%
資源循環生産学コース	23.2%	1.8%	0.0%	16.1%	46.4%	12.5%
地域社会開発学コース	20.0%	0.0%	0.0%	6.7%	73.3%	0.0%
生命機能科学科	6.8%	0.0%	1.7%	16.6%	66.2%	8.8%
生物科学コース	15.7%	0.3%	1.4%	20.0%	55.9%	6.7%
食資源環境科学コース	14.6%	0.0%	1.9%	16.0%	59.7%	7.8%
生命機能科学コース	9.2%	0.8%	2.9%	11.0%	69.0%	7.1%
国際・地域マネジメントコース	12.1%	0.6%	0.6%	17.0%	63.6%	6.1%

C-4教材（教科書、配布資料）

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	1.8%	2.8%	18.8%	56.9%	19.7%
生物環境保全学コース	1.2%	0.0%	9.6%	68.7%	20.5%
資源循環生産学コース	3.6%	1.8%	19.6%	53.6%	21.4%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	13.3%	60.0%	26.7%
生命機能科学科	0.0%	1.4%	13.2%	68.2%	17.2%
生物科学コース	1.4%	1.0%	10.8%	68.2%	18.6%
食資源環境科学コース	0.5%	1.9%	12.1%	66.0%	19.4%
生命機能科学コース	1.3%	4.7%	7.1%	71.1%	15.7%
国際・地域マネジメントコース	1.8%	0.6%	9.1%	72.7%	15.8%

C-5この授業では、必要に応じて

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	11.5%	18.3%	24.3%	29.8%	16.1%
生物環境保全学コース	3.6%	8.4%	30.1%	36.1%	21.7%
資源循環生産学コース	7.1%	17.9%	35.7%	23.2%	16.1%
地域社会開発学コース	0.0%	6.7%	33.3%	40.0%	20.0%
生命機能科学科	10.8%	11.5%	34.5%	33.1%	10.1%
生物科学コース	16.7%	19.3%	26.3%	28.9%	8.8%
食資源環境科学コース	24.8%	22.8%	32.5%	15.5%	4.4%
生命機能科学コース	11.3%	17.6%	34.1%	33.9%	3.1%
国際・地域マネジメントコース	22.4%	23.0%	29.1%	23.0%	2.4%

D-1この授業は全体として満足

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	1.4%	4.6%	13.3%	55.5%	25.2%
生物環境保全学コース	0.0%	1.2%	6.0%	61.4%	31.3%
資源循環生産学コース	1.8%	0.0%	14.3%	53.6%	30.4%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	6.7%	60.0%	33.3%
生命機能科学科	0.0%	2.4%	10.1%	71.3%	16.2%
生物科学コース	1.4%	4.5%	16.9%	55.8%	21.5%
食資源環境科学コース	0.0%	5.8%	18.9%	58.7%	16.5%
生命機能科学コース	1.6%	6.0%	13.9%	57.7%	20.7%
国際・地域マネジメントコース	1.8%	1.8%	12.1%	66.1%	18.2%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
応用生物科学科	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%	94.8%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	96.0%
生命機能科学科	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%	96.5%
生物科学コース	0.7%	0.5%	0.1%	4.9%	93.8%
食資源環境科学コース	0.9%	2.1%	0.9%	0.9%	95.3%
生命機能科学コース	0.1%	0.1%	0.1%	3.4%	96.2%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	96.2%

A-2授業時間外学習（予習や復習）

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
応用生物科学科	13.7%	28.8%	28.8%	10.5%	18.3%
生物環境保全学コース	0.0%	2.5%	40.0%	57.5%	0.0%
資源循環生産学コース	3.4%	31.0%	37.9%	20.7%	6.9%
地域社会開発学コース	4.0%	36.0%	44.0%	8.0%	8.0%
生命機能科学科	7.0%	20.0%	39.1%	17.4%	16.5%
生物科学コース	3.4%	28.1%	47.2%	17.8%	3.5%
食資源環境科学コース	2.6%	22.3%	43.8%	27.9%	3.4%
生命機能科学コース	1.4%	23.6%	40.7%	21.1%	13.2%
国際・地域マネジメントコース	0.8%	36.4%	40.9%	18.9%	3.0%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
応用生物科学科	10.5%	11.8%	34.6%	22.2%	11.8%	9.2%
生物環境保全学コース	10.0%	0.0%	2.5%	57.5%	20.0%	10.0%
資源循環生産学コース	20.7%	0.0%	31.0%	13.8%	24.1%	10.3%
地域社会開発学コース	12.0%	16.0%	36.0%	12.0%	16.0%	8.0%
生命機能科学科	6.1%	7.8%	42.6%	26.1%	15.7%	1.7%
生物科学コース	4.9%	6.2%	29.3%	35.0%	18.9%	5.7%
食資源環境科学コース	6.0%	11.2%	28.3%	31.8%	16.3%	6.4%
生命機能科学コース	5.1%	7.4%	27.9%	33.3%	21.3%	4.9%
国際・地域マネジメントコース	3.0%	7.6%	29.5%	35.6%	23.5%	0.8%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
応用生物科学科	5.2%	5.9%	11.8%	61.4%	15.7%
生物環境保全学コース	10.0%	0.0%	0.0%	75.0%	15.0%
資源循環生産学コース	3.4%	6.9%	17.2%	62.1%	10.3%
地域社会開発学コース	8.0%	16.0%	8.0%	64.0%	4.0%
生命機能科学科	3.5%	4.3%	19.1%	67.0%	6.1%
生物科学コース	1.9%	5.1%	10.8%	69.6%	12.6%
食資源環境科学コース	3.9%	3.4%	16.7%	66.5%	9.4%
生命機能科学コース	1.7%	3.4%	9.4%	73.9%	11.7%
国際・地域マネジメントコース	2.3%	4.5%	10.6%	75.0%	7.6%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	2.6%	0.0%	0.7%	12.4%	49.0%	35.3%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	50.0%	45.0%
資源循環生産学コース	3.4%	0.0%	0.0%	13.8%	65.5%	17.2%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	8.0%	36.0%	52.0%	4.0%
生命機能科学科	4.3%	0.0%	0.9%	18.3%	62.6%	13.9%
生物科学コース	0.5%	0.1%	1.1%	12.3%	68.9%	17.0%
食資源環境科学コース	2.6%	0.0%	1.3%	13.3%	67.4%	15.5%
生命機能科学コース	1.0%	0.1%	0.6%	11.8%	69.5%	17.0%
国際・地域マネジメントコース	0.8%	0.0%	0.0%	12.9%	72.0%	14.4%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	9.2%	1.3%	0.0%	6.5%	43.8%	39.2%
生物環境保全学コース	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	42.5%	50.0%
資源循環生産学コース	17.2%	0.0%	3.4%	10.3%	48.3%	20.7%
地域社会開発学コース	4.0%	0.0%	8.0%	32.0%	52.0%	4.0%
生命機能科学科	23.5%	0.0%	0.9%	13.9%	41.7%	20.0%
生物科学コース	21.2%	0.1%	0.5%	13.6%	47.8%	16.6%
食資源環境科学コース	20.6%	0.0%	0.0%	9.9%	42.9%	26.6%
生命機能科学コース	27.2%	0.3%	0.7%	12.6%	37.6%	21.5%
国際・地域マネジメントコース	39.4%	0.0%	0.8%	12.9%	37.1%	9.8%

B-3教員の授業に対する意欲や

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	0.0%	0.0%	5.9%	50.3%	43.8%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	10.3%	62.1%	27.6%
地域社会開発学コース	0.0%	12.0%	28.0%	52.0%	8.0%
生命機能科学科	0.9%	0.9%	11.3%	59.1%	27.8%
生物科学コース	0.4%	0.5%	5.0%	67.2%	26.9%
食資源環境科学コース	0.9%	0.0%	6.0%	62.2%	30.9%
生命機能科学コース	0.3%	1.1%	5.8%	61.7%	31.2%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	3.0%	6.1%	74.2%	16.7%

C-1この授業の授業形態のうち、

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
応用生物科学科	8.5%	34.6%	17.0%	5.2%	34.6%
生物環境保全学コース	2.5%	47.5%	17.5%	2.5%	30.0%
資源循環生産学コース	27.6%	51.7%	6.9%	3.4%	10.3%
地域社会開発学コース	20.0%	56.0%	4.0%	8.0%	12.0%
生命機能科学科	1.7%	25.2%	37.4%	6.1%	29.6%
生物科学コース	19.2%	59.9%	4.1%	0.3%	16.6%
食資源環境科学コース	6.9%	21.9%	71.2%	0.0%	0.0%
生命機能科学コース	0.3%	31.0%	61.2%	0.0%	7.4%
国際・地域マネジメントコース	20.5%	78.8%	0.0%	0.0%	0.8%

C-2この授業の学習到達目標を

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	5.9%	0.0%	1.3%	19.0%	63.4%	10.5%
生物環境保全学コース	10.0%	0.0%	0.0%	7.5%	70.0%	12.5%
資源循環生産学コース	10.3%	0.0%	0.0%	24.1%	55.2%	10.3%
地域社会開発学コース	8.0%	4.0%	0.0%	48.0%	40.0%	0.0%
生命機能科学科	1.7%	0.0%	0.9%	20.0%	70.4%	7.0%
生物科学コース	5.0%	1.1%	2.8%	15.7%	66.6%	8.8%
食資源環境科学コース	8.2%	2.1%	3.0%	18.9%	61.4%	6.4%
生命機能科学コース	2.2%	0.6%	1.5%	17.4%	68.1%	10.1%
国際・地域マネジメントコース	4.5%	0.0%	3.8%	21.2%	65.9%	4.5%

C-3授業の内容はシラバスに基づ

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	9.2%	0.0%	1.3%	19.0%	52.9%	17.6%
生物環境保全学コース	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	65.0%	25.0%
資源循環生産学コース	13.8%	0.0%	0.0%	17.2%	58.6%	10.3%
地域社会開発学コース	8.0%	8.0%	4.0%	28.0%	52.0%	0.0%
生命機能科学科	4.3%	0.0%	0.0%	22.6%	62.6%	10.4%
生物科学コース	9.5%	0.0%	0.7%	10.0%	66.9%	13.0%
食資源環境科学コース	9.0%	0.4%	0.0%	12.0%	61.8%	16.7%
生命機能科学コース	4.1%	0.0%	0.1%	8.1%	71.9%	15.7%
国際・地域マネジメントコース	6.1%	0.0%	0.0%	9.1%	75.0%	9.8%

C-4教材（教科書、配布資料）

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	1.3%	3.9%	14.4%	52.9%	27.5%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	2.5%	55.0%	42.5%
資源循環生産学コース	0.0%	3.4%	13.8%	58.6%	24.1%
地域社会開発学コース	0.0%	8.0%	44.0%	44.0%	4.0%
生命機能科学科	3.5%	1.7%	19.1%	63.5%	12.2%
生物科学コース	0.1%	0.4%	8.2%	72.3%	18.9%
食資源環境科学コース	0.4%	0.9%	6.9%	66.5%	25.3%
生命機能科学コース	0.1%	0.7%	7.6%	66.9%	24.7%
国際・地域マネジメントコース	0.8%	0.0%	4.5%	70.5%	24.2%

C-5この授業では、必要に応じて

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	6.5%	8.5%	22.9%	35.3%	26.8%
生物環境保全学コース	0.0%	2.5%	40.0%	27.5%	30.0%
資源循環生産学コース	0.0%	24.1%	31.0%	34.5%	10.3%
地域社会開発学コース	0.0%	24.0%	40.0%	20.0%	16.0%
生命機能科学科	5.2%	13.9%	31.3%	35.7%	13.9%
生物科学コース	13.5%	19.1%	29.9%	28.2%	9.3%
食資源環境科学コース	4.7%	9.0%	15.9%	28.8%	41.6%
生命機能科学コース	16.4%	21.3%	32.2%	21.1%	9.0%
国際・地域マネジメントコース	28.0%	25.8%	30.3%	13.6%	2.3%

D-1この授業は全体として満足

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
応用生物科学科	0.0%	0.0%	5.2%	58.2%	36.6%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	0.0%	45.0%	55.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	13.8%	62.1%	24.1%
地域社会開発学コース	4.0%	20.0%	28.0%	40.0%	8.0%
生命機能科学科	1.7%	0.9%	11.3%	67.8%	18.3%
生物科学コース	0.5%	1.2%	6.8%	65.3%	26.2%
食資源環境科学コース	0.0%	1.7%	14.6%	61.8%	21.9%
生命機能科学コース	0.6%	1.8%	9.8%	61.1%	26.7%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	4.5%	10.6%	66.7%	18.2%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
農学研究科	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	99.0%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
農学研究科	2.1%	12.4%	26.8%	27.8%	30.9%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
農学研究科	15.5%	14.4%	37.1%	8.2%	6.2%	18.6%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
農学研究科	6.2%	7.2%	11.3%	52.6%	22.7%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	4.1%	0.0%	2.1%	6.2%	53.6%	34.0%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	10.3%	1.0%	0.0%	8.2%	37.1%	43.3%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	2.1%	2.1%	3.1%	41.2%	51.5%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
農学研究科	24.7%	11.3%	36.1%	6.2%	21.6%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	9.3%	2.1%	0.0%	7.2%	54.6%	26.8%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	14.4%	2.1%	1.0%	12.4%	45.4%	24.7%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEbページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	2.1%	0.0%	8.2%	50.5%	39.2%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	4.1%	5.2%	9.3%	41.2%	40.2%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	2.1%	0.0%	3.1%	46.4%	48.5%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
農学研究科	0.0%	0.0%	1.4%	2.8%	95.8%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
農学研究科	8.3%	13.9%	23.6%	22.2%	31.9%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
農学研究科	5.6%	13.9%	22.2%	12.5%	19.4%	26.4%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
農学研究科	4.2%	2.8%	22.2%	38.9%	31.9%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	2.8%	0.0%	1.4%	4.2%	40.3%	51.4%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	31.9%	65.3%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	0.0%	0.0%	1.4%	30.6%	68.1%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
農学研究科	15.3%	11.1%	26.4%	16.7%	30.6%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	2.8%	0.0%	0.0%	9.7%	47.2%	40.3%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	4.2%	0.0%	0.0%	18.1%	41.7%	36.1%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用WEbページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	0.0%	0.0%	9.7%	47.2%	43.1%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	0.0%	0.0%	13.9%	38.9%	47.2%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
農学研究科	0.0%	1.4%	2.8%	29.2%	66.7%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
専攻共通科目	0.8%	0.0%	1.5%	4.6%	93.1%
生体医工学コース専門科目	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	95.6%
健康機能分子科学コース科目	4.4%	0.0%	0.0%	4.4%	91.2%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	94.7%
総合看護科学コース科目	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	94.1%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
専攻共通科目	4.6%	31.3%	35.9%	13.0%	15.3%
生体医工学コース専門科目	0.0%	24.4%	28.9%	28.9%	17.8%
健康機能分子科学コース科目	8.8%	14.7%	16.2%	19.1%	41.2%
医科学コース科目	0.0%	5.3%	42.1%	36.8%	15.8%
総合看護科学コース科目	0.0%	5.9%	5.9%	29.4%	58.8%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
専攻共通科目	6.1%	4.6%	25.2%	39.7%	19.1%	5.3%
生体医工学コース専門科目	6.7%	8.9%	26.7%	42.2%	13.3%	2.2%
健康機能分子科学コース科目	4.4%	23.5%	7.4%	20.6%	22.1%	22.1%
医科学コース科目	5.3%	0.0%	10.5%	26.3%	57.9%	0.0%
総合看護科学コース科目	0.0%	5.9%	29.4%	23.5%	29.4%	11.8%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
専攻共通科目	0.8%	8.4%	22.9%	55.0%	13.0%
生体医工学コース専門科目	0.0%	6.7%	4.4%	71.1%	17.8%
健康機能分子科学コース科目	5.9%	1.5%	20.6%	47.1%	25.0%
医科学コース科目	0.0%	5.3%	0.0%	47.4%	47.4%
総合看護科学コース科目	0.0%	0.0%	35.3%	64.7%	0.0%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目	3.8%	1.5%	5.3%	17.6%	60.3%	11.5%
生体医工学コース専門科目	0.0%	2.2%	8.9%	2.2%	71.1%	15.6%
健康機能分子科学コース科目	5.9%	0.0%	0.0%	13.2%	57.4%	23.5%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.1%	57.9%
総合看護科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	29.4%	47.1%	23.5%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目	20.6%	0.8%	1.5%	23.7%	37.4%	16.0%
生体医工学コース専門科目	8.9%	0.0%	0.0%	2.2%	53.3%	35.6%
健康機能分子科学コース科目	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	55.9%	33.8%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	73.7%
総合看護科学コース科目	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	23.5%	64.7%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目	0.8%	1.5%	16.8%	58.8%	22.1%
生体医工学コース専門科目	2.2%	2.2%	6.7%	48.9%	40.0%
健康機能分子科学コース科目	4.4%	0.0%	0.0%	61.8%	33.8%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	31.6%	68.4%
総合看護科学コース科目	0.0%	0.0%	5.9%	35.3%	58.8%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
専攻共通科目	32.8%	66.4%	0.0%	0.8%	0.0%
生体医工学コース専門科目	15.6%	28.9%	46.7%	4.4%	4.4%
健康機能分子科学コース科目	25.0%	0.0%	33.8%	13.2%	27.9%
医科学コース科目	5.3%	52.6%	0.0%	21.1%	21.1%
総合看護科学コース科目	5.9%	17.6%	64.7%	11.8%	0.0%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目	8.4%	0.0%	5.3%	26.0%	52.7%	7.6%
生体医工学コース専門科目	6.7%	0.0%	6.7%	8.9%	66.7%	11.1%
健康機能分子科学コース科目	7.4%	1.5%	0.0%	14.7%	52.9%	23.5%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	36.8%	47.4%
総合看護科学コース科目	5.9%	0.0%	0.0%	47.1%	47.1%	0.0%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目	10.7%	0.0%	0.0%	14.5%	61.1%	13.7%
生体医工学コース専門科目	6.7%	2.2%	0.0%	8.9%	66.7%	15.6%
健康機能分子科学コース科目	7.4%	0.0%	0.0%	11.8%	60.3%	20.6%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	47.4%	47.4%
総合看護科学コース科目	5.9%	0.0%	0.0%	17.6%	70.6%	5.9%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目	3.1%	1.5%	18.3%	53.4%	23.7%
生体医工学コース専門科目	2.2%	2.2%	13.3%	64.4%	17.8%
健康機能分子科学コース科目	5.9%	0.0%	11.8%	51.5%	30.9%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	5.3%	42.1%	52.6%
総合看護科学コース科目	5.9%	0.0%	5.9%	82.4%	5.9%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目	15.3%	17.6%	30.5%	30.5%	6.1%
生体医工学コース専門科目	2.2%	4.4%	17.8%	48.9%	26.7%
健康機能分子科学コース科目	8.8%	1.5%	10.3%	44.1%	35.3%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	26.3%	31.6%	42.1%
総合看護科学コース科目	5.9%	0.0%	5.9%	41.2%	47.1%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目	3.8%	6.9%	13.7%	58.0%	17.6%
生体医工学コース専門科目	0.0%	6.7%	2.2%	62.2%	28.9%
健康機能分子科学コース科目	4.4%	0.0%	2.9%	45.6%	47.1%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	31.6%	68.4%
総合看護科学コース科目	0.0%	5.9%	11.8%	52.9%	29.4%

A-1出席率はどのくらいですか。

	20%未満	20～40%未満	40～60%未満	60～80%未満	80%以上
専攻共通科目					
生体医工学コース専門科目	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	96.4%
健康機能分子科学コース科目	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	95.7%
医科学コース科目	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	84.6%
総合看護科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	92.6%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
専攻共通科目					
生体医工学コース専門科目	3.6%	3.6%	28.6%	25.0%	39.3%
健康機能分子科学コース科目	3.3%	17.4%	37.0%	12.0%	30.4%
医科学コース科目	7.7%	0.0%	30.8%	23.1%	38.5%
総合看護科学コース科目	3.7%	3.7%	29.6%	18.5%	44.4%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
専攻共通科目						
生体医工学コース専門科目	7.1%	3.6%	25.0%	35.7%	21.4%	7.1%
健康機能分子科学コース科目	16.3%	3.3%	19.6%	30.4%	18.5%	12.0%
医科学コース科目	7.7%	0.0%	0.0%	53.8%	38.5%	0.0%
総合看護科学コース科目	3.7%	0.0%	7.4%	37.0%	40.7%	11.1%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
専攻共通科目					
生体医工学コース専門科目	0.0%	0.0%	10.7%	82.1%	7.1%
健康機能分子科学コース科目	10.9%	1.1%	10.9%	57.6%	19.6%
医科学コース科目	0.0%	7.7%	0.0%	84.6%	7.7%
総合看護科学コース科目	3.7%	0.0%	0.0%	85.2%	11.1%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目						
生体医工学コース専門科目	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	75.0%	21.4%
健康機能分子科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	17.4%	55.4%	27.2%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	38.5%	46.2%
総合看護科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	48.1%	44.4%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目						
生体医工学コース専門科目	10.7%	0.0%	0.0%	3.6%	50.0%	35.7%
健康機能分子科学コース科目	2.2%	0.0%	0.0%	3.3%	41.3%	53.3%
医科学コース科目	30.8%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	53.8%
総合看護科学コース科目	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	63.0%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目					
生体医工学コース専門科目	0.0%	0.0%	3.6%	57.1%	39.3%
健康機能分子科学コース科目	0.0%	2.2%	1.1%	46.7%	50.0%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	69.2%
総合看護科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	37.0%	63.0%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
専攻共通科目					
生体医工学コース専門科目	21.4%	25.0%	39.3%	10.7%	3.6%
健康機能分子科学コース科目	2.2%	7.6%	41.3%	12.0%	37.0%
医科学コース科目	0.0%	61.5%	0.0%	23.1%	15.4%
総合看護科学コース科目	3.7%	18.5%	51.9%	11.1%	14.8%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目						
生体医工学コース専門科目	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	89.3%	7.1%
健康機能分子科学コース科目	10.9%	0.0%	0.0%	10.9%	57.6%	20.7%
医科学コース科目	7.7%	0.0%	0.0%	30.8%	46.2%	15.4%
総合看護科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	18.5%	70.4%	11.1%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目						
生体医工学コース専門科目	3.6%	3.6%	0.0%	7.1%	75.0%	10.7%
健康機能分子科学コース科目	13.0%	0.0%	0.0%	16.3%	53.3%	17.4%
医科学コース科目	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	69.2%	7.7%
総合看護科学コース科目	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	74.1%	22.2%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（LivE Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目					
生体医工学コース専門科目	0.0%	0.0%	7.1%	67.9%	25.0%
健康機能分子科学コース科目	2.2%	1.1%	17.4%	51.1%	28.3%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	15.4%	23.1%	61.5%
総合看護科学コース科目	0.0%	0.0%	7.4%	63.0%	29.6%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目					
生体医工学コース専門科目	0.0%	14.3%	25.0%	32.1%	28.6%
健康機能分子科学コース科目	0.0%	1.1%	12.0%	31.5%	55.4%
医科学コース科目	30.8%	23.1%	15.4%	0.0%	30.8%
総合看護科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	37.0%	63.0%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
専攻共通科目					
生体医工学コース専門科目	0.0%	0.0%	0.0%	64.3%	35.7%
健康機能分子科学コース科目	0.0%	2.2%	2.2%	52.2%	43.5%
医科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	61.5%	38.5%
総合看護科学コース科目	0.0%	0.0%	0.0%	51.9%	48.1%

A-1出席率はどのくらいですか。

A-1	20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上
共通基礎科目-外国語科目	0.6%	0.1%	1.1%	5.1%	93.2%
共通教職科目-体育実技					
共通基礎科目-情報リテラシー科目	0.6%	0.2%	1.0%	6.0%	92.2%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	1.2%	0.4%	1.7%	8.4%	88.3%
基本教養科目-文化の分野	1.1%	0.2%	1.5%	4.7%	92.4%
基本教養科目-現代社会の分野	2.2%	0.6%	1.4%	5.1%	90.8%
インターフェース科目-環境コース	0.0%	0.5%	0.0%	2.7%	96.8%
インターフェース科目-文化と共生コース	1.4%	0.0%	1.4%	4.3%	92.9%
インターフェース科目-生活と科学コース	0.0%	1.1%	0.4%	4.6%	94.0%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	0.4%	1.9%	97.7%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	0.5%	0.0%	0.5%	6.3%	92.6%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.6%	0.0%	0.6%	7.7%	91.1%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	0.5%	0.9%	0.9%	5.1%	92.6%
大学院教養教育科目	0.3%	0.3%	0.6%	3.6%	95.3%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
共通基礎科目-外国語科目	1.8%	18.4%	41.8%	28.2%	9.8%
共通教職科目-体育実技					
共通基礎科目-情報リテラシー科目	3.0%	20.5%	33.6%	26.7%	16.2%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	4.8%	35.6%	41.0%	14.1%	4.5%
基本教養科目-文化の分野	3.2%	25.5%	39.7%	23.7%	7.9%
基本教養科目-現代社会の分野	3.9%	25.9%	35.9%	21.5%	12.8%
インターフェース科目-環境コース	0.5%	15.6%	48.9%	21.5%	13.4%
インターフェース科目-文化と共生コース	2.1%	17.0%	31.2%	26.2%	23.4%
インターフェース科目-生活と科学コース	1.8%	18.3%	40.5%	29.2%	10.2%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	1.2%	17.1%	41.9%	29.5%	10.5%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	3.2%	14.2%	35.3%	27.9%	19.5%
インターフェース科目-人間と社会コース	3.0%	23.7%	35.5%	30.8%	7.1%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	3.2%	15.7%	46.5%	21.2%	13.4%
大学院教養教育科目	5.9%	37.1%	38.0%	11.9%	7.1%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
共通基礎科目-外国語科目	10.0%	9.1%	32.3%	27.4%	14.8%	6.3%
共通教職科目-体育実技						
共通基礎科目-情報リテラシー科目	12.9%	9.1%	34.0%	26.4%	13.1%	4.4%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	8.8%	7.7%	28.5%	32.0%	16.9%	6.1%
基本教養科目-文化の分野	8.7%	7.8%	29.7%	28.1%	19.3%	6.3%
基本教養科目-現代社会の分野	10.7%	6.1%	28.0%	29.5%	19.0%	6.7%
インターフェース科目-環境コース	5.4%	4.3%	37.1%	25.8%	22.0%	5.4%
インターフェース科目-文化と共生コース	11.3%	6.4%	24.1%	23.4%	26.2%	8.5%
インターフェース科目-生活と科学コース	6.3%	3.9%	27.8%	36.3%	19.7%	6.0%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	3.5%	4.3%	33.3%	31.0%	15.1%	12.8%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	6.8%	4.2%	23.7%	30.5%	29.5%	5.3%
インターフェース科目-人間と社会コース	5.9%	4.1%	24.9%	34.3%	23.7%	7.1%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	12.9%	5.5%	24.4%	28.6%	18.0%	10.6%
大学院教養教育科目	5.9%	5.0%	23.4%	32.3%	20.5%	12.8%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
共通基礎科目-外国語科目	4.0%	5.7%	15.9%	62.1%	12.3%
共通教職科目-体育実技					
共通基礎科目-情報リテラシー科目	4.3%	5.3%	19.3%	59.8%	11.3%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	4.0%	4.9%	20.9%	59.7%	10.5%
基本教養科目-文化の分野	3.1%	3.8%	14.7%	63.2%	15.2%
基本教養科目-現代社会の分野	5.9%	4.0%	17.2%	61.8%	11.2%
インターフェース科目-環境コース	2.7%	4.3%	20.4%	63.4%	9.1%
インターフェース科目-文化と共生コース	7.8%	1.4%	8.5%	64.5%	17.7%
インターフェース科目-生活と科学コース	3.9%	3.9%	17.3%	64.1%	10.9%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	1.6%	3.1%	20.2%	60.9%	14.3%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	3.2%	3.7%	13.7%	65.8%	13.7%
インターフェース科目-人間と社会コース	3.6%	3.0%	16.6%	62.1%	14.8%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	3.7%	4.6%	15.2%	54.8%	21.7%
大学院教養教育科目	2.1%	5.0%	11.6%	65.0%	16.3%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	1.8%	0.6%	3.5%	19.1%	54.8%	20.2%
共通教職科目-体育実技						
共通基礎科目-情報リテラシー科目	1.5%	0.7%	3.8%	20.8%	55.2%	17.9%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	2.2%	1.5%	2.7%	21.8%	54.6%	17.2%
基本教養科目-文化の分野	2.1%	0.2%	1.6%	15.7%	59.2%	21.2%
基本教養科目-現代社会の分野	2.7%	0.3%	2.2%	17.3%	58.4%	19.0%
インターフェース科目-環境コース	1.6%	0.0%	0.5%	28.0%	58.1%	11.8%
インターフェース科目-文化と共生コース	2.8%	0.7%	0.0%	16.3%	53.2%	27.0%
インターフェース科目-生活と科学コース	1.8%	0.7%	3.5%	19.0%	61.3%	13.7%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	0.0%	0.4%	0.4%	17.8%	54.7%	26.7%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	1.1%	1.6%	3.7%	14.7%	58.4%	20.5%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.0%	1.8%	3.6%	22.5%	55.0%	17.2%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	2.3%	0.5%	0.5%	18.4%	53.9%	24.4%
大学院教養教育科目	1.5%	0.9%	3.9%	14.8%	58.5%	20.5%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	14.6%	0.5%	2.2%	15.0%	41.6%	26.2%
共通教職科目-体育実技						
共通基礎科目-情報リテラシー科目	18.9%	1.2%	2.8%	14.8%	35.0%	27.3%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	21.2%	1.4%	1.8%	21.1%	34.8%	19.6%
基本教養科目-文化の分野	24.2%	1.0%	1.8%	13.6%	38.0%	21.4%
基本教養科目-現代社会の分野	23.5%	0.3%	2.0%	17.6%	39.3%	17.4%
インターフェース科目-環境コース	16.1%	0.5%	0.5%	28.5%	41.9%	12.4%
インターフェース科目-文化と共生コース	11.3%	0.7%	0.7%	10.6%	39.7%	36.9%
インターフェース科目-生活と科学コース	16.9%	1.1%	2.1%	22.5%	46.8%	10.6%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	15.1%	0.4%	0.8%	17.1%	39.5%	27.1%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	13.7%	1.6%	3.7%	14.7%	44.7%	21.6%
インターフェース科目-人間と社会コース	11.2%	1.2%	2.4%	22.5%	40.8%	21.9%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	9.2%	1.4%	0.9%	10.6%	45.6%	32.3%
大学院教養教育科目	13.4%	0.6%	1.8%	13.6%	46.6%	24.0%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	0.5%	1.3%	12.3%	51.6%	34.2%
共通教職科目-体育実技					
共通基礎科目-情報リテラシー科目	1.2%	3.1%	16.2%	51.5%	28.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	1.7%	1.8%	15.2%	54.9%	26.3%
基本教養科目-文化の分野	1.0%	0.7%	10.6%	50.3%	37.5%
基本教養科目-現代社会の分野	0.9%	0.6%	12.5%	56.1%	30.0%
インターフェース科目-環境コース	0.0%	1.6%	16.7%	61.8%	19.9%
インターフェース科目-文化と共生コース	0.7%	0.7%	7.8%	48.2%	42.6%
インターフェース科目-生活と科学コース	1.1%	1.4%	19.7%	59.5%	18.3%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	0.4%	0.4%	8.5%	46.1%	44.6%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	1.1%	2.6%	8.9%	57.9%	29.5%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.6%	1.8%	18.3%	52.7%	26.6%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	0.5%	0.9%	7.4%	47.5%	43.8%
大学院教養教育科目	0.0%	2.4%	13.9%	58.5%	25.2%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
共通基礎科目-外国語科目	27.7%	12.6%	56.3%	2.9%	0.4%
共通教職科目-体育実技					
共通基礎科目-情報リテラシー科目	24.0%	26.9%	48.1%	0.9%	0.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	36.7%	56.5%	5.4%	1.3%	0.1%
基本教養科目-文化の分野	47.1%	42.5%	9.9%	0.5%	0.0%
基本教養科目-現代社会の分野	28.5%	50.6%	20.1%	0.7%	0.1%
インターフェース科目-環境コース	33.9%	61.3%	3.8%	1.1%	0.0%
インターフェース科目-文化と共生コース	30.5%	13.5%	55.3%	0.7%	0.0%
インターフェース科目-生活と科学コース	34.2%	31.3%	30.6%	3.5%	0.4%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	24.4%	67.4%	8.1%	0.0%	0.0%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	26.8%	8.9%	64.2%	0.0%	0.0%
インターフェース科目-人間と社会コース	10.7%	47.3%	39.6%	2.4%	0.0%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	15.7%	20.3%	56.2%	3.2%	4.6%
大学院教養教育科目	27.3%	14.2%	57.3%	1.2%	0.0%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	7.2%	0.7%	3.4%	26.1%	53.3%	9.3%
共通教職科目-体育実技						
共通基礎科目-情報リテラシー科目	6.8%	0.7%	3.0%	25.0%	54.6%	9.8%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	6.8%	1.5%	4.7%	26.5%	50.3%	10.0%
基本教養科目-文化の分野	6.8%	0.9%	3.3%	21.2%	56.3%	11.4%
基本教養科目-現代社会の分野	8.3%	0.9%	3.3%	23.0%	55.2%	9.3%
インターフェース科目-環境コース	3.8%	0.0%	2.7%	29.0%	54.8%	9.7%
インターフェース科目-文化と共生コース	5.7%	1.4%	4.3%	20.6%	51.8%	16.3%
インターフェース科目-生活と科学コース	3.9%	0.7%	2.5%	25.7%	59.5%	7.7%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	4.3%	0.8%	1.6%	10.9%	61.2%	21.3%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	4.2%	1.6%	5.3%	22.6%	55.3%	11.1%
インターフェース科目-人間と社会コース	4.7%	2.4%	4.7%	27.2%	51.5%	9.5%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	6.0%	1.8%	3.2%	22.6%	48.8%	17.5%
大学院教養教育科目	2.7%	0.9%	2.4%	16.0%	60.8%	17.2%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	13.4%	0.3%	1.9%	17.1%	52.7%	14.5%
共通教職科目-体育実技						
共通基礎科目-情報リテラシー科目	16.0%	0.1%	0.7%	16.2%	54.0%	12.9%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	10.3%	0.4%	1.4%	17.9%	55.3%	14.8%
基本教養科目-文化の分野	10.3%	0.2%	0.8%	13.4%	58.6%	16.7%
基本教養科目-現代社会の分野	13.5%	0.4%	1.5%	14.9%	55.7%	14.1%
インターフェース科目-環境コース	6.5%	0.0%	0.0%	22.0%	58.1%	13.4%
インターフェース科目-文化と共生コース	11.3%	0.7%	2.1%	13.5%	53.9%	18.4%
インターフェース科目-生活と科学コース	7.4%	0.7%	1.4%	18.7%	59.9%	12.0%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	5.8%	0.4%	1.9%	9.7%	60.1%	22.1%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	7.4%	1.1%	1.6%	17.9%	57.4%	14.7%
インターフェース科目-人間と社会コース	7.1%	0.6%	3.0%	21.3%	52.7%	15.4%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	13.4%	0.9%	1.8%	18.4%	44.7%	20.7%
大学院教養教育科目	6.2%	0.9%	2.4%	8.6%	64.4%	17.5%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（Live Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	0.7%	2.3%	14.5%	59.3%	23.1%
共通教職科目-体育実技					
共通基礎科目-情報リテラシー科目	1.1%	2.1%	12.6%	55.9%	28.3%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	1.2%	1.8%	14.0%	59.1%	23.9%
基本教養科目-文化の分野	1.6%	1.1%	9.2%	58.1%	30.0%
基本教養科目-現代社会の分野	1.2%	1.7%	13.2%	59.6%	24.2%
インターフェース科目-環境コース	0.0%	0.5%	17.7%	61.3%	20.4%
インターフェース科目-文化と共生コース	0.7%	1.4%	7.8%	57.4%	32.6%
インターフェース科目-生活と科学コース	1.1%	1.4%	14.4%	65.5%	17.6%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	0.4%	0.4%	9.3%	55.0%	34.9%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	1.1%	1.6%	13.7%	60.0%	23.7%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.6%	0.6%	19.5%	60.9%	18.3%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	0.9%	1.4%	12.9%	51.6%	33.2%
大学院教養教育科目	0.6%	3.3%	11.0%	62.6%	22.6%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	6.1%	7.0%	18.9%	39.0%	29.0%
共通教職科目-体育実技					
共通基礎科目-情報リテラシー科目	15.6%	17.9%	35.4%	23.4%	7.7%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	16.8%	17.4%	37.6%	20.4%	7.8%
基本教養科目-文化の分野	15.4%	18.1%	34.4%	23.4%	8.6%
基本教養科目-現代社会の分野	14.6%	15.5%	34.9%	26.7%	8.3%
インターフェース科目-環境コース	7.0%	12.4%	33.3%	36.6%	10.8%
インターフェース科目-文化と共生コース	8.5%	6.4%	17.7%	34.0%	33.3%
インターフェース科目-生活と科学コース	10.9%	10.9%	35.2%	32.7%	10.2%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	6.2%	10.1%	38.4%	26.0%	19.4%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	5.3%	3.7%	18.4%	43.7%	28.9%
インターフェース科目-人間と社会コース	5.3%	7.7%	32.5%	32.5%	21.9%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	5.1%	6.9%	20.3%	30.4%	37.3%
大学院教養教育科目	4.5%	8.0%	18.4%	49.6%	19.6%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	1.2%	3.0%	15.4%	54.1%	26.3%
共通教職科目-体育実技					
共通基礎科目-情報リテラシー科目	1.9%	4.0%	16.1%	52.7%	25.2%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	1.8%	3.8%	16.4%	51.2%	26.8%
基本教養科目-文化の分野	1.5%	1.7%	11.0%	53.4%	32.4%
基本教養科目-現代社会の分野	1.7%	3.0%	12.5%	55.7%	27.1%
インターフェース科目-環境コース	0.5%	2.7%	19.9%	61.3%	15.6%
インターフェース科目-文化と共生コース	1.4%	0.7%	7.1%	56.0%	34.8%
インターフェース科目-生活と科学コース	1.1%	2.1%	15.8%	64.4%	16.5%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	0.4%	1.2%	7.8%	47.3%	43.4%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	2.1%	2.1%	10.5%	55.3%	30.0%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.6%	5.3%	20.7%	51.5%	21.9%
インターフェース科目-サブスペシャルティコース	2.3%	1.8%	8.3%	48.4%	39.2%
大学院教養教育科目	1.2%	3.6%	15.4%	58.8%	21.1%

A-1出席率はどのくらいですか。

A-1	20%未満	20~40%未満	40~60%未満	60~80%未満	80%以上
共通基礎科目-外国語科目	0.5%	0.5%	0.6%	5.8%	92.5%
共通教職科目-体育実技	0.0%	0.0%	0.4%	1.5%	98.2%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	0.5%	0.6%	1.4%	11.0%	86.5%
基本教養科目-文化の分野	1.1%	0.8%	1.7%	7.2%	89.2%
基本教養科目-現代社会の分野	0.8%	0.6%	1.1%	6.5%	91.0%
インターフェース科目-環境コース	1.6%	0.0%	0.0%	4.3%	94.0%
インターフェース科目-文化と共生コース	0.8%	0.0%	0.0%	6.5%	92.7%
インターフェース科目-生活と科学コース	1.5%	0.4%	0.8%	6.8%	90.5%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	96.2%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	0.6%	0.0%	0.0%	5.1%	94.4%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.0%	0.7%	2.0%	6.7%	90.7%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	0.5%	0.0%	0.5%	5.4%	93.7%
大学院教養教育科目	0.0%	0.0%	0.6%	3.3%	96.1%

A-2授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上
共通基礎科目-外国語科目	1.2%	17.7%	42.1%	28.7%	10.3%
共通教職科目-体育実技	68.7%	23.6%	3.3%	1.1%	3.3%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	3.1%	33.0%	41.7%	16.2%	6.0%
基本教養科目-文化の分野	6.4%	34.8%	34.4%	18.4%	5.9%
基本教養科目-現代社会の分野	4.6%	38.6%	36.6%	12.8%	7.3%
インターフェース科目-環境コース	3.8%	17.9%	39.7%	27.2%	11.4%
インターフェース科目-文化と共生コース	1.6%	16.9%	38.7%	20.2%	22.6%
インターフェース科目-生活と科学コース	3.8%	19.3%	44.3%	24.6%	8.0%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	1.3%	28.4%	46.6%	19.5%	4.2%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	1.1%	15.8%	46.3%	26.0%	10.7%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.0%	16.0%	43.3%	26.0%	14.7%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	2.0%	26.8%	35.1%	19.5%	16.6%
大学院教養教育科目	2.2%	6.6%	27.6%	38.7%	24.9%

A-3この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した
共通基礎科目-外国語科目	6.6%	7.9%	31.3%	29.7%	17.4%	7.1%
共通教職科目-体育実技	21.8%	11.3%	28.0%	21.5%	8.7%	8.7%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	4.4%	5.5%	28.6%	35.5%	18.5%	7.5%
基本教養科目-文化の分野	7.5%	6.4%	28.0%	32.3%	18.6%	7.1%
基本教養科目-現代社会の分野	6.1%	5.9%	23.1%	31.6%	23.1%	10.3%
インターフェース科目-環境コース	6.5%	6.5%	27.2%	29.9%	23.4%	6.5%
インターフェース科目-文化と共生コース	8.1%	3.2%	27.4%	32.3%	16.1%	12.9%
インターフェース科目-生活と科学コース	5.3%	4.9%	22.3%	39.8%	17.8%	9.8%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	3.4%	3.0%	20.8%	30.5%	31.4%	11.0%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	5.1%	3.4%	29.9%	31.6%	24.9%	5.1%
インターフェース科目-人間と社会コース	4.7%	4.7%	25.3%	32.0%	26.7%	6.7%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	6.3%	6.8%	26.3%	26.8%	21.0%	12.7%
大学院教養教育科目	5.0%	2.8%	21.5%	36.5%	23.8%	10.5%

A-4この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している
共通基礎科目-外国語科目	2.6%	4.0%	17.5%	61.4%	14.5%
共通教職科目-体育実技	6.2%	0.7%	11.3%	62.9%	18.9%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	2.4%	3.4%	17.9%	64.4%	11.9%
基本教養科目-文化の分野	3.7%	3.6%	14.3%	61.9%	16.5%
基本教養科目-現代社会の分野	2.4%	2.6%	14.5%	64.7%	15.8%
インターフェース科目-環境コース	4.3%	3.3%	17.4%	62.0%	13.0%
インターフェース科目-文化と共生コース	3.2%	3.2%	9.7%	58.9%	25.0%
インターフェース科目-生活と科学コース	2.3%	3.8%	14.8%	62.9%	16.3%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	1.7%	1.7%	18.6%	63.1%	14.8%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	2.8%	2.8%	5.6%	78.5%	10.2%
インターフェース科目-人間と社会コース	2.0%	2.0%	14.7%	66.7%	14.7%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	3.4%	3.4%	14.6%	56.1%	22.4%
大学院教養教育科目	2.2%	5.0%	13.3%	64.6%	14.9%

B-1教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	1.8%	0.7%	2.9%	16.5%	56.5%	21.5%
共通教職科目-体育実技	1.1%	0.0%	0.0%	9.5%	55.3%	34.2%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	1.1%	0.6%	2.3%	19.4%	59.6%	17.0%
基本教養科目-文化の分野	1.6%	1.4%	3.6%	17.4%	54.4%	21.6%
基本教養科目-現代社会の分野	0.7%	0.4%	1.4%	14.8%	60.1%	22.6%
インターフェース科目-環境コース	1.6%	0.0%	1.1%	16.8%	62.5%	17.9%
インターフェース科目-文化と共生コース	2.4%	1.6%	2.4%	11.3%	49.2%	33.1%
インターフェース科目-生活と科学コース	2.7%	0.8%	1.9%	20.1%	55.3%	19.3%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	0.8%	0.0%	0.8%	19.5%	56.8%	22.0%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	1.1%	1.1%	1.7%	13.6%	61.0%	21.5%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.7%	1.3%	2.7%	15.3%	60.7%	19.3%
インターフェース科目-サブスペシャルティコース	1.5%	0.0%	2.9%	14.1%	57.6%	23.9%
大学院教養教育科目	2.2%	2.8%	3.3%	20.4%	55.2%	16.0%

B-2担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	13.6%	0.7%	1.6%	15.7%	41.5%	26.8%
共通教職科目-体育実技	17.5%	0.4%	0.0%	5.8%	38.9%	37.5%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	19.9%	0.5%	0.9%	19.1%	41.7%	17.9%
基本教養科目-文化の分野	23.5%	1.0%	3.3%	18.6%	34.4%	19.1%
基本教養科目-現代社会の分野	16.8%	0.7%	1.2%	17.4%	41.1%	23.0%
インターフェース科目-環境コース	17.9%	0.0%	1.1%	10.9%	50.0%	20.1%
インターフェース科目-文化と共生コース	8.1%	0.8%	0.8%	7.3%	46.0%	37.1%
インターフェース科目-生活と科学コース	15.2%	0.4%	1.1%	21.2%	42.4%	19.7%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	20.3%	0.0%	0.4%	21.2%	40.3%	17.8%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	9.0%	0.6%	1.7%	13.6%	51.4%	23.7%
インターフェース科目-人間と社会コース	10.7%	0.0%	2.0%	18.7%	46.7%	22.0%
インターフェース科目-サブスペシャルティコース	11.7%	0.0%	2.0%	10.7%	44.4%	31.2%
大学院教養教育科目	21.0%	2.8%	3.9%	26.5%	34.8%	11.0%

B-3教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	0.4%	1.2%	11.6%	53.0%	33.8%
共通教職科目-体育実技	0.0%	0.0%	2.5%	36.4%	61.1%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	0.5%	0.9%	14.1%	60.1%	24.5%
基本教養科目-文化の分野	1.2%	1.7%	13.8%	51.6%	31.7%
基本教養科目-現代社会の分野	0.7%	0.7%	10.6%	56.1%	32.0%
インターフェース科目-環境コース	0.5%	0.0%	12.5%	57.1%	29.9%
インターフェース科目-文化と共生コース	1.6%	2.4%	8.1%	46.8%	41.1%
インターフェース科目-生活と科学コース	0.8%	1.9%	18.9%	51.5%	26.9%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	4.7%	58.1%	37.3%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	1.1%	0.6%	6.8%	57.1%	34.5%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.7%	2.7%	17.3%	50.7%	28.7%
インターフェース科目-サブスペシャルティコース	0.0%	0.5%	6.3%	53.7%	39.5%
大学院教養教育科目	2.8%	2.2%	20.4%	53.6%	21.0%

C-1この授業の授業形態のうち、最も近いものは以下のうちどれでしたか。

	資料配布型	授業録画型	同時中継型	その他の遠隔授業方式	遠隔授業ではなかった
共通基礎科目-外国語科目	21.0%	0.8%	72.6%	5.2%	0.4%
共通教職科目-体育実技	0.7%	0.0%	0.4%	0.4%	98.5%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	15.9%	40.2%	38.7%	2.3%	2.9%
基本教養科目-文化の分野	23.0%	25.7%	49.4%	1.4%	0.4%
基本教養科目-現代社会の分野	7.9%	33.3%	53.7%	0.9%	4.3%
インターフェース科目-環境コース	6.5%	41.3%	32.1%	8.7%	11.4%
インターフェース科目-文化と共生コース	41.1%	0.8%	52.4%	2.4%	3.2%
インターフェース科目-生活と科学コース	14.0%	28.0%	50.0%	7.2%	0.8%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	5.5%	90.3%	2.5%	1.7%	0.0%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	1.1%	29.4%	56.5%	2.3%	10.7%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.0%	0.7%	95.3%	4.0%	0.0%
インターフェース科目-サブスペシャルティコース	0.0%	10.2%	78.0%	0.0%	11.7%
大学院教養教育科目	5.0%	82.9%	8.8%	1.7%	1.7%

C-2この授業の学習到達目標を達成できましたか。

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	5.2%	0.9%	2.2%	24.7%	57.3%	9.7%
共通教職科目-体育実技	9.1%	0.4%	0.4%	10.2%	53.5%	26.5%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	3.8%	0.9%	2.4%	24.6%	56.1%	12.1%
基本教養科目-文化の分野	4.3%	1.4%	3.7%	20.2%	57.5%	12.9%
基本教養科目-現代社会の分野	3.2%	0.8%	3.2%	19.6%	59.7%	13.5%
インターフェース科目-環境コース	6.0%	0.0%	0.5%	23.9%	59.2%	10.3%
インターフェース科目-文化と共生コース	6.5%	0.0%	1.6%	11.3%	56.5%	24.2%
インターフェース科目-生活と科学コース	4.9%	0.8%	1.1%	22.7%	56.8%	13.6%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	3.8%	0.0%	0.4%	12.7%	64.8%	18.2%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	3.4%	0.6%	0.0%	12.4%	68.9%	14.7%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.7%	0.0%	3.3%	30.7%	57.3%	8.0%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	4.9%	2.0%	2.9%	20.0%	52.7%	17.6%
大学院教養教育科目	3.9%	1.1%	3.9%	14.4%	61.9%	14.9%

C-3授業の内容はシラバスに基づいていましたか。

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	8.7%	0.8%	1.3%	14.3%	57.6%	17.3%
共通教職科目-体育実技	16.0%	0.4%	0.4%	11.6%	51.6%	20.0%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	4.3%	0.3%	1.8%	12.4%	65.4%	15.7%
基本教養科目-文化の分野	7.5%	1.1%	1.7%	14.4%	57.3%	18.0%
基本教養科目-現代社会の分野	6.5%	0.7%	1.0%	12.7%	59.3%	19.8%
インターフェース科目-環境コース	6.5%	0.0%	0.0%	16.8%	61.4%	15.2%
インターフェース科目-文化と共生コース	7.3%	1.6%	0.8%	12.1%	54.8%	23.4%
インターフェース科目-生活と科学コース	4.9%	0.4%	0.8%	16.7%	59.1%	18.2%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	4.2%	0.0%	0.4%	8.9%	62.3%	24.2%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	6.8%	0.6%	1.7%	11.3%	62.7%	16.9%
インターフェース科目-人間と社会コース	6.7%	0.0%	1.3%	18.0%	60.0%	14.0%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	9.3%	1.0%	1.0%	10.7%	59.5%	18.5%
大学院教養教育科目	8.3%	1.7%	2.2%	10.5%	62.4%	14.9%

C-4教材（教科書、配布資料）やICT環境（Live Campus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、Eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	0.6%	1.2%	12.5%	59.5%	26.1%
共通教職科目-体育実技	9.1%	4.7%	42.5%	26.2%	17.5%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	0.6%	1.5%	14.4%	58.7%	24.8%
基本教養科目-文化の分野	2.1%	1.5%	12.5%	55.9%	28.0%
基本教養科目-現代社会の分野	1.0%	1.2%	12.0%	60.4%	25.3%
インターフェース科目-環境コース	1.1%	0.5%	14.7%	64.1%	19.6%
インターフェース科目-文化と共生コース	0.0%	3.2%	8.9%	54.0%	33.9%
インターフェース科目-生活と科学コース	0.8%	0.8%	18.6%	57.2%	22.7%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	5.5%	61.4%	33.1%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	0.0%	2.3%	12.4%	60.5%	24.9%
インターフェース科目-人間と社会コース	0.7%	2.7%	15.3%	63.3%	18.0%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	2.0%	0.0%	9.8%	55.6%	32.7%
大学院教養教育科目	2.2%	1.1%	10.5%	64.6%	21.5%

C-5この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	4.1%	6.3%	16.5%	40.8%	32.3%
共通教職科目-体育実技	5.1%	1.1%	13.5%	39.3%	41.1%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	8.7%	17.9%	33.0%	31.2%	9.2%
基本教養科目-文化の分野	10.9%	16.2%	29.5%	30.3%	13.0%
基本教養科目-現代社会の分野	12.0%	15.7%	34.5%	25.5%	12.3%
インターフェース科目-環境コース	2.2%	3.8%	23.4%	42.4%	28.3%
インターフェース科目-文化と共生コース	0.8%	4.0%	8.1%	41.1%	46.0%
インターフェース科目-生活と科学コース	4.5%	3.4%	27.7%	31.1%	33.3%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	5.5%	12.7%	37.7%	31.8%	12.3%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	1.7%	5.1%	18.1%	42.9%	32.2%
インターフェース科目-人間と社会コース	4.0%	8.0%	20.0%	46.7%	21.3%
インターフェース科目-サブスペシャリティコース	2.9%	3.4%	16.1%	38.5%	39.0%
大学院教養教育科目	8.8%	12.7%	28.2%	40.3%	9.9%

D-1この授業は全体として満足できるものでしたか。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う
共通基礎科目-外国語科目	0.8%	2.8%	12.4%	55.5%	28.5%
共通教職科目-体育実技	0.0%	0.0%	1.1%	26.2%	72.7%
共通基礎科目-情報リテラシー科目	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%
基本教養科目-自然科学と技術の分野	0.6%	2.3%	12.2%	62.7%	22.2%
基本教養科目-文化の分野	2.1%	4.1%	12.6%	53.1%	28.1%
基本教養科目-現代社会の分野	0.7%	1.4%	10.7%	57.2%	30.0%
インターフェース科目-環境コース	0.5%	1.6%	9.2%	59.8%	28.8%
インターフェース科目-文化と共生コース	2.4%	3.2%	10.5%	46.0%	37.9%
インターフェース科目-生活と科学コース	0.4%	2.3%	16.3%	54.5%	26.5%
インターフェース科目-医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	3.8%	58.5%	37.7%
インターフェース科目-地域・佐賀学コース	0.6%	3.4%	6.2%	57.6%	32.2%
インターフェース科目-人間と社会コース	2.7%	2.0%	17.3%	55.3%	22.7%
インターフェース科目-サブスペシャルティコース	1.0%	2.9%	9.8%	45.4%	41.0%
大学院教養教育科目	5.0%	4.4%	19.3%	53.6%	17.7%